

令和6年度使用小学校用教科用図書

# 選 定 資 料

令和5年6月

広島県教育委員会



## はじめに

広島県教育委員会は、令和6年度に義務教育諸学校で使用する教科用図書の「選定資料」について、広島県教科用図書選定審議会に対して諮問し、このたび答申されました。

この答申に基づき選定資料を作成しましたので、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第10条の規定により送付します。

教科用図書は、学校教育において、教科の主たる教材として使用される重要なものです。

そのため、教育基本法や学校教育法で示された教育の理念や目標及び学習指導要領における各教科等の目標や内容等に則り、本県の児童生徒に最も適切な教科用図書を採択することが必要です。

各採択権者においては、この資料を活用して教科用図書の調査研究を十分に行い、適正かつ公正な採択を行ってください。

令和5年6月

広島県教育委員会

# 目 次

教科用図書選定資料について	1
国 語	2
書 写	17
社 会	25
地 図	42
算 数	49
理 科	68
生 活	83
音 楽	105
図画工作	118
家 庭	129
保 健	140
英 語	162
道 徳	175

## 教科用図書選定資料について

### 1 観点及び視点の設定について

この選定資料は、文部科学省の「小学校用教科書目録（令和6年度使用）」に記載された教科用図書について、種目別に、次の5つの観点に基づいて調査研究を行い、特徴を一覧表にしたものです。

観点1	基礎・基本の定着
観点2	主体的に学習に取り組む工夫
観点3	内容の構成・配列・分量
観点4	内容の表現・表記
観点5	言語活動の充実

平成29年に告示された小学校学習指導要領では、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かし特色ある教育活動を展開する中で児童に生きる力を育むことが示されています。また、学習の基盤となる資質・能力の1つとして挙げられている言語能力の向上を、児童の学びの質の向上や資質・能力の育成に関わる重要な課題として受け止め、重視していくことが求められています。

さらに、広島県では、平成27年度から広島版「学びの変革」アクション・プランに基づく、主体的な学びの創造を目指して取り組んできました。

そのため、観点2として、「主体的に学習に取り組む工夫」、観点5として「言語活動の充実」を設定しています。

なお、それぞれの観点の下に、種目ごとに学習指導要領の目標に基づき視点を設定しています。

### 2 記載の順序

選定資料に記載している順序は、文部科学省の「小学校用教科書目録（令和6年度使用）」に登載されている発行者番号順とし、発行者名は次の略称で表しています。

番号	略称	発行者名	番号	略称	発行者名
2	東書	東京書籍株式会社	38	光村	光村図書出版株式会社
4	大日本	大日本図書株式会社	46	帝国	株式会社帝国書院
9	開隆堂	開隆堂出版株式会社	50	大修館	株式会社大修館書店
11	学図	学校図書株式会社	61	啓林館	株式会社新興出版社啓林館
15	三省堂	株式会社三省堂	116	日本文教	日本文教出版株式会社
17	教出	教育出版株式会社	207	文教社	株式会社文教社
26	信教	一般社団法人信州教育出版社	208	光文	株式会社光文書院
27	教芸	株式会社教育芸術社	224	学研	株式会社Gakken

国 語
-----

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称	教科書名
2 東 書	新編 新しい国語
17 教 出	ひろがる言葉 小学国語
38 光 村	国語

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点	視点	方法
(ア) 基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	各単元における目標の示し方
	② 言葉の特徴や使い方に関する事項	語彙を豊かにするための語句の示し方
	③ 情報の扱い方に関する事項	情報の扱い方についての示し方
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名、題材、内容
	⑤ 課題解決的な学習を実施するための工夫	課題と学習の進め方
	⑥ 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	学習過程、資料、評価活動
(ウ) 内容の構成・配列・分量	⑦ 単元や資料等の配列	配列の特徴・単元数、領域ごとのページ数
	⑧ 伝統と文化に関する内容の記述	伝統的な言語文化に関する単元等数、単元名等、取り上げられている作品等
(エ) 内容の表現・表記	⑨ 巻頭の示し方	巻頭の示し方と内容
	⑩ 本文記述との適切な関連付けがなされた図表等の活用	文章と図表等との関連について考えさせる記述
(オ) 言語活動の充実	⑪ 考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫	単元名、例示されている話題、話合いの形態、役割
	⑫ 学校図書館機能の利活用	学校図書館等の利活用の仕方について示されている内容

【国語】

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	①単元の目標の示し方
<b>方法</b>	各単元における目標の示し方

第6学年 読むこと 説明的な文章				
	単元名	教材名	学習目標	学習目標の示し方
東 書	○ 筆者の論の進め方をとらえよう	○ 「イースター島にはなぜ森林がないのか」	○ 論の進め方をとらえる	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の導入ページに「言葉の力」として目標を示している。</li> <li>単元末の「言葉の力」欄において、目標とする力を身に付けるためのポイントを簡条書きで示している。</li> </ul>
教 出	○ 文章と資料をあわせて読み、筆者の考えをとらえよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>「アイスが暑いほどおいしい？—グラフの読み取り」</li> <li>「雪は新しいエネルギー—未来へつなぐエネルギー社会」</li> </ul>	○ 筆者の説明の工夫をとらえる	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元末の「ここが大事」欄において、教材文を例示しながら、目標とする力を身に付けるためのポイントを短い文章で示している。</li> </ul>
光 村	○ 主張と事例の関係をとらえ、自分の考えを伝え合おう	<ul style="list-style-type: none"> <li>「笑うから楽しい」</li> <li>「時計の時間と心の時間」</li> </ul>	○ 主張と事例の関係から、文章全体の構成をとらえる	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元末の「たいせつ」欄において、目標とする力を身に付けるためのポイントを簡条書きで示している。</li> </ul>

【国語】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②言葉の特徴や使い方に関する事項
方法	語彙を豊かにするための語句の示し方

第2学年 語彙に関する巻末資料			
	資料名	内容 ☆言葉の示し方 □語彙への関心を喚起する言葉	項目（語数）
東 書	「ことばの広場」	☆ 項目別に分類された言葉を示している。  （上下巻とも） □ いろいろなことばをおぼえて、話したり書いたりするときにつかいましょう。	○ （上巻） ・学校にあるものの名前（30） ・家にあるものの名前（30） ・町や村にあるものの名前（47） ・くらしの中でよくつかうことば（58）  ○ （下巻） ・みぢかな人をあらわすことば（20） ・ものようすをあらわすことば（30） ・人の体をあらわすことば（39） ・人がすることをあらわすことば（56）  二次元コードにより、Web上に掲載されている全学年の「ことばの広場」を見ることができる。
教 出	「言葉の木」	☆ 枝に語彙の分類の観点、葉に分類された言葉を示している。  （上巻） □ ほかに「はんたいのいみの言葉」や「にたいみの言葉」を見つけることができるかな。 （下巻） □ 言葉は大きくまとめたり、こまかく分けたりすることができるね。	○ （上巻） ・はんたいのいみの言葉（18） ・にたいみの言葉（18）  ○ （下巻） ・広いことばとせまいことば（19） どうぶつ しょつき 色 おもちゃ 本
光 村	「ことばのたからばこ」	☆ 項目別に分類された言葉を示している。  （上巻） □ じんぶつやできごと、見つけたことについて、かんじたことをつたえるときにつかいましょう。 （下巻） □ お話に出てくるじんぶつについてせつめいするときや、思ったことをつたえるときに、つかいましょう。	○ （上巻） ・じんぶつをあらわすことば（10） ・ものようすをあらわすことば（14） ・気もちをあらわすことば（20）  ○ （下巻） ・じんぶつをあらわすことば（10） ・ものようすをあらわすことば（15） ・気もちをあらわすことば（21）  二次元コードにより、Web上に掲載されている下学年で学んだ言葉を見ることができる。



【国語】

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	③情報の扱い方に関する事項
<b>方法</b>	情報の扱い方についての示し方

第3学年・第4学年に示された内容				
	資料名	内容		示し方
		第3学年	第4学年	
東 書	「じょうほうのとびら」	(上巻) ・全体と中心 (下巻) ・分ける ・考えと理由	(上巻) ・引用する (下巻) ・観点を立てて比べる ・理由をぎんみする	関連する単元の前後に配置している。
教 出	「じょうほうのまとめ」(第3学年) 「情報のまとめ」(第4学年)	(上巻) ・全体と中心 ・辞典や事典、ずかんの使い方 (下巻) ・考えとその理由・事例 ・メモの取り方	(上巻) ・考えとその理由・事例 ・くらべる・分ける (下巻) ・全体と中心 ・引用のし方、出典のしめし方	巻末にまとめて示し、その巻に掲載の関連する単元を表記している。
光 村	「じょうほう」	(上巻) ・全体と中心 ・引用するとき	(上巻) ・考えと例 ・要約するとき	関連する単元の前後に配置している。

【国語】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名、題材、内容

第5学年 話すこと・聞くこと			
	単元名	題材	内容
東 書	○ 問題を解決するために話し合おう	○ 身の回りにある問題	<p>&lt;学習の流れ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見通す</li> <li>○ 取り組む               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 議題を決めよう。</li> <li>(2) 議題に対する自分の考えを持とう。</li> <li>(3) 計画的に話し合おう。                   <ul style="list-style-type: none"> <li>① 問題の原因と解決のための取り組みについて、意見を出し合う。</li> <li>② 意見をもとに、考えを広げる。</li> <li>③ 意見を整理して、考えをまとめる。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○ 振り返る</li> </ul>
教 出	○ 立場を明確にして話し合おう	○ ミニディベート-AIとのくらし	<p>&lt;学習の進め方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見通しをもとう               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 決めよう・集めよう                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テーマを決めて、調べる。</li> </ul> </li> <li>(2) 組み立てよう                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し合いの準備をする。</li> </ul> </li> <li>(3) 話そう・聞こう                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ミニディベート」を行う。                       <ul style="list-style-type: none"> <li>① 利点の立場からの意見を述べる。</li> <li>② 問題点の立場からの意見を述べる。</li> <li>③ 問題点の立場から利点の立場へ質問や反論をする。</li> <li>④ 利点の立場から問題点の立場へ質問や反論をする。</li> <li>⑤ おたがいに質問や反論に答える。</li> <li>⑥ 聞き手がそれぞれに感想や評価を伝える。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(4) 伝え合おう               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感想を交流する。</li> </ul> </li> <li>○ 振り返ろう</li> </ul>
光 村	○ たがいの立場を明確にして、話し合おう	○ よりよい学校生活のために	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 確かめよう               <ul style="list-style-type: none"> <li>「四年生で学んだこと」「どちらを選びますか」</li> </ul> </li> <li>○ 見通しをもとう               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 決めよう 集めよう                   <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校生活の中から、議題を決めよう。</li> <li>② 自分の立場を明確にしよう。</li> </ul> </li> <li>(2) 準備しよう                   <ul style="list-style-type: none"> <li>③ 話し合いのしかたを確かめ、進行計画を立てよう。</li> </ul> </li> <li>(3) 話そう 聞こう                   <ul style="list-style-type: none"> <li>④ 計画にそって、グループで話し合おう。                       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考えを広げる話し合い</li> <li>・ 考えをまとめる話し合い</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(4) つなげよう                   <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤ 話し合ったことをクラスで共有し、感想を伝え合おう。                       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し合いの内容に関して</li> <li>・ 話し合いや発言のしかたに関して</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○ ふりかえろう</li> </ul>

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤課題解決的な学習を実施するための工夫
方法	課題と学習の進め方

		第3学年 読むこと 文学的な文章「モチモチの木」	
		☆単元名 □課題	学習の進め方
東 書	☆ 想ぞうしたことをつたえ合おう	□ どんなせいかくの登場人物が出てくるかな。 □ 「モチモチの木」っていったいどんな木なんだろう。登場人物とどんな関係があるのかな。	<input type="radio"/> 見通す ・地の文と会話文を手がかりに、人物のせいかくを想ぞうしましょう。 <input type="radio"/> 取り組む ・物語の内ようをとらえよう。 どの登場人物が出てきますか。 どんな出来事があったかをたしかめましょう。 ・人物のせいかくを想ぞうしよう。 豆太の行動や様子が書かれている部分や、会話文を書き出し、豆太の気持ちを場面ごとに整理しましょう。 どうして豆太は、モチモチの木に灯がともるのを見ることができたのでしょうか。 豆太はどのようなせいかくの人物だと思いましたか。 ・登場人物について想ぞうしたことをつたえ合おう。 豆太のせいかくと、想ぞうした理由を、友だちとつたえ合いましょう。 <input type="radio"/> ふり返る ・登場人物のせいかくについてどのようなことを想ぞうし、友だちとつたえ合いましたか。
	☆ 登場人物のせいかくを考えながら読もう		<input type="radio"/> たしかめよう ・この物語の主な登場人物をたしかめましょう。その中で、中心人物はだれでしょうか。 ・豆太を「おくびょう」だと言っているのはだれでしょうか。 <input type="radio"/> くわしくよもう ・豆太のせいかくがわかる行動や会話を、場面ごとにノートにまとめましょう。 ・その場面の豆太のせいかくについて、自分が考えたことをまとめましょう。 <input type="radio"/> まとめよう ・豆太のせいかくは、物語の中でかわったと思いますか。自分の考えとその理由をノートに書きましょう。 <input type="radio"/> つたえあおう ・あなたは、豆太のせいかくについてどう思いますか。考えたことをつたえ合いましょう。
	☆ 登場人物について考えたことを、つたえ合おう		<input type="radio"/> とらえよう ・場面ごとに、「豆太」と「じさま」の行動や会話、そのときの様子をたしかめましょう。 <input type="radio"/> ふかめよう ・「豆太」はどんな人物ですか。行動や会話、語り手が語る言葉などをもとに、そうぞうしましょう。 ・物語のはじめと終わりで、「豆太」はかわったでしょうか。着目する点を一つえらび、場面や言葉をむすびつけたりくらべたりして、考えましょう。 ・着目した点と同じ人どうしや、ちがう人どうしで考えをつたえ合い、あなたの考えを深めましょう。 <input type="radio"/> まとめよう ・「豆太」について考えてきて感じたことや、自分とくらべて考えたことなどをまとめましょう。その考えが、作品のどこから生まれているのかも書きましょう。 <input type="radio"/> ひろげよう ・まとめた考えをつたえ合いましょう。友だちの考えと自分の考えをくらべ、にているところやちがうところ、新しく気づいたことを見つけましょう。

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑥見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
<b>方法</b>	学習過程、資料、評価活動

第4学年 書くこと 「新聞作り」				
	☆単元名 □目的	学習過程	資料	評価活動
東 書	☆ 「和と洋新聞」を作ろう  □ 「くらしの中の和と洋」を読んで学んだことを生かしなが、身の回りの「衣・食・住」の和と洋について調べ、新聞にまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見通す</li> <li>○ 取り組む               <ul style="list-style-type: none"> <li>①材料を集めて整理しよう。</li> <li>②記事の下書きを作ろう。</li> <li>③わり付けを決めて新聞を完成させよう。</li> </ul> </li> <li>○ 振り返る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞の例</li> <li>・「衣」「食」「住」のテーマの例</li> <li>・中山さんと田村さんが取材して分かったことを整理した例</li> <li>・記事の下書きの例</li> <li>・「言葉の力」</li> <li>・[二次元コード] 「調べたことを整理する」 「観点を立ててくまらべる」 「引用する」 「デジタルノート」 「新聞のわり付け」</li> </ul>	完成した新聞をほかのグループと読み合い、感想を伝え合う。
教 出	☆ 集めたざいりょうでわかりやすく伝えよう  □ 伝えたい内容に合った資料を選び、写真や図表を効果的に使いながら新聞を作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見通しをもとう               <ul style="list-style-type: none"> <li>・決めよう・集めよう</li> <li>①知らせたいことを決め、調べる。</li> <li>・組み立てよう</li> <li>②記事のわりつけを考える。</li> <li>・書こう</li> <li>③記事の下書きをする。</li> <li>・読み返そう</li> <li>④読み返して、せいしよする。</li> <li>・伝え合おう</li> <li>⑤新聞を読み合う。</li> </ul> </li> <li>○ 振り返ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞って？</li> <li>・割付用紙</li> <li>・話し合い活動のイメージイラスト</li> <li>・出来上がった新聞の例</li> <li>・「ここが大事」</li> </ul>	廊下などに貼って読み合う。
光 村	☆ 見せ方を工夫して書こう  □ グループで話し合っ、記事の見せ方を考え、知らせたいことが読む人にわかりやすく伝わる新聞を作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ たしかめよう 「三年生で学んだこと」</li> <li>○ 見通しをもとう               <ul style="list-style-type: none"> <li>・決めよう集めよう</li> <li>①新聞の工夫をたしかめる。</li> <li>②どんな新聞を作るか話し合う。</li> <li>③取材をし、メモを取る。</li> <li>・組み立てよう</li> <li>④わり付けを決める。</li> <li>・書こう</li> <li>⑤記事を書き、新聞を仕上げる。</li> <li>・つなげよう</li> <li>⑥読み合っ、感想を伝え合う。</li> </ul> </li> <li>○ ふりかえろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞の例</li> <li>・新聞の特徴と工夫</li> <li>・テーマの例</li> <li>・話し合い活動のイメージイラスト</li> <li>・新聞を作る前に話し合うこと</li> <li>・取材をするときのポイント</li> <li>・割付けの例</li> <li>・割付けを考えるとときのポイント</li> <li>・出来上がった新聞の例</li> <li>・「たいせつ」</li> <li>・アンケート調査の仕方</li> </ul>	書き方や内容について、感想を伝え合う。

【国語】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑦単元や資料等の配列
<b>方法</b>	配列の特徴・単元数、領域ごとのページ数

	配列の特徴・単元数	領域ごとのページ数							
			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年から第4学年までは、上下巻の2冊構成、第5学年及び第6学年は各1冊である。</li> <li>○ 第2学年以上の各巻の巻頭に、「言葉の力を集めよう」「国語の学習の進め方」を設定している。</li> <li>○ 全学年の「言葉の力」が領域別・学年別にまとめられた資料を Web 上で見ることができる二次元コードを付している。</li> <li>○ 「読むこと」の単元と「書くこと」の単元の間、小単元「情報のとびら」を配置し、両単元を関連させる学習を設定している。</li> <li>○ 年間総単元数（小単元を除く） 第1学年：14（下巻のみ） 第2学年：26 第3学年及び第4学年：19 第5学年：18 第6学年：17</li> </ul>								
		知識・技能	言葉	155	93	147	157	127	165
			情報	43	53	72	74	48	59
			言語文化	22	53	33	35	54	33
		話すこと・聞くこと	30	29	24	24	22	24	
		書くこと	66	61	60	61	56	64	
		読むこと	130	123	141	141	149	137	
		入門期	23						
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全学年上下巻の2冊構成である。</li> <li>○ 巻頭に「〇年生で学ぶこと」を設定している。</li> <li>○ 上下巻それぞれの巻末に、学習したことを振り返ることができるコーナー「ひろがる言葉」を設定している。</li> <li>○ 第3学年以上には、「読むこと」の単元の1つにおいて、教材文を読む際の視点に気付くための導入教材を配置している。</li> <li>○ 年間総単元数（小単元を除く） 第1学年：8（下巻のみ） 第2学年及び第3学年：14 第4学年：16 第5学年及び第6学年：11</li> </ul>								
		知識・技能	言葉	219	191	209	156	168	147
			情報	20	67	62	94	72	44
			言語文化	41	18	66	39	29	34
		話すこと・聞くこと	23	19	36	31	27	24	
		書くこと	41	36	45	62	53	46	
		読むこと	146	165	140	140	148	128	
		入門期	21						
光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年から第4学年までは、上下巻の2冊構成、第5学年及び第6学年は各1冊である。</li> <li>○ 巻頭に「国語の学びを見わたそう」を設定している。</li> <li>○ 第3学年以上には、「読むこと」の単元の1つにおいて、教材文を読む際の視点に気付くための導入教材[練習]を配置している。</li> <li>○ 年間総単元数（小単元を除く） 第1学年：11（下巻のみ） 第2学年：19 第3学年及び第4学年：15 第5学年及び第6学年：14</li> </ul>								
		知識・技能	言葉	184	198	168	166	165	212
			情報	33	50	73	70	58	25
			言語文化	60	57	54	55	70	62
		話すこと・聞くこと	38	22	22	22	22	21	
		書くこと	74	58	60	55	55	75	
		読むこと	110	147	141	149	126	148	
		入門期	24						

【国語】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧伝統と文化に関する内容の記述
方法	伝統的な言語文化に関する単元等数、単元名等、取り上げられている作品等

	学年	単元等数	単元名等	取り上げられている作品等
東 書	第1・2学年	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ことばであそぼう</li> <li>○ むかしばなしをたのしもう</li> <li>○ きせつの足音 はる</li> <li>○ きせつの足音 なつ</li> <li>○ 言いつたえられているお話を知ろう</li> <li>○ きせつの足音 あき</li> <li>○ きせつの足音 ふゆ</li> <li>○ むかしからつたわる言い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「さかさまによんでも」「だじゃれ」等</li> <li>・ 「花さかじいさん」</li> <li>・ 春の詩「おがわのはる」「たんぼぼ」</li> <li>・ 夏の詩「いるか」、早口ことば</li> <li>・ 「だいだらぼう」「いなばの白うさぎ」</li> <li>・ 秋の詩「うさぎ」、ことばあそび</li> <li>・ 冬の詩「雪」、さかさことば</li> <li>・ 十二支、小の月、いろは歌、いろはかるた、きょう土かるた</li> </ul>
	第3・4学年	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ きせつの足音 春</li> <li>○ きせつの足音 夏</li> <li>○ 慣用句を使おう</li> <li>○ きせつの足音 秋</li> <li>○ きせつの足音 冬</li> <li>○ 俳句に親しもう</li> <li>○ きせつの足音 春</li> <li>○ きせつの足音 夏</li> <li>○ ことわざ・故事成語を使おう</li> <li>○ きせつの足音 秋</li> <li>○ 百人一首に親しもう</li> <li>○ きせつの足音 冬</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春の詩「野川」「ふきのとう」、春の短歌、俳句</li> <li>・ 夏の詩「西瓜の詩」、夏の短歌、俳句</li> <li>・ 「ねこの手もかりたい」「道草を食う」等</li> <li>・ 秋の詩「ぶどう」、秋の短歌、俳句</li> <li>・ 冬の詩「ちらちらゆき」、冬の短歌、俳句</li> <li>・ 春の俳句、夏の俳句、秋の俳句、冬の俳句等</li> <li>・ 春の詩「蝶々」「てんとうむし」、春の短歌、俳句</li> <li>・ 夏の詩「おれはかまきり」、夏の短歌、俳句</li> <li>・ 「さるも木から落ちる」「五十歩百歩」等</li> <li>・ 秋の詩「風のあと」、秋の短歌、俳句</li> <li>・ 百人一首</li> <li>・ 冬の詩「秤」、冬の短歌、俳句</li> </ul>
	第5・6学年	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 季節の足音 春</li> <li>○ いにしえの言葉に親しもう</li> <li>○ 季節の足音 夏</li> <li>○ 季節の足音 秋</li> <li>○ 季節の足音 冬</li> <li>○ いにしえの人のえがく世界</li> <li>○ 季節の足音 春</li> <li>○ 漢文に親しもう</li> <li>○ 季節の足音 夏</li> <li>○ 季節の足音 秋</li> <li>○ 季節の足音 冬</li> <li>○ 古典芸能への招待状</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春の詩「春の河」「ガラス窓の向うで」、春の短歌、俳句</li> <li>・ 「竹取物語」「平家物語」「徒然草」「おくのほそ道」「学問のすゝめ」、短歌</li> <li>・ 夏の詩「積乱雲」、夏の短歌、俳句</li> <li>・ 秋の詩「落葉」、秋の短歌、俳句</li> <li>・ 冬の詩「草が枯れるのは」、冬の短歌、俳句</li> <li>・ 「枕草子」</li> <li>・ 春の詩「五月」「テニス」、春の短歌、俳句</li> <li>・ 「百聞は一見にしかず」「論語」「春暁」「万葉集」</li> <li>・ 夏の詩「祖母」、夏の短歌、俳句</li> <li>・ 秋の詩「素朴な琴」、秋の短歌、俳句</li> <li>・ 冬の詩「手紙」、冬の短歌、俳句</li> <li>・ 狂言「神鳴」、能、歌舞伎、落語、地域の伝統芸能等</li> </ul>

【国語】

	学年	単元等数	単元名等	取り上げられている作品等
教 出	第1・2学年	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ことばの ぶんか① 天に のぼった おげやさん</li> <li>○ ことばの ぶんか② しりとりであそぼう</li> <li>○ 言葉の 文化① 回文を たのしもう</li> <li>○ 言葉の 文化② むかしの うたを読もう</li> <li>○ 言葉の 文化③ いなばの しろうさぎ</li> <li>○ 言葉の文化④ 「あいうえお」であそぼう</li> <li>○ 言葉の文化⑤ かるたであそぼう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「天にのぼったおげやさん」</li> <li>・ しりとり</li> <li>・ 回文</li> <li>・ 「いろはうた」「おてだまうた」</li> <li>・ 「いなばの しろうさぎ」</li> <li>・ 「あいうえお」を使った文</li> <li>・ かるた遊び、郷土のかるた（じょうもうかるた（群馬県））等</li> </ul>
	第3・4学年	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言葉の文化① 俳句に親しむ</li> <li>○ 言葉の文化② きせつの言葉を集めよう</li> <li>○ 言葉の文化③ ことわざ・慣用句</li> <li>○ 言葉の文化④ 十二支と月のよび名</li> <li>○ 言葉の文化① 短歌の世界</li> <li>○ 落語を声に出して楽しもう 「ぞろぞろ」</li> <li>○ 言葉の文化② 「月」のつく言葉</li> <li>○ 言葉の文化③ 故事成語</li> <li>○ 言葉の文化④ 雪</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 俳句</li> <li>・ 季節の言葉</li> <li>・ ことわざ「さるも木から落ちる」、慣用句</li> <li>・ 十二支、時刻、方角、月の呼び名等</li> <li>・ 短歌</li> <li>・ 落語「ぞろぞろ」</li> <li>・ 「中秋の名月」「お月見」等</li> <li>・ 「五十歩百歩」「漁夫の利」「蛇足」等</li> <li>・ 雪にまつわる唱歌、詩、俳句、短歌等</li> </ul>
	第5・6学年	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言葉の文化① 漢文に親しむ</li> <li>○ 言葉の文化② 鳥</li> <li>○ 言葉の文化③ 「古典」を楽しむ</li> <li>○ 付録 短歌や俳句を楽しもう</li> <li>○ 付録 附子（狂言）</li> <li>○ 言葉の文化① 春はあけぼの</li> <li>○ 言葉の文化② 雨</li> <li>○ 言葉の文化③ 「知恵の言葉」を集めよう</li> <li>○ 言葉の文化④ 言葉は時代とともに</li> <li>○ 付録 伝えられてきた作品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「春暁」「静夜思」等</li> <li>・ 俳句、短歌、鳥にまつわる言葉</li> <li>・ 「竹取物語」「平家物語」の冒頭部分、「伊曾保物語」、能、狂言、人形浄瑠璃、歌舞伎等</li> <li>・ 俳句、短歌、川柳</li> <li>・ 「附子」</li> <li>・ 「枕草子」</li> <li>・ 雨にまつわる言葉、短歌、俳句、詩</li> <li>・ 教訓、おまじない、ことわざ等</li> <li>・ 「万葉集」、短歌、俳句、「坊ちゃん」「杜子春」、時代によって変化してきた言葉等</li> <li>・ 「徒然草」「おくのほそ道」「アイヌ神謡集」「おもろそうし」</li> </ul>

【国語】

	学年	単元等数	単元名等	取り上げられている作品等
光 村	第1・2学年	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ おむすびころりん</li> <li>○ ことばをたのしもう</li> <li>○ むかしばなしをよもう</li> <li>○ きいてたのしもう</li> <li>○ きせつのことば1 はるがいっぱい</li> <li>○ 聞いてたのしもう</li> <li>○ きせつのことば2 なつがいっぱい</li> <li>○ ことばあそびをしよう</li> <li>○ きせつのことば3 秋がいっぱい</li> <li>○ 聞いて楽しもう</li> <li>○ きせつのことば4 冬がいっぱい</li> <li>○ ことばを楽しもう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「おむすびころりん」</li> <li>・ 「ぞうさんのぼうし」、はやくちことば</li> <li>・ 「おかゆのおなべ」</li> <li>・ 「わらしべちょうじゃ」</li> <li>・ 春の動植物、「はながさいた」</li> <li>・ 「いなばのしろうさぎ」</li> <li>・ 夏の動植物、「みんな」</li> <li>・ かぞえうた、いろはうた等</li> <li>・ 秋の動植物、「やま」</li> <li>・ 「せかい一の話」</li> <li>・ 冬の動植物、「ゆき」</li> <li>・ 回文</li> </ul>
	第3・4学年	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ きせつの言葉1 春のくらし</li> <li>○ 声に出して楽しもう 俳句を楽しもう</li> <li>○ きせつの言葉2 夏のくらし</li> <li>○ きせつの言葉3 秋のくらし</li> <li>○ つたわる言葉 ことわざ・故事成語</li> <li>○ 声に出して楽しもう 短歌を楽しもう</li> <li>○ きせつの言葉4 冬のくらし</li> <li>○ 知ると楽しい「故事成語」</li> <li>○ きせつの言葉1 春の楽しみ</li> <li>○ 声に出して楽しもう 短歌・俳句に親しもう(一)</li> <li>○ 季節の言葉2 夏の楽しみ</li> <li>○ 季節の言葉3 秋の楽しみ</li> <li>○ 伝わる言葉 慣用句</li> <li>○ 声に出して楽しもう 短歌・俳句に親しもう(二)</li> <li>○ 季節の言葉4 冬の楽しみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「みどり」、春の言葉</li> <li>・ 俳句</li> <li>・ 「はなび」、夏の言葉</li> <li>・ 「虫の声」、秋の言葉</li> <li>・ 「笑う門には福来る」「五十歩百歩」等</li> <li>・ 短歌</li> <li>・ 「ゆき」、冬の言葉</li> <li>・ 「杞憂」「登竜門」「蛇足」「蛭雪の功」</li> <li>・ 春の行事、言葉、俳句</li> <li>・ 短歌、俳句</li> <li>・ 夏の行事、言葉、俳句、短歌</li> <li>・ 秋の行事、言葉、短歌</li> <li>・ 「羽をのばす」等</li> <li>・ 短歌、俳句</li> <li>・ 冬の行事、言葉、俳句、春の七草等</li> </ul>
	第5・6学年	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 季節の言葉1 春の空</li> <li>○ 言葉をよりすぐって俳句を作ろう 日常を十七音で</li> <li>○ 声に出して読もう 古典の世界(一)</li> <li>○ 季節の言葉2 夏の夜</li> <li>○ 季節の言葉3 秋の夕</li> <li>○ 古典に親しもう 「浦島太郎」</li> <li>○ 声に出して読もう 古典の世界(二)</li> <li>○ 季節の言葉4 冬の朝</li> <li>○ 季節の言葉1 春のいぶき</li> <li>○ 声に出して楽しもう 天地の文</li> <li>○ 季節の言葉2 夏のさかり</li> <li>○ 季節の言葉3 秋の深まり</li> <li>○ 伝えられてきた文化 古典芸能の世界</li> <li>○ 表現の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう 「鳥獣戯画」を読む</li> <li>○ 季節の言葉4 冬のおとずれ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「枕草子」、春の言葉、俳句</li> <li>・ 俳句</li> <li>・ 「竹取物語」「平家物語」「方丈記」「徒然草」</li> <li>・ 「枕草子」、夏の言葉、俳句</li> <li>・ 「枕草子」、秋の言葉、俳句</li> <li>・ 「浦島太郎」</li> <li>・ 「論語」「春暁」</li> <li>・ 「枕草子」、冬の言葉、俳句</li> <li>・ 二十四節気(春)、春の短歌、俳句</li> <li>・ 「天地の文」</li> <li>・ 二十四節気(夏)、夏の短歌、俳句</li> <li>・ 二十四節気(秋)、秋の短歌、俳句</li> <li>・ 狂言、能、歌舞伎、人形浄瑠璃、「柿山伏」</li> <li>・ 「鳥獣人物戯画」</li> <li>・ 二十四節気(冬)、冬の短歌、俳句</li> </ul>



【国語】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨巻頭の示し方
方法	巻頭の示し方と内容

		巻頭の示し方と内容
東 書	学習の進め方	○ 国語の学習の進め方 *第2学年以上 ・「思い出そう」「見通す」「取り組む」「ふり返る」「生かそう」という学習過程を示している。
	身に付けたい力・学習すること	○ 「言葉の力を集めよう」 *第2学年以上 ・「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域に分け、各単元で身に付けたい力を一覧で示している。 ・Web 上に掲載されている身に付けたい力の内容を見ることができるよう、二次元コードを示している。
	前学年の学習の振り返り	● 「言葉の力のつながり」(巻末)(折込ページ) *第3学年以上 ・「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域で示している。
教 出	学習の進め方	● 「話す・聞く」「書く」の単元は最初のページに、「読む」の単元は最後のページに、「見通しをもとう」から「ふり返ろう」までの単元の学習過程を示している。
	身に付けたい力・学習すること	○ □年生で学ぶこと ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域に分け、教材名・単元名・身に付けたい力を示している。 ・「言語の文化」「漢字の広場」「言葉の文化」「読書の広場」ごとに、単元名を示している。
光 村	学習の進め方	○ 国語の学びを見わたそう *第2学年以上 ・「学習や生活の中で」「見通しをもつ」「問いをもつ」「話す・聞く」「書く」「読む」「ふりかえる」「学習や生活にいかす」という学習過程を示している。
	身に付けたい力・学習すること	○ □年生で学ぶこと *第2学年以上 ・「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域に分け、教材名、身に付けたい力、学習用語を示している。
	前学年の学習の振り返り	○ △年生(前学年又は当該学年の上巻)で学んだこと ・「□年生で学ぶこと」の下段に、領域ごとに対比させる形で、前学年で学んだことを示している。「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域については学習過程に沿って示し、「言葉」の領域については「言葉の使い方」「受けつがれてきた言葉」「情報」「読書」の4つに分けて示している。
<p>・詩、目次は除く。</p> <p>・●：巻頭以外で示しているものを記載。</p>		

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑩本文記述との適切な関連付けがなされた図表等の活用
方法	文章と図表等との関連について考えさせる記述

		第5学年	
		単元名及び内容	文章と図表等との関連について考えさせる記述
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「書き手の意図を考えよう 新聞記事を読み比べよう」</li> <li>・ 同じ出来事について、それぞれの新聞記事はどのように伝えているのか、記事と写真との関係に注意しながら、書き手の意図を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新聞の紙面「記事の構成」</li> <li>○ 写真「アップ」「ロング」</li> <li>○ 「記事A」「記事B」</li> <li>・ 記事と写真の関係を考えましょう。</li> <li>・ 紙面の印象や、記事に対する読み手の興味は、写真がなかった場合とどう変わるでしょうか。</li> <li>・ なぜその写真を選んだかということ、書き手の意図と結び付けて考えよう。</li> <li>・ 書き手が記事の内容や見出し、写真に、どのような意図をこめているのかを考えましょう。</li> </ul>	
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「根拠となる資料にもとづいて考えを深め、自分の意見を書こう 世界遺産白神山地からの提言―意見文を書こう」</li> <li>・ 説明文と7つの資料を読んで、自然保護についての自分の意見を根拠となる資料に基づいて書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真「ブナの森におおわれた白神山地」「ブナの森の中」「カモシカ」「クマゲラ」「イヌワシ」「シラガミクワガタ」「トガクシソウ」「アオモリマンテマ」</li> <li>○ 資料1「白神山地の自然保護―「緩衝地域」の役割」</li> <li>○ 地図「白神山地の位置と世界遺産登録地域」</li> <li>○ 資料2「入山届出書の例」</li> <li>○ 資料3「新聞記事より」</li> <li>○ 資料4 棒グラフ「暗門の滝をおとずれた観光客数の変化」</li> <li>・ できるだけたくさんの資料を比べて、自分の考えをはっきりさせよう。</li> <li>・ 「意見」と「根拠(もととなる資料)」が合っているか。</li> <li>・ 〈ふり返ろう〉</li> <li>さまざまな資料を比べながら読み、自分の考えをまとめるときに、どのようなことを意識しましたか。</li> </ul>	
光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう 固有種が教えてくれること」</li> <li>・ 資料を用いた文章の効果を考え、それを生かして意見文を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料1 地図・表「日本とイギリスの陸生ほ乳類」</li> <li>○ 資料2 年表・図「日本列島の成り立ち」</li> <li>○ 資料3 図「1年間の平均気温」</li> <li>○ 資料4 図「標高」</li> <li>○ 資料5 写真「絶滅したとされる動物」</li> <li>○ 資料6 棒グラフ「天然林等面積の推移」</li> <li>○ 資料7 折れ線グラフ「全国のニホンカモシカほかく数」</li> <li>・ 文章と、図表やグラフ、写真との関わりに注意しながら、確かめよう。</li> <li>・ 筆者の考えや説明の工夫について、資料の効果にもふれながら、自分の考えをまとめよう。</li> <li>・ 資料の効果を考えるときは <ul style="list-style-type: none"> <li>〈筆者の立場から考える〉</li> <li>筆者は、この図表を示すことで、何を伝えたいのではないか。</li> <li>〈読み手の立場から考える〉</li> <li>もし、このグラフがなかったら―。</li> <li>文章と図表を合わせると、―ということがいえる。</li> </ul> </li> </ul>	

【国語】

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>	
	<b>視点</b>	⑪考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫
	<b>方法</b>	単元名、例示されている話題、話し合いの形態、役割

		第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
<b>東書</b>	単元名	グループの合い言葉を決めよう	クラスで話し合って決めよう	問題を解決するために話し合おう	話し合って考えを深めよう
	話題	運動会の練習をみんなで頑張れるような、来月のグループの合い言葉	「心を一つに」という言葉と一緒に、クラス旗にかく絵について	高学年の読書量を増やすためにクラスでどんな取組をすればよいか	お世話になった方へのお礼は、手紙が良いか、電子メールが良いか
	形態	グループでの話し合い	クラス全体での話し合い	グループで話し合った後、クラスで共有し、話し合う	グループでの話し合い
	役割	司会	司会、参加者、提案者		司会
<b>教出</b>	単元名	役わりをきめて話し合おう	役わりに気を付けて話し合おう	立場を明確にして話し合おう	立場を明確にして主張しよう
	話題	図工室を表す絵文字を考える	地域の人と楽しむ新スポーツをよりよくする	A I との暮らし	災害から身を守るためには何が必要か
	形態	グループでの話し合い	クラス全体での話し合い	ミニディベート	パネルディスカッション
	役割	司会、記録、発言者	司会、黒板記録係、ノート記録係、提案者、発言者	利点の立場からの意見を述べる役、問題点の立場からの意見を述べる役、聞いて考える役	司会者、パネリスト、参加者
<b>光村</b>	単元名	進行にそって、はんで話し合おう	役わりを意識しながら話し合おう	たがいの立場を明確にして、話し合おう	目的や条件に応じて話し合おう
	話題	一年生が本を好きになってくれるような紹介する本を一冊決める	地域の学習でお世話になった方へのお礼の会で何をするか	階段や渡り廊下をきれいに保つために、何ができるか	交流週間に、一年生とどんな遊びをしたらよいか
	形態	班での話し合い	クラス全体での話し合い	グループでの話し合い	グループでの話し合い
	役割	司会、記録係、時間係	司会グループ(司会・記録係・時間係)、提案者、参加者	司会、記録係	司会、記録係

【国語】

<b>観点</b>	<b>(才) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑫学校図書館機能の利活用
<b>方法</b>	学校図書館等の利活用の仕方について示されている内容

	単元名 (ページ数)	内容	読書記録
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年上巻「としょかんはどんなところ」(2)</li> <li>○ 第2学年上巻「としょかんへ行こう」(4)</li> <li>○ 第3学年上巻「図書館へ行こう」(4)</li> <li>○ 第4学年上巻「図書館へ行こう」(4)</li> <li>○ 第5学年「図書館へ行こう」(4)</li> <li>○ 第6学年「社会教育施設へ行こう」(4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館での約束</li> <li>・本の仲間分け(日本十進分類法)</li> <li>・本のラベル、配架順</li> <li>・百科事典や図鑑などの調べ方</li> <li>・日本十進分類法(NDC)の仕組み</li> <li>・本のラベル(請求番号)</li> <li>・本のラベル(請求記号)</li> <li>・日本十進分類法(NDC)の仕組み</li> <li>・本のつくり、奥付</li> <li>・多様な本(点字付きの触って読める絵本・大活字本・マルチメディアデジター・リーディングトラッカー)</li> <li>・目的に応じた調べ方・選書</li> <li>・図書館、文学館、歴史資料館、博物館、科学館、美術館の活用の仕方</li> </ul>	<p>第1学年～第4学年では「読書記録カード」、第5学年及び第6学年では「読書・情報記録カード」の一部を例示している。また、二次元コードにより、Web上に掲載されているカード全体の様式例を見ることができる。</p>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年上巻「としょかんへいこう」(2)</li> <li>○ 第2学年上巻「本でしらべよう」(4)</li> <li>○ 第3学年上巻「本をさがそう」(4)</li> <li>○ 第4学年上巻「分類をもとに本を見つけよう」(4)</li> <li>○ 第5学年上巻「図書館を活用しよう」(3)</li> <li>○ 第6学年上巻「地域の施設を活用しよう」(2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の利用</li> <li>・司書・目次</li> <li>・分かったことをメモしよう</li> <li>・図書館マップによる本の分類、本の探し方</li> <li>・本のラベル(分類記号)</li> <li>・目次や索引の使い方、前書き・後書き、奥付、本のつくり</li> <li>・日本十進分類法</li> <li>・本のラベル(所在記号・請求記号)</li> <li>・本の探し方</li> <li>・目的に応じた情報の使い分け</li> <li>・インターネット検索の仕方・注意</li> <li>・博物館、資料館、文学館、記念館、公共図書館、防災センターの説明</li> </ul>	<p>第2学年～第6学年では、二次元コードにより、Web上に掲載されている読書履歴カードの様式例を見ることができる。</p>
<b>光 村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年上巻「としょかんへいこう」(2)</li> <li>○ 第1学年上巻「としょかんとなかよし」(2)</li> <li>○ 第2学年上巻「図書館たんけん」(3)</li> <li>○ 第3学年上巻「図書館たんでいだん」(3)</li> <li>○ 第4学年上巻「図書館の達人になろう」(3)</li> <li>○ 第5学年「図書館を使いこなそう」(3)</li> <li>○ 第6学年「公共図書館を活用しよう」(3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の利用、約束</li> <li>・本の探し方</li> <li>・本のつくり(表紙・題名)</li> <li>・図書館の本の分け方・並べ方</li> <li>・本の分類、本の探し方</li> <li>・地域の図書館</li> <li>・本の探し方(分類・ラベル・司書の先生・百科事典)</li> <li>・百科事典の活用(見出し語の見つけ方：背・索引の巻)</li> <li>・日本十進分類法</li> <li>・著作権の尊重</li> <li>・公共図書館(本以外の資料、多くの人を利用しやすい図書や機器、多様な本に親しめる工夫、ウェブサイト検索、電子図書館)</li> <li>・図書館以外の施設(文学館、博物館・資料館、美術館)</li> </ul>	<p>全学年で、記録カードの記入例を示している。</p>

【書写】

# 書 写

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい 書写
17	教 出	小学 書写
38	光 村	書写

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	単元の目標の示し方と目標の数
		② 姿勢、点画の書き方、用具の扱いの示し方	正しい姿勢、点画の書き方、用具の扱い方の写真・イラストの示し方
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 課題解決的な学習を実施するための工夫	学習過程の示し方と構成等の特徴
(ウ)	内容の構成・配列・分量	④ 単元等の配列、分量	各学年の総ページ数、毛筆教材数、硬筆単元数、硬筆記入欄のページ数、二次元コード数
		⑤ 伝統と文化に関する内容の記述	書写の歴史や文字文化に関する資料等の内容とページ数、伝統的な言語文化に関する内容とページ数
(エ)	内容の表現・表記	⑥ 配色、レイアウト等表現・表記の工夫	筆順の示し方、紙面構成等
(オ)	言語活動の充実	⑦ 学習や日常生活に生かす言語活動の工夫	各教科等の学習や日常生活に生かす単元名及び教材名等の例、各学年の教材数

【書写】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方
方法	単元の目標の示し方と目標の数

第6学年「字配り・配列」		
	単元（ページ数）	目標の示し方（数）
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 用紙に合った文字の大きさ（2）</li> <li>○ 分かりやすく伝える書き方（2）</li> <li>○ 配列（小筆）（2）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ (㉗～㉙を比べて)「適切な文字の大きさと書いているのはどれだろう」</li> <li>○ (分かりやすく伝える書き方にする前後の文を比べ)「どこをどのように変えているだろう。」</li> <li>○ (㉗～㉙の配列例を示し)「何をどのように直すか読みやすくなるか考えよう。」 (3)</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字の大きさと配列（2）</li> <li>○ 文字の大きさと配列、点画のつながり（3）</li> <li>○ 文字の大きさと配列、点画のつながり（小筆）（2）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「用紙に対する文字の大きさと配列に気をつけて書こう。」</li> <li>○ 「用紙に対する文字の大きさと配列、点画のつながりに気をつけて書こう。」</li> <li>○ 「用紙に対する文字の大きさと配列、点画のつながりに気をつけて書こう。」 (3)</li> </ul>
光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字の配列                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・用紙に合った文字の大きさと配列（2）</li> <li>・伝えるって、どういうこと？（2）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「用紙に合った文字の大きさと配列を工夫して書こう。」</li> <li>○ 「伝えたい情報は何かを考えて、文字の大きさや配列を工夫しよう。」 (2)</li> </ul>

【書写】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②姿勢、点画の書き方、用具の扱いの示し方
方法	正しい姿勢、点画の書き方、用具の扱い方の写真・イラストの示し方

	学年	正しい姿勢 (ページ数)	点画の書き方 (ページ数)	用具の扱い方 (ページ数)
東書	1	○ 手の置き方、字を書く姿勢、手の置き方・足の置き方の写真とイラスト (7)	○ 線のなぞり・止め・はらい・はね・曲がり・折れ・むすび・反りのイラスト (22)	○ 鉛筆・フェルトペンの持ち方の写真とイラスト (6)
	3	○ 毛筆・鉛筆で机の上で書くときの姿勢・手の置き方・足の置き方、腕の使い方、ひじの位置、毛筆で立って書くとき・床の上で書くときの姿勢の写真 (5)	○ 筆圧・始筆・送筆・終筆・横画・縦画・点・折れ・はらい・曲がり・反り・はねの写真とイラスト (15)	○ 筆の持ち方・おろし方、用具の置き方と扱い方、墨のすり方、紙のしまい方、用具の後始末、鉛筆の持ち方、小筆の持ち方・使い方の写真とイラスト (8)
教出	1	○ 字を書く姿勢・手の置き方・足の置き方、字を消すときの手の置き方の写真とイラスト (2)	○ 線のなぞり・止め・はらい・はね・曲がり・折れ・むすび・反りのイラスト (16)	○ 鉛筆・フェルトペン・水筆の持ち方、水書用紙の使い方の写真とイラスト (5)
	3	○ 毛筆で机の上で書くときの姿勢・手の置き方・足の置き方・ひじの位置、立って書くとき・床の上で書くとき・パソコンやタブレットを使うときの姿勢、バインダーで字を書くときの手の置き方の写真とイラスト (6)	○ 筆圧・始筆・送筆・終筆・横画・縦画・点・折れ・はらい・はね・曲がりの写真とイラスト (15)	○ 筆の持ち方・おろし方、用具の置き方と扱い方、墨液の扱い方、紙のしまい方、墨の含ませ方、墨の持ち方とすり方、用具の後始末、鉛筆の持ち方・小筆の持ち方・使い方の写真とイラスト (6)
光村	1	○ 字を書く姿勢・手の置き方・足の置き方、タブレットを使う姿勢の写真とイラスト (2)	○ 線のなぞり・止め・はらい・はね・曲がり・折れ・折り返し・むすび・反りの写真とイラスト (15)	○ 鉛筆・フェルトペン・水筆の持ち方の写真とイラスト (5)
	3	○ 毛筆で机の上で書くときの姿勢・手の置き方・足の置き方・ひじの位置・腕の使い方、立って書くとき・床の上で書くとき・鉛筆で机の上で書くとき・タブレットを使うときの姿勢の写真とイラスト (6)	○ 筆圧・始筆・送筆・終筆・横画・縦画・点・折れ・はらい・はね・曲がり・反りの写真とイラスト (16)	○ 筆の持ち方・おろし方、用具の置き方と扱い方、紙のしまい方、墨の持ち方とすり方、用具の後始末、鉛筆の持ち方・小筆の持ち方・使い方の写真とイラスト (11)

【書写】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③課題解決的な学習を実施するための工夫
方法	学習過程の示し方と構成等の特徴

		第4学年	
		学習過程の示し方	構成等の特徴
東 書	○ 「見つけよう→たしかめよう→生かそう→ふり返ろう→生活に広げよう」	○ 「どのように学ぶか」を明確にした学習過程で、「書写のかぎ」（文字を整えて書くためのポイント）をキーワードに、課題解決的な学習展開になっている。それぞれの学習過程において「書写のかぎ」に関わる視点を示して、話し合ったり、生かしたり、広げたりする構成にしている。 ○ Web 上で動画視聴ができる二次元コードを記載しており、書く際のポイントや気を付けることを確かめて書くことができるようにしている。	
教 出	○ 「つかむ・考える→書く・たしかめる→ふり返る→生かす・広げる」	○ 「ためし書きと教科書の文字をくらべて、気をつけることを見つけよう。」→「めあてに気をつけているか、たしかめながら練習しよう。」→「めあてに気をつけて書けたか、友達と伝え合おう。」→「学習した書き方を、他の文字にも生かそう。」の流れで、自分の書いた文字と教材を比較・検討し、気付いたことを生かして書く構成にしている。 ○ Web 上で動画視聴ができる二次元コードを記載しており、書く際のポイントや気を付けることを確かめて書くことができるようにしている。	
光 村	○ 「考えよう→たしかめよう→生かそう」	○ 「考えよう」と「たしかめよう」では課題解決的な学習になっており、話し合うことで大事にすべきことを考えたり、「たいせつ」（整った文字の書き方）を手掛かりに、大事なことを確かめ、書いたりする学習展開にしている。 ○ Web 上で動画視聴ができる二次元コードを記載しており、書く際のポイントや気を付けることを確かめて書くことができるようにしている。	



## 【書写】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	④単元等の配列、分量
<b>方法</b>	各学年の総ページ数、毛筆教材数、硬筆単元数、硬筆記入欄のページ数、二次元コード数

	学年	総ページ数	毛筆教材数	硬筆単元数	硬筆記入欄の ページ数	二次元コード数
東 書	1	49	0	26	21	21
	2	45	0	20	18	20
	3	57	10	6	13	27
	4	53	9	5	13	24
	5	53	8	4	14	23
	6	53	8	4	12	21
教 出	1	49	0	25	11	21
	2	41	0	18	3	11
	3	61	9	9	10	19
	4	61	9	9	11	18
	5	53	9	6	8	18
	6	53	7	6	6	20
光 村	1	49	0	22	24	30
	2	41	0	20	15	25
	3	65	9	4	12	37
	4	53	8	3	7	34
	5	49	7	6	9	34
	6	57	7	4	7	31

【書写】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑤伝統と文化に関する内容の記述
<b>方法</b>	書写の歴史や文字文化に関する資料等の内容とページ数、伝統的な言語文化に関する内容とページ数

	書写の歴史や文字文化に関する資料等の内容 (ページ数)	伝統的な言語文化に関する内容 (ページ数)
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年 かきぞめを しょう (2)、かん字の はなし (1)</li> <li>○ 第2学年 書きぞめを しょう (2)、かん字の 話 (1)、 知って いるかな いろは歌 (1)、えんぴつの作 り方 (巻末)</li> <li>○ 第3学年 どうやって作るの 筆・和紙・すずり・すみ (1)、 書きぞめをしょう (3・巻末)、筆づくりにこめた 思い (巻末)</li> <li>○ 第4学年 手書き文字と活字 (1)、年賀状を書こう (小筆) (1)、書きぞめをしょう (3・巻末)、文字にこめ た思い (巻末)</li> <li>○ 第5学年 書きぞめをしょう (3・巻末)、世界の文字いろい ろ (2)、文字にこめた思い (巻末)</li> <li>○ 第6学年 手書き文字のいろいろな書き方 (1)、書き初めを しょう (3・巻末)、日本の文字の歴史 (2)、文字 にこめた思い (巻末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2学年 いろは歌 (1)、昔話 (1)</li> <li>○ 第3学年 俳句 (1)</li> <li>○ 第4学年 短歌 (1)</li> <li>○ 第5学年 古文 (2)、俳句 (1)</li> <li>○ 第6学年 漢詩 (1)、漢文 (1)</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年 かきぞめ (2)、なんの かたちから できた か ん字かな (1)</li> <li>○ 第2学年 年がじょうと 書きぞめ (3)、何の 形から でき た かん字かな (1)</li> <li>○ 第3学年 筆について知ろう (1)、暑中みまい (1)、「手書 き文字」と「活字」(1)、書きぞめ (2・巻末)、 漢字のなり立ち (巻末)</li> <li>○ 第4学年 どんなときに手書きでかく? (巻頭)、書きぞめ(2・ 巻末)、漢字のなり立ち (巻末)、筆記具の特ちょう (巻末)</li> <li>○ 第5学年 書いて伝えよう (巻頭)、「活字」について知ろう (1)、平仮名のもとになる漢字 (1)、年賀状 (2)、 絵はがきを書こう (4)、書きぞめ (1・巻末)、漢 字の成り立ち (巻末)、世界の「こんにちは」(巻末)</li> <li>○ 第6学年 知りたいな世界の「書く」伝えたいな日本の「書く」 (巻頭)、文字の旅 (2)、私たちと文字 (1)、書 きぞめ (1・巻末)、行書 (1)、漢字の成り立ち (巻 末)、紙・すずり・すみの作り方 (巻末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2学年 昔話 (1)</li> <li>○ 第3学年 俳句 (1)</li> <li>○ 第4学年 短歌 (1)、かるた (1)</li> <li>○ 第5学年 古文 (1)</li> <li>○ 第6学年 古文 (2)、俳句 (4)</li> </ul>
<b>光 村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年 かん字 しらべたい (1)、かきぞめ (2)</li> <li>○ 第2学年 書きぞめ (2)、えんぴつの ひみつ (1)</li> <li>○ 第3学年 毛筆のひみつ (2)、書きぞめ (4・巻末)、全国筆・ 紙・すみ・すずりマップ (2)</li> <li>○ 第4学年 書きぞめ (4・巻末)、身近な文字をさがそう (巻 末)</li> <li>○ 第5学年 手書きの力 (1)、手書き文字と活字 (1)、書きぞ め (4・巻末)、身近な文字をさがそう (巻末)</li> <li>○ 第6学年 筆記具図かん (1)、文字の歴史 (3)、書きぞめ (4・巻末)、行書 (巻末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3学年 ことわざ (3)</li> <li>○ 第4学年 俳句 (1)</li> <li>○ 第5学年 古文 (3)</li> <li>○ 第6学年 俳句 (2)</li> </ul>

【書写】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑥配色、レイアウト等表現・表記の工夫
方法	筆順の示し方、紙面構成等

	第2学年「筆順」	第5学年「組み立て「道」」
	筆順の示し方	紙面構成等
東 書	<p>「ひつじゅんの きまり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 筆順のきまりをオレンジ色の矢印で示している。(上から、左から)</li> <li>○ 筆順のきまりに当たる部分の色をピンク色で示している。</li> <li>○ 筆順を赤数字で示している。</li> <li>○ 筆順のきまりを漢字2字で例示している。</li> <li>○ 下部分に上段で取り上げた漢字の書き込み欄を設け、実際に書くことができるようにしている。</li> <li>○ 同じ原則で書く漢字を複数例示している。</li> </ul>	<p>「組み立て方(によう)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きの左ページに教材文字を、右ページ上段に考える観点と説明を示している。</li> <li>○ 右ページは、上段に図版を示し、下段は学習事項のポイント「書写のかぎ」と、他の文字で活用できる硬筆記入欄、振り返りの欄で構成されている。</li> <li>○ 教材文字のページの右上に学習事項のポイント及び穂先の動きが分かる図を示している。</li> <li>○ 「しんによう」の他に、「そうによう」と「えんによう」、「によう」の部首ではないが「題」を例示している。</li> </ul>
教 出	<p>「書きじゅん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「「よこ画から」・「長い たて画から」を色の違う太矢印で示している。</li> <li>○ 「つらぬく たて画は あと」「外がわから 内がわ」「にて いる ところ」のきまりに当たる部分を赤で示している。</li> <li>○ 「つらぬく たて画は あと」「外がわから 内がわ」以外は、筆順のきまりに当たる部分の筆順を、黒数字で示している。また、上段で取り上げた漢字の一部の筆順を黒数字で示している。</li> <li>○ 同じ原則で書く漢字や、カタカナと同じ原則で書く漢字を例示している。</li> </ul>	<p>「文字の組み立て方(中と外)と、穂先の動き」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きの右ページに教材文字を、左ページ上段に考える観点と説明を示している。</li> <li>○ 左ページは、上段に図版、文字を書くときに気を付ける観点、下段には学習の始めと終わりに教材文字を書く硬筆記入欄、活用するための文字、振り返りの欄で構成されている。</li> <li>○ 左ページの図版において、学習事項のポイント及び穂先の動きを示している。</li> </ul>
光 村	<p>「書きじゅん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 筆順のきまりを緑色の矢印で示している。(上から、左から)</li> <li>○ 筆順のきまりに当たる部分の色を濃く示している。</li> <li>○ 2段目については、きまりの部分とそれ以外の部分を異なる色で示している。</li> <li>○ 上段：筆順(数字)ごとに異なる色で示している。 下段：筆順を赤数字で示している。</li> <li>○ 筆順のきまりを漢字2字で例示している。</li> <li>○ 下部分に上段で取り上げた漢字の書き込み欄を設け、実際に書くことができるようにしている。</li> <li>○ 同じ原則で書く漢字を1つ例示している。</li> </ul>	<p>「部分の組み立て方①(によう)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きの左ページに教材文字を、右ページ下段に考える観点と説明を示している。</li> <li>○ 右ページは、上段に図版を示し、下段は学習のねらい、振り返りの欄、学習の進め方、他の文字で活用できる硬筆記入(なぞり)欄、学習事項のポイント「たいせつ」で構成されている。</li> <li>○ 教材文字のページの右上に学習事項のポイント及び穂先の動きが分かる図を示している。</li> <li>○ 「しんによう」の他に、「えんによう」と「そうによう」を例示している。</li> </ul>

【書写】

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑦学習や日常生活に生かす言語活動の工夫
<b>方法</b>	各教科等の学習や日常生活に生かす単元名及び教材名等の例、各学年の教材数

	単元名 (○) 及び教材名等 (・) の例	各学年の教材数
	第6学年	
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字といっしょに 手書き文字のいろいろな書き方</li> <li>○ 生活に広げよう インタビューのメモを取ろう</li> <li>○ 生活に広げよう 発表のためのポスターを書こう</li> <li>○ 文字といっしょに 書いて味わおう 漢詩「春暁」</li> <li>○ 文字といっしょに 書き初めをしよう 「希望」「夢を語ろう」</li> <li>○ 配列(小筆) 立松 和平「海のいのち」</li> <li>○ 書いて味わおう 漢文「論語」</li> <li>○ 学びを生かそう 六年生のまとめ「新たな世界」</li> <li>○ 学びを生かそう 書写展覧会を開こう</li> <li>○ 文字といっしょに 日本の文字の歴史</li> <li>○ 文字といっしょに 文字に込めた思い</li> </ul>	第1学年 (7) 第2学年 (8) 第3学年 (9) 第4学年 (9) 第5学年 (10) 第6学年 (11)
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レッツ・トライ 話し合いメモ</li> <li>・ レッツ・トライ 国語のノート</li> <li>・ レッツ・トライ 校外学習のリーフレット</li> <li>・ 知りたい 文字の世界 文字の旅</li> <li>・ 知りたい 文字の世界 私たちと文字</li> <li>・ レッツ・トライ 「枕草子」を書く</li> <li>・ レッツ・トライ 小筆を生かして書く</li> <li>・ 知っておこう お願いの手紙</li> <li>・ 書いて 伝え合おう 思い出に残る言葉を書こう</li> <li>・ 書きぞめ 「理想」「夢の実現」</li> </ul>	第1学年 (7) 第2学年 (5) 第3学年 (9) 第4学年 (10) 第5学年 (8) 第6学年 (10)
<b>光 村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝えるって、どういうこと？</li> <li>・ ことば 学習したことを生かして書こう。</li> <li>・ もっと知りたい みんなが使いやすい筆記具図かん</li> <li>・ もっと知りたい 文字の歴史</li> <li>・ 書写 広げたい 〈国語〉パンフレットの書き方</li> <li>・ 書きぞめ</li> <li>・ 通信文を見てみよう</li> <li>・ 今の思いを書き残そう</li> <li>・ 書写ブック</li> </ul>	第1学年 (6) 第2学年 (6) 第3学年 (7) 第4学年 (7) 第5学年 (9) 第6学年 (9)

# 社 会

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい社会
17	教 出	小学社会
116	日 文	小学社会

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 目標の示し方	1時間ごとの学習問題の記載の仕方と具体例
		② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫	(第3学年) 地図帳の使い方の例 (第4学年) 47都道府県の名称と位置についての扱い (第5学年) 日本の位置と領土についての扱い (第5学年) 世界の主な大陸と海洋及び世界の主な国の例 (第6学年) 世界文化遺産の扱いと国の形成に関する考え方 (第6学年) 歴史上の人物の扱いと具体例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 興味・関心を高めるための工夫	導入の工夫と興味・関心を高める問いの例
		④ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	学習の進め方とその具体例及び体験的な学習を実施するための工夫
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤ 単元や資料等の配列、分量	単元の構成と分量、補充的・発展的教材の分量、地域事例の扱い
		⑥ 現代的な諸課題の扱い	(第4学年) 自然災害から人々を守る活動に関する内容の扱い (第5学年) 国土の自然災害に関する内容の扱い
(エ)	内容の表現・表記	⑦ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	写真・地図・グラフ等の資料及び小単位における資料の種類と数
		⑧ 本文以外の記述の工夫	脚注・側注の扱い
		⑨ 資料読取りのための工夫	ユニバーサルデザイン等に関する配慮
(オ)	言語活動の充実	⑩ 調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫	新聞・地図・年表・レポートなどでのまとめ例と具体例
		⑪ 観察・調査や資料活用を通して収集した情報を基に、互いの考えを深めていくための工夫	収集した情報を基に、単元末等における話し合いや説明の活動を促す工夫と具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①目標の示し方
方法	1時間ごとの学習問題の記載の仕方と具体例

	1時間ごとの学習問題の記載の仕方 (第3学年)	具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きの左側に「つかむ」「調べる」「まとめる」等の学習過程とともに、「どのような～でしょうか。」「～しましょう。」等と記載している。</li> <li>○ 見開きごとに、1時間ごとの学習問題を端的にタイトルにして示している。</li> <li>○ 児童が疑問等を基に学習問題を作っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「わたしたちは、どのようなところで買い物をしているのでしょうか。」「スーパーマーケットについて気づいたことやぎもんに思ったことを話し合い、学習問題をつくりましょう。」</li> <li>○ 「よく買い物に行く店」</li> <li>○ 学習問題「スーパーマーケットではたらく人は、たくさんのお客さんに来てもらうために、どのようなくふうをしているのでしょうか。」</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「つかむ」「調べる」「まとめる」等の学習過程とともに、「どのような～だろう。」「～には、どうすればよいだろう。」等と記載している。</li> <li>○ 「次につなげよう」のコーナーを設け、「～はどうか。」「～しよう。」等のように、今後の学習につながるように記載している。</li> <li>○ 1時間ごとの学習問題を端的にタイトルにして示している。</li> <li>○ 児童が疑問等を基に学習問題を作っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「家の人たちは、どのような店で買い物をしているのだろう。」「スーパーマーケットのくふうを調べるには、どうすればよいだろう。」</li> <li>○ 「店の中の様子はわかったね。はたらく人の様子はどうか。」「学習問題が決まったよ。どのようにかいけつしていくのか、計画を立てよう。」</li> <li>○ 「買い物はどこで」</li> <li>○ みんなでつくった学習問題「店ではたらく人たちは、お客さんによるこんで買ってもらえるように、どのようなくふうをして売り上げを高めているのだろう。」</li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きの左側に「どのような～だろう。」「～は何だろう。」等と記載している。</li> <li>○ 見開きごとに、1時間ごとの学習問題を端的にタイトルにして示している。</li> <li>○ 児童が疑問等を基に学習問題を作っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「家の人がよく買い物をするのは、どのような店なのだろう。」「たくさんのお客さんが、買い物に来るわけは何だろう。」</li> <li>○ 「買い物をしている店を調べる」</li> <li>○ 学習問題「スーパーマーケットに、たくさんのお客さんが買い物に来ているのは、なぜなのだろう。」</li> </ul>

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
方法	地図帳の使い方の例

地図帳の使い方の例 (第3学年)	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「教科書といっしょに地図帳も使おう！」において、地図帳の活用の仕方について示している。</li> <li>○ 「市の様子」の単元において、最初のページで学習のめあてとして「空から市の様子をとった写真や地図帳を見て、市の位置や気づいたことについて話し合ひましょう。」と示している。また、「まなびのポイント」として「写真や地図帳で、市の位置や様子をかくにんしよう。」と学習活動を提示している。「地図帳で調べると、福岡市は、福岡県の中で西がわにあるね。写真で見える島の名前もわかったよ。」とキャラクターが位置や様子等が地図帳で調べられることを説明している。「まなび方コーナー」を設け、「さくいんを読み取る」として、学習する場所を地図帳で探す手順を示している。</li> <li>○ 「店ではたらく人」の単元において、本文に、「ねふだやシールに地名が書いてあるね。」「それぞれの市や国がどこにあるのか、地図帳で調べてみよう。」「さまざまな品物の産地を地図帳で調べてみることにしました。」と示している。また、「学びのポイント」に「品物の産地やその国の国旗を地図帳でたしかめよう。」と学習活動を提示し、調べた産地をまとめた図を示し地図帳の活用の仕方について示している。</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「店ではたらく人と仕事」の単元において、商品の仕入れを調べる資料として、「店がどこから商品を仕入れているのか、地図帳を使って調べました。次に、それらの産地を白地図にまとめました。」と、本文と調べた産地をまとめた図を示し地図帳の活用の仕方について示している。</li> <li>○ 「じょうほうを読み取る 地図帳を使って調べよう」において、本文に「地図帳には、さまざまな地いきの地図がのっています。知らない地名が出てきたら、まず地図帳を開いて、その場所を、たしかめるようにしましょう。」と示している。例として大阪府を取り上げ、「自然の山や川、鉄道や道路など、知りたいことを決めて地図を見るといいよ。」「色によって土地の高さを分けているよ。うすい色の場所はひくい土地で、こい色の場所は高い土地だよ。」と、地図帳の活用目的及び土地の高低についての地図の見方を示している。また、「さくいんの使い方」として地図帳の索引を使って場所を確かめる手順を示している。</li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「わたしたちの住んでいる市のようす」の単元において、「兵庫県には、ほかにどのような市や町があるかな。地図帳でしらべてみよう。」と、地図帳の活用の仕方について示している。</li> <li>○ 単元「店ではたらく人びとの仕事」の「品物の産地を調べよう」において、品物の産地を調べる資料として、「地図帳で産地の場所を調べて、白地図にかきこんでいこう。」と吹き出しで示すとともに、本文で「調べた産地を白地図にかきこんで産地マップをつくりました。」と、調べた産地をまとめた図を示し地図帳の活用の仕方について示している。</li> <li>○ 「学び方・調べ方コーナー 見る・調べる」において、「地図で調べよう」では、「地図帳には、日本や世界のさまざまな地いきの地図がのっています。」「調べたい場所の地図を見つけるには、さくいんを使うとべんりです。」と、地図帳の活用の仕方について示している。また、「地図帳の使い方」の「地図帳のさくいんの使い方」では、自分たちの住んでいる市を索引を使って調べる手順について、「地図帳の地図の見方」では、姫路市を例にページや記号、色分け等、地図帳の表記の特徴について示している。</li> </ul>

【社会】

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
<b>方法</b>	47 都道府県の名称と位置についての扱い

47都道府県の名称と位置についての扱い (第4学年)	
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「知っている都道府県を地図帳でたしかめよう」で、9つの都道府県について、写真と図で特色を例示している。</li> <li>○ 「日本地図を広げて」で、各都道府県の名称と位置、県庁所在地を示している。</li> <li>○ 「都道府県の特産品」で、各都道府県の特産品を地図中に絵で例示している。</li> <li>○ 「空から日本を見てみると」で、日本の海、山、川、湖等の地形を示している。</li> <li>○ 「都道府県の特産品」「空から日本を見てみると」で、いくつかの都道府県の形、特産品、特徴、県庁所在地などをカードにし、都道府県名を記入できるようにしている。</li> <li>○ 「この教科書に出てきた主な都道府県」で、いくつかの都道府県を地図上に示している。</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本の都道府県の区分」で、各都道府県の名称と位置、県庁所在地を示している。</li> <li>○ 「みりよくがいっぱい！知りたいな、47 都道府県」で、特産物、祭り、観光地について19の道府県に関する写真を例示している。</li> <li>○ 「47 都道府県のクイズ大会を開こう！」で、クイズを作ることを促し、広島県について、文章で特色を例示している。</li> <li>○ 「この教科書に出てくる主な都道府県」で、いくつかの都道府県を地図上に示している。</li> </ul>
<b>日 文</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本の47 都道府県を旅してみよう」で、都道府県の特徴を調べる視点となる写真を示している。また、「れんさんたちが調べた都道府県の特徴」で、食べ物、工芸品、工業製品、文化財、祭りなどについて19の都道府県に関する写真を例示している。</li> <li>○ 47 都道府県の位置を示した地図を示し、カードに都道府県名を記入できるようにしている。</li> <li>○ 「教科書に出てきたおもな地名」で、いくつかの県・市・町・地域を地図上に示している。</li> </ul>



観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
方法	日本の位置と領土についての扱い

日本の位置と領土についての扱い (第5学年)	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図…日本の国土の位置、領土・領海の範囲、竹島、尖閣諸島、北方領土</li> <li>○ 写真…与那国島、択捉島、沖の鳥島、南鳥島、竹島、尖閣諸島、歯舞群島</li> <li>○ 北方領土の記述 <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道の北東に続く歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島は、日本固有の領土です。ところが、80年ほど前に起きた太平洋戦争が終わった後にソビエト連邦が不法に占領し、その後もソビエト連邦を引きついでロシア連邦が占領しています。日本は、これらの島を返すように求めて、交渉を続けています。</li> </ul> </li> <li>○ 竹島の記述 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本海にある竹島は、日本固有の領土ですが、70年ほど前から韓国が不法に占領しているため、日本は抗議を続けています。</li> </ul> </li> <li>○ 尖閣諸島の記述 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東シナ海にある尖閣諸島も日本固有の領土です。中国が自国の領土であると主張していますが、日本が有効に支配しており、領土問題は存在しません。</li> </ul> </li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図…日本の国土の位置、領土・領海の範囲、竹島、尖閣諸島</li> <li>○ 写真…与那国島、択捉島、沖の鳥島、南鳥島、北方領土、竹島、尖閣諸島</li> <li>①北方領土の記述 <ul style="list-style-type: none"> <li>・択捉島もふくめ国後島・色丹島・歯舞群島の、北海道の北東に連なる島々は、北方領土とよばれる日本の領土です。しかし、1945(昭和20)年、太平洋戦争が終わったあとソビエト連邦(今のロシア連邦)が不法に占領し、そこに住んでいた日本人は強制的に退去させられ、今にいたっています。日本は、北方領土の一日も早い返還をロシア連邦に求め続けています。</li> </ul> </li> <li>②竹島の記述 <ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県の竹島では、韓国が自国の領土であると主張し、不法な占拠を続けています。</li> </ul> </li> <li>③尖閣諸島の記述 <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県の尖閣諸島については、領土問題はないというのが日本の立場ですが、中国も自国の領土であると主張しています。</li> </ul> </li> <li>○ (①～③に続き)日本は、これらの島々が日本の領土であることを相手国や国際社会にしっかり伝え、課題の平和的な解決に向けて、ねばり強く努力を続けていく必要があります。</li> <li>○ 「日本固有の領土、竹島と尖閣諸島」の特設ページを設けている。</li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図…日本の国土の位置、領土・領海の範囲、北方領土、竹島、尖閣諸島</li> <li>○ 写真…与那国島、沖の鳥島、択捉島、南鳥島、色丹島、竹島、尖閣諸島</li> <li>○ 北方領土の記述 <ul style="list-style-type: none"> <li>・80年ほど前、第二次世界大戦ののち、ソビエト連邦は、択捉島やその近くにある国後島、色丹島、歯舞群島を占領しました。これらの島々は、北方領土とよばれ、現在、ソビエト連邦を引きついでロシアが不法に占拠しています。北方領土は日本固有の領土であるため、日本政府は、これらの島々を返すように、ロシアにはたらきかけ、話し合いを続けています。</li> <li>・北方領土は日本固有の領土だから、早く返してもらいたいな。</li> </ul> </li> <li>○ 竹島の記述 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本海にある竹島は、日本固有の領土ですが、現在、韓国が不法に占拠しているため、韓国にくり返し抗議しています。</li> </ul> </li> <li>○ 尖閣諸島の記述 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東シナ海にある尖閣諸島は、日本固有の領土で、その領有については、問題がないにもかかわらず、中国が自国の領土であると主張しています。</li> </ul> </li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
<b>方法</b>	世界の主な大陸と海洋及び世界の主な国の例

	世界の主な大陸と海洋の例 (第5学年)	世界の主な国の例 (第5学年)
<b>東 書</b>	<p>「わたしたちの国土」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユーラシア大陸、アフリカ大陸、オーストラリア大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、南極大陸</li> <li>○ 太平洋、大西洋、インド洋</li> </ul>	<p>「わたしたちの国土」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界の国々 フランス、ドイツ、ロシア連邦、中華人民共和国、大韓民国、アメリカ合衆国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、ニュージーランド、オーストラリア、インド、サウジアラビア、トルコ、南アフリカ、エジプト、イギリス</li> <li>○ 周りの国々 大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国、中華人民共和国、ロシア連邦、モンゴル、フィリピン</li> </ul>
<b>教 出</b>	<p>「日本の国土とわたしたちの暮らし」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユーラシア大陸、アフリカ大陸、オーストラリア大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、南極大陸</li> <li>○ 太平洋、大西洋、インド洋</li> </ul>	<p>「日本の国土とわたしたちの暮らし」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界の国々 イギリス、フランス、ドイツ、ロシア連邦、中華人民共和国（中国）、タイ、インド、サウジアラビア、エジプト、ガーナ、南アフリカ共和国、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、アメリカ合衆国、メキシコ、ペルー、ブラジル、アルゼンチン</li> <li>○ 周りの国々 ロシア連邦、モンゴル国、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）、大韓民国（韓国）、中華人民共和国（中国）、フィリピン共和国</li> </ul>
<b>日 文</b>	<p>「日本の国土と人々の暮らし」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユーラシア大陸、アフリカ大陸、オーストラリア大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、南極大陸</li> <li>○ 太平洋、大西洋、インド洋</li> </ul>	<p>「日本の国土と人々の暮らし」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界の国々 フランス共和国（フランス）、ドイツ連邦共和国（ドイツ）、イタリア共和国（イタリア）、エジプト・アラブ共和国（エジプト）、南アフリカ共和国（南アフリカ）、サウジアラビア王国（サウジアラビア）、インド共和国（インド）、ベトナム社会主義共和国（ベトナム）、中華人民共和国（中国）、大韓民国（韓国）、フィリピン共和国（フィリピン）、ロシア連邦（ロシア）、オーストラリア連邦（オーストラリア）、カナダ、アメリカ合衆国（アメリカ）、ペルー共和国（ペルー）、ブラジル連邦共和国（ブラジル）</li> <li>○ 周りの国々 ロシア、モンゴル国（モンゴル）、中国、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）、韓国、フィリピン</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
<b>方法</b>	世界文化遺産の扱いと国の形成に関する考え方

	世界文化遺産の扱い (第6学年)	画像で掲載されている世界文化遺産 (第6学年)	国の形成に関する考え方 (第6学年)
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文中の写真の表題の後に世界遺産のマークで示している。</li> <li>○ 年表に世界文化遺産等を写真で紹介している。</li> <li>○ 「日本の世界文化遺産」のページで世界文化遺産を紹介している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 法隆寺地域の仏教建造物(法隆寺)、古都京都の文化財(金閣、銀閣、東求堂、龍安寺の石庭)、姫路城、石見银山遺跡とその文化的景観(石見银山)、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群(沖ノ島)、明治日本の産業革命遺産(端島炭鉱跡)、琉球王国のグスク及び関連遺産群(首里城)、厳島神社、原爆ドーム、紀伊山地の霊場と参詣道(熊野古道)、古都奈良の文化財(大仏、正倉院、唐招提寺)、富士山-信仰の対象と芸術の源泉-、ル・コルビジエの建築作品-近代建築運動への顕著な貢献-(国立西洋美術館)、富岡製糸場と絹産業遺産群(官営富岡製糸場)、日光の社寺(日光東照宮の陽明門)、平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群(中尊寺金色堂、毛越寺の庭園)、白川郷・五箇山の合掌造り集落、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産(大浦天主堂)、百舌鳥・古市古墳群(仁徳天皇陵古墳)、北海道・北東北の縄文遺跡群(三内丸山遺跡)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 取り上げている資料</li> <li>・ 神話の中のヤマトタケル</li> <li>○ 資料の記述内容</li> <li>・ ヤマトタケルノミコトは、武勇にすぐれた皇子でした。ヤマトタケルは、天皇の命令を受けて、九州へ行って、クマソを平らげ、休む間もなく、東日本のエミシをたおしました。ヤマトタケルは、広い野原で焼きうちにあたり、あれる海と戦ったりして、苦勞をしながら征服を進めました。ところが、都へ帰る途中、病気でなくなってしまいました。すると、ヤマトタケルのたましいは、大きな白鳥に生まれ変わって、都の方へ飛んでいきました。</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学びのてびき」で世界遺産を示すマークを紹介している。</li> <li>○ 本文中の写真の表題の後に世界遺産のマークで示している。</li> <li>○ 年表に世界文化遺産等を写真で紹介している。</li> <li>○ 「日本列島 歴史の旅に出かけよう」のイラストの中で世界文化遺産を一部紹介している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 三内丸山遺跡、大仙(仁徳陵)古墳、法隆寺、唐招提寺、正倉院、厳島神社、中尊寺金色堂、金閣、銀閣、東求堂、龍安寺の石庭、石見银山、日光東照宮、富岡製糸場、八幡製鉄所、原爆ドーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 取り上げている資料</li> <li>・ ヤマトタケルの話</li> <li>○ 資料の記述内容</li> <li>・ ヤマトタケルは、天皇である父の命令で九州におもむき、クマソをうちとりました。次に関東のエミシを従えるよう命じられました。ヤマトタケルは、その途中で、広い野原で焼きうちにあたり、荒れる海とたたかったりするような困難にあいながらも、関東を征服しました。しかし、その帰り道に、病気でなくなってしまいました。ヤマトタケルは、大きな白い鳥になって、大和のほうへ飛んでいったということです。</li> </ul>
<b>日 文</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「教科書の中のいろいろなコーナー」で世界遺産を示すマークを紹介している。</li> <li>○ 本文中の写真の表題の後に世界遺産のマークで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 三内丸山遺跡、大仙(仁徳天皇陵)古墳、法隆寺、東大寺の大仏殿、東大寺の大仏、正倉院、厳島神社、金閣、銀閣、東求堂、龍安寺の石庭、富岡製糸場、日光の社寺(日光東照宮、日光二荒山神社、日光山輪王寺)、原爆ドーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 取り上げている資料</li> <li>・ 『日本書紀』のヤマトタケルノミコトの話</li> <li>○ 資料の記述内容</li> <li>・ 昔、ヤマトタケルノミコトという武勇にすぐれた皇子がいました。皇子は、朝廷に従わない豪族をたおせという天皇の命令を受けました。皇子は、苦勞をしながら各地の豪族をたおしていきました。しかし、都へ帰るとちゅうで病気になり、都がある大和の美しい景色を思いうかべながら、短い一生を終えたということです。</li> </ul>

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
方法	歴史上の人物の扱いと具体例

	歴史上の人物の扱い (第6学年)	具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に例示されている42名の人物全て扱っている。</li> <li>○ 上記42名以外で扱っている人物 (写真や肖像画等で記載している人物) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 煬帝、棚田嘉十郎、北条政子、竹崎季長、前野良沢、大塩平八郎、坂本龍馬、津田梅子、与謝野晶子、夏目漱石、樋口一葉、新渡戸稲造、田中正造、平塚らいてう、市川房枝、渋沢栄一、山田少年、吉野彰</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 囲み資料</li> <li>○ 肖像、「学問のすゝめ」(写真)</li> <li>○ 「学問のすゝめ」(文章) <p>福沢諭吉が書いた「学問のすゝめ」全17編は、340万部以上売れたといわれています。「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと言えり」で始まるこの本には、人間は生まれながらにして平等であること、一国の独立は個人の独立にもとづくこと、個人の独立には、学問が必要なことなどが記されています。明治の新しい時代にふさわしいと思われる人間の生き方が書かれたこの本を、当時の知識人を中心とした人々は競って読みました。</p> </li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に例示されている42名の人物全て扱っている。</li> <li>○ 上記42名以外で扱っている人物 (写真や肖像画等で記載している人物) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北条政子、竹崎季長、伊東マンショ、松尾芭蕉、塙保己一、大塩平八郎、徳川吉宗、坂本龍馬、青木昆陽、山口尚芳、岩倉具視、津田梅子、渋沢栄一、モース、フェノロサ、楠瀬喜多、与謝野晶子、田中正造、北里柴三郎、志賀潔、新渡戸稲造、山田孝野次郎、平塚らいてう、後藤新平、石川倉次、南方熊楠、杉原千畝、根井三郎、オバマ大統領、山中伸弥</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 囲み資料</li> <li>○ 肖像(出沒年)</li> <li>○ 福沢諭吉と「学問のすゝめ」(文章) <p>江戸時代の終わりに中津藩(大分県)の下級武士の家に生まれた福沢諭吉は、家がらなどによって身分が決まるしくみはまちがっていると考えました。諭吉は、「学問のすゝめ」という本で、「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずといえり。」と書いて、人は生まれながらにして平等であり、学問をすることで身を立てていくべきだと主張しました。「学問のすゝめ」はたくさんの部数が売れ、新しい時代の中で、多くの人々に影響をあたえました。</p> </li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に例示されている42名の人物全て扱っている。</li> <li>○ 上記42名以外で扱っている人物 (写真や肖像画等で記載している人物) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 菅原道真、北条政子、竹崎季長、明智光秀、大友宗麟、ジャクシャイン、雨森芳洲、前野良沢、上杉鷹山、後藤新平、大塩平八郎、岩倉具視、坂本龍馬、徳川慶喜、山口尚芳、与謝野晶子、田中正造、北里柴三郎、津田梅子、平塚らいてう、山田孝野次郎、斉藤隆夫、山本五十六、島田勲、マッカーサー、湯川秀樹</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 肖像(生没年)(文章) <p>中津藩(大分県)出身で、下級武士の子どもでした。教育者としてかつやくし、『学問のすゝめ』という著作のなかで、「人はみな、生まれながらに平等である。学問にはげむことで、人は独立することができる。一人一人の独立が、やがて日本の独立につながるのである。」と書きました。</p> </li> </ul>

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	③興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	導入の工夫と興味・関心を高める問いの例

	導入の工夫 (第5学年)	興味・関心を高める問いの例
東 書	○ 大単元の導入において、見開きのページ構成により、写真で地球の様子や学習活動の具体を提示するとともに、キャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。	○ 「わたしたちの国土」の導入ページ ・アジアを中心とした衛星写真、地球儀を使った学習活動を示している。 ・疑問に思ったことをキャラクターによる話し言葉で掲載している。(吹き出し数4) 「日本は地球のどこにあるのだろう。」 「世界の大陸や海は、どのようになっているのかな。」 ・下段に単元の学習のめあてを掲載している。 「日本の国土は、地球のどこにあり、人々のくらしは、どのようになっているのでしょうか。」
教 出	○ 大単元の導入において、見開きのページ構成により、写真や地図などで地球の様子や学習活動を提示するとともに、キャラクターや児童の話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。	○ 「日本の国土とわたしたちのくらし」の導入ページ ・アジアを中心とした衛星写真、世界地図の一部、地球儀や地図を使った学習活動を示している。 ・分かったことや疑問に思ったことをキャラクターや児童による話し言葉で掲載している。(吹き出し数8) 「わたしの知っている国は、どのあたりにあるかな。」 「日本は、大きな陸地のとなりにある島国だね。」 ・下段に「次につなげよう」を掲載している。 「地球儀で世界の国々を旅してみようよ。」
日 文	○ 大単元の導入において、見開きのページ構成により、写真で地球や日本の様子を提示するとともに、キャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。	○ 「日本の国土と人々のくらし」の導入ページ ・アジアを中心とした地球の衛星写真、日本の衛星写真を掲載している。 ・分かったことや疑問に思ったことをキャラクターによる話し言葉で掲載している。(吹き出し数4) 「日本は海に囲まれた島国で、大きい陸地の東側にあるね。」 「わたしたちの住むまちは、どのあたりにあるのだろう。」 ・上段に「見方・考え方」を掲載している。 「宇宙から見た地球のようすについて、地球の表面の色がちがいに着目して調べよう。」 ・下段に「学習のまど」を掲載している。 「日本の国土のようすを調べ、地形や気候から見た国土の特色や、地形や気候と人々のくらしや産業との関わりを考えていきましょう。」

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>
<b>視点</b>	④課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
<b>方法</b>	学習の進め方とその具体例及び体験的な学習を実施するための工夫

	学習の進め方 (第6学年)	具体例 (第6学年)	体験的な学習を実施するための工夫 (第6学年)
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「政治・国際編」の最初の単元の中程に、見開きで「社会科の学習の進め方」のページを設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習の進め方を示している。</li> <li>○ 課題把握、課題追究、課題解決の学習過程については、単元ごとに「学習問題」を示し、問いを提示しながら「調べる」学習を進め、学習問題について調べて分かったことを整理し、「まとめる」というページを設けている。単元によっては、単元末に、学習したことを次の学習や生活に「いかす」、学習したことを基に、他の学習に「ひろげる」というページを設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本とつながりの深い国々」</li> <li>・ つながりの深い国について話し合い、学習問題を作る。</li> <li>・ つながりの深い国について調べる。</li> <li>・ 調べたことを話し合い、日本と似ているところと違うところを表に整理する。</li> <li>・ 学習問題について考えたことを意見文にまとめる。</li> <li>・ 学習をひろげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「今に伝わる室町文化」</li> <li>「ひろげる」の学習の中で、「室町文化を体験して、レポートを書こう」というページを設け、茶の湯体験の様子と児童のレポートを例示している。</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭に、見開きで「社会科の学習の進め方」のページを設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という学習の進め方を示している。</li> <li>○ 課題把握、課題追究、課題解決の学習過程については、単元ごとに「みんなでつくった学習問題」を示し、「問い」と「次につなげよう」という項目を示して調べる学習を進め、学習を振り返る、「まとめる」というページを設けており、キーワードや視点を提示しているページもある。単元によっては、単元末に、「つなげる」「もっと知りたい」というページを設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本とつながりの深い国々」</li> <li>・ つながりの深い国について話し合い、学習問題を作る。</li> <li>・ つながりの深い国について調べる。</li> <li>・ 調べた国について、プレゼンテーションソフトでまとめて伝える。</li> <li>・ 整理したものを基に、みんなでつくった学習問題について、視点の例を示し、話し合う。</li> <li>・ 学習をひろげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「室町文化と力をつける人々」</li> <li>「まとめる」という学習の中で、茶の湯と狂言の写真を提示し、茶の湯と能や狂言を外国から来た旅行者に説明する活動を設けるとともに、児童が室町時代の文化を説明している。</li> </ul>
<b>日 文</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭に、「社会科の学習の進め方」のページを設け、問題を追究していく過程を図式化している。「この教科書の使い方」のページを設け、「わたし(たち)の問題」「友だちの発言」「学習活動」「学習内容」「学習問題」「学習の計画」という言葉で、学習の進め方を示している。</li> <li>○ 課題把握、課題追究、課題解決の学習過程については、単元ごとに「学習問題」を示し、「問い」を提示しながら調べる学習を進め、これまで学習してきたことを基に、考えたことや調べたことを表現する活動を設定している。単元によっては、単元末に、児童が調べたいことや気になったことを取り上げる「未来につなげる」というページを設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本とつながりの深い国々」</li> <li>・ つながりの深い国について話し合い、学習問題を作る。</li> <li>・ つながりの深い国について調べる。</li> <li>・ 調べた国について、項目ごとにまとめ、表に整理する。</li> <li>・ 調べた国と日本を比べ、学習問題について話し合う。</li> <li>・ 更に考えたい問題を作り、調べ、話し合う。</li> <li>・ 学習をひろげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「今に伝わる室町文化と人々の暮らし」</li> <li>「調べる」学習の中で、茶の湯を体験する児童の写真を提示している。</li> </ul>

【社会】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑤単元や資料等の配列、分量
方法	単元の構成と分量、補足的・発展的教材の分量、地域事例の扱い

	サイズ	単元の構成と分量 (第5学年) ※補助・選択教材を含む	補足的・発展的教材の分量	地域事例 ※〈 〉は発展的教材
東書	ワイド	[上巻 116 ページ] ○ 国土 (60) ○ 農業・水産業 (58)  [下巻 124 ページ] ○ 工業 (48) ○ 情報 (36) ○ 環境 (40)	[上巻] (12)  [下巻] (14)	○ 国土 ・岐阜県海津市 ・群馬県嬭恋村 ・〈長野県飯田市〉 ・沖縄県 ・北海道札幌市、十勝地方、芦別市 ・〈秋田県横手市〉 ○ 農業・水産業 ※畜産業含む ・山形県庄内平野 ・〈福井県福井平野〉 ・鹿児島県枕崎市、垂水市 ・〈香川県〉 ・〈茨城県坂東市〉 ・〈福島盆地 (福島県福島市) 〉 ・〈宮崎県〉 ○ 工業 ・愛知県豊田市 ・〈長崎県長崎市〉 ・〈山口県和木町〉 ・〈広島県広島市〉 ・福井県鯖江市 ・東京都大田区 ○ 情報 ・〈長野県長野市〉 ・〈岐阜県下呂市〉 ・〈東京都品川区〉 ○ 環境 ・白神山地、青森県鱒ヶ沢町、秋田県大館市、北秋田市 ・京都府京都市 ・〈熊本県水俣市〉
教出	ワイド	[240 ページ] ○ 国土 (52) ○ 農業・水産業 (62) ○ 工業 (52) ○ 情報 (34) ○ 環境 (40)	(11)	○ 国土 ・沖縄県 ・長野県野辺山原 ・北海道 ・千葉県香取市 ○ 農業・水産業 ※畜産業含む ・新潟県南魚沼市 ・北海道根室市 ・鹿児島県長島町 ・〈岩手県一関市、宮城県気仙沼市〉 ・徳島県藍住町 ・高知県 ・岩手県岩手町 ・山梨県甲州市 ・熊本県阿蘇地方 ・〈大阪府〉 ・〈兵庫県明石市〉 ○ 工業 ・福岡県荊田町 ・大阪府東大阪市 ○ 情報 ・福岡県 ・佐賀県 ○ 環境 ・岩手県宮古市 ・高知県土佐町 ・福岡県北九州市
日文	ワイド	[274 ページ] ○ 国土 (60) ○ 農業・水産業 (68) ○ 工業 (58) ○ 情報 (44) ○ 環境 (44)	(10)	○ 国土 ・沖縄県 ・岐阜県海津市 ・北海道旭川市 ・群馬県嬭恋村 ・〈佐賀県〉 ○ 農業・水産業 ※畜産業含む ・山形県庄内平野 ・千葉県銚子市 ・佐賀県佐賀市 ・宮崎県都城市、えびの市 ・和歌山県有田市 ・高知県安芸市 ・高知県四万十町 ・〈神奈川県横浜市〉 ○ 工業 ・三重県鈴鹿市 ・茨城県小美玉市 ・千葉県君津市 ・愛知県知多市 ・大阪府東大阪市 ・〈広島県東広島市〉 ○ 情報 ・大阪府大阪市 ・京都府京都市 ・福岡県久留米市 ・〈栃木県宇都宮市〉 ○ 環境 ・奈良県川上村 ・三重県四日市市 ・大和川 (大阪府、奈良県) ・〈大阪府大阪市〉

※ ( ) はページ数

【社会】

<b>観点</b>	<b>(ウ) 内容の構成・配列・分量</b>
<b>視点</b>	⑥現代的な諸課題の扱い
<b>方法</b>	自然災害から人々を守る活動に関する内容の扱い 国土の自然災害に関する内容の扱い

	自然災害から人々を守る活動に関する内容の扱い (第4学年)	国土の自然災害に関する内容の扱い (第5学年)
<b>東 書</b>	<p>【大単元の導入(2)、風水害(16) ※発展：地震(2)、火山災害(2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 千葉県内の自然災害を調べている。</li> <li>○ 千葉県内の風水害及び風水害によって起こる被害を調べ、学習問題を考えている。</li> <li>○ 千葉県内の風水害の歴史について調べ、過去の風水害対策についてまとめている。</li> <li>○ 県庁や市役所の人の話から、風水害に備えた県や市の役割や取組を調べている。</li> <li>○ 地域防災計画やハザードマップ、避難所運営委員会を取り上げ、市や住民による共助の取組を調べている。</li> <li>○ 風水害に備えた家庭での自助の取組について調べている。</li> <li>○ 風水害から私たちの暮らしを守る取組を、ノートに図でまとめている。</li> <li>○ マイ・タイムラインを作成し、風水害に備えて、自分たちにできる取組を考え、発表している。</li> </ul>	<p>【大単元の導入(2)、自然災害(12)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国の自然災害とその種類を調べ、学習問題を考えている。</li> <li>○ 地震が発生する原因と地震災害から人々を守るための備えや対策について調べている。</li> <li>○ 津波が発生する原因と津波災害から人々を守るための備えや対策について調べている。</li> <li>○ 風水害が発生する原因と風水害から人々を守るための備えや対策について調べている。</li> <li>○ 火山災害や雪害が発生する原因とこれらの災害から人々を守るための備えや対策について調べている。</li> <li>○ 自然災害と国土との関わりや防災の取組を表に整理し、地形や気候との関係、取組の共通点から考えたことをノートにまとめている。</li> </ul>
<b>教 出</b>	<p>【大単元の導入(2)、地震災害・津波災害(16) ※選択：水害(12)、火山災害(2)、雪害(2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国の自然災害による被害を調べている。</li> <li>○ 静岡県内の地震や津波の歴史を調べている。</li> <li>○ 地震や津波に備えた取組を調べ、学習問題を考えている。</li> <li>○ 市役所の人の話やハザードマップを取り上げ、市の役割や情報伝達の取組を調べている。</li> <li>○ 避難地や津波避難タワーを取り上げ、地震や津波に備えた施設や設備を調べている。</li> <li>○ 自治会の人や地域の話から、夜の避難訓練や岩手県の取組等、地震や津波に備えた取組を調べている。</li> <li>○ 地震や津波に備えた取組をまとめ、これからの生活に生かすための標語を作っている。</li> </ul>	<p>【大単元の導入(2)、自然災害(12)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国で起こった自然災害とその種類、発生場所や発生回数を調べ、学習問題を考えている。</li> <li>○ 国土交通省の人の話や宮古市田老地区の取組を取り上げ、大津波から人々を守るための公共事業を調べている。</li> <li>○ 津波以外の自然災害について、国や都道府県、市町村の防災や減災の取組を調べている。</li> <li>○ 自然災害の発生とその対策について表にまとめ、自然災害との向き合い方を考えている。</li> </ul>
<b>日 文</b>	<p>【大単元の導入(2)、風水害(18) ※選択：地震災害(6)、津波災害(6)、火山災害(4)、雪害(2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東京都内の自然災害を調べている。</li> <li>○ 東京都内で起こった風水害の原因を調べている。</li> <li>○ 東京都内の風水害及び風水害によって起こる被害を調べ、学習問題を考えている。</li> <li>○ 地下調節池を取り上げ、風水害を防ぐ施設を調べている。</li> <li>○ 区役所や消防署、警察署の人の話から、風水害等の災害時の対応について調べている。</li> <li>○ メール配信サービスやハザードマップ、防災アプリを取り上げ、災害に備えた情報伝達のための取組を調べている。</li> <li>○ 避難所運営訓練を取り上げ、災害に備える取組を調べている。</li> <li>○ 災害に備えて自分たちにできることを考えてスライドにまとめ、その取組を発表している。</li> </ul>	<p>【大単元の導入(2)、自然災害(14)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国の自然災害とその種類を調べ、学習問題を考えている。</li> <li>○ 自然災害の発生場所や、発生原因を資料を基に調べ、日本が自然災害が多い理由を考えている。</li> <li>○ 東日本大震災を取り上げ、自然災害が人々の生活や産業に与える影響を調べている。</li> <li>○ 防災に関する情報やハザードマップを取り上げ、国や都道府県、市(区)町村の防災や減災の取組を調べている。</li> <li>○ 資料を基に、自然災害から命や暮らしを守るために自分たちにできることを考えている。</li> </ul>

※ ( ) はページ数



【社会】

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑦本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
<b>方法</b>	写真・地図・グラフ等の資料及び小單元における資料の種類と数

	使用されている写真・地図・グラフ等の資料 (第5学年)	小單元における資料の種類と数 (第5学年 我が国の工業生産)
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真、絵図、国旗</li> <li>○ 主題図、地球儀、地形図、地図</li> <li>○ 棒グラフ、円グラフ、帯グラフ、折れ線グラフ、 雨温図、年表、表</li> <li>○ 新聞記事、ハザードマップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真 (56)、絵図 (18)</li> <li>○ 地図 (1)、主題図 (6)</li> <li>○ 棒グラフ (5)、円グラフ (5)、帯グ ラフ (7)、折れ線グラフ (1)</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真、絵図、国旗</li> <li>○ 主題図、地球儀、地形図、地図</li> <li>○ 棒グラフ、円グラフ、帯グラフ、折れ線グラフ、 雨温図、年表、表</li> <li>○ 新聞記事、ハザードマップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真 (83)、絵図 (23)</li> <li>○ 地図 (1)、主題図 (9)</li> <li>○ 棒グラフ (4)、円グラフ (5)、帯グ ラフ (5)、折れ線グラフ (3)、表 (1)</li> </ul>
<b>日 文</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真、絵図、国旗</li> <li>○ 主題図、地球儀、地形図、地図</li> <li>○ 棒グラフ、円グラフ、帯グラフ、折れ線グラフ、 雨温図、年表、表</li> <li>○ 新聞記事、ハザードマップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真 (47)、絵図 (24)</li> <li>○ 主題図 (8)</li> <li>○ 棒グラフ (4)、円グラフ (3)、帯グ ラフ (4)、折れ線グラフ (2)</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑧本文以外の記述の工夫
<b>方法</b>	脚注・側注の扱い

	脚注・側注の扱い (第3学年)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元のはじめに「めあて」の欄を設け、単元で学習するねらいを示している。</li> <li>○ 「学び方コーナー」を「見る・聞く・ふれる」「読み取る」「表す・つたえる」の観点に分け、場面に応じた学習方法を示している。</li> <li>○ キャラクターを用いて、社会的な見方・考え方を働かせる4つの視点・方法を示している。</li> <li>○ キャラクターによる疑問の投げかけ、気づき、分かったことなどの吹き出しがある。</li> <li>○ 「まなびのポイント」により、学習のポイントとなる活動を示している。</li> <li>○ 「ことば」により、その時間のキーワードを示している。</li> <li>○ 「用語かいせつ」により、用語の解説を示している。</li> <li>○ 二次元コードにより、Web上に掲載されている導入の動画やワークシート、まなび方の解説動画、クイズなどを見ることができる。</li> <li>○ 「教科かんれんマーク」により、他教科との関わりを示している。</li> <li>○ 「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」により、学習の過程を示している。</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元によっては、はじめに、キャラクターの吹き出しにより、単元で学習するねらいを示している。</li> <li>○ 「学びのてびき」を「集める」「読み取る」「表す」の観点に分け、場面に応じた学習方法を示している。</li> <li>○ キャラクターによる疑問の投げかけ、気づき、分かったことなどの吹き出しがある。</li> <li>○ 「活動」により、その時間の学習の流れを示している。</li> <li>○ 「キーワード」により、その時間のキーワードを示している。</li> <li>○ 「かいせつ」により、用語の解説を示している。</li> <li>○ 二次元コードにより、Web上に掲載されている動画、ワークシート、補助資料、資料の読み取り支援、クイズ式教材を見ることができる。</li> <li>○ 「次につなげよう」により、次時の見通しを示している。</li> <li>○ 「SDGsとつなげて考えよう」により、学習内容とSDGsの目標をつなげて考えることを促している。</li> <li>○ 「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」により、学習の過程を示している。</li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元のはじめに、「学習のまど」により、単元で学習するねらいを示している。</li> <li>○ 「学び方・調べ方コーナー」を「見る・調べる」「読み取る」「表現する」の観点に分け、場面に応じた学習方法を示している。</li> <li>○ 「見方・考え方」により、社会的な見方・考え方を働かせる3つの視点・方法を示している。</li> <li>○ 「やってみよう」により、具体的な活動や活動のヒントを示している。</li> <li>○ キャラクターによる疑問の投げかけ、気づき、分かったことなどの吹き出しがある。</li> <li>○ 「キーワード」により、その時間のキーワードを示している。</li> <li>○ 検索窓のマークにより、用語の解説を示している。</li> <li>○ 二次元コードにより、Web上に掲載されている写真や動画、ワークシート、関連しているウェブサイトへのリンクなどを見ることができる。</li> <li>○ 「考えよう！SDGs」により、学習内容とSDGsの目標をつなげ、その課題や解決のための取組等を示している。</li> <li>○ 「脚注インデックス」で、その時間に身に付けたい力を示している。</li> </ul>

【社会】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨資料読取りのための工夫
方法	ユニバーサルデザイン等に関する配慮

ユニバーサルデザイン等に関する配慮	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>○ 円グラフや帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、データごとに色を変え、隣り合うデータは区切りを入れている。</li> <li>○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>○ 円グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは区切りを入れている。</li> <li>○ 帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、データごとに色を変え、隣り合うデータは区切りを入れている。</li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>○ 円グラフや帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、データごとに色を変え、隣り合うデータは区切りを入れている。</li> <li>○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変え、実線と点線で示している。</li> </ul>

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑩調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫
方法	新聞・地図・年表・レポートなどでのまとめ例と具体例

	新聞・地図・年表・レポートなどでのまとめ例 (第3・4学年)	具体例 (第3学年)
東 書	<p>○ 絵地図、白地図、せんでんシール、ノート、見学カード、しつもんカード、表、標語、年表、図、地図、せんでんポスター、ポスター、キャッチコピー、グラフ、見学メモ、新聞、カード (第3学年)</p> <p>○ 白地図、図、年表、ポスター、4コマCM、しょうかいパンフレット、表、ノート、マイ・タイムライン、紙しばい、三角ポスト、感想文、レポート (第4学年)</p>	<p>くらしを守る</p> <p>1 火事からくらしを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図 (火事からわたしたちのくらしを守る人々のはたらきを図にまとめました。)</li> </ul> <p>2 事故や事件からくらしを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表 (事故や事件からくらしを守るはたらきについて、表にまとめてみました。)</li> <li>・標語 (火事や事故・事件からくらしを守るための標語をつくることにしました。)</li> </ul>
教 出	<p>○ 絵地図、表、白地図、ポスター、買い物調べカード、買い物地図、グラフ、かんけい図、メモ、ノート、標語、安全マップ、道具調べカード、年表、絵カード、地図、作物カレンダー (第3学年)</p> <p>○ 地図、表、図、ノート、カード、標語、関係図、すごろく、キャッチコピー、ガイドマップ、ふせん、順位づけ(ランキング)、デジタル紙しばい、プレゼンテーション、年表 (第4学年)</p>	<p>地いきの安全を守る</p> <p>1 火事からまちを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白地図 (地いきの消防せつびを調べて、白地図にまとめました。)</li> <li>・かんけい図 (火事からまちを守るしくみを、かんけい図にまとめました。)</li> <li>・標語 (消防の取り組みの中から自分がいちばん大切だと思うことを標語にまとめ、発表することになりました。)</li> </ul> <p>2 事故や事件からまちを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かんけい図 (事故や事件からまちを守るはたらきについて、かんけい図にまとめることにしました。)</li> <li>・安全マップ (事故や事件が起こりやすい場所や、安全のためのしせつの場所などを調べて、地いきの安全マップをつくりました。)</li> </ul>
日 文	<p>○ 白地図、ガイドマップ、表、見学カード、ノート、年表、カード、図、地図、メモ、ポスター、買い物調べカード、見学メモ、たんざくカード、標語、ワークシート、かんけい図 (第3学年)</p> <p>○ ノート、まとめカード、カルタ、人物カード、図、白地図、表、関係図、リーフレット、ワークシート、スライド、ハザードマップ、カード、紙しばい (第4学年)</p>	<p>安全なくらしを守る</p> <p>1 火事から人びとを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図・地図 (学校や地いきの消ぼうせつびのある場所としゅるいを調べ、①の図や③の地図にかき入れました。)</li> <li>・カード (火事から安全なくらしを守るために自分たちにできることを考え、カードにまとめました。)</li> </ul> <p>2 交通事故や事件から人びとを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート (調べたことをふり返り、学習問題についてわかったことをノートにまとめて話し合いました。)</li> <li>・図 (話し合ったことをもとに、出てきた考えを図にまとめながら意見を出し合いました。)</li> <li>・ポスター・標語 (「さらに考えたい問題」について考え、ポスターや標語にまとめました。)</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(才) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑪観察・調査や資料活用を通して収集した情報を基に、互いの考えを深めていくための工夫
<b>方法</b>	収集した情報を基に、単元末等における話し合いや説明の活動を促す工夫と具体例

	単元末等における話し合いや説明の活動を促す工夫	具体例 (第6学年)
<b>東 書</b>	○ 単元末の「まとめる」の場面や、単元後の「いかす」の場面において、「説明しよう」「話し合おう」「発表しよう」などと提示し、学習した内容を活用し、歴史上の主な事象や社会的事象について説明や話し合いの活動を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容を振り返り、新聞にまとめる視点について話し合う。</li> <li>・歴史上の人物の業績を表に整理し、それぞれの立場で当時の世の中について説明する。</li> <li>・文化の特色について話し合い、キャッチフレーズに表して、発表する。</li> <li>・歴史上の人物の取組の意図や目的を考え、世の中の様子について図に整理したことを基に、話し合う。</li> <li>・歴史上の人物の業績について説明する。</li> <li>・年表と歴史上の人物の業績とを結び付けながら整理し、世の中の変化や、その変化に影響を与えた人物について話し合ったり発表したりする。</li> <li>・学習問題について調べたことを人物カードに整理し、その中から1人を選んで、日本の地位向上に果たした役割について意見交換する。</li> <li>・歴史上の主な事象の世の中への影響を図に整理して、自分の考えをまとめ、話し合う。</li> <li>・一言コメントを付けた年表を基に、現在の社会に影響を与えた出来事を選び、その影響について文章に表し、話し合う。</li> <li>・カードで学習を振り返り、未来に生かせることについて話し合う。</li> </ul>
<b>教 出</b>	○ 単元末の「まとめる」の場面や、単元後の「つなげる」の場面において、「説明しよう」「話し合おう」「発表しよう」などと提示し、学習した内容を活用し、歴史上の主な事象や社会的事象について説明や話し合いの活動を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世の中の様子と暮らしとの関係を図にまとめ、学習問題について話し合う。</li> <li>・学習した人物を振り返った後、その人物を手掛かりに当時の様子について発表する。</li> <li>・文化の特色を図にまとめ、外国からの旅行者をもてなすつもりで説明する。</li> <li>・歴史上の人物へのインタビューを行い、それぞれの人物になりきって答える。</li> <li>・当時の政策をカードに書き、効果の大きさを順位を付け、その理由を説明する。</li> <li>・学習した文化と他の時代の文化を表にまとめて比較し、特徴を短文に表し、説明する。</li> <li>・当時の政策について、重要度で順位を付け、その理由を説明する。</li> <li>・調べた出来事を年表にまとめ、当時の人々に伝えるつもりでラジオニュースの原稿を作り、発表する。</li> <li>・学習内容をリーフレットにまとめるために、グループで話し合う。</li> <li>・選挙権の広がりや振り返り、学習を通して考えたことの生かし方について、今の暮らしとのつながりを基に話し合い、意見文に表して伝え合う。</li> </ul>
<b>日 文</b>	○ 単元末や単元後の「日本の歴史の学習を終えて」の場面において、学習したことをまとめたノートの例や児童が話し合っている様子をイラストで示し、学習した内容を活用し、歴史上の主な事象や社会的事象についての説明や話し合いの活動を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べてまとめたノートや資料を基にしながら話し合う。</li> <li>・学んだことを図に表し、その図を使って学習問題について話し合う。</li> <li>・学習内容をカードにまとめ、学習問題について意見を出し合う。</li> <li>・学習問題について話し合って考えたことをノートにまとめ、学習を深めるために、友だちと話し合う。</li> <li>・文化の特色など学習問題について話し合う。</li> <li>・学習問題について話し合う。</li> <li>・学習内容について振り返り、学習問題について話し合う。</li> <li>・学習問題をノートにまとめ、話し合う。</li> <li>・時代の変化を年表にまとめ、学習問題について話し合う。</li> <li>・学習内容を新聞にまとめ、社会的事象の背景や影響について話し合う。</li> <li>・学習内容をノートにまとめ、学習問題について話し合う。</li> <li>・歴史の学習を振り返ってキーワードを設定し、現在とのつながりについてワークシートにまとめ、話し合う。</li> </ul>

地 図
-----

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

	発行者の番号及び略称	教科書名
2	東 書	新編 新しい地図帳
46	帝 国	楽しく学ぶ 小学生の地図帳

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観 点		視 点		方 法
(ア)	基礎・基本の定着	①	地図帳に関する説明の仕方の工夫	地図の見方の記載例及び資料等の活用方法の例
		②	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫	国土の地理的環境や歴史的事象及び国際理解に関する学習への活用に向けた記載の例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③	興味・関心を高めるための工夫	興味・関心を高めるための例
		④	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	作業的・体験的な学習課題の例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤	単元や資料等の配列	統計資料と地図の扱い
(エ)	内容の表現・表記	⑥	資料読取りのための工夫	ユニバーサルデザイン等に関する配慮
(オ)	言語活動の充実	⑦	観察・調査や各種資料の活用の工夫	地図を活用した調べ方の例
		⑧	調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫	地図を活用した表現の例

【地図】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①地図帳に関する説明の仕方の工夫
方法	地図の見方の記載例及び資料等の活用方法の例

		地図の見方の記載例及び資料等の活用方法の例	
		地図の見方〔ページ数〕	資料等の活用方法
東 書		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地図のきまり」で、方位、地図記号、凡例、縮尺の見方、土地の高さの見方について、イラストを使って説明している。〔4〕</li> <li>○ 「地図帳の使い方◆凡例、さくいん◆」で、凡例、索引の使い方について、「◆縮尺◆」で、詳しく見る地図・地方別に見る地図・広く見る地図の見方について、イラストを使って説明している。〔2〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二次元コードを掲載しており、日本や世界の白地図がダウンロードできたり、日本の特徴ある地形について説明した動画を視聴したりすることができるようにしている。</li> <li>○ 「さくいん」の「さくいん」に取り上げた地名」で、地名の種類を表す記号・色、ページ、横の線の間、縦の線の間のカタカナによる場所の探し方を示すとともに、これまでの学習で調べた項目が記録できるように、索引の項目ごとにチェック欄が設けられている。(掲載数：日本の地名 約 2,200 項目、世界の地名 約 470 項目)</li> </ul>
	帝 国		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地図のやくそく (1) (2) (3)」で、方位、地図記号、土地利用の見方について説明している。〔6〕</li> <li>○ 「地図帳の使い方 (1) (2)」で凡例、土地の使われ方、陸の高さの見方、索引の使い方、縮尺の仕組みと距離の求め方について説明している。〔4〕</li> </ul>

【地図】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
方法	国土の地理的環境や歴史的事象及び国際理解に関する学習への活用に向けた記載の例

国土の地理的環境や歴史的事象及び国際理解に関する学習への活用に向けた記載の例			
	国土の地理的環境に関する学習への活用	歴史的事象に関する学習への活用	国際理解に関する学習への活用
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本とそのまわり」で、日本の国土と近隣諸国等の地理的環境を示している。また、東西南北の端の島（択捉島、与那国島、南鳥島、沖ノ鳥島）の位置を示すとともに、同じ見開きページに写真入りで紹介している。さらに、尖閣諸島、竹島については、写真を掲載しているページを掲載している。</li> <li>○ 地方図の中に、主要都市の拡大図を掲載している。</li> <li>○ 「日本の自然災害」で、記録に残る被害を出した地震や豪雨、噴火等の災害発生場所を地図に示すとともに、被害状況を伝える写真等を掲載している。</li> <li>○ 巻末の「世界の国々」で、世界の国々の国旗や時差を説明するイラストを掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各地方図には、歴史的事象・建造物等を地図上に青地に白抜き文字で掲載している。</li> <li>○ 「日本の歴史◆世界とのかかわり◆①②」で、年表、地図、イラストを用いて、各時代における国名や、日本と他国の関わり、明治初期や第二次世界大戦後の日本の領土・領域について示すとともに、年表中の主な出来事について各地方図中のページを掲載している。</li> <li>○ 「日本の伝統文化◆歴史的景観、祭り、食文化◆」の「1 日本のおもな歴史的景観と祭り」で、各地の祭りの位置をイラスト等で示すとともに、世界文化遺産等の写真を掲載し、地図にその位置を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭の「地図のぼうけんに出発！ World Map」のイラストマップに、世界の特産物等をイラストで示すとともに、「世界みんなに「ありがとう！」」で世界の言葉を紹介している。</li> </ul>
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「広く見わたす地図」で、日本の国土の地理的環境を示している。</li> <li>○ 「日本の領土とそのまわり」で、日本の国土と近隣諸国等の地理的環境を示している。また、東西南北の端の島（択捉島、与那国島、南鳥島、沖ノ鳥島）の位置を示すとともに、同じ見開きページに写真入りで紹介している。さらに、北方領土、竹島、尖閣諸島についても、同じ見開きページに「日本固有の領土」として写真入りで紹介している。</li> <li>○ 各地方図の中に、主要都市の拡大図を掲載している。</li> <li>○ 「日本の自然災害と防災（1）」で、主な地震の震源を地図に示すとともに、被害状況を伝える写真等を掲載している。「日本の自然災害と防災（2）」では、各地の防災の取組や防災マップ作りについて掲載している。</li> <li>○ 巻末の「世界の国々」で、世界の国々の国旗や時差を説明するイラストや吹き出しを掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各地方図には、歴史的事象・建造物等を地図上に青地に白抜き文字で掲載している。</li> <li>○ 「日本の歴史」の「1 日本のおもなできごと」で、年表とともに主な出来事について各地方図中のページを掲載するとともに、「3 日本のおもな昔の境界とおもなできごと」で、明治元年当時の国名、昔の国名がついた特産物を掲載している。また、「4 日本のおもな領土のうつりかわり」で、明治時代初めや第二次世界大戦後の日本の領土を示している。</li> <li>○ 「日本の世界遺産」で、世界自然遺産と世界文化遺産の写真を掲載し、地図にその位置を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭の「地図で世界発見！」のイラストマップに、世界各地の名所や食事、日本が多く輸入するものをイラストで示すとともに、「世界の国からこんにちは！」で、世界のあいさつを紹介している。</li> </ul>



【地図】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③興味・関心を高めるための工夫
方法	興味・関心を高めるための例

興味・関心を高めるための例	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全般にわたって、キャラクターの吹き出しで、地図活用の手掛かりやその土地の様子等を紹介するとともに、「ホップ/ステップ/マップでジャンプ!」で、地図への関心や地図を読む力を高める工夫をしている。</li> <li>○ 巻頭の「地図のぼうげんに出発! World Map」のイラストマップに、世界の特産物等をイラストで示すとともに、「世界みんなに「ありがとう!」」で世界の言葉を紹介している。</li> <li>○ 地図学習の導入として、「空からまちを見てみよう」で、イラストマップや地図を用いて地図の仕組みを紹介している。</li> <li>○ 近畿地方の地図に「金閣」、「東大寺の大仏」の写真を、中部地方の地図に「自動車工場と関連工場の分布」を掲載する等、地域の特徴的な事象を紹介している。</li> <li>○ 世界の地方図で、地域の特色を示す物産や建物等のイラストや、特徴的な料理や動物の写真を掲載している。</li> <li>○ 「日本の自然◆地形◆」で、日本と世界の主な山、川、湖を比較して紹介している。</li> <li>○ 「日本の伝統文化◆歴史的景観、祭り、食文化◆」の「1 日本のおもな歴史的景観と祭り」で、各地の祭りの位置をイラスト等で示すとともに、世界文化遺産等の写真を掲載し、地図にその位置を示している。</li> <li>○ 「世界のおもな国の統計」で、オリンピックとワールドカップの開催国を地図上に色分けして示したり、「だれひとり取り残さない世界をめざして」において、SDGsについて説明したりしている。</li> </ul>
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全般にわたって、キャラクターの吹き出しで、地図活用のポイントやその土地の様子等を紹介するとともに、「地図マスターへの道」で、地図への関心や地図を読む力を高める工夫をしている。</li> <li>○ 巻頭の「地図で世界発見!」のイラストマップに、世界各地の名所や食事、日本が多く輸入するもの等をイラストで示すとともに、「世界の国からこんにちは!」で、世界のあいさつを紹介している。</li> <li>○ 地図学習の導入として、「地図の世界へようこそ」「地図ってなんだろう」で、イラストマップや航空写真、地図を用いて地図の仕組みを紹介している。</li> <li>○ 広島市の原爆による被害状況、北海道のアイヌ語地名等、各地方図で地域の特徴的な事象を紹介している。</li> <li>○ 江戸時代の五街道や江戸の町の土地利用を表す地図を掲載して、歴史学習で活用できるようにしている。</li> <li>○ 世界の地方図で、地域の特色を示す物産や建物等のイラストを掲載するとともに、「集まれ!世界の子どもたち」や「世界のSDGs」で、各地域の特徴的な生活や取組について写真で紹介している。</li> <li>○ 「日本の自然のようす(1)」で、日本と世界の主な山、川、湖を紹介している。</li> <li>○ 「持続可能な開発目標(SDGs)」で、SDGsの17の目標の背景にある課題を説明するイラスト掲載したり、「日本と世界の結びつき」で、SDGsの視点から日本と世界の食料問題についての資料を掲載したりしている。</li> <li>○ 「日本の世界遺産」で、世界自然遺産と世界文化遺産の写真を掲載し、地図にその位置を示している。</li> </ul>

【地図】

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>
<b>視点</b>	④課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
<b>方法</b>	作業的・体験的な学習課題の例

作業的・体験的な学習課題の例	
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全般にわたって、キャラクターの吹き出しで、学習の手掛かりや視点を示したり、「ホップ1ステップ1マップでジャンプ1」で、「中国自動車道と山陽自動車道を指でなぞってみよう。どちらが人口の多い地域を通っているかな。」等、作業や地図に書かれている情報を読み取る問いを3段階で設定したりしている。</li> <li>○ 「世界全図と地球儀」の「地球儀を使って調べる」で、紙テープやトレーシングペーパーを使って、方位や距離、土地の大きさや形を調べる方法を写真入りで掲載し、地球儀と地図を比較する学習を例示している。</li> </ul>
<b>帝 国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全般にわたって、キャラクターの吹き出しで、学習の手掛かりや視点を示したり、「トライ！」で、地図に親しめる問いを設定したり、「地図マスターへの道」で、「3000mよりも高い山を三つ、この地図からさがしてみよう。」等、作業的な学習を例示したりしている。</li> <li>○ 「世界と地球儀」の「地球儀を使おう」で、紙テープやトレーシングペーパーを使って、方位や距離、面積、形を調べる方法を写真入りで掲載し、地球儀と地図を比較する学習を例示している。</li> <li>○ 「日本の自然災害と防災（2）」で、防災マップの例を示しながら防災マップ作りの手順を示し、体験的な学習を例示している。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(ウ) 内容の構成・配列・分量</b>
<b>視点</b>	⑤単元や資料等の配列
<b>方法</b>	統計資料と地図の扱い

統計資料と地図の扱い	
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本とその周りを見渡す地図に始まり、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、資料地図、統計表、索引の順で配列している。</li> <li>○ 各地域を比較できるように、日本の地図において、日本全図は縮尺1,600万分の1（「日本列島－九州から北海道－」は500万分の1）、各地方図は原則として100万分の1（北海道は160万分の1）、都市圏などの拡大図は原則として5万分の1で示されている。</li> <li>○ 陸の高さや海の深さが、地図に応じて細かく色分けされており（最大17段階）、土地利用も市街地、工業地などを最大7種類で示している。</li> </ul>
<b>帝 国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の複数の地方を広く見渡す地図に始まり、日本とその周りを見渡す地図、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、資料図、統計、索引の順で配列している。</li> <li>○ 各地域を比較できるように、日本の地図において、広く見渡す地方図は原則として縮尺160万分の1、日本全図は2,000万分の1、各地方図は原則として100万分の1（北海道は160万分の1）、都市圏などの拡大図は原則として5万分の1で示されている。</li> <li>○ 陸の高さや海の深さが、地図に応じて細かく色分けされており（最大13段階）、土地利用も商業地、住宅地などを最大8種類で示している。</li> </ul>

【地図】

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑥資料読取りのための工夫
<b>方法</b>	ユニバーサルデザイン等に関する配慮

ユニバーサルデザイン等に関する配慮	
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用し、文字の視認性を高めるために、白色で縁取りをしている。</li> <li>○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れて表記するとともに、棒グラフも含め、視認性を高めるために、一部の文字を太字にしている。</li> <li>○ 色覚特性のある児童にも判別しやすくするために、「畑」、「果樹園」、「森林（、公園）」の凡例には色に加えて地紋を入れている。</li> </ul>
<b>帝国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用し、文字の視認性を高めるために、縁取りを付けている。</li> <li>○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れて表記している。</li> <li>○ 色覚特性のある児童にも判別しやすくするために、「田」、「畑」、「建物が密集しているところ」、「公園や緑地」、「果樹園」、「山地（や丘陵地）」、「森林」、「牧草地」の凡例には色に加えて地紋を入れている。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑦観察・調査や各種資料の活用の工夫
<b>方法</b>	地図を活用した調べ方の例

地図を活用した調べ方の例	
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地図帳の使い方◆凡例、さくいん◆」の「2 どこにある？（さくいん）」で、索引の使い方をイラストで説明し、地名の調べ方を例示している。</li> <li>○ 日本とその周りを見渡す地図、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、資料地図、統計表において、キャラクターの吹き出しで、具体的な観察・調査方法を示している。</li> <li>○ 全般にわたって、「ホップノステップノマップでジャンプノ」で、資料活用の仕方を示している。</li> </ul>
<b>帝国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地図帳の使い方（2）」で、索引の使い方をキャラクターの吹き出しで説明し、地名の調べ方を例示している。</li> <li>○ 日本の複数の地方を広く見渡す地図、日本とその周りを見渡す地図、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、資料図において、キャラクターの吹き出しで、具体的な観察・調査方法を示している。</li> <li>○ 全般にわたって、「地図マスターへの道」で、資料活用の仕方を示している。</li> </ul>

【地図】

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑧調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫
方法	地図を活用した表現の例

地図を活用した表現の例	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本の自然災害」で、ハザードマップを示し、自分の地域のハザードマップで確認する点について掲載し、表現する活動に取り組む際の視点を示している。</li> <li>○ 日本の自然、日本の産業、日本の交通、都市、日本の貿易、日本の歴史、日本の伝統文化、日本の自然災害について、資料地図で示している。</li> </ul>
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本の自然災害と防災（２）」の、「防災マップづくり」で、地図を使ったまとめ方のヒントや手順を示すとともに、地図の作品の例を掲載し、表現する活動の例を示している。</li> <li>○ 日本の自然のようす、日本の自然災害と防災、日本の産業のようす、日本と世界の結び付き、日本の歴史、持続可能な開発目標（SDGs）、日本の世界遺産、都道府県の名前と位置について、資料図等で示している。</li> </ul>

## 算 数

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい算数
4	大 日 本	新版 たのしい算数
11	学 図	みんなと学ぶ 小学校 算数
17	教 出	小学算数
61	啓 林 館	わくわく 算数
116	日 文	小学算数

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標を達成するための工夫	単元の流れと主な問題、問題場面やまとめ、練習の示し方
		② 基礎的・基本的な知識・技能を定着させるための工夫	スパイラルに取り扱われている内容と練習問題数
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 興味・関心を高めるための工夫	単元の導入、日常生活や社会とのつながり、単元の終末
		④ 問題解決的な学習を実施するための工夫	単元の問題解決の過程
		⑤ 具体的な体験を伴う学習を実施するための工夫	具体的な体験を伴う学習場面の数と具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 単元や資料等の配列	ページ数、単元数、単元内の構成、単元内の配列と分量
		⑦ 中学校の学習内容と関連する内容	発展的な学習の事例
(エ)	内容の表現・表記	⑧ イラスト・写真・吹き出し等の活用	キャラクター等の活用、視覚資料の扱い、図・表等の扱い、デジタルコンテンツの扱い
(オ)	言語活動の充実	⑨ 数学的な表現を用いて自分の考えを説明する活動の工夫	学習の流れと説明したり話し合ったりする活動の具体例
		⑩ 思考を深めるための記述の工夫	ノート指導の扱いと記載例、ページ数

【算数】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標を達成するための工夫
方法	単元の流れと主な問題、問題場面やまとめ、練習の示し方

第4学年「数と計算」(学習指導要領内容項目から)

第4学年 A (3) ア(ア) 除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。

第4学年「2けたでわるわり算」		
	単元の流れと主な問題	問題場面やまとめ、練習の示し方【仮商修正の仕方】
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 何十でわる計算                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>60 \div 20</math></li> </ul> </li> <li>○ 2けたの数でわる筆算(1)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>84 \div 21</math>    <math>87 \div 21</math></li> <li>・ <math>86 \div 23</math>    <math>78 \div 19</math></li> <li>・ <math>87 \div 25</math>    <math>153 \div 24</math></li> </ul> </li> <li>○ 2けたの数でわる筆算(2)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>345 \div 21</math>    <math>941 \div 23</math>、<math>960 \div 16</math></li> <li>・ <math>732 \div 216</math></li> </ul> </li> <li>○ わり算のせいしつ</li> <li>○ わり算のくふう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>24000 \div 500</math>    <math>2700 \div 400</math></li> </ul> </li> <li>○ 学習のしあげ</li> <li>○ つないでいこう 算数の目</li> </ul>	<p>【問 題】 <math>86 \div 23</math> を筆算でしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 23 を 20 とみて、商の見当をつけてみましょう。</li> <li>・ かりの商は、正しい商になっていますか。→商を1小さくする。(1回)</li> <li>・ <math>81 \div 12</math> の筆算のしかたを説明しましょう。→商を1小さくする。(2回)</li> </ul> <p>【まとめ】 かりの商が大きすぎたときは、商を小さくしていく。</p> <p>【練習】 <math>57 \div 14</math>、<math>95 \div 13</math> 他6問 →巻末練習問題* ㊦</p> <p>◆ 「<math>78 \div 19</math>」の問題で、商が小さすぎたときに商を大きくしていく内容を扱う。</p>
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 何十でわる計算                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>60 \div 20</math>    <math>170 \div 50</math></li> </ul> </li> <li>○ (2けた) ÷ (2けた) の筆算                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>63 \div 21</math>    <math>93 \div 34</math>    <math>85 \div 27</math></li> </ul> </li> <li>○ (3けた) ÷ (2けた) の筆算                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>543 \div 62</math>    <math>483 \div 21</math></li> </ul> </li> <li>○ 大きな数のわり算の筆算                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>1768 \div 34</math></li> </ul> </li> <li>○ わり算のきまり                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>200 \div 25</math>    <math>4800 \div 500</math></li> </ul> </li> <li>○ かけ算かな、わり算かな</li> <li>○ たしかめ問題</li> </ul>	<p>【問 題】 <math>93 \div 34</math> の筆算のしかたを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ わる数の34を30とみて、商の見当をつけて計算してみましょう。</li> <li>・ 商をいくつに直したらよいか考えて、計算し直しましょう。→商を1小さくする。(1回) * ㊦</li> <li>・ <math>84 \div 13</math> の筆算のしかたを考えましょう。→商を1小さくする(2回)。* ㊦</li> </ul> <p>【まとめ】 見当をつけた商が大きすぎたときは、商を小さくしていき、正しい商を見つけます。</p> <p>【練習】 <math>86 \div 24</math>、<math>95 \div 12</math> 他6問 →巻末練習問題</p> <p>◆ 「<math>85 \div 27</math>」の問題で、商が小さすぎたときに商を大きくしていく内容を扱う。</p>
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ はてなを発見                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>80 \div 5</math></li> </ul> </li> <li>○ 何十でわるわり算                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>80 \div 20</math>    <math>80 \div 30</math></li> </ul> </li> <li>○ 2けたでわるわり算(1)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>84 \div 21</math>    <math>96 \div 33</math></li> <li>・ <math>68 \div 16</math>    <math>170 \div 34</math></li> </ul> </li> <li>○ 2けたでわるわり算(2)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>252 \div 12</math>    <math>607 \div 56</math></li> <li>・ <math>942 \div 314</math></li> </ul> </li> <li>○ わり算のくふう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>24000 \div 300</math></li> </ul> </li> <li>○ どんな式になるかな</li> <li>○ できるようになったこと・まなびをいかそう</li> <li>○ 考え方モンスターでふりかえろう!</li> </ul>	<p>【問 題】 <math>96 \div 33</math> の筆算のしかたを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商の見当をつけましょう。</li> <li>・ 商を3として計算してみましょう。→商を1小さくする。(1回)</li> <li>・ 答えのたしかめをしましょう。</li> </ul> <p>【練習】 商の見当をつけて計算しましょう。また、答えのたしかめもしましょう。<math>56 \div 14</math>、<math>68 \div 24</math> 他4問</p> <p>【問 題】 <math>68 \div 16</math> の筆算のしかたを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ かりの商をたてましょう。</li> <li>・ わる数とかりの商をかけましょう。</li> <li>・ かりの商を1小さくしましょう。</li> <li>・ かりの商をさらに1小さくしましょう。→商を1小さくする。(2回)</li> </ul> <p>【練習】 <math>57 \div 18</math> の計算を、上のように、商の見当をつけて計算しましょう。また、答えのたしかめもしましょう。</p> <p>【まとめ】 かりの商が大きすぎたとき、かりの商を1ずつ小さくしていき、正しい商を見つけます。</p> <p>【練習】 商の見当をつけて計算しましょう。また、答えのたしかめもしましょう。<math>70 \div 14</math>、<math>69 \div 15</math> 他4問</p>

【算数】

第4学年「2けたでわるわり算」		
	単元の流れと主な問題	問題場面やまとめ、練習の示し方【仮商修正の仕方】
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ どんな学習がはじまるかな？</li> <li>・ <math>80 \div 20</math></li> <li>○ 何十でわる計算</li> <li>・ <math>140 \div 40</math></li> <li>○ 2けた÷2けたの計算</li> <li>・ <math>85 \div 21</math></li> <li>○ 商の見つけ方①</li> <li>・ <math>94 \div 32</math> ・ <math>61 \div 13</math></li> <li>○ 商の見つけ方②</li> <li>・ <math>87 \div 17</math></li> <li>○ 3けた÷2けたの計算</li> <li>・ <math>172 \div 21</math> ・ <math>268 \div 35</math></li> <li>・ <math>385 \div 12</math> ・ <math>6522 \div 27</math></li> <li>・ <math>2776 \div 46</math>、<math>3016 \div 28</math></li> <li>○ わり算のきまり</li> <li>・ <math>3600 \div 900</math> ・ <math>1900 \div 800</math></li> <li>○ 学んだことを使おう</li> <li>○ ふり返ろう</li> <li>○ たしかめよう</li> </ul>	<p>【問題】 <math>94 \div 32</math> の計算のしかたを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商の見当をつけましょう。</li> <li>・ わる数の32を30とみたてた商は、大きすぎました。商をどのようになおせばよいでしょうか。→商を1小さくする。(1回)</li> </ul> <p>【練習】 商の見当をつけて、計算をしましょう。<math>67 \div 23</math>、<math>58 \div 12</math> 他3問</p> <p>【問題】 <math>61 \div 13</math> の計算のしかたを考えましょう。</p> <p>【まとめ】 見当をつけた商が大きすぎたときは、商を1ずつ小さくして行って、正しい商を見つけます。→商を1小さくする。(2回) * ㊦</p> <p>【練習】 商の見当をつけて、計算をしましょう。 <math>71 \div 13</math>、<math>93 \div 12</math> 他3問 →巻末練習問題</p> <p>◆ 「<math>87 \div 17</math>」の問題で、商が小さすぎたときに商を大きくしていく内容を扱う。</p>
啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 何本買えるかな？</li> <li>・ <math>80 \div 8</math></li> <li>○ 何十でわるわり算</li> <li>・ <math>80 \div 20</math> ・ <math>80 \div 30</math> ・ <math>170 \div 30</math></li> <li>○ 商が1けたになる筆算</li> <li>・ <math>96 \div 32</math> ・ <math>175 \div 35</math></li> <li>・ <math>252 \div 36</math>、<math>168 \div 28</math>、<math>324 \div 36</math></li> <li>○ 商が2けた、3けたになる筆算</li> <li>・ <math>552 \div 24</math></li> <li>・ <math>9646 \div 26</math>、<math>1485 \div 26</math>、<math>7536 \div 314</math></li> <li>○ 練習</li> <li>○ わり算のせいしつ</li> <li>・ <math>6500 \div 250</math></li> <li>○ 学びのまとめ</li> </ul>	<p>【問題】 次の計算をしてみましょう。</p> <p>ア <math>252 \div 36</math> イ <math>168 \div 28</math> ウ <math>324 \div 36</math></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ア <math>252 \div 36</math> →商を1小さくする。(1回) * ㊦</li> <li>・ イ <math>168 \div 28</math> →商を1小さくする。(2回)</li> <li>・ ウ <math>324 \div 36</math> →商を1小さくする。(1回)</li> </ul> <p>【まとめ】 商が大きすぎたら、1ずつ小さくすればいいんだね。</p> <p>【練習】 <math>52 \div 13</math>、<math>75 \div 15</math>、<math>522 \div 58</math> 他3問</p>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計算できるかな</li> <li>○ 何十でわる計算</li> <li>・ <math>80 \div 20</math> ・ <math>120 \div 40</math> ・ <math>140 \div 30</math></li> <li>○ 2けたの数でわる計算 (1)</li> <li>・ <math>65 \div 21</math> ・ <math>89 \div 28</math></li> <li>・ <math>71 \div 12</math> ・ <math>143 \div 23</math></li> <li>・ <math>436 \div 48</math> ・ <math>73 \div 17</math></li> <li>○ 2けたの数でわる計算 (2)</li> <li>・ <math>368 \div 24</math></li> <li>・ <math>860 \div 43</math>、<math>743 \div 24</math></li> <li>○ わり算のきまり</li> <li>・ <math>150 \div 25</math></li> <li>・ <math>4800 \div 600</math> ・ <math>2500 \div 200</math></li> <li>○ わかっているかな</li> <li>○ たしかめよう</li> </ul>	<p>【問題】 <math>89 \div 28</math> を筆算でしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商の見当をつけましょう。→商を1小さくする。(1回)</li> </ul> <p>【練習】 <math>65 \div 26</math> 他2問 * ㊦</p> <p>【問題】 <math>71 \div 12</math> を筆算でしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商の見当をつけましょう。→商を1小さくする。(2回)</li> </ul> <p>【まとめ】 見当をつけた商が大きすぎたときは、商を1ずつ小さくしていきます。</p> <p>【練習】 <math>67 \div 16</math> 他2問 →巻末練習問題 * ㊦</p>

(注) デジタルコンテンツと対応している箇所は、\* ㊦と表している。

【算数】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②基礎的・基本的な知識・技能を定着させるための工夫
方法	スパイラルに取り扱われている内容と練習問題数

第1学年～第3学年「数と計算」(学習指導要領内容項目から)

- ① 第1学年 A (1) ア (キ)「数を、十を単位としてみること。」
- ② 第1学年 A (2) ア (エ)「簡単な場合について、2位数などについても加法及び減法ができることを知ること。」
- ③ 第2学年 A (1) ア (ウ)「数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解すること。」
- ④ 第2学年 A (2) ア (イ)「簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算の仕方を知ること。」
- ⑤ 第2学年 A (3) ア (オ)「簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を知ること。」
- ⑥ 第3学年 A (1) ア (イ)「10倍、100倍、1000倍、 $1/10$ の大きさの数及びそれらの表し方について知ること。」
- ⑦ 第3学年 A (4) ア (オ)「簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算の仕方を知ること。」

	内容項目	単元名	スパイラルに取り扱われている内容	練習問題数
東 書	①	おおきいかず	・「たねの数を数字でかく」の例題	6
	②	おおきいかず	・「 $30+4$ 」「 $34-4$ 」「 $25+3$ 」「 $28-3$ 」「 $30+20$ 」「 $50-20$ 」の例題	16
	③	3けたの数	・「10を14こあつめた数」「230は10を何こあつめた数」の例題	2
	④	3けたの数	・「 $300+200$ 」「 $600-200$ 」「 $500+30$ 、 $530-30$ 」の例題	10
		たし算とひき算のひっ算	・「 $415+32$ 」「 $345-21$ 」「 $18+345$ 」「 $526+9$ 」「 $483-27$ 」「 $524-6$ 」の例題	12
	⑤	かけ算(2)	・九九の表を拡張し、「1位数 $\times$ 12までの数」及び「12までの数 $\times$ 1位数」の表に答えを記入	0
	⑥	大きい数のしくみ	・「25を10倍」「250を10で割る」「25の100倍」の例題	4
⑦	大きい数のわり算、分数とわり算	・「 $60\div 3$ 」「 $69\div 3$ 」の例題	8	
大 日 本	①	大きなかず	・「おはじきの数を数字でかく」の例題	4
	②	大きなかず	・「 $40+30$ 」「 $50-30$ 」「 $32+6$ 」「 $38-6$ 」の例題	24
	③	100より大きい数	・「10を13こあつめた数」「10を28こあつめた数」「160は10をいくつあつめた数」「250は10をいくつあつめた数」の例題	7
	④	たし算とひき算のひっ算	・「 $327+68$ 」「 $8+459$ 」「 $582-63$ 」「 $713-5$ 」の例題	7
		1000より大きい数	・「 $700+400$ 」「 $900-400$ 」の例題	9
	⑤	かけ算のきまり	・九九の表を拡張し、「1位数 $\times$ 12までの数」及び「12までの数 $\times$ 1位数」の表に答えを記入	2
	⑥	10000より大きい数	・「20を10倍」「32を10倍」「32を100倍」「32を1000倍」「200を10で割る」「450を10で割る」の例題	19
⑦	答えが2けたになるわり算	・「 $60\div 3$ 」「 $69\div 3$ 」の例題	10	
学 図	①	大きいかずをかぞえよう	・「ブロックの数を数える」の例題	4
	②	大きいかずをかぞえよう	・「 $20+30$ 」「 $23+6$ 」「 $50-20$ 」「 $38-5$ 」の例題	26
	③	1000までの数	・「230は10を何こあつめた数」の例題	3
	④	大きい数のたし算とひき算	・「 $400+300$ 」「 $700+300$ 」「 $628+7$ 」の例題	12
大きい数のたし算とひき算		・「 $500-300$ 」「 $753-6$ 」の例題	16	



【算数】

	内容項目	単元名	スパイラルに取り扱われている内容	練習問題数
	⑤	かけ算（3）	・3の段の九九を拡張し、「 $3 \times 10$ 」「 $3 \times 11$ 」「 $3 \times 12$ 」を計算	2
	⑥	大きい数	・「20の10倍」「150を10で割る」の例題	25
	⑦	わり算	・「 $80 \div 4$ 」「 $36 \div 3$ 」の例題	6
教出	①	大きなかず	・「たねの数を数える」の例題	4
	②	大きなかず	・「 $30+20$ 」「 $60-20$ 」「 $24+3$ 」「 $36-4$ 」の例題	12
	③	100より大きい数	・「10を16こあつめた数」「250は10を何こあつめた数」の例題	5
	④	たし算とひき算	・「 $437+6$ 」「 $719+33$ 」「 $282-6$ 」「 $271-34$ 」の計算の仕方	16
		100より大きい数	・「 $300+400$ 」「 $700-200$ 」「 $430+20$ 」「 $360-40$ 」の計算の仕方	10
	⑤	九九の表	・「 $4 \times 10$ 、 $4 \times 11$ 、 $4 \times 12$ 」「 $10 \times 4$ 、 $11 \times 4$ 、 $12 \times 4$ 」の求め方を考え、九九表を「1位数 $\times 12$ までの数」「12までの数 $\times 1$ 位数」の範囲に拡張	0
	⑥	10000より大きい数	・「20の10倍」「25の10倍」「25の100倍、1000倍」「200を10で割る」の例題	12
⑦	わり算	・「 $60 \div 3$ 」「 $69 \div 3$ 」の計算の仕方	10	
啓林館	①	大きいかず	・「ぼうの数を数字でかく」の例題	3
	②	100までのかずのけいさん	・「 $40+30$ 」「 $70-20$ 」「 $20+6$ 」「 $34-4$ 」「 $32+5$ 」「 $27-4$ 」の例題	32
	③	100をこえる数	・「10を24こあつめた数」「360は10を何こあつめた数」の例題	2
	④	たし算とひき算のひっ算（2）	・「 $234+57$ 」「 $381-53$ 」の計算の仕方	8
		100をこえる数	・「 $200+400$ 」「 $800-600$ 」の例題	6
	⑤	かけ算のきまり	・「 $4 \times 12$ 」の立式と答えの求め方 ・「 $12 \times 4$ 」の立式と答えの求め方	2
	⑥	一万をこえる数	・「20の10倍」「25の10倍」「25の100倍」「25の1000倍」「50を10で割る」「250を10で割る」の例題	17
⑦	わり算	・「 $40 \div 4$ 」「 $60 \div 3$ 」「 $69 \div 3$ 」の計算の仕方	11	
日 文	①	20より大きいかず	・「ブロックの数を数字でかく」の例題	4
	②	たしざんとひきざん	・「 $20+30$ 」「 $50-20$ 」「 $20+4$ 」「 $35+3$ 」「 $24-4$ 」「 $26-3$ 」の計算の仕方	27
	③	1000までの数	・「10を13こあつめた数」「240は10を何こあつめた数」の例題	0
	④	たし算とひき算の筆算	・「 $543+24$ 」「 $468+25$ 」「 $156+9$ 」「 $393-52$ 」「 $276-29$ 」「 $324-8$ 」の計算の仕方	20
		10000までの数	・「 $800+500$ 」「 $800-100$ 」の例題	4
	⑤	九九のひょう	・九九の表を拡張し、「1位数 $\times 12$ までの数」及び「12までの数 $\times 1$ 位数」の表に答えを記入	0
	⑥	大きい数	・「20を10倍」「25を10倍」「25の100倍、1000倍」「200を10で割る」の例題	8
⑦	わり算	・「 $60 \div 3$ 」「 $69 \div 3$ 」の立式と計算の仕方	9	

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③興味・関心を高めるための工夫
方法	単元の導入、日常生活や社会とのつながり、単元の終末

第6学年「比例と反比例」			
	単元の導入	日常生活や社会とのつながり	単元の終末
東 書	○ 比例をふり返ろう これまで、ともな って変わるいろい ろな2つの数量の変 わり方を調べてきま した。	○ 比例 ・歩く時間と進む道のり ・水そうに水を入れる時間と水の量 ・フェリーの進む時間と道のり ・自転車で走った時間と道のり ・画用紙の枚数と重さ、厚さ ・新幹線が進む時間と道のり ・ものの高さとかげの長さ ・針金の長さと重さ ・砂の量と重さ ○ 反比例 ・6 kmの道のりを歩くときの時速とかかった時間 ・水そうに水をいっぱいに入れるときの、1分あ たりに入れる水の量と水を入れる時間 ・自動車がA市からB市までの間を走るときの時 速とかかる時間	○ つないでいこう算数の目 ～大切な見方・考え方 ・求めたいことに注目し、 表や式、グラフを使い分 ける。 ・砂の量 $x$ Lと重さ $y$ kgの 関係について調べる。
大 日 本	○ ともなって変わる 2つの量の関係を調 べよう れんさんの学校で は、リサイクルのた めにペットボトルを 集めています。	○ 比例 ・紙の枚数と重さ、厚さ ・くぎの本数と重さ ・肉の重さと代金 ・印刷機の、印刷にかかった時間と印刷した枚数 ・水そうに水を入れる時間と水の深さ ・自動車が走る時間と道のり ・船が進んだ時間と道のり ・電車が走るときの時間と道のり ・電動自転車の走った時間と道のり ・硬貨の重さと枚数 ○ 反比例 ・6 kmはなれたところへ行くときの時速とかかる 時間 ・24 mのリボンを何人かで等分するときの分け る人数と1人分の長さ ・18 m <sup>3</sup> の水を入れるときの、1時間に入れる水 の量とかかる時間 ・電車が160 km進むときの時速とかかる時間	○ 学んだことを生かそう ・水が□L入る水そうがあ ります。1分間に○Lず つ水を入れると△分間で いっぱいになります。 ・□○△のうち1つの値を 決めたときの、残り2つ の値の関係について調べ る。
学 図	○ 紙の枚数を調べる には？ 1年生から6年生 までの自分の“思い 出”を書くことにし ました。	○ 比例 ・紙の枚数と重さ、厚さ ・針金の長さ と重さ ・水そうに入れた水の量と水の深さ ・車が走った時の時間と道のり ・カードの枚数と代金 ・コーラの量とその中に入っている砂糖の量 ・くぎの本数と重さ ・おもりの重さとゴムののびる長さ ・えん筆の本数と代金 ・歩いた時間と道のり ・リボンの長さ と代金 ○ 反比例 ・1人では60日かかる仕事を、仕上げるのに必 要な人数とかかる日数 ・36 kmの道のりを行くときの時速と時間 ・東京から高速道路で静岡まで行くときの時速と 時間	○ 考え方モンスターでふり かえろう！ ・比例の関係にある2つ の量を、表や式、グラ フなどで表すと、どん な関係にあるか見やす くなりました。 ・水そうに入れた水の量 $x$ Lと深さ $y$ cmの関係に ついて調べる。

【算数】

第6学年「比例と反比例」			
	単元の導入	日常生活や社会とのつながり	単元の終末
教出	<p>○ 画用紙は全部で何枚あるのかな。 みんなでコンクールに応募する絵をかくために、たくさんの画用紙を用意しました。</p>	<p>○ 比例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>画用紙の枚数と重さ、高さ</li> <li>水そうに水を入れる時間と水の深さ</li> <li>針金の長さや重さ</li> <li>電車と自動車が同時に出発したときの時間と進んだ道のり</li> <li>ソフトクリーム屋の行列に並ぶ人数と待ち時間</li> <li>階段の段数と高さ</li> <li>自動車の走る時間と進む道のり</li> <li>ボールペンを買った時の本数と代金</li> <li>ジュースのびんの本数とジュースの量</li> </ul> <p>○ 反比例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>36mの道のりを進むときの分速と時間</li> <li>6 m<sup>3</sup>の水そうに水を入れるときの1時間あたりに入れる水の体積といっぱいになる時間</li> <li>20 kmの道のりを進むときの時速と時間</li> </ul>	<p>○ 学んだことを使おう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>はやとさんは、ソフトクリーム屋の行列に並んでいます。</li> <li>行列に並ぶ人数と待ち時間の関係について調べる。</li> </ul>
啓林館	<p>○ ともなって変わる2つの数量は？ 次のことがらについて、ともなって変わる2つの数量を見つけましょう。</p>	<p>○ 比例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水そうに水を入れたときの時間と水の深さ</li> <li>鉄の棒の長さや重さ</li> <li>列車の走った時間と道のり</li> <li>バスの走った時間と道のり</li> <li>マラソン大会で2人が走った時間と道のり</li> <li>画用紙の枚数と重さ、厚さ</li> <li>くぎの重さと本数</li> <li>油の重さと体積</li> <li>船が進む時間と道のり</li> <li>水道から水を出したときの時間と水の量</li> <li>色紙の枚数と厚さ</li> </ul> <p>○ 反比例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>24 kmの道のりを行くときの時速と時間</li> <li>120 kmの道のりを移動するときの時速と時間</li> </ul>	<p>○ 見方・考え方を深めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1冊120円のノートと1冊100円のノートが、あわせて50冊売れました。ノート50冊の売上高は5300円でした。</li> <li>それぞれのノートの冊数と売上高がどのように変わるか、表にかいて調べる。</li> </ul>
日文	<p>○ どのように変わるかな ともなって変わる2つの量を見つけましょう</p>	<p>○ 比例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水そうに水を入れた時間と水の深さ</li> <li>バスが高速道路を走ったときの時間と道のり</li> <li>針金の長さや重さ</li> <li>A班とB班がハイキングで同時に歩き始めたときの歩いた時間と道のり</li> <li>画用紙の枚数と重さ、厚さ</li> <li>歩く時間と道のり</li> <li>おもりの重さとばねののび</li> </ul> <p>○ 反比例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>180 kmはなれたA市からB市へ行くときの、時速とかかる時間</li> <li>水そうに入れる1分あたりの水の量と、いっぱいにするのにかかる時間</li> </ul>	<p>○ 算数ジャンプ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なつみさんは、学校で水資源について学習し、家でも水の節約ができないか、お兄さんに相談してみました。</li> <li>浴そうにお湯をためる場合と、シャワーだけにする場合のどちらが水の節約につながるか調べる。</li> </ul>

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④問題解決的な学習を実施するための工夫
<b>方法</b>	単元の問題解決の過程

第5学年「平面図形の面積」				
	導入	展開①	展開②	他の図形等への発展
東 書	<p>【面積の求め方を考えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 色々な四角形や三角形について、既習と未習の事項を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「下の平行四辺形 ABCD の面積は何cm<sup>2</sup>ですか。」</li> <li>○ 主な発問・めあて <ul style="list-style-type: none"> <li>・「面積の求め方を考えよう。」</li> <li>・「平行四辺形の面積を求める公式をつくろう。」</li> <li>・「平行四辺形の高さについて考えよう。」</li> </ul> </li> <li>○ 既習の面積の求め方の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形（2種類）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「下の三角形 ABC の面積は何cm<sup>2</sup>ですか。」</li> <li>○ 主な発問・めあて <ul style="list-style-type: none"> <li>・「面積の求め方を考えよう。」</li> <li>・「三角形の面積を求める公式をつくろう。」</li> <li>・「三角形の高さについて考えよう。」</li> </ul> </li> <li>○ 既習の面積の求め方の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形（1種類）</li> <li>・既習の図形の半分の面積とみる考え（2種類）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 台形の面積を求める公式を考える。</li> <li>○ ひし形の面積を求める公式を考える。</li> <li>○ 三角形の高さと面積の関係を調べる。</li> <li>○ 既習の面積の求め方の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形（2種類）</li> <li>・既習の図形の半分の面積とみる考え（2種類）</li> <li>・既習の図形に分割する考え（2種類）</li> </ul> </li> </ul>
大 日 本	<p>【面積の求め方を考えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 色々な四角形や三角形について、既習と未習の事項を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「次の平行四辺形の面積を求めましょう。」</li> <li>○ 主な発問・めあて <ul style="list-style-type: none"> <li>・「平行四辺形の面積の求め方を考えよう。」</li> <li>・「平行四辺形の面積を求める公式をつくろう。」</li> <li>・「高さが底边上にない平行四辺形でも、底辺×高さで面積が求められるか考えよう。」</li> <li>・「平行四辺形の高さと面積の関係を調べよう。」</li> </ul> </li> <li>○ 既習の面積の求め方の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形（2種類）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「次の三角形の面積を求めましょう。」</li> <li>○ 主な発問・めあて <ul style="list-style-type: none"> <li>・「三角形の面積の求め方を考えよう。」</li> <li>・「三角形の面積を求める公式をつくろう。」</li> <li>・「高さが底边上にない三角形でも、底辺×高さ÷2で面積が求められるか考えよう。」</li> </ul> </li> <li>○ 既習の面積の求め方の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形（1種類）</li> <li>・既習の図形の半分の面積とみる考え（2種類）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 台形の面積を求める公式を考える。</li> <li>○ ひし形の面積の求め方を考える。</li> <li>○ 一般的な四角形や五角形の面積を工夫して求める。</li> <li>○ 既習の面積の求め方の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形（1種類）</li> <li>・既習の図形の半分の面積とみる考え（2種類）</li> <li>・既習の図形に分割する考え（2種類）</li> </ul> </li> </ul>
学 図	<p>【面積の求め方を考えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 厚紙で作った長方形の枠を傾けて平行四辺形になった場面から、長方形と平行四辺形の面積が等しいか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「右のような長方形と下の平行四辺形の面積を比べてみましょう。」</li> <li>○ 主な発問・めあて <ul style="list-style-type: none"> <li>・「平行四辺形の面積を求める公式はあるのかな。」</li> <li>・「次の平行四辺形の面積を求めましょう。」</li> <li>・「どこが底辺と高さになるのかな。」</li> <li>・「平行四辺形の高さはどこにあるのかな。」</li> <li>・「底辺と高さが等しくて、形が違う平行四辺形の面積は、どんな関係かな。」</li> </ul> </li> <li>○ 既習の面積の求め方の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形（2種類）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「次のような三角形の面積の求め方を考えましょう。」</li> <li>○ 主な発問・めあて <ul style="list-style-type: none"> <li>・「三角形の面積は、どのように求めればよいのかな。」</li> <li>・「三角形の面積を求める公式はあるのかな。」</li> <li>・「三角形の高さはどこにあるのかな。」</li> </ul> </li> <li>○ 既習の面積の求め方の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形（2種類）</li> <li>・既習の図形の半分の面積とみる考え（2種類）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 台形の面積を求める公式を考える。</li> <li>○ ひし形の面積を求める公式を考える。</li> <li>○ 一般的な四角形や五角形の面積を工夫して求める。</li> <li>○ 既習の面積の求め方の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形（4種類）</li> <li>・既習の図形の半分の面積とみる考え（2種類）</li> <li>・既習の図形に分割する考え（2種類）</li> </ul> </li> </ul>

第5学年「平面図形の面積」				
	導入	展開①	展開②	他の図形等への発展
教 出	<p>【四角形や三角形の面積】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 厚紙で作った長方形の枠を傾けて平行四辺形になった場面から、長方形と平行四辺形の面積が等しいか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「平行四辺形の面積の求め方を考えましょう。」</li> <li>○ 主な発問・めあて <ul style="list-style-type: none"> <li>・「平行四辺形の面積を、計算で求める方法を考えましょう。」</li> <li>・「面積の求め方を説明しましょう。」</li> <li>・「下の平行四辺形の面積を比べましょう。」</li> </ul> </li> <li>○ 既習の面積の求め方の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形（2種類）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「下の三角形の面積の求め方を考えましょう。」</li> <li>○ 主な発問・めあて <ul style="list-style-type: none"> <li>・「下の三角形の面積を求めましょう。」</li> <li>・「三角形の面積を、計算で求める方法を考えましょう。」</li> <li>・「面積の求め方を説明しましょう。」</li> </ul> </li> <li>○ 既習の面積の求め方の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形（1種類）</li> <li>・既習の図形の半分の面積とみる考え（2種類）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 台形の面積を求める公式を考える。</li> <li>○ ひし形の面積を求める公式を考える。</li> <li>○ 一般的な四角形の面積を工夫して求める。</li> <li>○ およその面積を求める。</li> <li>○ 既習の面積の求め方の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形（2種類）</li> <li>・既習の図形の半分の面積とみる考え（2種類）</li> <li>・既習の図形に分割する考え（2種類）</li> </ul> </li> </ul>
啓 林 館	<p>【面積】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 色々な四角形や三角形について、面積の求め方を学習した図形を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「直角三角形の面積を求めましょう。」</li> <li>○ 主な発問・めあて <ul style="list-style-type: none"> <li>・「三角形の面積の求め方を考えよう。」</li> <li>・「三角形の面積の公式をつくろう。」</li> </ul> </li> <li>○ 既習の面積の求め方の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形（2種類）</li> <li>・既習の図形の半分の面積とみる考え（2種類）</li> <li>・既習の図形に分割する考え（1種類）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「平行四辺形の面積を求めましょう。」</li> <li>○ 主な発問・めあて <ul style="list-style-type: none"> <li>・「平行四辺形の面積の求め方を考えよう。」</li> <li>・「平行四辺形の面積の公式をつくろう。」</li> <li>・「三角形や平行四辺の高さについて考えよう。」</li> </ul> </li> <li>○ 既習の面積の求め方の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形（3種類）</li> <li>・既習の図形に分割する考え（1種類）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 台形の面積を求める公式を考える。</li> <li>○ ひし形の面積の求め方を考える。</li> <li>○ 多角形の面積の求め方を考える。</li> <li>○ 三角形の面積と高さの関係を調べる。</li> <li>○ 既習の面積の求め方の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形（1種類）</li> <li>・既習の図形の半分の面積とみる考え（2種類）</li> <li>・既習の図形に分割する考え（2種類）</li> </ul> </li> </ul>
日 文	<p>【面積の求め方を考えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 周りの長さが同じ長さの4つの班の花壇について、どの班の花壇が広いか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「下の平行四辺形の面積を求めましょう。」</li> <li>○ 主な発問・めあて <ul style="list-style-type: none"> <li>・「平行四辺形の面積の求め方を考えよう。」</li> <li>・「平行四辺形の面積を求める公式をつくろう。」</li> <li>・「平行四辺形の面積の求め方をさらに考えよう。」</li> </ul> </li> <li>○ 既習の面積の求め方の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形（3種類）</li> <li>・既習の図形の半分の面積とみる考え（1種類）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「下の三角形の面積を求めましょう。」</li> <li>○ 主な発問・めあて <ul style="list-style-type: none"> <li>・「三角形の面積の求め方を考えよう。」</li> <li>・「三角形の面積を求める公式をつくろう。」</li> <li>・「三角形の面積の求め方をさらに考えよう。」</li> </ul> </li> <li>○ 既習の面積の求め方の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形（1種類）</li> <li>・既習の図形の半分の面積とみる考え（1種類）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 台形の面積を求める公式を考える。</li> <li>○ ひし形の面積を求める公式を考える。</li> <li>○ 一般的な四角形の面積を工夫して求める。</li> <li>○ 平行四辺形や三角形の高さと面積の関係を調べる。</li> <li>○ 既習の面積の求め方の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形（1種類）</li> <li>・既習の図形の半分の面積とみる考え（2種類）</li> <li>・既習の図形に分割する考え（2種類）</li> </ul> </li> </ul>

【算数】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤具体的な体験を伴う学習を実施するための工夫
方法	具体的な体験を伴う学習場面の数と具体例

	図形領域			プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための活動		
	学年	学習場面の数	具体例と数	学習場面	日常生活との関連	デジタルコンテンツ
東書	1	8	比べる 6	・第4学年「四捨五入する手順を考えよう」		○
	2	9	調べる 35	・第5学年「倍数を求める手順を考えよう」		○
	3	11	仲間に分ける 7	「正多角形をかく手順を考えよう」		○
	4	26	つくる 11	・第6学年「並べかえ方を考えよう」		○
	5	15	かく 22	「中央値を考えよう」	○	○
	6	12	確かめる 0	「平均値を求めよう」	○	○
			見つける 0	「最頻値を求めよう」	○	○
大日本	1	7	比べる 7	・第1学年「ゴールをめざそう」	○	○
			調べる 38	・第2学年「ねらったますにたどりつこう」		
	2	10	仲間に分ける 6	「かけ算のプログラムをつくろう」	○	○
			つくる 16	・第3学年「おはじとりゲーム」	○	
	3	13	かく 26	「単位へんかんきをつくろう」	○	○
			確かめる 0	・第4学年「アルゴリズムを整理しよう」		
4	32	見つける 2	「変わり方を調べよう」	○	○	
			・第5学年「小数のわり算のひっ算のしかたを整理しよう」	○		
			「正多角形をかこう」	○	○	
			・第6学年「形が同じ図形を見分けよう」	○		
			「比例のグラフをかこう」		○	
学図	1	9	比べる 13	・第1学年「おもいどおりにうごかしてみよう」		○
			調べる 41	・第2学年「「ひとふでがき」のほうほうを考えよう」		○
	2	13	仲間に分ける 7			
			つくる 17	・第3学年「少ない指じで思い通りに動かしてみよう」		○
	3	16	かく 28			
			確かめる 2	・第4学年「どうしたら重さのちがうものをさがすことができるかな」	○	○
4	28	見つける 1				
			・第5学年「正多角形をかいてみよう」		○	
			・第6学年「「ハノイのとう」のリングの動かしかたを考えよう」		○	
5	25					
6	18					

【算数】

	図形領域			プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための活動		
	学年	学習場面の数	具体例と数	学習場面	日常生活との関連	デジタルコンテンツ
教 出	1	7	比べる 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年「めざせ！にんじん」</li> <li>・第2学年「ターゲットの数をつくろう！」</li> <li>・第4学年「ゴールをめざそう！」</li> <li>・第5学年「ゴールをめざそう（正多角形をかいてみよう）」</li> </ul>		○
	2	8	調べる 32			
	3	11	仲間に分ける 6			
	4	31	つくる 11			
	5	20	かく 34			
	6	15	確かめる 0			
啓 林 館	1	10	比べる 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年「ろぼとをうごかしてみよう」</li> <li>・第2学年「むきを考えてプログラムをつくろう」</li> <li>・第3学年「同じアイテムをすべて集めるプログラムをつくろう」</li> <li>・第4学年「人数を求めるプログラムをつくって、ふえ方をくらべよう」</li> <li>・第5学年「正多角形をかくプログラムをつくろう」</li> <li>・第6学年「倍数を見つけるプログラムをつくろう」</li> </ul>		○
	2	13	調べる 44			
	3	17	仲間に分ける 6			
	4	35	つくる 18			
	5	24	かく 34			
	6	21	確かめる 1			
日 文	1	10	比べる 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年「うごきをわけよう！」</li> <li>・第2学年「先生のおつくえにたどりつこう！」</li> <li>・第3学年「じゃんけんゲームをしよう！」</li> <li>・第4学年「すごろくのルールを図に表そう！」</li> <li>・第5学年「正多角形をかくプログラムを考えましょう」</li> <li>・第6学年「ロボくんとお絵かきしよう」</li> </ul>	○	○
	2	18	調べる 36			
	3	16	仲間に分ける 7			
	4	34	つくる 28			
	5	25	かく 29			
	6	14	確かめる 0			

【算数】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥単元や資料等の配列
方法	ページ数、単元数、単元内の構成、単元内の配列と分量

	学年	ページ数 (上・下)	単元数	単元内の構成	単元内の配列と分量〔ページ数〕
					第4学年「B(2)立方体、直方体などの立体図形」 (単元準備、たしかめ除く)
東書	1	169(40・129)	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元プロローグ</li> <li>○ 問題・めあて</li> <li>○ 小発問・解決・まとめ</li> <li>○ 練習問題、補充問題、追加問題 (デジタル)</li> <li>○ 学習のしあげ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・いかしてみよう</li> <li>・たしかめよう</li> <li>・つないでいこう算数の目</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 箱の形の特ちょうを調べよう 14 ページ</li> <li>・形の特徴に注目して立体を分ける〔2〕</li> <li>・面、辺、頂点の数について調べる〔1〕</li> <li>・展開図の続きをかくて直方体をつくる〔2〕</li> <li>・直方体の面や辺などの関係を調べる〔3〕</li> <li>・見取り図をかく〔1〕</li> <li>・平面上の点の位置の表し方を考える〔1〕</li> <li>・空間中の点の位置の表し方を考える〔1〕</li> </ul>
	2	249(132・117)	17		
	3	278(151・127)	18		
	4	306(155・151)	14		
	5	294(149・145)	18		
	6	269	13		
大日本	1	182(41・141)	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新しい学習がはじまるよ</li> <li>○ 問題・めあて</li> <li>○ 小問題・解決・まとめ</li> <li>○ 練習問題、プラス・ワン、追加問題 (デジタル)</li> <li>○ たしかめ問題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかりチェック</li> <li>・単元全体をふりかえろう</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 箱の形の特ちょうを調べよう 15 ページ</li> <li>・形の特徴に注目して立体を分ける〔2〕</li> <li>・頂点、辺、面の数について調べる〔1〕</li> <li>・展開図を写し取り直方体を組み立てる〔2〕</li> <li>・展開図をかき立方体を組み立てる〔1〕</li> <li>・直方体の面や辺などの関係を調べる〔3〕</li> <li>・見取り図をかく〔1〕</li> <li>・平面上の点の位置の表し方を考える〔1〕</li> <li>・空間中の点の位置の表し方を考える〔1〕</li> </ul>
	2	251	17		
	3	271	18		
	4	295	15		
	5	293	18		
	6	273	13		
学図	1	205(99・106)	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ はてなを発見</li> <li>○ 問題・めあて</li> <li>○ 小問題・解決・まとめ</li> <li>○ 練習問題</li> <li>○ できるようになったこと</li> <li>○ まなびをいかそう</li> <li>○ ふりかえろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 箱の形のとくちょうや作り方を調べよう 18 ページ</li> <li>・形の特徴に注目して立体を分ける〔1〕</li> <li>・頂点、辺、面の数について調べる〔1〕</li> <li>・正しい展開図を選ぶ〔2〕</li> <li>・展開図の続きをかくて直方体をつくる〔1〕</li> <li>・立方体の展開図を考え説明する〔1〕</li> <li>・直方体の面や辺などの関係を調べる〔3〕</li> <li>・見取り図をかく〔2〕</li> <li>・平面上の点の位置の表し方を考える〔2〕</li> <li>・空間中の点の位置の表し方を考える〔1〕</li> </ul>
	2	306(165・141)	22		
	3	319(149・170)	20		
	4	339(158・181)	21		
	5	354(174・180)	21		
	6	260 別冊 48	15 別冊 2		
教出	1	188	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ どんな学習がはじまるかな？</li> <li>○ 問題・めあて</li> <li>○ 小問題・解決・まとめ</li> <li>○ 練習問題、ステップアップ算数</li> <li>○ 学んだことを使おう</li> <li>○ ふりかえろう、たしかめよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 立体 16 ページ</li> <li>・形の特徴に注目して立体を分ける〔2.5〕</li> <li>・囲まれた面について調べる〔0.5〕</li> <li>・面、頂点、辺の数について調べる〔1〕</li> <li>・直方体の面や辺などの関係を調べる〔3〕</li> <li>・展開図の続きをかくて直方体をつくる〔1.5〕</li> <li>・展開図から垂直などの関係を調べる〔0.5〕</li> <li>・見取り図をかく〔1〕</li> <li>・平面上の点の位置の表し方を考える〔2〕</li> <li>・空間中の点の位置の表し方を考える〔1〕</li> </ul>
	2	281(153・128)	17		
	3	306(160・146)	18		
	4	354(178・176)	17		
	5	312	16		
	6	290	12		
啓林館	1	192(48・144)	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ じゅんび</li> <li>○ 問題・めあて</li> <li>○ 小問題・解決・まとめ</li> <li>○ 練習問題、もっと練習</li> <li>○ 学びのまとめ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・たしかめよう</li> <li>・ふりかえろう</li> <li>・やってみよう</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 直方体と立方体 15 ページ</li> <li>・面の形に注目して立体を調べる〔1〕</li> <li>・展開図をかくて直方体を組み立てる〔2〕</li> <li>・展開図をかくて立方体を組み立てる〔1〕</li> <li>・直方体の面や辺などの関係を調べる〔3〕</li> <li>・見取り図をかく〔2〕</li> <li>・平面上の点の位置の表し方を考える〔2〕</li> <li>・空間中の点の位置の表し方を考える〔1〕</li> </ul>
	2	271(136・135)	17		
	3	276(147・129)	20		
	4	293(161・132)	16		
	5	281	18		
	6	271	13		
日文	1	193(46・147)	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次の学習のために</li> <li>○ 問題・めあて</li> <li>○ 小問題・解決・まとめ</li> <li>○ 練習問題、練習 (デジタル)</li> <li>○ 学習をたしかに                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかっているかな</li> <li>・たしかめよう</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いろいろな箱の形を調べよう 15 ページ</li> <li>・形の特徴に注目して立体を分ける〔2〕</li> <li>・頂点、辺、面の数について調べる〔1〕</li> <li>・見取り図をかく〔1〕</li> <li>・展開図の続きをかくて直方体をつくる〔1〕</li> <li>・展開図をかくて立方体を組み立てる〔1〕</li> <li>・直方体の面や辺などの関係を調べる〔3〕</li> <li>・平面上の点の位置の表し方を考える〔1〕</li> <li>・空間中の点の位置の表し方を考える〔1〕</li> </ul>
	2	301(161・140)	17		
	3	317(170・147)	18		
	4	338(167・171)	17		
	5	325	17		
	6	295	14		



【算数】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑦中学校の学習内容と関連する内容
<b>方法</b>	発展的な学習の事例

	第6学年		中学校の 主な学習内容との関連
	発展的な学習に関する事例 〔ページ数〕	学習指導要領の 内容	
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いろいろなグラフ〔1〕</li> <li>○ 全体の様子と一部の様子〔1〕</li> <li>○ 0より小さい数〔2〕</li> <li>○ 作図〔1〕</li> <li>○ 分数で割る計算〔0.75〕</li> <li>○ 相似な図形の面積比〔0.75〕</li> <li>○ 比例の関係〔1〕</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 7.5 ページ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>C変化と関係(1)</li> <li>Dデータの活用(1)</li> <li>A数と計算(1)</li> <li>B図形(1)</li> <li>A数と計算(1)</li> <li>B図形(1)</li> <li>C変化と関係(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2学年 C関数(1)</li> <li>第3学年 Dデータの活用(1)</li> <li>第1学年 A数と式(1)</li> <li>第1学年 B図形(1)</li> <li>全学年 A数と式</li> <li>第3学年 B図形(1)</li> <li>第2学年 C関数(1)</li> </ul>
<b>大 日 本</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相似比と面積比〔0.5〕</li> <li>○ 負の数とその計算〔2〕</li> <li>○ 等式の性質〔1〕</li> <li>○ 作図〔2〕</li> <li>○ 扇形の面積〔1〕</li> <li>○ 確率〔1〕</li> <li>○ 階級の幅〔1〕</li> <li>○ 負の数とその計算〔0.5〕</li> <li>○ 文字を使った式の表し方や計算〔0.5〕</li> <li>○ 方程式〔0.5〕</li> <li>○ 図形の移動〔0.25〕</li> <li>○ 作図〔0.25〕</li> <li>○ 錐体、球の体積〔0.25〕</li> <li>○ 扇形、円錐の表面積〔0.25〕</li> <li>○ 証明〔0.25〕</li> <li>○ 相似〔0.25〕</li> <li>○ 負の数を含めた比例、反比例〔0.25〕</li> <li>○ 階級の幅、代表値、相対度数〔0.25〕</li> <li>○ 確率〔0.25〕</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 12.25 ページ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>B図形(1)</li> <li>A数と計算(1)</li> <li>A数と計算(2)</li> <li>B図形(1)</li> <li>B図形(3)</li> <li>Dデータの活用(2)</li> <li>Dデータの活用(1)</li> <li>A数と計算(1)</li> <li>A数と計算(2)</li> <li>A数と計算(2)</li> <li>B図形(1)</li> <li>B図形(1)</li> <li>B図形(4)</li> <li>B図形(3)</li> <li>B図形(1)(2)</li> <li>B図形(1)</li> <li>C変化と関係(1)</li> <li>Dデータの活用(1)</li> <li>Dデータの活用(2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3学年 B図形(1)</li> <li>第1学年 A数と式(1)</li> <li>第1学年 A数と式(3)</li> <li>第1学年 B図形(1)</li> <li>第1学年 B図形(2)</li> <li>第2学年 Dデータの活用(2)</li> <li>第1学年 Dデータの活用(1)</li> <li>第1学年 A数と式(1)</li> <li>第1学年 A数と式(2)</li> <li>第1学年 A数と式(3)</li> <li>第1学年 B図形(1)</li> <li>第1学年 B図形(1)</li> <li>第1学年 B図形(2)</li> <li>第1学年 B図形(2)</li> <li>第2学年 B図形(2)</li> <li>第3学年 B図形(1)</li> <li>第1学年 C関数(1)</li> <li>第1学年 Dデータの活用(1)</li> <li>第2学年 Dデータの活用(2)</li> </ul>
<b>学 図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 方程式〔0.5〕</li> <li>○ 階級の幅〔2〕</li> <li>○ 四則の可能性〔2〕</li> <li>○ 角錐と角柱、円錐と円柱の体積比〔1〕</li> <li>○ 角柱、円柱の体積〔2〕</li> <li>○ 扇形の面積〔1〕</li> <li>○ 正負の数〔2〕</li> <li>○ 正負の数の加減〔2〕</li> <li>○ 文字式、方程式〔4〕</li> <li>○ 垂線の作図〔3〕</li> <li>○ 角の二等分線の作図〔1〕</li> <li>○ 伴って変わる量とグラフ〔7〕</li> <li>○ データ分析〔4〕</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 31.5 ページ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A数と計算(2)</li> <li>Dデータの活用(1)</li> <li>A数と計算(1)</li> <li>B図形(4)</li> <li>B図形(4)</li> <li>B図形(3)</li> <li>A数と計算(1)</li> <li>A数と計算(1)</li> <li>A数と計算(2)</li> <li>B図形(1)</li> <li>B図形(1)</li> <li>C変化と関係(1)</li> <li>Dデータの活用(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年 A数と式(3)</li> <li>第1学年 Dデータの活用(1)</li> <li>第1学年 A数と式(1)</li> <li>第1学年 B図形(2)</li> <li>第1学年 B図形(2)</li> <li>第1学年 B図形(2)</li> <li>第1学年 A数と式(1)</li> <li>第1学年 A数と式(1)</li> <li>第1学年 A数と式(2)(3)</li> <li>第1学年 B図形(1)</li> <li>第1学年 B図形(1)</li> <li>第2学年 C関数(1)</li> <li>第1学年 Dデータの活用(1)</li> </ul>

【算数】

	第6学年		中学校の 主な学習内容との関連
	発展的な学習に関する事例 〔ページ数〕	学習指導要領の 内容	
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 扇形の面積 [0.25]</li> <li>○ 反比例のグラフ [0.5]</li> <li>○ 面を動かしてできる立体 [0.25]</li> <li>○ 円柱と角柱の体積、表面積 [1]</li> <li>○ 立体の表面積 [0.25]</li> <li>○ 時間と進んだ道のりを表したグラフ [1]</li> <li>○ 0より小さい数 [1]</li> <li>○ 方眼にかいた正方形の1辺の長さ [1]</li> <li>○ 直角三角形の辺の性質 [1]</li> <li>○ 平方と立方 [1]</li> <li>○ さいころの目の出やすさ [1]</li>   <li>○ 国で違う数の表し方 [1]</li> <li>○ 並べ方と組合せ [1]</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 10.25 ページ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>B図形 (3)</li> <li>C変化と関係 (1)</li> <li>B図形 (4)</li> <li>B図形 (4)</li> <li>B図形 (4)</li> <li>C変化と関係 (1)</li> <li>A数と計算 (1)</li> <li>A数と計算 B図形</li> <li>A数と計算 B図形</li> <li>A数と計算 B図形</li> <li>Dデータの活用 (2)</li>   <li>A数と計算</li> <li>Dデータの活用 (2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年 B図形 (2)</li> <li>第1学年 C関数 (1)</li> <li>第1学年 B図形 (2)</li> <li>第1学年 B図形 (2)</li> <li>第1学年 B図形 (2)</li> <li>第2学年 C関数 (1)</li> <li>第1学年 A数と式 (1)</li> <li>第3学年 A数と式 (1)</li> <li>第3学年 B図形 (3)</li> <li>第1学年 A数と式 (1)</li> <li>第1学年 Dデータの活用 (2)</li> <li>第2学年 Dデータの活用 (2)</li> <li>全学年 A数と式</li> <li>第1・2学年 Dデータの活用</li> </ul>
啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字と式 [0.75]</li> <li>○ 場合の数 [0.75]</li> <li>○ 角錐と角柱の体積比 [0.75]</li> <li>○ 最大値・最小値・範囲 [0.25]</li> <li>○ 階級の幅 [1]</li> <li>○ いろいろな変わり方のグラフ [0.5]</li> <li>○ 反比例のグラフ [0.25]</li> <li>○ 0より小さい数 [0.75]</li> <li>○ 同じ数を何度もかける計算 [0.75]</li> <li>○ 図形の性質、証明 [0.75]</li> <li>○ 伴って変わる数量の関係 [0.5]</li> <li>○ 事柄の起こりやすさ [0.75]</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 7.75 ページ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A数と計算 (2)</li> <li>Dデータの活用 (2)</li> <li>B図形 (4)</li> <li>Dデータの活用 (1)</li> <li>Dデータの活用 (1)</li> <li>C変化と関係 (1)</li> <li>C変化と関係 (1)</li> <li>A数と計算 (1)</li> <li>A数と計算 (2)</li> <li>B図形 (1)</li> <li>C変化と関係 (1)</li> <li>Dデータの活用 (2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年 A数と式 (2)</li> <li>第2学年 Dデータの活用 (2)</li> <li>第1学年 B図形 (2)</li> <li>第1学年 Dデータの活用 (1)</li> <li>第1学年 Dデータの活用 (1)</li> <li>第2学年 C関数 (1)</li> <li>第1学年 C関数 (1)</li> <li>第1学年 A数と式 (1)</li> <li>第1学年 A数と式 (1) (2)</li> <li>第2学年 B図形 (1) (2)</li> <li>第1学年 C関数 (1)</li> <li>第2学年 Dデータの活用 (2)</li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 反比例のグラフ [0.5]</li> <li>○ 扇形の弧の長さを中心角の関係 [1]</li> <li>○ 文字を使った式 [1]</li> <li>○ 反対の性質の量の表し方 [1]</li> <li>○ 分数で表せない数 [1]</li> <li>○ 文字を使った式 [1]</li> <li>○ 等式の性質 [1]</li> <li>○ 扇形の弧の長さや面積 [1]</li> <li>○ 図形の証明 [1]</li> <li>○ 確率 [1]</li> <li>○ 二進数 [2]</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 11.5 ページ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>C変化と関係 (1)</li> <li>B図形</li> <li>A数と計算 (2)</li> <li>A数と計算</li> <li>A数と計算</li> <li>A数と計算 (2)</li> <li>A数と計算</li> <li>B図形 (3)</li> <li>B図形</li> <li>Dデータの活用 (2)</li> <li>A数と計算</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年 C関数 (1)</li> <li>第1学年 B図形 (2)</li> <li>第2学年 A数と式 (1)</li> <li>第1学年 A数と式 (1)</li> <li>第1学年 A数と式 (1)</li> <li>第1学年 A数と式 (2)</li> <li>第1学年 A数と式 (3)</li> <li>第1学年 B図形 (2)</li> <li>第2学年 B図形 (2)</li> <li>第1学年 Dデータの活用 (2)</li> <li>全学年 A数と式</li> </ul>

【算数】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧イラスト・写真・吹き出し等の活用
方法	キャラクター等の活用、視覚資料の扱い、図・表等の扱い、デジタルコンテンツの扱い

	キャラクター等の活用	第6学年 「D データの活用」	デジタルコンテンツの 扱い
		視覚資料の扱い 図・表等の扱い	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクター等</li> <li>・ますりん（双葉の植物）</li> <li>・6人の児童</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 導入</li> <li>・8の字長縄跳びの様子をイラストで表現</li> <li>・1、2、3組の3つのデータを比較</li> <li>○ ドットプロット</li> <li>・⊙で表す</li> <li>○ いろいろなグラフ</li> <li>・日本の少子化、高齢化について、横向き・縦向きの棒グラフ、折れ線グラフで考察</li> <li>・その他、列車の運行状況、荷物の配達料金をグラフで表現</li> <li>○ PPDACサイクル</li> <li>・イラストを使って1ページに集約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ デジタルコンテンツ数 1470</li> <li>・1年 32、2年 241、3年 301、4年 330、5年 337、6年 229</li> <li>・動画、シミュレーション、演習など</li> </ul>
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクター等</li> <li>・ラビちゃん（うさぎ）</li> <li>・6人の児童</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 導入</li> <li>・読書についての図書委員会での話し合いをイラストで表現</li> <li>・10年前と今年の2つのデータを比較</li> <li>○ ドットプロット</li> <li>・○で表す</li> <li>○ いろいろなグラフ</li> <li>・日本の少子化、高齢化について、横向き・縦向きの棒グラフ、折れ線グラフで考察</li> <li>・これまで学習したグラフについてのまとめ</li> <li>○ PPDACサイクル</li> <li>・イラストを使って2ページに集約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ デジタルコンテンツ数 1448</li> <li>・1年 137、2年 203、3年 272、4年 260、5年 308、6年 268</li> <li>・練習問題、シミュレーション、アニメーションなど</li> </ul>
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクター等</li> <li>・卵型のキャラクター</li> <li>・4人の児童</li> <li>・複数のモンスター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 導入</li> <li>・体力テストについての回想や今と昔の子供の体力についての疑問をイラストで表現</li> <li>・15年前と今年の2つのデータを比較</li> <li>○ ドットプロット</li> <li>・○で表す</li> <li>○ いろいろなグラフ</li> <li>・図書室で集めた様々なデータについて、棒グラフ、帯グラフ、円グラフ、ヒストグラムで考察</li> <li>○ PPDACサイクル</li> <li>・イラストを使って1ページに集約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ デジタルコンテンツ数 610</li> <li>・1年 90、2年 122、3年 117、4年 95、5年 116、6年 70</li> <li>・動画、シミュレーション、復習、資料、練習問題など</li> </ul>

【算数】

	キャラクター等の活用	第6学年 「D データの活用」	デジタルコンテンツの 扱い
		視覚資料の扱い 図・表等の扱い	
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクター等</li> <li>・ どんちゃん、ぐりちゃん（どんぐり）</li> <li>・ 6人の児童</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 導入</li> <li>・ 読書についての図書委員会での話し合いをイラストで表現</li> <li>・ 1組と2組の2つのデータを比較</li> <li>○ ドットプロット</li> <li>・ ⊗で表す</li> <li>○ いろいろなグラフ</li> <li>・ 日本の人口について、横向き・縦向きの棒グラフ、折れ線グラフで考察</li> <li>○ PPDACサイクル</li> <li>・ イラストを使って1ページに集約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ デジタルコンテンツ数 591</li> <li>・ 1年 16、2年 87、3年 119、4年 157、5年 119、6年 93</li> <li>・ まとめアニメーション、フラッシュカード、シミュレーション、表計算ソフト、プログラミング教材など</li> </ul>
啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクター等</li> <li>・ えんぴつくん</li> <li>・ 8人の児童</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 導入</li> <li>・ 大縄跳びの様子をイラストで表現</li> <li>・ 赤、青、黄の3つのチームのデータを比較</li> <li>○ ドットプロット</li> <li>・ ○で表す</li> <li>○ いろいろなグラフ</li> <li>・ 日本の人口について、横向きの棒グラフ、折れ線グラフ、帯グラフで考察</li> <li>○ PPDACサイクル</li> <li>・ イラストを使って2ページに集約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ デジタルコンテンツ数 1614</li> <li>・ 1年 259、2年 276、3年 295、4年 306、5年 268、6年 210</li> <li>・ 動かす、動画、解説動画、問題、スライドなど</li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクター等</li> <li>・ クリン（リス）</li> <li>・ 6人の児童</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 導入</li> <li>・ 400mリレーの練習記録を基に、吹き出しで疑問を表現</li> <li>・ AとBの2つのチームのデータを比較</li> <li>○ ドットプロット</li> <li>・ ⊗、○で表す</li> <li>○ いろいろなグラフ</li> <li>・ 日本の人口について、横向きの棒グラフで考察</li> <li>○ PPDACサイクル</li> <li>・ イラストを使って8ページに集約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ デジタルコンテンツ数 838</li> <li>・ ヒントと答え 263、動かす 139、見る 197、確認 22、Web 22、ブロック 36、聞く 11、練習 148</li> <li>・ 動画、アニメーション、シミュレーション、問題、ヒントなど</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑨ 数学的な表現を用いて自分の考えを説明する活動の工夫
<b>方法</b>	学習の流れと説明したり話し合ったりする活動の具体例

	学習の流れ	説明したり話し合ったりする活動の具体例
		第4学年「図形の面積」L字型の図形の面積の求め方
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学びのとびら</li> <li>「今日の問題」</li> <li>「学習のめあて」</li> <li>「考えるときの手がかり」</li> <li>「大切な見方・考え方」</li> <li>「学習のまとめ」</li> <li>「練習問題」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下のような形の面積を求めましょう（方眼上にある）。               <ul style="list-style-type: none"> <li>① L字型（図で表記）はどのような形といえますか。</li> <li>② 自分の考えを、図や式を使ってかきましょう。</li> <li>③ こうたさんとしほさんの考えで、自分の考えとにているものはありますか。にているところを説明しましょう。</li> <li>④ こうたさんとしほさんの考えで、自分の考えとはちがう考えを読み取って、説明しましょう。</li> <li>⑤ 次のページのはるとさんの考えを説明しましょう。</li> <li>⑥ L字型（図で表記）のような形の面積を求めるとき、大切なのはどのような考えですか。</li> </ul> </li> <li>【練習問題】</li> <li>・ 下のような形の面積を、いろいろな方法で求めましょう。</li> </ul>
<b>大 日 本</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 算数の学び方</li> <li>「問題をつかもう」</li> <li>「自分で考えよう」</li> <li>「学び合おう」</li> <li>「まとめよう 使ってみよう」</li> <li>「ふりかえろう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 右のような形の面積を求めましょう（辺の長さが与えられている）。               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 287 ページの図を使って、自分の考えをかきましょう。</li> <li>② 自分の考えを発表しましょう。また、友達が考えた式や図を読み取って、どのような考えか説明しましょう。</li> <li>③ ゆいさんは、右の式で面積を求めました。どのように考えたのか説明しましょう。</li> <li>④ 考えのよいところやにているところについて話し合みましょう。</li> </ul> </li> <li>【練習問題】</li> <li>・ 右のような形の面積を求めましょう。</li> </ul>
<b>学 図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ みんなと学ぼう！算数の学び方</li> <li>「問題」</li> <li>「めあて」</li> <li>「練習問題」</li> <li>「まとめ」</li> <li>「次の学びにつながる？」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次の図形の面積は、何<math>\text{cm}^2</math>ですか（方眼上にある）。               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 次の4人の考えを説明しましょう。                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1<math>\text{cm}^2</math>の正方形の数を数えます。</li> <li>・ 2つの長方形に分けて計算します。</li> <li>・ 大きい長方形を考えて、へこんだところをひいて計算します。</li> <li>・ 動かして1つの長方形にして計算します。</li> </ul> </li> <li>② ①の考えで、いつでも使える考えはどれですか。</li> </ul> </li> <li>【練習問題】</li> <li>・ 右の図形の面積は、何<math>\text{cm}^2</math>ですか。求め方を考えましょう。</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ みんなで算数をはじめよう！</li> <li>「問題をつかむ」</li> <li>「自分の考えをもつ」</li> <li>「話し合って深める」</li> <li>「ふり返ってまとめる」</li> <li>「比べてつなげる」</li> <li>「広げて考える」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下の図形の面積を、必要なところの長さをはかって求めましょう（方眼上にある）。               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 図や式、言葉などを使って、面積の求め方を考えましょう。</li> <li>② みおさんの考えを図で説明しましょう。</li> <li>③ そらさんの考えを式で説明しましょう。</li> <li>④ まなさんとけいさんの考えを式で説明しましょう。</li> <li>⑤ 学習をふり返りましょう。</li> </ul> </li> <li>【練習問題】</li> <li>・ 右のような図形の面積を求めましょう。</li> </ul>

【算数】

	学習の流れ	説明したり話し合ったりする活動の具体例
		第4学年「図形の面積」L字型の図形の面積の求め方
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 算数のとびら</li> <li>算数の学習の進め方</li> <li>「どんな問題かな」</li> <li>「自分で考えよう」</li> <li>「みんなで話しあおう」</li> <li>「たしかめよう、ふりかえろう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次の図形の面積を求めましょう（辺の長さが与えられていない）。</li> <li>㊦面積の求め方を考えて、面積を求めるのに必要な辺の長さをはかりましょう。</li> <li>㊧はるさんの考えで、面積を求めてみましょう。</li> <li>㊨ゆいさんやかずさんの考え方を説明してみましょう。</li> <li>【練習問題】</li> <li>・次の図形の面積を求めましょう。</li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 算数の学習をはじめよう！</li> <li>「どんな問題かな」</li> <li>「考えよう」</li> <li>「学び合おう」</li> <li>「ふり返ろう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 右のような形の面積は、何<math>\text{cm}^2</math>ですか（方眼上にある）。</li> <li>①L字型（図で表記）のような形の面積の求め方について自分の考えをかきましょう。</li> <li>②考えを発表し、L字型（図で表記）のような形の面積の求め方について話し合しましょう。</li> <li>・ゆいさんはどのような考え方で面積を求めたのか、式を見て説明しましょう。</li> <li>・さくらさんはどのような考え方で面積を求めたのか、図や式を見て説明しましょう。</li> <li>③今日の学習をふり返って、わかったことをまとめましょう。</li> <li>【練習問題】</li> <li>・右のような形の面積を求めるのに、ひまりさんは次の式で計算しました。どのように考えて求めたのか、㊦から㊨の図の中から選びましょう。</li> </ul>

【算数】

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑩思考を深めるための記述の工夫
方法	ノート指導の扱いと記載例、ページ数

	ノート指導の扱い	記載例 (第6学年)	学年	ページ数
東書	○ 特設ページ「算数マイノートをつくらう」や「算数マイノートを学習に生かそう」を設け、児童のノートを例示し、書き方のポイントや学習感想の視点を示している。	○ 日付、問題、自分の考え、友だちの考え、話し合っ て気づいたこと、まとめ、学習感想 ○ 学習感想には、自分の成長を確かめるために、 ・わかったこと ・次に考えてみたいこと ・できるようになったこと ・友だちの考えをきいて思ったこと などを書きます。 ○ コンピューターを使って考えたときは、考えたことを ノートに整理して書こう。	1	0
			2	4
			3	4
			4	4
			5	4
			6	4
大日本	○ 特設ページ「ノートにまとめよう」や「ノートのかき方の例」を設け、児童のノートを例示し、書き方のポイントや振り返りの視点を示している。	○ 日付、ページ数、問題、めあて、見通し、自分の考え、 友だちの考え、まとめ、問題、ふりかえり ○ 学習をふりかえって、次のようなことを書いてみよ う。 ・新しくわかったこと ・友達の考えのよかったところ ・便利だな、すごいなと思ったこと ・次に考えてみたいこと	1	1
			2	2
			3	2
			4	2
			5	2
			6	2
学図	○ 特設ページ「ノート名人になろう」を設け、児童のノートを例示し、書き方のポイントや振り返りの視点を示している。	○ 学習した日、問題、めあて、自分の考え、友だちの考 え、まとめ、ふりかえり、次にやってみたいこと ○ 今日の学びをふりかえって、 ・わかったこと ・気がついたこと ・できるようになったこと ・わからなかったこと を書いておこう。	1	0
			2	2
			3	2
			4	2
			5	2
			6	2
教出	○ 特設ページ「友だちのノートを見てみよう」を設け、児童のノートを例示し、書き方のポイントや感想の視点を示している。	○ 日付、ページ数、問題、②はてな、自分の考え、友だ ちの考え・気づき、まとめ、①なるほど、感想 ○ 感想 ・新しくわかったこと ・がんばって考えたこと ・いいなと思った考え方 ・これまでの学習とつなげられること ・②が①に変わったこと ・もっとやってみたいこと ○ 考えたことをコンピューターを使って書いたり、伝え たりしてもいいね。	1	0
			2	4
			3	4
			4	4
			5	4
			6	4
啓林館	○ 特設ページ「算数ノートをつくらう」を設け、児童のノートを例示し、書き方のポイントを示している。	○ 学習した日、問題、めあて、自分の考え、友だちの考 え、まとめ、ふりかえり ○ まとめ、ふりかえり 学習をふりかえって、まとめや感想をかこう。	1	0
			2	1
			3	1
			4	1
			5	1
			6	1
日文	○ 特設ページ「算数ノートをつくらう」を設け、児童のノートを例示し、書き方のポイントや振り返りの視点を示している。	○ 日付、問題、めあて、見通し、自分の考え、友だちの 考え、メモ、まとめ、ふりかえり ○ ふりかえり 自分や友達の考えのよかったところやもっと知りたい ことをかく。	1	2
			2	4
			3	4
			4	4
			5	2
			6	2

## 理 科

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい理科
4	大 日 本	新版 たのしい理科
11	学 図	みんなと学ぶ 小学校 理科
17	教 出	未来をひらく 小学理科
26	信 教	楽しい理科
61	啓 林 館	わくわく理科

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標とまとめの示し方	単元のねらいの示し方、単元末のまとめの扱い
		② 知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫	日常生活や社会との関連付けを図る内容の扱い、補充的な学習や発展的な学習の分量、ものづくりの数
		③ 観察・実験の技能を習得させるための工夫	問題解決のための観察・実験の数、観察・実験の準備と手順の扱い、観察・実験における安全確保の工夫、実験用ガスコンロの操作の扱い
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	興味・関心をもたせるための問題の数、単元の導入の工夫
		⑤ 問題解決の力を育成するための工夫	学習の進め方の示し方、問題解決の過程の示し方、問題発見の工夫、問題解決の力の育成の扱い
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 単元や資料等の配列	判型、ページ数、単元数、単元以外の具体的内容
		⑦ 社会の変化に伴う課題への対応	防災・減災に関する内容の扱い、プログラミングの体験に関する内容の扱い
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用の工夫	巻頭・巻末等の資料の扱い、イラスト・写真・図表等の示し方の工夫、キャラクターやマーク等の活用
(オ)	言語活動の充実	⑨ 観察・実験の結果を整理し、考察する学習活動の工夫	考察文の記述例、考察文の要素
		⑩ 科学的な言葉や概念を使用して自分の考えを論述する活動の工夫	話合いや説明の活動を促す工夫、話合いの具体例



【理科】

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	①単元の目標とまとめの示し方
<b>方法</b>	単元のねらいの示し方、単元末のまとめの扱い

	単元のねらいの示し方	単元末のまとめの扱い
<b>東書</b>	○ 問題をつかむための活動「レッツトライ！」を設け、「～考えよう。」「～してみよう。」等の呼び掛けの形で問題等を提示している。また、対話しているイラスト等を用いて、学習の視点等を示している。	○ 単元末に「ふりかえろう」を設け、学習内容をまとめている。また、学習内容の定着を図るための「たしかめよう」を設けるとともに、最後には、「学んだ後に○○について、知っていることをかこう。」と呼び掛けている。
<b>大日本</b>	○ 生活や自然の中での事物・現象の写真を示し、「～気付いたことを話し合しましょう。」等の呼び掛けの形で問題を見いださせている。また、イラストを用いて、学習の視点等を示している。	○ 単元末に学習内容の定着を図るための「確かめよう」や「学んだことを生かそう」を設けている。また、単元でできるようになったこと等について文章で説明させるために「ふり返ろう」を設けている。
<b>学図</b>	○ 「～しましょう。」等の呼び掛けの形や「～でしょうか。」と問いかけの形等で問題を提示している。また、イラストを用いて「～かな」等の問い掛けの形で、問題を提示している。	○ 単元末に学習内容の定着を図るための「ふりかえろう」を設け、単元によっては、最後に「活用 学びを生かそう」を設けている。また、「できるようになった」を設け、単元でできるようになったことの例を示している。
<b>教出</b>	○ 単元の冒頭において、イラストを用いた「～かな？」等の問い掛けの形で問題を提示している。また、既習事項や生活の中での事象を想起させている。	○ 単元末に「ふり返ろう」を設け、学習内容をまとめ、「新しく学習した言葉」を示している。また、学習内容の定着を図るための、「確かめよう」を設けている。さらに、学習の前後で考えが変容した例を示している。
<b>信教</b>	○ 「～を調べてみましょう」等の呼び掛けの形や「～でしょうか。」等の問い掛けの形で問題を提示している。また、イラストを用いて「～かな。」等の問い掛けの形で問題を提示している。	○ 単元末に「ふりかえろう」を設け、学習内容をまとめている。また、学習内容の定着を図るための「たしかめよう」（二次元コード）を設けている。
<b>啓林館</b>	○ 「調べてみましょう。」等の呼び掛けの形や「～でしょうか。」等の問い掛けの形で問題を提示している。また、「思い出そう」で既習事項や生活の中での事象を想起させている。	○ 単元末の「ふり返ろう まとめノート」で、学習内容をまとめ、「新しく学習した言葉」を示している。また、学習した内容の定着を図るための「たしかめよう」「活用しよう」「もう一度 考えよう」を設けている。

## 【理科】

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	②知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫
<b>方法</b>	日常生活や社会との関連付けを図る内容の扱い、補充的な学習や発展的な学習の分量、ものづくりの数

	日常生活や社会との 関連付けを図る内容の扱い	学 年	補充的な学習 (ページ数)	発展的な学習 (ページ数)	ものづくりの 数
東 書	○ 「こんなところにも！理科の世界探検部」で、学習内容が実生活・実社会に関連付けられている内容を掲載している。また、「広げよう！理科の発想」で、日常生活での現象を取り上げ、説明させている。	3	9	2.5	10
		4	11	2.5	4
		5	9	2.5	6
		6	9	1.5	6
大 日 本	○ 「りかのたまてばこ」において、学習内容が実生活・実社会に関連付けられている内容を掲載している。「学んだことを生かそう」では、日常での現象を取り上げ、説明させている。	3	18.5	4.75	17
		4	16	9	8
		5	16.5	5.5	7
		6	17.75	10	5
学 図	○ 「もっとしりたい」において、学習内容が仕事や生活に生かされている様子を掲載している。「やってみよう」では、日常生活での現象を取り上げ、説明させている。	3	12	2.75	14
		4	11.5	1.75	5
		5	14.75	6.5	5
		6	13	4.75	7
教 出	○ 「資料」や「科学のまど」において、学習内容が実生活・実社会に関連付けられている内容を掲載している。「学びを広げよう」では、日常生活での現象を取り上げ、説明させている。	3	11.5	2.25	9
		4	12	3.25	7
		5	9	5.75	7
		6	9	4.75	3
信 教	○ 「しりょう」において、科学者の発明や学習内容が実生活・実社会に関連付けられていることを意識させる資料を掲載している。	3	9	4.75	13
		4	11	5.5	8
		5	11	5.5	8
		6	8	4.75	5
啓 林 館	○ 「理科の広場」や「くらしとリンク」において、学習内容が実生活・実社会に関連付けられている内容を掲載している。また、「活用しよう」で、日常生活での現象を取り上げ、説明させている。	3	10	3.75	9
		4	10	3	5
		5	12	4.5	5
		6	11	7.5	3

(注) 1ページ未満の場合は、約0.25、0.5、0.75ページとしてカウントしている。

(注) 「信教」の「補充的な学習」は、二次元コードにより閲覧することができる補充的な学習のページをカウントしている。

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	③観察・実験の技能を習得させるための工夫
<b>方法</b>	問題解決のための観察・実験の数、観察・実験の準備と手順の扱い、観察・実験における安全確保の工夫、実験用ガスコンロの操作の扱い

	観察・実験の数		観察・実験の準備と手順の扱い	観察・実験における安全確保の工夫	実験用ガスコンロの操作の扱い
	学年	数			
東書	3	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備物の記載がある。</li> <li>○ 番号で手順を示し、写真や図等を用いて説明している。</li> <li>○ 器具の使い方を巻末に掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全に対して配慮が必要な箇所に、「きけん」マークを付し、意味や対処の仕方を赤文字で示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末「実験用ガスコンロの使い方」において、1ページで示している。</li> <li>○ 点検、着火、調節、消火の手順を写真10点で示している。</li> <li>○ 「きけん」マークで4項目を示している。</li> </ul>
	4	32			
	5	21			
	6	25			
大日本	3	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備物の記載はないが、二次元コードで示している。</li> <li>○ 番号で手順を示し、写真や図等を用いて説明している。</li> <li>○ 器具の使い方を巻末に掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全に対して配慮が必要な箇所に、「注意」マークを付し、赤線で枠を設け、意味や対処の仕方を赤文字で示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末「使い方を覚えよう」において、1ページで示している。</li> <li>○ 点検、着火、調節、消火の手順を写真6点で示している。</li> <li>○ 「注意」マークで4項目を示している。</li> </ul>
	4	37			
	5	21			
	6	16			
学図	3	34	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備物の記載がある。</li> <li>○ 番号で手順を示し、写真や図等を用いて説明している。</li> <li>○ 器具の使い方を巻末に掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全に対して配慮が必要な箇所に、「注意」マークを付し、意味や対処の仕方を赤文字で示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末「考えよう 調べよう」において、1ページで示している。</li> <li>○ 点検、着火、調節、消火の手順を写真9点とイラスト、二次元コードで示している。</li> <li>○ 「注意」マークで3項目を示している。</li> </ul>
	4	37			
	5	21			
	6	28			
教出	3	29	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備物の記載がある。</li> <li>○ 番号と矢印で手順を示し、写真や図等を用いて説明している。</li> <li>○ 器具の使い方を巻末に掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全に対して配慮が必要な箇所に、「注意」マークや「危険」マークを付し、意味や対処の仕方を赤文字で示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末「使い方・調べ方」において、1ページで示している。</li> <li>○ 点検、着火、調節、消火の手順を写真7点と二次元コードで示している。</li> <li>○ 「きけん」マークで2項目を示している。</li> </ul>
	4	33			
	5	25			
	6	25			
信教	3	41	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備物の記載がある。</li> <li>○ 番号で手順を示し、写真や図等を用いて説明している。</li> <li>○ 手順と合わせて、初めて使う器具について同ページに掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全に対して配慮が必要な箇所に、「注意」マークを付し、赤線で枠を設け、意味や対処の仕方を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ものの温度と体積」において、1ページで示している。</li> <li>○ 点検、着火、調節、消火の手順を写真8点で示している。</li> <li>○ 「注意」マークで6項目を示している。</li> </ul>
	4	56			
	5	35			
	6	52			
啓林館	3	27	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備物の記載がある。</li> <li>○ 番号と点線で手順を示し、写真や図等を用いて説明している。</li> <li>○ 手順と合わせて、初めて使う器具について同ページに掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全に対して配慮が必要な箇所に、「注意」マークを付し、意味や対処の仕方を赤文字で示している。また、「かん気」や「やけど」等のマークを付している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ものの温度と体積」において、半ページで示している。</li> <li>○ 点検、着火、調節、消火の手順を写真6点と二次元コードで示している。</li> <li>○ 「注意」マークで1項目を示している。</li> </ul>
	4	34			
	5	22			
	6	25			

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	興味・関心をもたせるための問題の数、単元の導入の工夫

	興味・関心をもたせるための問題の数		第3学年「身の回りの生物」における単元の導入の工夫			
	学年	問題数	単元名	単元の導入のための写真やイラストの内容	単元の導入の問いかけ等	キャラクターの吹き出し等の内容と数
東書	3	28	春の生き物	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 植物や動物の写真と野原で児童が写っている見開き写真</li> <li>○ 児童が話し合っているイラスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ どんな色や形、大きさの生き物を見つけたか、たがいに発表し合いましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見つけた生き物のすがたを、くらべてみよう。(他3)</li> </ul>
	4	34				
	5	20				
	6	31				
大日本	3	21	しぜんのかんさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校庭の植物や動物、児童が描かれた見開きイラスト</li> <li>○ 児童が伝え合ったり、話し合ったりしているイラストや生物の写真</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 春になりました。校庭で植物や動物などの生きものをさがして、そのすがたをよく見てみましょう。生きもののすがたについて気づいたことを話し合いましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生きもののすがたをくらべてみよう。(他11)</li> </ul>
	4	26				
	5	21				
	6	23				
学図	3	31	しぜんのかんさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 植物を児童が観察している見開き写真と児童が観察している写真</li> <li>○ 多様な場所の植物や児童が写っている写真や人物イラスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 春になり、校庭や野原にはいろいろな花がさき、虫や鳥なども見られるようになりました。どのようなところに、どのような生き物が見られるでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほかの生き物も、くらべるとちがいがあそうだね。(他10)</li> </ul>
	4	36				
	5	26				
	6	36				
教出	3	33	生き物を調べよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 植物を児童が観察している写真や定規を植物に当てている写真</li> <li>○ 教師や児童が話し合っているイラストや生物の写真</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 春になって、校庭や野原には、タンポポなどの花がたくさん見られるようになりました。身のまわりでよく見られるタンポポは、どのようなすがたをしているかを思い出して、話し合いましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほかに、いろいろな植物や虫などが見られるようになったね。それぞれどんなすがたをしているのかな？(他8)</li> </ul>
	4	35				
	5	21				
	6	29				
信教	3	35	身近なしぜんのかんさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校周辺の自然の様子が描かれた見開きのイラストや人物イラスト、児童が生物を観察している写真</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あたたかくなってきました。学校のまわりや近くの野原に出かけて、身のまわりの植物や動物のようすを調べましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いろいろな花がさいていたね。色や形、大きさをくわしく調べたいな。(他3)</li> </ul>
	4	45				
	5	33				
	6	55				
啓林館	3	28	生き物をさがそう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が植物を観察している見開き写真や動物・植物に分けたイラスト</li> <li>○ 多様な植物や動物を児童が観察しているイラスト、児童が話し合っている写真等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あたたかくなって、いろいろな花がさき、虫が見られるようになりました。校庭や野原に出かけて、生き物をさがしてみよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 動物も植物もどちらも同じ「生き物」だよ。(他5)</li> </ul>
	4	36				
	5	26				
	6	33				

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑤問題解決の力を育成するための工夫
<b>方法</b>	学習の進め方の示し方、問題解決の過程の示し方、問題発見の工夫、問題解決の力の育成の扱い

	学習の進め方の示し方	問題解決の過程の示し方 (第6学年)	問題発見の工夫	問題解決の力の育成の扱い																				
			第4学年 「空気と水の性質」	第5学年「植物の発芽と成長」における「条件に目を向けて調べる」																				
<b>東書</b>	○ 巻頭「理科の学び方」で示している。	①問題をつかむ ・レッツトライ ・問題をつかもう ②調べる ・問題 ・予想しよう ・計画しよう ・観察・実験 ・観察・実験の結果 ③まとめる ・考察しよう ・のぼそう！理科の力 ・まとめ ・広げよう！理科の発想 ・次の問題を見つけよう ・理科の世界探検部	○ 単元の冒頭に袋に空気を閉じ込めて押したり、空気鉄砲に玉をつめて飛ばしたりして活動する様子の写真やイラスト、吹き出し、文を掲載している。	○ 変える条件、変えない条件を区分して条件制御の視点を示すとともに、表中に結果の見通しを位置付けている。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>変える条件</td> <td colspan="2">変えない条件</td> <td rowspan="2">結果の見通し</td> </tr> <tr> <td>温度</td> <td>水</td> <td>空気</td> </tr> <tr> <td>アマワリの空気の温度と同じ。</td> <td rowspan="2">あたえる。</td> <td rowspan="2">ふれている。</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>イマワリの空気より温度を低くする。</td> </tr> </table>	変える条件	変えない条件		結果の見通し	温度	水	空気	アマワリの空気の温度と同じ。	あたえる。	ふれている。		イマワリの空気より温度を低くする。								
変える条件	変えない条件		結果の見通し																					
温度	水	空気																						
アマワリの空気の温度と同じ。	あたえる。	ふれている。																						
イマワリの空気より温度を低くする。																								
<b>大日本</b>	○ 巻頭の「理科の学び方」で示している。	○ 見つけよう ①問題を見つめよう ○ 調べよう ②予想しよう ③計画を立てよう ④調べよう ⑤記録しよう ○ 伝えよう ⑥考えよう ⑦まとめよう ・サイエンスワールド Science World ・資料(りかのたまてばこ)	○ 単元の冒頭に大きなビニル袋に空気を閉じ込め、その袋を押して活動する様子の写真や吹き出し、文を掲載している。	○ 変える条件、変えない条件を区分して条件制御の視点を示すとともに、表中に結果を位置付けている。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2"></td> <td>㉞</td> <td>㉟</td> </tr> <tr> <td>変える条件</td> <td>水</td> <td>あり</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>変えない条件</td> <td>空気</td> <td colspan="2">あり</td> </tr> <tr> <td></td> <td>温度</td> <td colspan="2">同じ温度のところ(約20℃)</td> </tr> <tr> <td>結果</td> <td></td> <td>3つとも発芽した。</td> <td>3つとも発芽しなかった。</td> </tr> </table>			㉞	㉟	変える条件	水	あり	なし	変えない条件	空気	あり			温度	同じ温度のところ(約20℃)		結果		3つとも発芽した。	3つとも発芽しなかった。
		㉞	㉟																					
変える条件	水	あり	なし																					
変えない条件	空気	あり																						
	温度	同じ温度のところ(約20℃)																						
結果		3つとも発芽した。	3つとも発芽しなかった。																					
<b>学図</b>	○ 巻頭の「科学の芽を育てよう」で示している。	○ みつけよう ①みつける ②予想する ③計画を立てる ○ 調べよう ④調べる ⑤整理する ⑥結果から考える ○ まとめよう ⑦まとめる ⑧いかす	○ 単元の冒頭に大きなビニル袋に空気を閉じ込めて活動する様子の写真やイラスト、吹き出し、文を掲載している。	○ 問題解決の過程に沿ったノート記述例を示し、調べる条件、そろえる条件を区分して条件制御の視点を示すとともに、表中に結果の予想を位置付けている。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2"></td> <td>㉞</td> <td>㉟</td> </tr> <tr> <td>調べる条件</td> <td>水</td> <td>水をあたえる</td> <td>水をあたえない</td> </tr> <tr> <td>そろえる条件</td> <td>温度</td> <td colspan="2">教室(      ℃)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>空気</td> <td colspan="2">あり</td> </tr> <tr> <td>結果の予想</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			㉞	㉟	調べる条件	水	水をあたえる	水をあたえない	そろえる条件	温度	教室(      ℃)			空気	あり		結果の予想			
		㉞	㉟																					
調べる条件	水	水をあたえる	水をあたえない																					
そろえる条件	温度	教室(      ℃)																						
	空気	あり																						
結果の予想																								

【理科】

	学習の進め方の示し方	問題解決の過程の示し方 (第6学年)	問題発見の工夫	問題解決の力の育成の扱い																								
			第4学年 「空気と水の性質」	第5学年「植物の発芽と成長」における「条件に目を向けて調べる」																								
教出	○ 巻頭の「学習の進め方」で示している。	○ 問題を見つける ・見つけよう ・問題 ○ 自分の考えをつくる ・予想しよう ・計画しよう ○ 自分の考えを確かめる ・観察・実験 ・結果から考えよう ○ わかったことを表す ・結論 ・学びを広げよう ・新たな問題を見つける	○ 単元の冒頭に空気鉄砲に空気や水を閉じ込めて玉を飛ばして活動する様子の写真やイラスト、吹き出し、文を掲載している。	○ 問題解決の過程に沿ったノート記述例を示す中で、変える条件、同じにする条件を区分して条件制御の視点を示している。 <table border="1" data-bbox="979 465 1433 613"> <tr> <td colspan="2">変える条件</td> <td colspan="2">同じにする条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">空気</td> <td>㊦あたえる</td> <td colspan="2" rowspan="2">空気以外(温度、水、明るさなど)</td> </tr> <tr> <td>㊧あたえない</td> </tr> </table>	変える条件		同じにする条件		空気	㊦あたえる	空気以外(温度、水、明るさなど)		㊧あたえない															
変える条件		同じにする条件																										
空気	㊦あたえる	空気以外(温度、水、明るさなど)																										
	㊧あたえない																											
信教	○ 巻頭の「理科の学習の進め方」で示している。	①自然とふれ合おう ②問題を見つけよう ③予想しよう ④方法を考えよう ⑤調べよう ⑥記録しよう ⑦結果から考えよう ⑧まとめよう	○ 単元の冒頭に水鉄砲で水を飛ばしたり、ペットボトルに空気や水を閉じ込めて押ししたりして活動する様子の写真やイラスト、吹き出し、文を掲載している。	○ 変える条件、変えない条件を区分して条件制御の視点を示している。 <table border="1" data-bbox="979 864 1433 1028"> <tr> <td colspan="2"></td> <td>㊦</td> <td>㊧</td> </tr> <tr> <td>変える条件</td> <td>水</td> <td>あたえる</td> <td>あたえない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">変えない条件</td> <td>空気</td> <td>あり</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>温度</td> <td>教室の温度</td> <td>教室の温度</td> </tr> </table>			㊦	㊧	変える条件	水	あたえる	あたえない	変えない条件	空気	あり	あり	温度	教室の温度	教室の温度									
		㊦	㊧																									
変える条件	水	あたえる	あたえない																									
変えない条件	空気	あり	あり																									
	温度	教室の温度	教室の温度																									
啓林館	○ 巻頭の「理科の楽しみ方」で示している。	①見つける ・問題をつかもう ・問題 ②調べる ・予想 ・計画 ・観察・実験 ・結果 ③まとめる ・考察しよう ・まとめ ・もっと知りたい ・次の問題へ	○ 単元の冒頭に空気鉄砲の玉を飛ばして活動する様子の写真やイラスト、吹き出し、文を掲載している。	○ 変える条件、同じ条件を区分して条件制御の視点を示すとともに、表中に結果の予想、結果を位置付けている。 <table border="1" data-bbox="979 1238 1433 1507"> <tr> <td colspan="2"></td> <td>㊦</td> <td>㊧</td> </tr> <tr> <td>変える条件</td> <td>水</td> <td>水をあたえる。</td> <td>水をあたえない。</td> </tr> <tr> <td>同じ条件</td> <td>温度</td> <td colspan="2">同じ温度の室内</td> </tr> <tr> <td>同じ条件</td> <td>空気</td> <td colspan="2">空気にふれる。</td> </tr> <tr> <td>結果の予想</td> <td></td> <td>すべて発芽する。</td> <td>すべて発芽しない。</td> </tr> <tr> <td>結果(発芽した数)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			㊦	㊧	変える条件	水	水をあたえる。	水をあたえない。	同じ条件	温度	同じ温度の室内		同じ条件	空気	空気にふれる。		結果の予想		すべて発芽する。	すべて発芽しない。	結果(発芽した数)			
		㊦	㊧																									
変える条件	水	水をあたえる。	水をあたえない。																									
同じ条件	温度	同じ温度の室内																										
同じ条件	空気	空気にふれる。																										
結果の予想		すべて発芽する。	すべて発芽しない。																									
結果(発芽した数)																												

(注) 「問題解決の過程の示し方」欄については、順序が明確に示されているものには番号を付している。

(注) 「問題解決の力の育成の扱い」欄の表については、複数掲載されている表の1つを示している。

## 【理科】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑥単元や資料等の配列
<b>方法</b>	判型、ページ数、単元数、単元以外の具体的内容

	判型	学年	ページ数	単元数				単元以外	単元以外の具体的内容 タイトル名(数) (第6学年)
				計	A区分	B区分	AB区分		
東書	A4	3	177	15	7	8	0	8	○ 年間の学習ガイダンスを提示(1) 「6年の理科で学ぶこと」 ○ 問題解決の流れと学習のポイントの提示(1) 「理科の学び方」 ○ 自由研究の計画の立て方や調べ方、まとめ方の例示(1) 「私の研究」 ○ 理科室及び実験器具の使い方の例示(1) 「理科の調べ方を身につけよう」 ○ 1年間の学習のまとめ(1) 「1年間をふりかえろう」 ○ 中学校理科の学習内容の紹介(1) 「中学生になったら」 ○ プログラミングとの関連(1) 「理科とプログラミング」 ○ 動画コンテンツの紹介(1) 「デジタルコンテンツで学びを広げよう」
		4	201	17	5	12	0	8	
		5	169	10	3	7	0	8	
		6	201	12	4	8	0	8	
大日本	A4	3	204	15	7	8	0	4	○ 問題解決の流れと学習のポイントの提示(1) 「理科の学び方」 ○ 自由研究の計画の立て方や調べ方、まとめ方の例示(1) 「自由研究」 ○ 他学年の学習内容を整理(1) 「学びをリンク！」 ○ 理科を学ぶ上での調べ方や学習の進め方の説明や、理科室及び実験器具の使い方の例示、1年間の学習のまとめと演習問題、中学校理科の学習内容の紹介など、理科に必要な技能や資料について提示(1) 「理科の学びに役立てよう」
		4	228	18	5	13	0	4	
		5	196	10	3	7	0	5	
		6	232	12	4	8	0	4	
学図	A B	3	184	15	7	8	0	6	○ 年間の学習ガイダンスを提示(1) 「理科の世界をぼうけんしよう」 ○ 自由研究の計画の立て方や調べ方、まとめ方の例示(1) 「わたしの自由研究」 ○ 科学者の紹介(1) 「科学者を知ろう」 ○ 理科室や実験器具の扱い方、対話の仕方や記録の取り方など、理科に必要な技能や資料を提示(1) 「考えよう調べよう」 ○ 1年間の振り返りと中学校へ向けて(1) 「理科の世界をふりかえろう」 ○ 大事な言葉、教科書に出てくる調べ方や使い方(1) 「大事な言葉・調べ方や使い方」
		4	204	16	5	11	0	6	
		5	192	12	3	9	0	6	
		6	232	12	4	7	1	6	

【理科】

	判型	学年	ページ数	単元数			単元以外	単元以外の具体的内容 タイトル名(数) (第6学年)	
				計	A区分	B区分			
教出	A4 変形 210 mm × 272 mm	3	192	15	8	7	0	10	○ 第5学年の学習の振り返り(1) 「5年で学んだこと」 ○ 問題解決の流れと学習のポイントの提示(1) 「6年で学ぶこと」 ○ 自由研究の計画の立て方や調べ方、まとめ方の例示(1) 「わたしの研究」
		4	232	18	5	13	0	10	○ 理科室の使い方、算数科との関連など、理科に必要な技能や資料についての提示(3) 「使い方・調べ方」「科学館や博物館の利用」「算数とのつながり」
		5	208	13	3	9	1	10	○ 第6学年の学習の振り返り(1) 「6年で学んだこと」 ○ SDGsとの関わりを考える事例を提示(2) 「自分のこととして考えよう」「SDGsミニずかん」
		6	224	12	4	7	1	10	○ 科学者や研究者からのメッセージ(1) 「メッセージ」
信教	A B	3	164	14	6	8	0	6	○ 問題解決の流れと学習のポイントの提示(1) 「理科の学習の進め方」 ○ 理科室の使い方(1) 「楽しい理科室」
		4	192	16	5	11	0	5	○ 自由研究の計画の立て方や調べ方、まとめ方の例示(1) 「やってみよう 自由研究」
		5	156	11	3	8	0	5	○ 中学校理科の学習内容や科学者のメッセージの紹介(1) 「中学校の理科」
		6	188	10	4	6	0	5	○ 動画コンテンツの紹介・説明(1) 「インターネットで調べてみよう」
啓林館	A B	3	184	16	8	8	0	6	○ 問題解決の流れと学習のポイントや第6学年で学ぶ資質・能力、ICTの活用について(1) 「理科ガイダンス」
		4	200	18	5	12	1	6	○ 自由研究の計画の立て方や調べ方、まとめ方の例示(1) 「自由研究」
		5	192	12	3	9	0	6	○ 理科室の使い方(1) 「みんなで使う理科室」 ○ 中学校での学びに向けてのメッセージ(1) 「中学校に向けて」
		6	216	11	4	7	0	6	○ ノートのまとめ方や算数科との関連、ものづくりの紹介など、理科に必要な技能や資料を提示(1) 「オッターの資料室」 ○ 動画コンテンツの紹介や説明(1) 「WaCBT」

(注)「単元数」の「A区分」や「B区分」は、学習指導要領の「A物質・エネルギー」「B生命・地球」の内容を示している。また、「AB区分」は、「A物質・エネルギー」「B生命・地球」を併せた内容を示し、「単元以外」は年間の学習ガイダンス、自由研究、資料等を示している。



【理科】

観点		(ウ) 内容の構成・配列・分量	
視点		⑦社会の変化に伴う課題への対応	
方法		防災・減災に関する内容の扱い、プログラミングの体験に関する内容の扱い	
		<p style="text-align: center;"><b>防災・減災に関する内容の扱い</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>プログラミングの体験に関する内容の扱い</b></p>
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「私たちの暮らしと災害」という小単元を設けている。</li> <li>○ 「理科の世界 探検部」において、防災・減災に関する内容を扱っている。</li> <li>○ 「理科室の使い方」において、地震が起きたときの対処についての記述がある。</li> </ul>	<p>単元：第6学年「電気と私たちの暮らし」</p> <p>内容：「人感センサー」を使い、人が近づくと明かりが点き、しばらくすると消えるプログラムを考え、シミュレーションしたり、実際に体験したりするプログラミング体験例を紹介している。</p>	
大日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「防災」マークで関係する箇所を示したり、巻末資料に「災害に備えようブック」を掲載したりしている。</li> <li>○ 「りかのたまたまばこ」「Science Worldサイエンスワールド」「防災」や単元末の問題において、防災・減災に関する内容を扱っている。</li> <li>○ 防災に関する動画の二次元コードを示している。</li> <li>○ 「理科室のきまり」において、地震が起きたときの対処についての記述がある。</li> </ul>	<p>単元：第6学年「私たちの生活と電気」</p> <p>内容：「明るさセンサー」「人感センサー」を使い、発光ダイオードに明かりを点ける2つのプログラム（「暗いとき」と「暗くなって人が通ったとき」）を考え、実際に体験するプログラミング体験例を紹介している。</p>	
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「防災」マークで関係する箇所を示している。</li> <li>○ 「川と災害」「火山の噴火や地震」といった小単元を設けている。</li> <li>○ 「もっと知りたい」において、防災・減災に関する内容を扱っている。</li> <li>○ 「理科室の使い方」において、地震が起きたときの対処についての記述がある。</li> </ul>	<p>単元：第6学年「電気と私たちの生活」</p> <p>内容：LEDを点滅させる2つのプログラム（1回点滅と3回点滅）を考え、シミュレーションを使って体験するプログラミング体験例を紹介している。また、「動きに反応するセンサー」「明るさに反応するセンサー」「温度に反応するセンサー」を紹介している。</p>	
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「台風と災害」「川と災害」「地震や火山と災害」といった小単元を設けている。</li> <li>○ 「科学のまど」「資料」において、防災・減災に関する内容を扱っている。</li> <li>○ 「理科室の使い方」において、地震が起きたときの対処についての記述がある。</li> </ul>	<p>単元：第6学年「電気の利用」</p> <p>内容：ネコの絵を画面の中で鳴きながら半周動かすプログラム例や実際の信号機の動作を再現したミニ信号機を動作させるシミュレーションやプログラミング体験例を紹介している。</p>	
信教	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「しりょう」において、防災・減災に関する内容を扱っている。</li> <li>○ 「調査」として、調べ学習を設けている。</li> <li>○ 「楽しい理科室」において、地震が起きたときの対処についての記述がある。</li> </ul>	<p>単元：第6学年「電気の利用」</p> <p>内容：「人感センサー」を使い、人がいるときに明かりが点き、人がいないときに明かりが消えるプログラムを考え、実際に体験するプログラミング体験例を紹介している。</p>	
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「with the Earth」「暮らしとリンク」において、防災・減災に関する内容を扱っている。</li> <li>○ 「みんなで使う理科室」において、地震が起きたときの対処についての記述がある。</li> </ul>	<p>単元：第6学年「発電と電気の利用」</p> <p>内容：「人感センサー」と「明るさセンサー」を使い、人が近づいて暗かったら明かりが点くプログラムをシミュレーションしたり、実際に体験したりするプログラミング体験例が紹介されている。また、「人感センサー」「温度センサー」を使って実際に体験するプログラミング体験例が紹介されている。</p>	

【理科】

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用の工夫
<b>方法</b>	巻頭・巻末等の資料の扱い、イラスト・写真・図表等の示し方の工夫、キャラクターやマーク等の活用

	巻頭・巻末等の資料の扱い	イラスト・写真・図表等の示し方の工夫	キャラクターやマーク等の活用
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の巻頭には、「〇年の理科で学ぶこと」を掲載している。また、「理科の学び方」で、学習の進め方の資料を掲載している。</li> <li>○ 巻末では、各学年の学習内容を整理した資料を掲載している。また、「理科の調べ方を身につけよう」で、器具の扱い方やノートの書き方等についての資料を掲載している。さらに、「理科とSDGs」「理科とプログラミング」「デジタルコンテンツ」等の資料を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の冒頭では、写真等を使用して、自然事象を提示している。</li> <li>○ 子供のイラストやキャラクターの吹き出しで、疑問を投げ掛けたり、考える視点を示したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題解決の過程（「問題をつかもう」「予想しよう」「計画しよう」「考えよう」等）を表すマークを設定し、矢印でつなぐことで学習の流れを示している。</li> <li>○ 全学年で同じキャラクターが登場し、青枠内に「理科の見方・考え方」を働かせるための学習の進め方や活動のヒントを示している。</li> <li>○ 「思い出そう」のマークで、他教科等での学習や暮らしとのつながりを示している。</li> </ul>
<b>大 日 本</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の巻頭には、写真やマンガ等で学習内容を示した資料を掲載している。また、「理科の学び方」で学習の進め方の資料を掲載している。</li> <li>○ 巻末では、「〇年のまとめ」で、各学年の学習内容を整理した資料を掲載している。また、「理科の学びに役立てよう」で、器具の扱い方やノートの書き方等についての資料を掲載している。さらに、次年度の学習内容や科学者の言葉を紹介する紙面、各学年に応じた資料等を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の冒頭では、写真等を使用して、自然事象を提示している。</li> <li>○ 子供のイラストやキャラクターの吹き出しで、考えるヒントとなる問いや気付き等を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題解決の過程（「問題を見つける」「問題」「予想」「計画」「観察」「実験」「結果」「考察」「結論」等）を表すマークを設定し、ページ左のラインでつながりを示すことで学習の流れを示している。</li> <li>○ 学年ごとに設定されたキャラクターが、問題を見付ける際や考察する際等に登場し、注目点を示している。</li> <li>○ 観察や実験の「ポイント」を示すマークを設定している。</li> </ul>
<b>学 図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の巻頭には、科学の専門家言葉の紹介や「理科の世界をぼうけんしよう」で、各学年で扱う植物についての資料を掲載している。また、「科学の芽を育てよう」において、各学年で特に付けたい力や学習の進め方等の資料を掲載している。</li> <li>○ 巻末では、「理科の世界をふりかえろう」で、各学年の学習内容やできるようになったことを振り返る資料等を掲載している。また、器具の扱い方やノートの書き方等についての資料を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の冒頭では、写真等を使用して自然事象を提示している。</li> <li>○ 子供のイラストと吹き出し等で、考えることを促したり、考える視点を示したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題解決の過程（「問題を見つけよう」「問題」「観察」「実験」「わかったこと」等）を表すマークを設定し、矢印でつなぐことで学習の流れを示している。</li> <li>○ 理科で育成したい「資質・能力」をキャラクターとして示している。</li> <li>○ 単元の冒頭で、その単元で身に付けたい資質・能力を3つに絞り、示している。</li> </ul>

【理科】

	巻頭・巻末等の資料の扱い	イラスト・写真・図表等の示し方の工夫	キャラクターやマーク等の活用
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の巻頭には、SDGsや各学年で主に育成したい力を関連させた「問い」等を掲載している。また、「〇年で学んだこと」では、前学年の学習内容のまとめ資料、「学習の進め方」では、学習の進め方の資料や「ノートのとおり方」の資料等を掲載している。</li> <li>○ 巻末では、「使い方・調べ方」で器具の扱い方等の資料、「〇年で学んだこと」で一年間の学習を振り返る資料、科学館や博物館の紹介資料等を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の冒頭では、写真等を使用して、自然事象を提示している。</li> <li>○ 子供のイラストと吹き出しで、疑問や気付き等を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題解決の過程（「問題」「観察・実験」「結論」等）をマークで設定し、矢印でつなぐことで学習の流れを示している。</li> <li>○ キャクターの吹き出しを「見方のカギ」や「考え方のカギ」として示している。</li> <li>○ 「思い出そう」のマークで、既習事項や生活経験とのつながりを示している。</li> </ul>
信教	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の巻頭には、各学年で主に育成したい力と関連させた自然事象の写真等を掲載している。「理科の学習の進め方」で学習の進め方の資料を掲載している。また、「楽しい理科室」で、理科室の使い方や実験の注意点等についての資料を掲載している。さらに、第3学年では観察の仕方等、第4学年では記録の書き方、第5学年では学習の準備等についての資料を掲載している。</li> <li>○ 巻末では、次学年の学習内容や科学者の資料、二次元コードを利用した動画資料を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の冒頭では、写真等を使用して、自然事象を提示している。</li> <li>○ 子供のイラストと吹き出しで、考える視点を与える疑問や気付き等を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題解決の過程（「見つけよう」「ふしぎ」「なぜ」「問題」「観察」「実験」「結果」「わかったこと」等）をマークで設定し、問題を見付ける場面や自分の考えをもつ場面、学習内容をまとめる場面等、学習の流れを示している。</li> <li>○ 「思い出そう」のマークで、関連する理科の既習事項とのつながりを示している。</li> </ul>
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の巻頭には、各学年の学習内容に関連した自然事象の写真を掲載している。「理科の楽しみ方」で学習の進め方の資料を掲載している。また、「学びの中でICTを活用してみよう」や「季節ごよみ」等の資料を掲載している。</li> <li>○ 巻末の「資料室」では、「かく」「伝える」「しせつの活用」「算数のまど」等の資料を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の冒頭では、写真等を使用して自然事象を提示している。</li> <li>○ 子供のイラストと吹き出しで、考える視点を与える疑問や気付き、考え等を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題解決の過程（「問題」「まとめ」等）をマークで設定し、点線でつなぐことで学習の流れを示している。</li> <li>○ 「思い出そう」のマークで、既習事項や他教科での学習とのつながりを示している。</li> <li>○ 理科の「見方・考え方」のポイントとなる言葉に、緑色のマーカーを引き、示している。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(才) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑨観察・実験の結果を整理し、考察する学習活動の工夫
<b>方法</b>	考察文の記述例、考察文の要素

	第4学年「金属、水、空気と温度」における考察文の記述例			考察文の要素
	空気	水	金属	
<b>東書</b>	○ 「空気は、あたためられると、体積が大きくなり、冷やされると、体積が小さくなります。」	○ 「水は、あたためられると、体積が大きくなり、冷やされると、体積が小さくなります。」 ○ 「温度による水の体積の変わり方は、空気にくらべて、ずっと小さいです。」	○ 「金ぞくは、熱せられると、体積が大きくなり、冷やされると、体積が小さくなります。」 ○ 「温度による体積の変わり方は、空気、水、金ぞくの順に大きいです。」	○ 関連付けられた結論の記述 ○ 比較に基づく特徴の記述 ○ 既習の内容との比較を用いた記述
<b>大日本</b>	○ 「空気の温度が変わると、空気の体積が変わる。」 ○ 「空気はあたためられると体積が大きくなり、冷やされると体積が小さくなる。」	○ 「水も空気と同じように、あたためられると体積が大きくなり、冷やされると体積が小さくなる。」 ○ 「水の体積の変化は、空気にくらべて小さい。」	○ 「金ぞくも、空気や水と同じように、あたためられると体積が大きくなり、冷やされると体積が小さくなる。」 ○ 「金ぞくの体積の変化は、空気や水にくらべてとても小さい。」	○ 関連付けられた結論の記述 ○ 比較に基づく特徴の記述 ○ 既習の内容との比較を用いた記述
<b>学図</b>	○ 「空気は温められて温度が高くなると体積がふえ、冷やされて温度が低くなると体積がへる。」 ○ 「よう器を湯に入れるとせんが飛び出すのは、よう器の中の空気が温められることにより体積がふえ、せんを内側からおすからである。」	○ 「水も空気と同じように、温められて温度が高くなると体積がふえ、冷やされて温度が低くなると体積がへる。」 ○ 「水の体積の変わり方は、空気にくらべると小さい。」	○ 「金ぞくも、温められて温度が高くなると体積がふえ、冷やされて温度が低くなると体積がへる。」 ○ 「金ぞくの体積の変わり方は、空気や水にくらべると、とても小さい。」	○ 関連付けられた結論の記述 ○ 比較に基づく特徴の記述 ○ 既習の内容との比較を用いた記述 ○ 事象を解釈した記述

	第4学年「金属、水、空気と温度」における考察文の記述例			考察文の要素
	空気	水	金属	
教出	○ 「空気は、あたためると体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる。」	○ 「水は、空気と同じように、あたためると体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる。」 ○ 「水の体積の変化は、空気より小さい。」	○ 「金ぞくは、空気や水と同じように、あたためると、体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる。」 ○ 「金属の体積の変化は、空気や水とくらべてひじょうに小さい。」	○ 関連付けられた結論の記述 ○ 比較に基づく特徴の記述 ○ 既習の内容との比較を用いた記述
信教	○ 「空気は、あたためると体積がふえ、冷やすと体積がへる。」	○ 「水の体積は、水の温度が上がるとふえ、温度が下がるとへる。」 ○ 「空気と水の温度による体積の変わり方は、水より空気の方が大きい。」	○ 「金ぞくをあたためたり、冷やしたりすると、空気や水と同じように体積が変わる。」 ○ 「金ぞくの体積の変わり方は、空気や水とくらべて、ずっと小さい。」	○ 関連付けられた結論の記述 ○ 比較に基づく特徴の記述 ○ 既習の内容との比較を用いた記述
啓林館	○ 「空気は、あたためると体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる。」	○ 「水も空気と同じように、あたためると体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる。」 ○ 「空気と水をくらべると、空気のほうが体積の変化が大きく、水のほうが体積の変化が小さくなります。」	○ 「金ぞくも空気や水と同じように、あたためると体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる。」 ○ 「金ぞくの体積の変化は、空気や水の体積の変化にくらべると、小さい。」	○ 関連付けられた結論の記述 ○ 比較に基づく特徴の記述 ○ 既習の内容との比較を用いた記述

観点		(才) 言語活動の充実
視点		⑩科学的な言葉や概念を使用して自分の考えを論述する活動の工夫
方法		話し合いや説明の活動を促す工夫、話し合いの具体例
	話し合いや説明の活動を促す工夫	第5学年「電流がつくる磁界」における話し合いの具体例
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「問題をつかもう」「予想しよう」「計画しよう」「考察しよう」といった学習過程において、児童の対話を示している箇所がある。</li> <li>○ 巻末に「発表のしかた」「話し合いのしかた」として、発表や話し合いの際の留意点を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「電磁石の強さ」の「計画しよう」での対話 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「電流を大きくするには、かん電池2個を直列つなぎにすればいいね。」</li> <li>・ 「そのとき、コイルの導線のまき数は……。」</li> <li>・ 「導線のまき数を多くして調べるときには……。」</li> </ul> </li> </ul>
大日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題を発見する場面や「予想」「計画」「考察」「結論」といった学習過程において、机を挟んで話し合う形で児童の対話を示している箇所がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「電磁石の強さ」の「計画」での対話 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「比べるときは、調べる条件を1つだけ変えて、それ以外の条件は同じにしないといけないね。」</li> <li>・ 「電流の大きさが関係しているか調べるときは、変える条件を…、変えない条件を…。」</li> <li>・ 「かん電池2個を直列つなぎにすると、電流の大きさを大きくすることができたね。」</li> </ul> </li> </ul>
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「問題を見つけよう」「予想」「計画」「考察」といった学習過程に関係付けられた項目において、児童の対話を示している箇所がある。</li> <li>○ 巻末に「伝える・聞く」として、説明の際の留意点を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「電磁石の強さ」の「計画・予想」での対話 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「調べる条件は、「電流の大きさ」だから…。」</li> <li>・ 「そうすると、そろえる条件は、「コイルのまき数」。」</li> <li>・ 「調べる条件は、「コイルのまき数」だから…。」</li> <li>・ 「そうすると、そろえる条件は、「電流の…」。」</li> </ul> </li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「予想しよう」「計画しよう」「結果から考えよう」といった学習過程において、教師と児童との対話を示している箇所がある。</li> <li>○ 巻頭に「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」として、説明の際の留意点を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「電磁石のはたらき」の「計画しよう」での対話 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「かん電池1個のときとかん電池2個の直列つなぎのときであとの条件を同じにして、引き付けるクリップの数を比べればいいです。」</li> <li>・ 「100回まきの電磁石と200回まきの電磁石で、あとの条件を同じにして、引き付けるクリップの数を比べればいいです。」</li> <li>・ 「電流の大きさとコイルのまき数のそれぞれについて、変える条件を決めて、あとの条件を同じにして調べる方法を考えたのですね。」</li> </ul> </li> </ul>
信教	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 気付きを交流したり、意見を交換したりする場面において、机を挟んで話し合う形で児童の対話を示している箇所がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「電じ石の強さ」の「問題」提示後の対話 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「流れる電流を大きくすると、モーターが速く回ったように、電じ石の強さも強くなるのではないかな。」</li> <li>・ 「電流を大きくして比べるときは、導線のまき数を同じにしておかないといけないね。」</li> <li>・ 「導線のまき数を増やすと、電じ石の強さが強くなると思う。」</li> <li>・ 「変える条件、変えない条件に気をつけて、実験の計画を立てましょう。」</li> </ul> </li> </ul>
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「問題をつかもう」「予想」「予想と計画」「まとめ」といった学習過程において、机を挟んで話し合う形での児童の対話や教師と児童との対話を示している箇所がある。</li> <li>○ 巻末に「伝える」として、「話すとき」「聞くとき」「発表するとき」の留意点を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「電磁石の強さ」の「予想と計画」での対話 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「電磁石を強くする条件を予想して、それを確かめる実験の方法を考えてみましょう。」</li> <li>・ 「流す電流を大きくすると、電磁石の力は強くなると思うよ。」</li> <li>・ 「かん電池2個を直列つなぎにすれば、電流を大きくすることができたね。」</li> <li>・ 「エナメル線をまく回数を増やしたら、電磁石の力が強くなると思うよ。」</li> <li>・ 「エナメル線をまく回数を変えるときは、かん電池の数を同じにする必要があるね。」</li> </ul> </li> </ul>

# 生 活

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	どきどき わくわく 新編 あたらしい せいかつ 上 あしたへ ジャンプ 新編 新しい 生活 下
4	大 日 本	新版 たのしいせいかつ 上 だいすき 新版 たのしいせいかつ 下 ひろがれ
11	学 図	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下
17	教 出	せいかつ上 みんな なかよし せいかつ下 なかよし ひろがれ
26	信 教	せいかつ 上 あおぞら せいかつ 下 そよかぜ
38	光 村	せいかつ たんけんたい 上 はじめてが いっぱい せいかつ たんけんたい 下 はっけん だいすき
61	啓 林 館	わくわく せいかつ上 いきいき せいかつ下

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫	飼育単元の学習活動の流れ、住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物
		② 自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫	地域で生活したり働いたりしている人々と児童が関わる写真、四季の変化を対比させたページ
		③ 自分自身や自分の生活について考えるための工夫	学習活動の例、相互評価・他者評価の示し方の例
		④ 生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫	生活のきまりや安全についての扱いや表現の工夫
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 興味・関心を高めるための工夫	単元の導入ページの内容
		⑥ 振り返り表現する活動の工夫	栽培単元におけるワークシートの例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 単元や資料等の配列及び分量	単元名・資料等の配列及び総ページ数、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	キャラクター・マークの工夫
(オ)	言語活動の充実	⑨ コミュニケーション活動を通じた他者との情報交流の設定	多様な表現方法で伝え合う活動の例

【生活】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫
方法	飼育単元の学習活動の流れ、住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物

	飼育単元の学習活動の流れ	住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物 ※表記は教科書の記載のとおり
東 書	○ 〈上〉「いきものと なかよし」 ・「むしを さがそう」 ・「むしと なかよく なるう」 ・「いきものずかん」 ・「やってみよう！ どうぶつの せわを しよう」	ショウリョウバッタ オンブバッタ コオロギ
	○ 〈下〉「生きもの なかよし 大作せん」 ・「学校の ちかくの 生きもの の ことを 話そう」 ・「生きものを さがそう」 ・「生きものを そだてよう」 ・「生きもの の ことを ふりかえろう」 ・「生きもの 図かん」	ダンゴムシ カエル トンボ アゲハ
大 日 本	○ 〈上〉「みんな なかよし」 ・「いきものと なかよく なるう」 ○ 〈上〉「あき だいすき」 ・「むしと なかよく なるう」	コオロギ ショウリョウバッタ
	○ 〈下〉「生きもの はっけん」 ・「見つけた！ 生きもの の ひみつ」	カマキリ やご カタツムリ ダンゴムシ
学 図	○ 〈上〉「生きもの大すき」 ・「なかよく なるう」 ・「もっと やってみたいな」 ○ 〈上〉「虫 大すき」 ・「虫と なかよく なるう」	モルモット
	○ 〈下〉「生きものと 友だち」 ・「生きものを さがそう」 ・「生きものを かおう」 ・「ものしりノート」 ・「生きもの の ふしぎを 見つけよう」 ・「ふりかえろう」 ・「もっと つづけたいな」	ダンゴムシ おたまじゃくし やご アゲハ コオロギ アリ
教 出	○ 〈上〉「なかよく なるうね 小さな ともだち」 ・「わくわくスイッチ」 ・「生きものを さがそう」 ・「もっと なかよく なりたいね」 ・「なにを かんじたかな」 ・「生きもの の そだてかた」 ・「もしも」	ダンゴムシ コオロギ モルモット チャボ
	○ 〈下〉「めざせ 生きもの はかせ」 ・「わくわくスイッチ」 ・「生きものを つかまえよう」 ・「生きものを かって みよう」 ・「生きもの に ついて つたえ合おう」 ・「何を かんじたかな」 ・「生きもの の そだて方」 ・「会いに 行きたい！ せかいの なかまたち」	シオカラトンボ クロオオアリ ショウリョウバッタ アゲハ



【生活】

	飼育単元の学習活動の流れ	住みか・餌等の飼育方法が 示されている生き物 ※表記は教科書の記載のとおり
信 教	○ 〈上〉「いきものと いっしょ①」 ・「かって みたいな」 ・「きょうから いっしょ」 ・「よろこんで くれるかな」 ○ 〈上〉「いきものと いっしょ②」 ・「きょうも げんきかな」 ・「やりたい こと いっぱい」 ・「さあ おはいいり」 ・「さむく なって きたね」 ・「いつもと ちがうね」	やぎ
	○ 〈下〉「いきものと いっしょ③」 ・「おかあさんに なったんだね」 ・「きょうも あいたいよ」 ○ 〈下〉「いきものと いっしょ④」 ・「いつも いっしょだったね」	やぎ
光 村	○ 〈上〉「いきものと なかよし」 ・「いきものを 見つけよう」 ・「いきものと なかよく なろう」 ・「いきものと なかよく なれたかな」 ・「どうぶつを かおう」	ショウリョウバッタ・トノサマバッタ ダンゴムシ コオロギ カマキリ アリ モルモット ハムスター
	○ 〈下〉「生きものと 友だち」 ・「生きものを さがそう」 ・「生きものの せわを しよう」 ・「生きものを くわしく 見て みよう」 ・「大はっけんを つたえよう」 ・「生きものと 友だちに なれたかな」	アゲハ (ナミアゲハ) やご (トンボ) おたまじゃくし (カエル) ダンゴムシ カタツムリ クワガタムシ・カブトムシ
啓 林 館	○ 〈上〉「生きもの 大すき」 ・「わくわくタイム 見た こと がある 生きものは いるか な？」 ・「生きものと なかよく なろう」 ・「やってみよう もっと 生きものと なかよく なろう」 ・「なかよくなれた ことを しょうかいしよう」 ・「大せつな いのち」	ショウリョウバッタ コオロギ ダンゴムシ
	○ 〈下〉「生きもの 大すき 大はっ見」 ・「わくわくタイム どこに どんな 生きものが いるかな」 ・「生きものを さがそう」 ・「生きものを そだてよう」 ・「生きものの ひみつを さがそう」 ・「はっ見した ことを つたえ合おう」 ・「生きものの そだて方」	アゲハ トンボ (やご) カブトムシ・クワガタ カエル (おたまじゃくし) ダンゴムシ

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	②自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫
<b>方法</b>	地域で生活したり働いたりしている人々と児童が関わる写真、四季の変化を対比させたページ

	地域で生活したり働いたりしている人々と児童が関わる写真 ※内容(3)「地域と生活」、(4)「公共物や公共施設の利用」が中心となる単元〈下〉	四季の変化を対比させたページ ※数字は掲載ページ
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動や体験をする場面                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家の人</li> <li>・交番で働く人</li> <li>・消防署で働く人</li> <li>・和菓子屋で働く人</li> <li>・図書館で働く人</li> <li>・グラウンドゴルフの活動をする人</li> <li>・児童館で働く人</li> <li>・公民館で働く人</li> <li>・科学館で働く人</li> </ul> </li> <li>○ 表現する・行為する場面                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家の人</li> <li>・和菓子屋で働く人</li> <li>・図書館で働く人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「こうていで ○○ (季節) を さがそう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・〈上〉 p. 40-41 (夏) →p. 64-65 (秋) →p. 88-89 (冬)</li> <li>→〈下〉 p. 2-3 (春)</li> </ul> </li> <li>○ 「こうえんで ○○ (季節) を さがそう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・〈上〉 p. 42-43 (夏) →p. 66-67 (秋) →p. 90-91 (冬)</li> </ul> </li> <li>○ 「○○ (季節) の ぐらし」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・〈下〉 p. 6-7 (春) →p. 42-43 (夏) →p. 56-57 (秋)</li> <li>→p. 90-91 (冬)</li> </ul> </li> </ul>
<b>大 日 本</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動や体験をする場面                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶屋で働く人</li> <li>・タイ料理店で働く人</li> <li>・駅で働く人</li> <li>・グラウンドゴルフの活動をする人</li> <li>・郵便局で働く人</li> <li>・交番で働く人</li> <li>・和菓子屋で働く人</li> <li>・醤油屋で働く人</li> <li>・グリーンボランティアの活動をする人</li> <li>・移動食品店舗で働く人</li> <li>・車いすの人、介助する人</li> <li>・農家の人</li> <li>・図書館で働く人</li> <li>・消防署で働く人</li> </ul> </li> <li>○ 表現する・行為する場面                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶屋で働く人</li> <li>・図書館で働く人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「がっこうと なかよく なろう」 「きこえて きたよ ○○ (季節) の あしおと」 「校ていには 春が いっぱい」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・〈上〉 p. 28-29 (春) →p. 102-103 (冬) →p. 128-129 (春)</li> <li>→〈下〉 p. 10-11 (春)</li> </ul> </li> <li>○ 「みんなの こうえんで あそぼう」 「こうえんで あきを みつけよう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・〈上〉 p. 48-49 (夏) →p. 84-85 (秋)</li> </ul> </li> <li>○ 「まちに あきが やってきたよ」 「ふゆも たのしい こと いっぱい」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・〈上〉 p. 80-81 (秋) →p. 104-105 (冬)</li> </ul> </li> </ul>
<b>学 図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動や体験をする場面                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・和菓子屋で働く人</li> <li>・パン屋で働く人</li> <li>・消防署で働く人</li> <li>・花屋で働く人</li> </ul> </li> <li>○ 表現する・行為する場面                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・お店で働く人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「まちの きせつ ○○ (季節) かく地の ようす」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・〈下〉 p. 2-3 (春) →p. 18-19 (夏) →p. 20-21 (秋)</li> <li>→p. 36-37 (冬)</li> </ul> </li> </ul>

【生活】

	<p>地域で生活したり働いたりしている 人々と児童が関わる写真 ※内容(3)「地域と生活」、(4)「公共物や 公共施設の利用」が中心となる単元(下)</p>	<p>四季の変化を対比させたページ ※数字は掲載ページ</p>
<p>教 出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動や体験をする場面               <ul style="list-style-type: none"> <li>・和菓子屋で働く人</li> <li>・靴屋で働く人</li> <li>・消防署で働く人</li> <li>・図書館で働く人</li> <li>・おもちゃ屋で働く人</li> </ul> </li> <li>○ 表現する・行為する場面               <ul style="list-style-type: none"> <li>・和菓子屋で働く人</li> <li>・図書館で働く人</li> <li>・靴屋で働く人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「○○(季節)を みつけに いこう」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・〈上〉 p. 42-43 (春) → p. 66-67 (秋) → p. 96-97 (冬)</li> </ul> </li> <li>○ 「のはらの カレンダー」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・〈上〉 p. 106-107 (春～冬)</li> </ul> </li> <li>○ 「ぼかぼか お日さまを よろこんで いるのは だれ」 「夏を 楽しむ くふうは どこ」 「秋は どこに やって 来た」 「北風が はこんで くる ものは なあに」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・〈下〉 p. 20-21 (春) → p. 52-53 (夏) → p. 74-75 (秋) → p. 94-95 (冬)</li> </ul> </li> </ul>
<p>信 教</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動や体験をする場面               <ul style="list-style-type: none"> <li>・製菓店で働く人</li> <li>・獅子舞をする人</li> <li>・図書館で働く人</li> <li>・駅で働く人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「いつもの ばしょ」 「○○(季節)の さんぼみち」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・〈上〉 p. 26-31 (春) → p. 58-63 (夏) → p. 86-91 (秋) → p. 102-107 (冬)</li> </ul> </li> <li>○ 「さんぼみち」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・〈上〉 p. 27-30 (春) → p. 59-62 (夏) → p. 87-90 (秋) → p. 103-106 (冬)</li> </ul> </li> </ul>
<p>光 村</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動や体験をする場面               <ul style="list-style-type: none"> <li>・交番で働く人</li> <li>・パン屋で働く人</li> <li>・図書館で働く人</li> <li>・駅で働く人</li> <li>・農家の人</li> <li>・和菓子屋で働く人</li> <li>・お囃子会で活動する人</li> </ul> </li> <li>○ 表現する・行為する場面               <ul style="list-style-type: none"> <li>・和菓子屋で働く人</li> <li>・図書館で働く人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「きせつの 暮らし ○○(季節)の 生活」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・〈下〉 p. 12-13 (春) → p. 44-45 (夏) → p. 56-57 (秋) → p. 84-85 (冬)</li> </ul> </li> </ul>
<p>啓 林 館</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動や体験をする場面               <ul style="list-style-type: none"> <li>・和菓子屋で働く人</li> <li>・花屋で働く人</li> <li>・交番で働く人</li> <li>・図書館で働く人</li> <li>・公園ボランティアの活動をする人</li> <li>・登下校の見守り隊の人</li> <li>・農家の人</li> <li>・駅で働く人</li> <li>・町工場で働く人</li> </ul> </li> <li>○ 表現する・行為する場面               <ul style="list-style-type: none"> <li>・和菓子屋で働く人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「はるの こうていを たんけんしよう」 「○○(季節)の 校ていに 出て みよう」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・〈上〉 p. 10-11 (春) → p. 42-43 (夏) → p. 68-69 (秋) → p. 98-99 (冬)</li> </ul> </li> <li>○ 「やって みよう こうえんで あそぼう」 「こうえんで あきを さがそう」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・〈上〉 p. 16-17 (春) → p. 70-71 (秋)</li> </ul> </li> </ul>

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	③自分自身や自分の生活について考えるための工夫
<b>方法</b>	学習活動の例、相互評価・他者評価の示し方の例

	学習活動の例 ※内容(9)「自分の成長」が中心となる単元	相互評価・他者評価の示し方の例 ※内容(2)「家庭と生活」(9)、「自分の成長」が中心となる単元
東 書	○ 〈上〉「もう すぐ 2ねんせい」 ・「あたらしい 1ねんせいを しょうたいしよう」 ・「しょうたいした ことを はなしあおう」 ・「1ねんかんを ふりかえろう」 ・「おおきく なった じぶんを みつめよう」 ・「つながる ひろがる」	・「あたらしい 1ねんせいを しょうたいしよう」で、園児からのお礼の言葉を吹き出しで掲載している。 ・「しょうたいした ことを はなしあおう」で、こども園の先生からの評価を吹き出しで掲載している。
	○ 〈下〉「あしたへ ジャンプ」 ・「せい長した 自分の ことを ふりかえろう」 ・「せい長した 自分の ことを 見つめよう」 ・「自分の ことを まとめよう」 ・「ありがとうの 気持ちを つたえよう」 ・「つながる ひろがる」	・「せい長した 自分の ことを 見つめよう」で、友だちからの評価が書かれた「ありがとうカード」や「すごいねカード」を掲載している。 ・こども園の先生からの評価が書かれた「自分の ことを しらべよう」を掲載している。
大 日 本	○ 〈上〉「ふゆ だいすき」 ・「きこえて きたよ ふゆの あしおと」 ・「さむく なっても あそぼうよ」 ・「かぞく だいすきだよ」 ・「もう すぐ 2年生」 ・「きこえて きたよ はるの あしおと」	・「かぞく だいすきだよ」で、家族からの「ぼかぼかする ことば」カードを掲載している。 ・「もう すぐ 2年生」で、互いの成長に対する評価を吹き出しで掲載している。
	○ 〈下〉「わたし ひろがれ」 ・「見つけよう 自分の すてき みんなの すてき」 ・「小さかった ころの 自分に 会いに 行こう」 ・「自分 ひろがれ はっぴょう会」 ・「ありがとうを とどけよう」 ・「みらいに むかって しゅっぱつ」	・「見つけよう 自分の すてき みんなの すてき」で、友だちの良いところやがんばったこと等が書かれたカードを掲載している。 ・「小さかった ころの 自分に 会いに 行こう」で、家族からの評価が書かれた「自分 はっけん カード」を掲載している。
学 図	○ 〈上〉「もうすぐ 2年生」 ・「1年生を ふりかえろう」 ・「もうすぐ 2年生」	・「みんなに つたえよう」で、母親からの手紙を掲載している。 ・「1年生を ふりかえろう」で、友だちからの評価が書かれた「はっ見 カード」を掲載している。
	○ 〈下〉「わたしたんけん」 ・「2年生を ふりかえろう」 ・「みんなの いい ところを 見つけよう」 ・「これまでの わたしを しらべよう」 ・「わかった ことを まとめよう」 ・「はっぴょうしよう」 ・「もっと かがやきたい」	・「みんなの いい ところを 見つけよう」で、友だちの良いところや書かれたカードを掲載している。 ・「もっと かがやきたい」で、担任からの手紙を掲載している。

【生活】

	学習活動の例 ※内容（９）「自分の成長」が中心となる単元	相互評価・他者評価の示し方の例 ※内容（２）「家庭と生活」（９）、「自分の成長」が中心となる単元
教 出	○ 〈上〉「もう すぐ ２年生」 ・「あたらしい １年生を むかえよう」 ・「１年かんを おもい出そう」 ・「なにを かんじたかな」	・「１年かんを おもい出そう」で、吹き出しで評価が書かれた板書を掲載している。 ・「なにを かんじたかな」で、互いの良いところを伝え合うための言葉を吹き出しで掲載している。
	○ 〈下〉「あしたへ つなぐ 自分たんけん」 ・「自分に ついて 思い出そう」 ・「まわりの 人に 聞いて みよう」 ・「何を かんじたかな」 ・「楽しかったね 生活科」 ・「何を かんじたかな」	・「自分に ついて 思い出そう」で、周りの人からの評価が書かれたカードを掲載している。 ・「何を かんじたかな」で、周りの人からの手紙を掲載している。
信 教	○ 〈上〉「もう すぐ 二ねんせい」 ・「だいじな おもいで」 ・「こんな ことが あったよ」 ・「ありがとう 一ねんかん」	・「できるように なったよ」で、家族からの評価を吹き出しで掲載している。 ・「こんな ことが あったよ」で、友だちから評価された事例を掲載している。
	○ 〈下〉「大きく なった わたし」 ・「わたしの たんじょう」 ・「小さい ころの わたし」 ・「大きく なって きた わたし」 ・「ありがとう」 ○ 〈下〉「おもいで いっぱい 生活科」 ・「みんなと すすんで やれたよ」 ・「楽しみだね 三年生」	・「ありがとう」で、母親からの手紙を掲載している。
光 村	○ 〈上〉「もう すぐ みんな ２年生」 ・「ようこそ、わたしたちの 学校へ」 ・「しょうたいした ことを ふりかえろう」 ・「一年かんを おもいだそう」 ・「２年生では、なにを したいかな」	・「にこにこが いっぱい」で、母親からの手紙を掲載している。 ・「しょうたいした ことを ふりかえろう」で、園児からのお礼のカードを掲載している。
	○ 〈下〉「広がれ わたし」 ・「今の わたしは どんな わたし」 ・「今の わたしに なるまでに」 ・「こんなに せいちょうしたんだね」 ・「せいちょうした ことを つたえよう」 ・「３年生も 楽しみだね」	・「今の わたしは どんな わたし」で、友だちの良いところを書いたカードを掲載している。 ・「せいちょうした ことを つたえよう」で、発表に対する聞き手からの評価を吹き出しで掲載している。
啓 林 館	○ 〈上〉「もう すぐ ２年生」 ・「わくわくタイム １年かんを ふりかえろう」 ・「できるように なった ことを あつめよう」 ・「あたらしい １年生を しょうたいしよう」 ・「しょうたいした ことを ふりかえろう」	・「できるように なった ことを あつめよう」で、友だちからの評価が書かれたカードを掲載している。 ・「しょうたいした ことを ふりかえろう」で、幼稚園の先生からの手紙を掲載している。
	○ 〈下〉「これまでの わたし これからの わたし」 ・「わくわくタイム 大きく なった 自分を ふりかえろう」 ・「自分に ついて しらべよう」 ・「自分の せい長を まとめよう」 ・「せい長した 自分を つたえよう」	・「自分に ついて しらべよう」で、友だちからの評価を吹き出しで掲載している。 ・「せい長した 自分を つたえよう」で、祖父母からの手紙を掲載している。

【生活】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	④生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫
方法	生活のきまりや安全についての扱いや表現の工夫

生活のきまりや安全についての扱いや表現の工夫 ※内容(1)「学校と生活」が中心となる単元(上)			
	単元名等、コーナー・マーク	内容	
東 書	単元名等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「どきどき わくわく 1ねんせい」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「がっこうの いちにち」</li> <li>・「はじめまして きょうしつ」</li> <li>・「はじめまして ともだち」</li> <li>・「はじめまして がっこう」</li> <li>・「がっこうって たのしいな」</li> </ul> </li> <li>○ 「がっこう だいすき」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ともだちと がっこうを たんけんしよう」</li> <li>・「がっこうに いる ひとと なかよく なるう」</li> <li>・「がっこうで みつけた ことを つたえよう」</li> <li>・「みんなで つうがくるを あるこう」</li> <li>・「つうがくるの あんぜん」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気の予防に努めること</li> <li>・学校のルールやマナーを守ること</li> <li>・遊びのルールを守ること</li> <li>・適切な挨拶や言葉遣いができること</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気の予防に努めること</li> <li>・交通安全、防犯、防災への意識を高めること</li> <li>・自然災害などの緊急時に適切な行動がとれること</li> <li>・学校のルールやマナーを守ること</li> <li>・適切な挨拶や言葉遣いができること</li> </ul>
	コーナー ・マーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かつどう べんりてちょう」マーク</li> <li>・「やくそく」コーナー</li> <li>・「がっこうに いる ひとと はなそう」コーナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校での安全な生活」「交通安全、防犯、防災」への注意喚起、「様々な人と適切に接すること」への大切さを示している。</li> </ul>
大 日 本	単元名等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「たのしいよ 1ねんせい」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんな よろしくね」</li> <li>・「できるよ やって みるよ」</li> <li>・「わくわくする こと いっぱいだね」</li> <li>・「あぶない！」じぶんを まもる ために」</li> </ul> </li> <li>○ 「みんな なかよし」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「わくわく どきどきを みつけよう」</li> <li>・「ともだちと なかよく なるう」</li> <li>・「がっこうと なかよく なるう」</li> <li>・「つうがくるで みつけたよ」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全、防犯、防災への意識を高めること</li> <li>・学校のルールやマナーを守ること</li> <li>・遊びのルールを守ること</li> <li>・適切な挨拶や言葉遣いができること</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全、防犯、防災への意識を高めること</li> <li>・学校のルールやマナーを守ること</li> <li>・適切な挨拶や言葉遣いができること</li> </ul>
	コーナー ・マーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「きらきら ことば」コーナー</li> <li>・「あんぜんを まもる くふうだね」コーナー</li> <li>・「ちゅうい」マーク</li> <li>・「やくそく」コーナー</li> <li>・「はなしかためいじん」「ききかためいじん」コーナー</li> <li>・「がくしゅう どうぐばこ」マーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校での安全な生活」「交通安全、防犯、防災」への注意喚起、「様々な人と適切に接すること」への大切さを示している。</li> </ul>
学 図	単元名等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「はじまるよ しょうがっこう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なかよく になりたいね」</li> <li>・「みんなであそぼう」</li> <li>・「あんぜんな いき かえり」</li> </ul> </li> <li>○ 「がっこう たんけん」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「がっこうたんけんに いこう」</li> <li>・「もっと くわしく しろう」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気の予防に努めること</li> <li>・交通安全、防犯、防災への意識を高めること</li> <li>・適切な挨拶や言葉遣いができること</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のルールやマナーを守ること</li> <li>・適切な挨拶や言葉遣いができること</li> </ul>
	コーナー ・マーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「めざせ てあらいめいじん」マーク</li> <li>・「あそんだ あとは てを あらおう」コーナー</li> <li>・「やくそく」コーナー</li> <li>・「まなびかたずかん」マーク</li> <li>・「ものしりのうと」コーナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「衛生面・健康」「学校での安全な生活」「交通安全、防犯、防災」への注意喚起、「様々な人と適切に接すること」への大切さを示している。</li> </ul>

【生活】

生活のきまりや安全についての扱いや表現の工夫			
※内容(1)「学校と生活」が中心となる単元〈上〉			
	単元名等、コーナー・マーク	内容	
教出	単元名等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「はじめの いっぼ」</li> <li>・「きょうから 1ねんせい</li>   <li>○ 「わくわく どきどき しょうがっこう」</li> <li>・「がっこうを たんけんしよう」</li> <li>・「じぶんたちで あいに いこう」</li> <li>・「もっと たんけんして みよう」</li> <li>・「げんきに すごそう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気の予防に努めること</li> <li>・適切な挨拶や言葉遣いができること</li>   <li>・病気の予防に努めること</li> <li>・交通安全、防犯、防災への意識を高めること</li> <li>・自然災害などの緊急時に適切な行動がとれること</li> <li>・学校のルールやマナーを守ること</li> <li>・遊びのルールを守ること</li> <li>・適切な挨拶や言葉遣いができること</li> </ul>
	コーナー・マーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「てあらいうがい」マーク</li> <li>・「やくそく」コーナー</li> <li>・「まなびの ぼけっと」マーク</li> <li>・「できるかな」コーナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「衛生面・健康」「学校での安全な生活」「交通安全、防犯、防災」への注意喚起、「様々な人と適切に接すること」への大切さを示している。</li> </ul>
信教	単元名等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「うれしいな いちねんせい」</li> <li>・「おはようございます」</li> <li>・「あそぼうよ」</li> <li>・「さようなら」</li> <li>・「きを つけて かえるよ」</li> <li>・「あしたも がっこうに いきたいな」</li> <li>・「こうていへ いこう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気の予防に努めること</li> <li>・交通安全、防犯、防災への意識を高めること</li> <li>・遊びのルールを守ること</li> <li>・適切な挨拶や言葉遣いができること</li> </ul>
	コーナー・マーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「!きを つけよう!」コーナー</li> <li>・「!あぶない!」コーナー</li> <li>・「がっこうの いろいろな ところ」コーナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「衛生面・健康」「交通安全、防犯、防災」への注意喚起を示している。</li> </ul>
光村	単元名等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「いちねんせいが はじまるよ」</li> <li>・「わたしの がっこう」</li> <li>・「わたし できるよ」</li> <li>・「しりたいな、やって みたいな」</li>   <li>○ 「なかよし いっぱい がっこう たんけん」</li> <li>・「おはなししに いこう」</li> <li>・「みつけたよ、わかったよ」</li> <li>・「つうがくろを たんけんしよう」</li> <li>・「いちばんの はっけんは なにかな」</li> <li>・「がっこうや つうがくろの あんぜん」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気の予防に努めること</li> <li>・適切な挨拶や言葉遣いができること</li>   <li>・病気の予防に努めること</li> <li>・交通安全、防犯、防災への意識を高めること</li> <li>・自然災害などの緊急時に適切な行動がとれること</li> <li>・学校のルールやマナーを守ること</li> <li>・適切な挨拶や言葉遣いができること</li> </ul>
	コーナー・マーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「!きを つけよう」コーナー</li> <li>・「けんこう」マーク</li> <li>・「みて! ○ぺえじ」マーク</li> <li>・「あんぜん」マーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「衛生面・健康」「学校での安全な生活」「交通安全、防犯、防災」への注意喚起、「様々な人と適切に接すること」への大切さを示している。</li> </ul>

【生活】

生活のきまりや安全についての扱いや表現の工夫			
※内容（１）「学校と生活」が中心となる単元〈上〉			
	単元名等、コーナー・マーク	内容	
啓林館	単元名等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「がっこう だいすき いちねんせい」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あたらしい せいかつ」</li> <li>・「あたらしい ともだち」</li> <li>・「あそびが まなびに つながる ひろがる」</li> <li>・「がっこうを あるいて みよう」</li> <li>・「けんこうに すごそう」</li> <li>・「あんぜんに すごそう」</li> </ul> </li> <li>○ 「いくぞ! がっこう たんけんたい」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「がっこうを たんけんしよう」</li> <li>・「がっこうの ひとと はなして みよう」</li> <li>・「はるの こうていを たんけんしよう」</li> <li>・「がっこうの ひみつを しょうかい しよう」</li> <li>・「がっこうの まわりを あるいて みよう」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気の予防に努めること</li> <li>・交通安全、防犯、防災への意識を高めること</li> <li>・自然災害などの緊急時に適切な行動がとれること</li> <li>・学校のルールやマナーを守ること</li> <li>・遊びのルールを守ること</li> <li>・適切な挨拶や言葉遣いができること</li> </ul>
	コーナー・マーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「こんな とき どうしよう」コーナー</li> <li>・「まなびの ひんと」コーナー</li> <li>・「てを あらおう うがいを しよう」マーク</li> <li>・「あんぜんに すごそう」マーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「衛生面・健康」「学校での安全な生活」「交通安全、防犯、防災」への注意喚起、「様々な人と適切に接すること」への大切さを示している。</li> </ul>



観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤興味・関心を高めるための工夫
方法	単元の導入ページの内容

単元の導入ページの内容 ※内容(6)「自然や物を使った遊び」が中心となる単元(下)	
東 書	<p>「うごく うごく わたしのおもちゃ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページ</li> <li>○ 写真 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童4名が教室でゴムを利用して飛ぶおもちゃで遊んでいる様子。</li> <li>・児童3名がグラウンドで風を利用して回るおもちゃで遊んでいる様子。</li> <li>・輪ゴムと乾電池を利用して進むおもちゃの仕組みを考えている様子。</li> </ul> </li> <li>○ 児童及び先生の思いや発言、リード文等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おもちゃを つくって 楽しかったな。また みんなと あそびたいな。」(児童)</li> <li>・「どうして うごくのかな。」(児童)</li> </ul> </li> </ul>
大 日 本	<p>「楽しさ ひろがれ わたしのおもちゃ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページ</li> <li>○ 写真 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童4名が廊下で、風を利用して動くおもちゃで遊んでいる様子。</li> </ul> </li> <li>○ 児童及び先生の思いや発言、リード文等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「楽しそうな おもちゃだね。」(児童)</li> </ul> </li> <li>○ 二次元コード(動画)</li> </ul>
学 図	<p>「作って あそぼう うごく リサイクル おもちゃ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページ</li> <li>○ 写真 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童1名がおもちゃの材料の入った箱を抱え、箱から飛び出したように描写された3つのおもちゃの写真。</li> <li>・児童1名が空気を利用して飛ぶおもちゃで遊んでいる様子。</li> </ul> </li> <li>○ 児童及び先生の思いや発言、リード文等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「むずかしそうだな。うまく 作れるかな。」(児童)</li> <li>・「自分の おもちゃを 作って、みんなで あそぼう。どんな あそびが できるかな。」(リード文)</li> </ul> </li> </ul>
教 出	<p>「作って ためして」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページ</li> <li>○ 写真 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童6名がそれぞれ異なったおもちゃを持っている様子。</li> <li>・児童2名がおもちゃに対する気持ちを話す様子。</li> <li>・先生1名が問いかける様子。</li> </ul> </li> <li>○ 児童及び先生の思いや発言、リード文等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小さい時 空きばこで 車を作った ことが あるよ。」(児童)</li> <li>・「どんな おもちゃを 作ろうかな。」(児童)</li> <li>・「どんな おもちゃを 作ったら 楽しく あそべるかな。」(先生)</li> </ul> </li> <li>○ 活動への興味・関心を高めるフローチャート</li> <li>○ 二次元コード(ワークシート)</li> </ul>

【生活】

	単元の導入ページの内容 ※内容（6）「自然や物を使った遊び」が中心となる単元〈下〉
信 教	<p>「はしれ はしれ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページ 左右両側に開く観音折り。</li> <li>○ 写真 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童3名が走る車のおもちゃを見ている様子。</li> </ul> </li> </ul>
光 村	<p>「あそんで 作って くふうして」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページ</li> <li>○ 写真 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童4名がおもちゃの材料を見ながら考えている様子。</li> <li>・ペットボトル、牛乳パック、ティッシュケース、乾電池等の材料の写真。</li> </ul> </li> <li>○ 児童及び先生の思いや発言、リード文等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「どんなものが、あつまるかな。」(リード文)</li> <li>・「あ！すごく いいこと おもいついた！」(児童)</li> <li>・「わたしも いいこと おもいついた！」(児童)</li> </ul> </li> </ul>
啓 林 館	<p>「せかいで ひとつ わたしのおもちゃ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページ</li> <li>○ 写真 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童3名が「ざいりょう たからばこ」から材料を選んでいる様子。</li> <li>・ペットボトル、牛乳パック、ティッシュケース、毛糸等の材料の写真。</li> </ul> </li> <li>○ 児童及び先生の思いや発言、リード文等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「どんな あそびが できるかな。」(リード文)</li> <li>・「こども園で おもちゃを 作ったよ。」(児童)</li> <li>・「1年生の ときは どんぐりごまを 作ったね。」(児童)</li> <li>・「あつめた もので あそんで みよう。」(リード文)</li> </ul> </li> <li>○ 二次元コード(動画、スライド)</li> </ul>

【生活】

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑥振り返り表現する活動の工夫
<b>方法</b>	栽培單元におけるワークシートの例

		栽培單元におけるワークシートの例	
		様式	具体例（当該單元で最初に掲載されているワークシート） ※（ ）内はワークシートに印刷された文字
<b>東 書</b>	〈上〉「はなを さかせよう」 ○ 絵と記述（1行） ○ 横書き罫線なし		<ul style="list-style-type: none"> <li>・題 （たねを まいたよ）あさがお</li> <li>・絵 あさがおの種3つ</li> <li>・文 「はやくめがでてほしいな。」</li> </ul>
	〈下〉「ぐんぐん そだて わたしの野さい」 ○ タブレットの画面に写真（コメント付き）と記述（5行） ○ 横書き罫線14本		<ul style="list-style-type: none"> <li>・題 しちゅうの立て方（を 教えてください。） （そだてて いる 野さい）ミニトマト</li> <li>・写真 ミニトマトの苗1つ （「強い風がふくと、おれそう」とコメント）</li> <li>・文 「わたしのミニトマトが大きくなってきてたおれそうなので、しちゅうを立てようと思います。アサガオと同じしちゅうだとミニトマトのはっぱが当たってしまいます。みんなは、どうしていますか？」</li> </ul>
<b>大 日 本</b>	〈上〉「みんな なかよし」 ○ 絵と記述（2行） ○ 横書き罫線1本 ○ 気持ちを表現する顔のマーク		<ul style="list-style-type: none"> <li>・題 （かんさつ にっき）あさがお</li> <li>・絵 あさがおの子葉2枚、発芽しそうな種1つ</li> <li>・文 「わたしのあさがおさんがうまれました。おめでとうのうたをうたいました。」</li> </ul>
	〈下〉「春 はっけん」 ○ 絵と記述（4行） ○ 横書き罫線4本		<ul style="list-style-type: none"> <li>・題 （かんさつ 日記）イチゴ</li> <li>・絵 花や実が付いたイチゴの苗複数</li> <li>・文 「3月ごろに花がさいて、やっと4月になってまっかなイチゴができました。大せつにそだてたので、食べるのがとてもたのしみです。」</li> </ul>
<b>学 図</b>	〈上〉「わたしの あさがお」 ○ 絵と記述（2行） ○ 横書き罫線なし ○ 気持ちを表現する顔のマーク		<ul style="list-style-type: none"> <li>・題 （わたしの あさがお）</li> <li>・絵 あさがおの種1つ</li> <li>・文 「めをだしてね」「くろくてちいさいよ」</li> </ul>
	〈下〉「わたしたちの 野さいばたけ」 ○ 絵と記述（7行） ○ 横書き罫線8本 ○ 気持ちを表現する顔のマーク		<ul style="list-style-type: none"> <li>・題 （野さい 日記）そだてる野さいをきめたよ</li> <li>・絵 ナスの苗1つを持った児童1名、ナス2つ</li> <li>・文 「ぼくは、にが手なナスにちょうせんします。自分でそだてたら、すきになれると思ったからです。お店の人が、「なえの方がそだてやすいよ。」と教えてくれました。だから、なえからそだてることにしました。みができるのが、今から楽しみです。」</li> </ul>

		栽培単位におけるワークシートの例	
		内容	具体例（当該単元で最初に掲載されているワークシート） ※（ ）内はワークシートに印刷された文字
教 出	〈上〉「きれいに さいてね わたし の はな」 ○ 絵と記述（3行） ○ 横書き罫線なし		・題 （きれいに さいてね）たねをまいたよ ・絵 あさがおの種1つ ・文 「たねはちいさいな。かわいいな。」
	〈下〉「めざせ 野さい作り名人」 ○ 絵と記述（5行） ○ 横書き罫線6本		・題 （おいしい 野さいに なあれ）ミニトマトのなえをうえたよ ・絵 ミニトマトの苗1本 ・文 「はっぱもくきもみどり色でさわるとざらざらしていました。はっぱのはじっこはぎざぎざしていました。元気にそだってほしいです。」
信 教	〈上〉「わたしの あさがお」 ○ 絵と記述（7行） ○ 縦書き罫線7本		・題 あさがおにつき ・絵 あさがおの種1つ ・文 「たねをもらったよ。こんなにちいさくてくろいたねからどんなはながさくのかな。たねがだいじにしてねっていつてる。」
	〈下〉「いっぱい みのって」 ○ 絵と記述（11行） ○ 縦書き罫線10本		・題 （だいずにつき） ・絵 大豆の種を畑に植えている児童1名 ・文 「おばさんにおしえてもらったようにだいずのたねをまきました。「元気にそだってね。」と、だいずに声をかけながら、まきました。まい日、水やりをちゃんとやろうと思います。」
光 村	〈上〉「さいて ほしいな わたし の はな」 ○ 絵と記述（2行） ○ 横書き罫線3本		・題 （さいて ほしいな わたし の はな）あさがおのたね ・絵 あさがおの種3つ ・文 「いろは、ちやいろとくろです。はやくめがでてほしいです。」
	〈下〉「おいしい やさいを そだて たい」 ○ 絵と記述（5行） ○ 横書き罫線6本		・題 （おいしい やさいを そだてたい）なえをうえた ・絵 ミニトマトの苗1本 ・文 「ミニトマトのなえをうえました。なえにさわると、ゆびがトマトのにおいになって、びっくりしました。おいしいミニトマトができるように、せわをがんばります。」
啓 林 館	〈上〉「わたしの はなを そだて よう」 ○ 絵と記述（3行） ○ 横書き罫線なし		・題 （たねを まいたよ） ・絵 あさがおの種1つ ・文 「すいかみたいなかたちだよ。はやくさいてね。」
	〈下〉「大きく そだて わたし の 野さい」 ○ 絵と記述（5行） ○ 横書き罫線5本		・題 なえをうえたよ ・絵 ミニトマトの苗1本 ・文 「ミニトマトのなえをうえました。野さい名人のささ木さんが「おいしい野さいを作るには、土作りが大切だよ。」と教えてくれました。これからおせわをがんばります。」

【生活】

<b>観点</b>	<b>(ウ) 内容の構成・配列・分量</b>
<b>視点</b>	⑦単元や資料等の配列及び分量
<b>方法</b>	単元名・資料等の配列及び総ページ数、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容

	単元名 (○)・資料等 (・) 総ページ数		幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容
	上	下	
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「どきどき わくわく 1ねんせい」</li> <li>○ 「がっこう だいすき」</li> <li>○ 「はなを さかせよう」</li> <li>○ 「なつが やってきた」</li> <li>○ 「いきもの なかよし」</li> <li>○ 「たのしい あき いっぱい」</li> <li>○ 「じぶんで できるよ」</li> <li>○ 「ふゆを たのしもう」</li> <li>○ 「もう すぐ 2ねんせい」</li> <li>・「かつどう べんりてちょう」</li> <li>・「ほんどうのおおきさ いきものずかん」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「春だ 今日から 2年生」</li> <li>○ 「ぐんぐん そだて わたしの 野さい」</li> <li>○ 「どきどき わくわく まちたんけん」</li> <li>○ 「生きもの なかよし 大作せん」</li> <li>○ 「うごく うごく わたしのおもちや」</li> <li>○ 「みんなで つかう まちの しせつ」</li> <li>○ 「もっと なかよし まちたんけん」</li> <li>○ 「つながる 広がる わたしの 生活」</li> <li>○ 「あしたへ ジャンプ」</li> <li>・「かつどう べんりてちょう」</li> </ul>	幼児期の教育との接続〈上〉 ○ 「どきどき わくわく 1ねんせい」 ・全13ページ ・「つながる ひろがる」で、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を示している。
	130 ページ	122 ページ	中学年以降の教育との接続〈下〉 ○ 「あしたへ ジャンプ」 ・全11ページ ・「つながる ひろがる」で、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を示している。
<b>大 日 本</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「たのしいよ 1ねんせい」</li> <li>・「やっ て みよう せいかつか」</li> <li>○ 「みんな なかよし」</li> <li>○ 「なつと なかよし」</li> <li>○ 「あき だいすき」</li> <li>○ 「ふゆ だいすき」</li> <li>・「がくしゅうどうぐばこ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「やっ て みよう 生活科」</li> <li>○ 「春 はっけん」</li> <li>○ 「生きもの はっけん」</li> <li>○ 「わたしの 町 はっけん」</li> <li>○ 「町の キラリ ひろがれ」</li> <li>○ 「楽しさ ひろがれ わたしのおもちや」</li> <li>○ 「わたし ひろがれ」</li> <li>・「がくしゅうどうぐばこ」</li> </ul>	幼児期の教育との接続〈上〉 ○ 「たのしいよ 1ねんせい」 ・全6ページ ・「わくわくすること いっぱいだね」で、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を示している。
	140 ページ	128 ページ	中学年以降の教育との接続〈下〉 ○ 「わたし ひろがれ」 ・全22ページ ・「みらいに むかって しゅっぱつ」で、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を示している。
<b>学 図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「はじまるよ しょうがっこう」</li> <li>○ 「がっこうたんけん」</li> <li>○ 「わたしの あさがお」</li> <li>○ 「あそびに いこうよ」</li> <li>○ 「生きもの 大すき」</li> <li>○ 「むし 大すき」</li> <li>○ 「あきを たのしもう」</li> <li>○ 「ありがとうが いっぱい」</li> <li>○ 「ふゆを たのしもう」</li> <li>○ 「もうすぐ 2年生」</li> <li>・「まなびかたずかん」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「まちたんけん」</li> <li>○ 「あの 人に 会いたいな」</li> <li>○ 「わたしたちの 野さいばたけ」</li> <li>○ 「生きもの 友だち」</li> <li>・「みんなの 夏休み」</li> <li>○ 「作っ て あそぼう うごく おもちや」</li> <li>・「みんなの 冬休み」</li> <li>○ 「わたしたんけん」</li> <li>・「学び方図かん」</li> </ul>	幼児期の教育との接続〈上〉 ○ 「はじまるよ しょうがっこう」 ・全10ページ ・「どんなことをするのか」で、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を示している。
	140 ページ	132 ページ	中学年以降の教育との接続〈下〉 ○ 「わたしたんけん」 ・全15ページ ・「もっと かがやきたい」で、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を示している。

【生活】

	単元名 (○)・資料等 (・) 総ページ数		幼児期の教育及び中学 年以降の教育との円滑 な接続に関する内容
	上	下	
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「はじめの いっぱい」</li> <li>○ 「わくわく どきどき しょうがっこう」</li> <li>○ 「きれいに さいてね わたしの はな」</li> <li>○ 「きせつと なかよし はる・なつ」</li> <li>○ 「なかよく なるうね 小さな ともだち」</li> <li>○ 「きせつと なかよし あき」</li> <li>○ 「かぞくにここにこ 大きくせん」</li> <li>○ 「きせつと なかよし ふゆ」</li> <li>○ 「もう すぐ 2年生」</li> <li>・「学びの ポケット」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「わくわく 2年生」</li> <li>○ 「めざせ 野さい作り名人」</li> <li>○ 「まちが 大すき たんけんたい」</li> <li>○ 「めざせ 生きもはかせ」</li> <li>○ 「えがおのひみつ たんけんたい」</li> <li>○ 「作って ためして」</li> <li>○ 「あしたへ つなぐ 自分たんけん」</li> <li>・「学びの ポケット」</li> </ul>	<p>幼児期の教育との接続〈上〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「はじめの いっぱい」</li> <li>・全7ページ</li> <li>・「がくしゅうの はじまり」で、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</li> </ul> <p>中学年以降の教育との接続〈下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「あしたへ つなぐ 自分たんけん」</li> <li>・全13ページ</li> <li>・「何を かんじたかな」で、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</li> </ul>
	130 ページ	130 ページ	
信 教	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「うれしいな いちねんせい」</li> <li>○ 「はると なかよし」</li> <li>○ 「たんごの せつく」</li> <li>○ 「わたしの あさがお」</li> <li>○ 「いきものと いっしょ①」</li> <li>○ 「たなばた」</li> <li>○ 「まぶしい なつ」</li> <li>○ 「ひとつぶの たねから」</li> <li>○ 「いきものと いっしょ②」</li> <li>○ 「おつきみ」</li> <li>○ 「あきが いっぱい」</li> <li>○ 「わたしと かぞく」</li> <li>○ 「ふゆも きらきら」</li> <li>○ 「せつぶん」</li> <li>○ 「てづくり おもちや」</li> <li>○ 「ひなまつり」</li> <li>○ 「もう すぐ 二ねんせい」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「二年目の 春」</li> <li>○ 「わたしたちが すむ 町」</li> <li>○ 「いきものと いっしょ③」</li> <li>○ 「いっぱい みのって」</li> <li>○ 「かがやく 夏」</li> <li>○ 「すすめ すいすい号」</li> <li>○ 「いっぱい みのったね」</li> <li>○ 「みんなで 行こう」</li> <li>○ 「冬と お正月」</li> <li>○ 「はしれ はしれ」</li> <li>○ 「いきものと いっしょ④」</li> <li>○ 「大きく なった わたし」</li> <li>○ 「おもいで いっぱい 生活科」</li> </ul>	<p>幼児期の教育との接続〈上〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「うれしいな いちねんせい」</li> <li>・全22ページ</li> <li>・「あそぼうよ」で、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</li> </ul> <p>中学年以降の教育との接続〈下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「おもいで いっぱい 生活科」</li> <li>・全5ページ</li> <li>・「楽しみだね 三年生」で、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</li> </ul>
	128 ページ	104 ページ	

【生活】

	単元名 (○)・資料等 (・) 総ページ数		幼児期の教育及び中学 年以降の教育との円滑 な接続に関する内容
	上	下	
光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「いちねんせいが はじまるよ」</li> <li>○ 「なかよし いっぱい がっこう たんけん」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「もっと やって みよう」</li> </ul> </li> <li>○ 「さいて ほしいな わたしの はな」</li> <li>○ 「なつと ともだち」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「もうすぐ なつやすみ」</li> <li>・「なつの たのしみ」</li> </ul> </li> <li>○ 「いきものと なかよし」</li> <li>○ 「あきと ともだち」</li> <li>○ 「みんなの にこにこ 大きくせん」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「もうすぐ ふゆやすみ」</li> <li>・「ふゆの たのしみ」</li> </ul> </li> <li>○ 「ふゆと ともだち」</li> <li>○ 「もう すぐ みんな 2年生」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひろがる せいかつ じてん」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「2年生が はじまるよ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「きせつ のくらし」</li> </ul> </li> <li>○ 「まちを たんけん 大はっけん」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「もっと やって みよう」</li> </ul> </li> <li>○ 「おいしい やさいを そだてたい」</li> <li>○ 「生きものと 友だち」</li> <li>○ 「あそんで 作って くふうして」</li> <li>○ 「みんなが つかう まちの しせつ」</li> <li>○ 「もっと もっと まちたんけん」</li> <li>○ 「みんなに つたえよう すてきな まち」</li> <li>○ 「広がれ わたし」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひろがる せいかつ じてん」</li> </ul> </li> </ul>	<p>幼児期の教育との接続〈上〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「いちねんせいが はじまるよ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全14ページ</li> <li>・「しりたいな、やって みたいな」で、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</li> </ul> </li> </ul> <p>中学年以降の教育との接続〈下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「広がれ わたし」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全12ページ</li> <li>・「もっと やって みよう」で、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</li> </ul> </li> </ul>
	137 ページ	127 ページ	
啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「がっこう だいすき いちねんせい」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「がくしゅうずかん」</li> </ul> </li> <li>○ 「いくぞ! がっこう たんけんたい」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「びっくりずかん」</li> </ul> </li> <li>○ 「わたしの はなを そだてよう」</li> <li>○ 「なつと なかよし」</li> <li>○ 「生きもの 大すき」</li> <li>○ 「あきと なかよし」</li> <li>○ 「じぶんで チャレンジ 大きくせん」</li> <li>○ 「ふゆと なかよし」</li> <li>○ 「もう すぐ 2年生」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「わくわく どきどき 2年生」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「びっくりずかん」</li> </ul> </li> <li>○ 「大きく そだて わたしの 野さい」</li> <li>○ 「とび出せ! 町の たんけんたい」</li> <li>○ 「生きもの 大すき 大はっけん」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「がくしゅうずかん」</li> </ul> </li> <li>○ 「せかいで ひとつ わたしの おもちや」</li> <li>○ 「もっと 知りたい たんけんたい」</li> <li>○ 「町の すてき つたえたい」</li> <li>○ 「これまでの わたし これからの わたし」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みらいに むかって」</li> </ul> </li> </ul>	<p>幼児期の教育との接続〈上〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「がっこう だいすき いちねんせい」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全17ページ</li> <li>・「あそびが まなびに つながるひろがる」で、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</li> </ul> </li> </ul> <p>中学年以降の教育との接続〈下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「みらいに むかって」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全7ページ</li> <li>・資料「3年生へのステップブック」で、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</li> </ul> </li> </ul>
	148 ページ	138 ページ	

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
<b>方法</b>	キャラクター・マークの工夫

		キャラクター・マークの工夫
東 書	キャラクター	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクターが、問いを投げかけたり、事象に関する気付きや今後の行動を促し、安全面への配慮をつぶやいたりしている。</li> <li>○ キャラクターが、問いを投げかけたり、参考にできる図鑑のページを紹介したりしている。</li> <li>○ 6名の児童（イラスト）が、繰り返し登場し、活動を展開している。</li> </ul>
	マーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「!」「?」「♡」マークで、主な評価規準（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）を示している。</li> <li>○ 「つながる○○（教科名）」マークで、他教科等との関連を示している。</li> <li>○ 「かつどうべんりてちょう」マークで、巻末を参照するよう示している。</li> <li>○ 「ちゅうい」マークで、安全上の配慮が必要な対象を示している。</li> </ul>
大 日 本	キャラクター	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクターが、問いを投げかけたり、事象に関する気付きや今後の行動を促し、安全面への配慮をつぶやいたりしている。</li> <li>○ 5名の児童と先生（イラスト）が、繰り返し登場し、活動を展開している。</li> <li>○ 登場する児童や先生が気付きや疑問をつぶやくことで、思考や活動を促している。</li> </ul>
	マーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「せいかつことば」マークで、語彙力の向上や言語能力の育成を図る言葉を、「きらきらことば」マークで、友だちとのスムーズな交流を支える言葉を示している。</li> <li>○ 「がくしゅうどうぐばこ」マークで、関連資料のページを示している。</li> <li>○ 「きもちマーク」で、振り返りができるようにしている。</li> <li>○ 「SDGs」マークで、身近な問題としてSDGsについて考えるよう促している。</li> </ul>
学 図	キャラクター	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4名の児童と先生（イラスト）が、繰り返し登場し、活動を展開している。</li> <li>○ 単元ごとにキャラクターを設定し、気付きや疑問をつぶやいている。</li> </ul>
	マーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学び方図かん」マークで、生活科の基本的な学習方法が分かる資料ページを参照するよう示している。</li> <li>○ 「ものしりノート」マークで、関連する資料ページを参照するよう示している。</li> <li>○ 「てあらいうがい」「やくそく」「!」マークで、安全・衛生上の注意を示している。</li> <li>○ 小単元名の前に、学習の内容に関連するマークを掲載している。</li> </ul>
教 出	キャラクター	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2名の児童と2名の先生（写真）が、繰り返し登場し、活動を展開している。</li> <li>○ キャラクターが、「はっけんロード」の途中で発見したことや感じたことをつぶやいたり、振り返りの場面で「ぐんぐんはしご」というコーナーで学習活動の自己評価を促したりしている。</li> <li>○ キャラクターが、問いを投げかけている。</li> </ul>
	マーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「サイコロ」マークで、学習活動で引き出す力（気付く・自分でできる・考える・伝える・挑戦する・自信をもつ）を示している。</li> <li>○ 「学びのポケット」マークで、巻末を参照するよう示している。</li> <li>○ 「ヒント」マークや「やくそく」マークで、学習のヒントや約束事項を示している。</li> <li>○ 二次元コードごとにマーク（「どうが」「ワークシート」「デジタルずかん」）を付けている。</li> </ul>



【生活】

		キャラクター・マークの工夫
信 教	キ ャ ラ ク タ ー	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5名の児童と2名の先生（イラスト）が、繰り返し登場し、活動を展開している。</li> <li>○ 登場する児童や先生が気付きや疑問をつぶやくことで、思考や活動を促している。</li> </ul>
	マ ー ク	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元名の前に、単元の内容に関連するマークを掲載している。</li> <li>○ 「！」マークで、安全・衛生上の注意を示している。</li> </ul>
光 村	キ ャ ラ ク タ ー	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 同じ児童と先生（イラスト）が、繰り返し登場し、活動を展開している。</li> <li>○ 資質・能力について振り返るための視点を、キャラクターの問いかけやマークで示している。</li> </ul>
	マ ー ク	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ マークで、学習内容と関連する「ひろがる せいかつ じてん」のページを示している。</li> <li>○ マークで、動画（二次元コード）の種類（健康・道具・安全・近付かない）を示している。</li> <li>○ 「もっと やって みよう」マークで、学習を広げるための資料を示している。</li> <li>○ 「SDGs」マークで、身近な問題としてSDGsについて考えるよう促している。</li> </ul>
啓 林 館	キ ャ ラ ク タ ー	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5名の児童（イラスト）と2名の先生（イラスト）が、繰り返し登場し、活動を展開している。</li> <li>○ キャラクターが、気付きや疑問、学び方のヒントをつぶやいている。</li> </ul>
	マ ー ク	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元導入の「わくわく」、主な活動の「いきいき」、振り返りの「ぐんぐん」の3段階のマークで単元の流れを示している。</li> <li>○ マークで、他教科との関連を示している。</li> <li>○ マークで、考えるための学習活動の例（見付ける・比べる・例える・試す等）を示している。</li> <li>○ 「がくしゅうずかん」マークで、学習図鑑の参照ページを示している。</li> </ul>

【生活】

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑨コミュニケーション活動を通じた他者との情報交流の設定
<b>方法</b>	多様な表現方法で伝え合う活動の例

	伝え合う活動の例 ※他者に伝える活動を調査（下）	表現方法
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ぐんぐん そだて わたしの 野さい」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「野さいを しゅうかくしよう」</li> </ul> </li> <li>○ 「どきどき わくわく まちたんけん」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「見つけた ことを つたえよう」</li> </ul> </li> <li>○ 「生きもの なかよし 大作せん」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生きもの の ことを ふりかえろう」</li> </ul> </li> <li>○ 「もっと なかよし まちたんけん」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「分かった ことを つたえ合おう」</li> </ul> </li> <li>○ 「つながる 広がる わたしの 生活」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「つたえたい ことを まとめよう」</li> <li>・「まちの すてきを とどけよう」</li> </ul> </li> <li>○ 「あしたへ ジャンプ」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の ことを まとめよう」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 折りたたみ絵本、新聞、手紙</li> <li>・ 探検マップ、<u>電子黒板</u></li> <li>・ 新聞、絵本、デジタル図鑑、巻物</li> <li>・ 探検マップ、<u>電子黒板</u>、<u>タブレット</u></li> <li>・ 新聞、パンフレット、動画、<u>電子黒板</u></li> <li>・ 絵本、デジタル紙芝居、新聞、巻物、ランキング</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末「かつどう べんりてちょう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まとめよう つたえよう」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新聞、折りたたみ絵本、パンフレット、ポスター、すごろく、劇、デジタルアルバム、デジタル紙芝居、デジタル図鑑</li> </ul>
<b>大 日 本</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「生きもの はっけん」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「見つけた！ 生きもの の ひみつ」</li> <li>・「大きく おいしく そだつ ひみつ はっけん」</li> </ul> </li> <li>○ 「わたしの 町 はっけん」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「町の キラリを あつめよう」</li> </ul> </li> <li>○ 「町の キラリ ひろがれ」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「町の キラリを ひろげたい」</li> </ul> </li> <li>○ 「わたし ひろがれ」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分 ひろがれ はっぴょう会」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動作化、観察日記、日記、<u>電子黒板</u>、<u>タブレット</u></li> <li>・ 地図、<u>電子黒板</u>、<u>タブレット</u></li> <li>・ 実演、動画、地図、ポスター、<u>電子黒板</u></li> <li>・ 折りたたみ絵本、写真、実演、<u>電子黒板</u>、<u>タブレット</u></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末「がくしゅうどうぐばこ」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学び方名人 はっぴょう名人」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動画・スライドショー、ポスター・新聞、紙芝居、図鑑・パンフレット、地図・すごろく、ペープサート・劇、スタンプラリー・ビンゴカード</li> </ul>
<b>学 図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「まちたんけん」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「見つけた ことを つたえよう」</li> </ul> </li> <li>○ 「あの 人に 会いたいな」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「しらべた ことを つたえよう」</li> </ul> </li> <li>○ 「わたしたちの 野さいばたけ」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふりかえろう」</li> </ul> </li> <li>○ 「生きものと 友だち」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふりかえろう」</li> </ul> </li> <li>○ 「わたしたんけん」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はっぴょうしよう」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 探検カード、クイズ、<u>電子黒板</u></li> <li>・ 新聞、ポスター、絵本、地図、作文、巻物、<u>電子黒板</u></li> <li>・ 新聞、日記、俳句</li> <li>・ 発見カード、日記、ポスター、<u>実物投影機</u></li> <li>・ ポスター、手紙</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末「学び方図かん」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はっぴょうする」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お話やクイズ、劇、紙芝居、ペープサート、新聞、ポスター</li> </ul>

※「表現方法」の \_\_\_\_\_ は ICT 機器を示している。

【生活】

	伝え合う活動の例 ※他者に伝える活動を調査（下）	表現方法
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「めざせ 野さい作り名人」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「何を かんじたかな」</li> </ul> </li> <li>○ 「まちが 大すき たんけんたい」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「見つけた ことを つたえ合おう」</li> <li>・「何を かんじたかな」</li> </ul> </li> <li>○ 「めざせ 生きものはかせ」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生きものについて つたえ合おう」</li> <li>・「何を かんじたかな」</li> </ul> </li> <li>○ 「えがおのひみつ たんけんたい」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「えがおいっぱい はっぴょう会」</li> </ul> </li> <li>○ 「あしたへ つなぐ 自分たんけん」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「何を かんじたかな」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞、日記、<u>タブレット</u></li> <li>・探検マップ、カード</li> <li>・新聞、ポスター、クイズ、動作化、観察記録、絵パズル</li> <li>・ポスター、クイズ、紙芝居、探検マップ、動作化、オンラインでのインタビュー、<u>電子黒板</u>、<u>タブレット</u></li> <li>・作文</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末「学びのポケット」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まとめよう はっぴょうしよう」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズ、紙芝居、すごろく、ペープサート、情報機器、歌や踊り、ポスター、新聞、絵地図、本、蛇腹折りの本</li> </ul>
信 教	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「二年目の 春」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「春の あじ」</li> </ul> </li> <li>○ 「わたしたちが すむ 町」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ちいきの かたりべ」</li> </ul> </li> <li>○ 「いっぱい みのって」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「だいの おせわ」</li> </ul> </li> <li>○ 「いっぱい みのったね」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「しゅうかくいわい」</li> </ul> </li> <li>○ 「大きく なった わたし」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ありがとう」</li> </ul> </li> <li>○ 「おもいで いっぱい 生活科」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなと すすんで やれたよ」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察記録</li> <li>・紙芝居</li> <li>・手紙</li> <li>・歌、ペープサート、観察記録</li> <li>・作文</li> <li>・ポートフォリオ</li> </ul>
光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「まちを たんけん 大はっけん」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はっけんした ことを つたえよう」</li> </ul> </li> <li>○ 「おいしい やさいを そだてたい」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「気に なる ことを そうだんしよう」</li> </ul> </li> <li>○ 「生きものと 友だち」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大はっけんを つたえよう」</li> </ul> </li> <li>○ 「もっと もっと まちたんけん」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まちの 大はっけんを あつめよう」</li> </ul> </li> <li>○ 「みんなに つたえよう すてきな まち」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「しらべた ことを まとめよう」</li> <li>・「まちの すてきを つたえよう」</li> </ul> </li> <li>○ 「広がれ わたし」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「せいちょうした ことを つたえよう」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町探検マップ、<u>電子黒板</u></li> <li>・観察記録、<u>電子黒板</u>、<u>タブレット</u></li> <li>・動画、紙芝居、記録カード、<u>電子黒板</u></li> <li>・町探検マップ、<u>電子黒板</u>、<u>タブレット</u></li> <li>・壁新聞、ポスター、パンフレット</li> <li>・新聞、ランキング、すごろく、<u>電子黒板</u></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 別冊「ひろがる せいかつじてん」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まとめ方を えらぼう」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞、ポスター、パンフレット、ランキング、すごろく、巻物、絵本、紙芝居、スライドショー</li> </ul>

※「表現方法」の\_\_\_\_\_はICT機器を示している。

【生活】

	伝え合う活動の例 ※他者に伝える活動を調査（下）	表現方法
啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「大きく そだて わたしの 野さい」</li> <li>・「わたしの 野さいを しょうかいしよう」</li> <li>○ 「とび出せ！町の たんけんたい」</li> <li>・「はっ見した ことを ふりかえろう」</li> <li>○ 「生きもの 大すき 大はっ見」</li> <li>・「はっ見した ことを つたえ合おう」</li> <li>○ 「もっと 知りたい たんけんたい」</li> <li>・「町で 見つけた すてきを 話そう」</li> <li>○ 「町の すてき つたえたい」</li> <li>・「町の すてきを つたえよう」</li> <li>・「ありがとうを つたえよう」</li> <li>○ 「これまでの わたし これからの わたし」</li> <li>・「せい長した 自分を つたえよう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察カード、写真、手紙、<u>電子黒板</u></li> <li>・町探検マップ、<u>電子黒板</u></li> <li>・クイズ、劇、パズル、紙芝居、新聞、綴じる絵本</li> <li>・町探検マップ、<u>電子黒板</u>、<u>タブレット</u></li> <li>・劇、カルタ、クイズ、廊下掲示、動画、ポスター、手紙、作文、<u>電子黒板</u>、<u>タブレット</u></li> <li>・新聞、動画、ありがとうカード</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末「がくしゅうずかん」</li> <li>・「まとめよう つたえよう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞、紙芝居、パンフレット、クイズ、俳句、詩、カルタ、写真や動画</li> </ul>

※「表現方法」の\_\_\_\_\_はICT機器を示している。

音 楽
-----

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
17	教 出	小学音楽 音楽のおくりもの
27	教 芸	小学生の音楽

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

	観 点	視 点	方 法
(ア)	基礎・基本の定着	①	題材や学習目標等の示し方 題材名・学習目標の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例
		②	歌唱の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫 歌唱教材の扱いの具体例
		③	器楽の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫 リコーダーの学習の具体例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	音楽的な見方・考え方を働かせる工夫 音楽づくりに関する学習過程等の示し方と具体例
		⑤	音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫 音や音楽と生活との関わりについての記述
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥	我が国の音楽に関する内容の扱い 学年ごとに扱う鑑賞曲・和楽器・歌唱教材
		⑦	題材や資料等の配列 表現領域における系統的な扱い
(エ)	内容の表現・表記	⑧	〔共通事項〕の指導を充実させる工夫 音楽を形づくっている要素の示し方と指導の工夫
(オ)	言語活動の充実	⑨	表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫 音楽科の特質に応じた言語活動の具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①題材や学習目標等の示し方
方法	題材名・学習目標の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例

第3学年における旋律や変化等を扱った鑑賞の題材	
題材名・学習目標の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例	
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材名の表記の仕方 「せんりつと音色」として、見開き左上に縦書きで示している。</li> <li>○ 学習目標の表記の仕方 「せんりつのへん化をきき取りながらバイオリンのえんそうを楽しもう」と横書きで示し、「せんりつ」「へん化」「バイオリン」の文言には色が付いている。</li> <li>○ 学習目標達成のための支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動の見通しを示す文として、目次の次の見開きページに掲載している「学習マップ」の中に、写真、題材名とともに「せんりつの流れや、楽きの音色のとくちょうに注目してききます。」と示している。</li> <li>・児童の気付きを引き出す支援として、「まなびナビ（学び方を知ろう）」のマークを付け、「せんりつの流れに合わせて、手や体を動かしながらきいてみよう。せんりつの感じは、どのようにかわっていくかな。」「バイオリンの音色を味わってきこう。」と示すとともに、旋律の流れや、手や体の動きの例等をイラストで示している。</li> </ul> </li> </ul>
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材名の表記の仕方 「せんりつのとくちょうをかんじとろう」として、見開き左側に縦書きで示している。</li> <li>○ 学習目標の表記の仕方 「せんりつの音の上がり下がりにつけてききましょう。」と横書きで示している。</li> <li>○ 学習目標達成のための支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動の見通しを示す文として、題材の始めのページの見開き左側に「せんりつの音の上がり下がりにつけて、歌ったりえんそうしたり、きいたりすることができるかな。」と縦書きで示している。</li> <li>・児童の気付きを引き出す支援として、「見つける」「考える」のマークを付け、「せんりつの音の上がり下がりにつけて、<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ア</span>と<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">イ</span>のせんりつをききましょう。それぞれどのようなとくちょうがありますか。」「せんりつのとくちょうについて友だちと話し合い、それらをふりかえりながら、<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ア</span>→<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">イ</span>→<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ア</span>を通してききましょう。」と示している。また、イラストの吹き出しの中に、「音楽に合わせて、主なせんりつの図形を指でたどって、<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ア</span>と<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">イ</span>のせんりつをくらべてみようかな。」と示すとともに、旋律の流れをイラストで示している。</li> </ul> </li> </ul>

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②歌唱の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫
方法	歌唱教材の扱いの具体例

歌唱教材「ゆかいに歩けば」(第4学年)の扱いの具体例	
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材における扱い</li> <li>○ 学習目標及び音楽を形づくっている要素</li> <li>○ 歌詞</li> <li>○ 速度</li> <li>○ 記号の扱い</li> <li>○ 合唱の扱い</li> <li>○ 発声の扱い</li> </ul>
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「曲に合った歌い方」の中の歌唱教材として扱っている。</li> <li>○ 学習目標「ひびきを大切にして歌い方をくふうしよう」及び扱う〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素について「せんりつ」「音色」を示している。</li> <li>○ 1、2番</li> <li>○ ♩=116 ぐらい</li> <li>○ 楽曲で習得する記号について、見開き右側に示している。</li> <li>○ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ア</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">イ</span>に分かれ<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">イ</span>の部分が二部合唱になっている。</li> <li>○ 歌っている姿の写真を掲載し、歌い方のポイントを示している。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>歌声 おなかを使って歌おう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かたを楽にして、おなかに手を当てながら歌ってみよう。</li> <li>・「ゆかいに歩けば」の前半の部分をピ、ポ、マなどの言葉で、歌ってみよう。</li> </ul>
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」の中の歌唱教材として扱っている。</li> <li>○ 学習目標「せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。」及び扱う〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素について「音色」「せんりつ」「強弱」を示している。</li> <li>○ 1、2、3番</li> <li>○ ♩=116～126</li> <li>○ 楽曲で習得する記号について、「がくふマスター」と題した四角の中に示している。</li> <li>○ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ア</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">イ</span>に分かれ<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">イ</span>の部分が二部合唱になっている。</li> <li>○ 歌い方のポイントを示している。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>歌声ルーム2</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「バルデリー」「バルデラー」「バルデロー」のように、のばす音のところでは、どんだん息をふやす感じで、声が体からわき上がるように歌いましょう。また、スタッカートのところは、おなかのまわり全体の動きを感じて、わらったときのようにはずんで歌いましょう。</li> </ul>

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③器楽の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫
方法	リコーダーの学習の具体例

		リコーダーの学習の具体例 (第3学年及び第4学年)
教 出	○ リコーダーの導入 (第3学年)	・リコーダーのつくりや各部の名称を知る→鑑賞曲を聴く→リコーダーの種類を知る→リコーダーの演奏の仕方を知る→「シ」の音を吹いたりタンギングしたりする
	○ 学習する音の順番	・第3学年：シ→ラ→ソ→ド→レ→ファ→ミ→レ ・第4学年：ミ→ド→ソ
	○ 運指の説明	・第3学年の導入や「ド」「レ」では、演奏の仕方の様子を、子供の目線や横から見た写真等で示している。 ・階名、五線譜、吹き口を下側にした、子供の目線でのリコーダーのイラストを示している。 ・二次元コードを掲載し、運指に関わるコンテンツを表示することができるようにしている。
	○ 息の吹き込み方・タンギング・サミングの説明	・「大きなしゃぼん玉をつくる時のように、息をまっすぐに出そう。」と示している。 ・第3学年の導入で、タンギングを「トゥ」「ル」、また、第4学年で、高い音をきれいに響かせるために「ティ」と発音するよう説明している。 ・第4学年で、サミングの2つの方法を写真と言葉で説明している。
教 芸	○ リコーダーの導入 (第3学年)	・リコーダーのつくりや各部の名称を知る→ヘッド ピースで音あそび(参考曲を聴く)→リコーダーの演奏の仕方を知る→鑑賞曲を聴く→タンギングと息の使い方を知る→「シ」の音を吹いたりタンギングしたりする
	○ 学習する音の順番	・第3学年：シ→ラ→ソ→ド→レ→ファ→ミ→レ→ド ・第4学年：ミ→ファ→ソ
	○ 運指の説明	・第3学年の導入や「レ」では、演奏の仕方の様子を、子供の目線や横から見た写真等で示している。 ・階名、五線譜、吹き口を下側にした、子供の目線でのリコーダーのイラストを示している。 ・二次元コードを掲載し、運指に関わるコンテンツを表示することができるようにしている。
	○ 息の吹き込み方・タンギング・サミングの説明	・「大きなしゃぼん玉をつくるようなつもりで、やさしく息を出してふこう。」と示している。 ・第3学年の導入で、タンギングを「tu(トゥ)」、また、第4学年で、高い音を吹く時には「ti(ティ)」と発音するよう説明している。 ・第4学年で、サミングの2つの方法を写真と言葉で説明している。



観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④音楽的な見方・考え方を働かせる工夫
方法	音楽づくりに関する学習過程等の示し方と具体例

		第1学年
		具体例
	音楽づくりに関する 学習過程等の示し方	
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習過程の示し方</li> <li>○ リズムの例の示し方</li> <li>○ 音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫</li> </ul>	<p>題 材「はくと リズム」 学習目標「たんと たたの リズムで あそぼう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まねっこ あそび」 せんせいが うつ リズムを、みんなで まねっこして うとう。 はく に あわせて、うって いこう。 せんせいの やくを こうたいしても いいね。</li> <li>・「よびかけっこ あそび」 せんせいが うつ リズムと、べつの リズムを うって みよう。</li> <li>・「リレー あそび」 1 たん たた うん を くみあわせて、はく よつつぶんの リズムをつくろう。うって ためしながら つくってね。 2 つくった リズムを、ともだちと つなげて うって、リレーしよう。</li> <li>・「リズムを がっきで うっても いいね。」 (タン布林、すず、カスタネット)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ リズムを「たん＝円」「たた＝半円」「うん＝ひし形」と示すとともに、5つのリズムの例を示している。</li> <li>○ 音遊びの活動を、題材の導入に位置付けている。</li> </ul>
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習過程の示し方</li> <li>○ リズムの例の示し方</li> <li>○ 音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫</li> </ul>	<p>題 材「はくに のって リズムを うとう」 学習目標「たん と たたを つかって ことばで リズムを つくりましょう。」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">あ</span>と <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">い</span>の リズムに あう ことばを うえの えから 1つずつ えらびましょう。 せんせいの うつ はくに のって、えらんだ ことばを いいましょう。 ことばに あわせて、<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">あ</span>と <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">い</span>の リズムを て(手のイラスト)で うちましょう。</li> <li>2 おなじ ことばを くりかえしたり ちがう ことばを くみあわせたり して できる リズムの おもしろさを たしかめましょう。(「みつける」のマーク)</li> <li>3 どの ことばで つくると おもしろい かんじの リズムになるか かんがえて つくりましょう。(「かんがえる」「つくる」のマーク)</li> <li>4 ふたりの くみに なり、つくった リズムを つなげましょう。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ リズムを「たん＝円(黒)」「たた＝半円」「うん＝円(白)」と示すとともに、言葉とともに5つのリズムの例を示している。</li> <li>○ 音遊びの活動を、題材の導入に位置付けている。</li> </ul>

【音楽】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫
方法	音や音楽と生活との関わりについての記述

音や音楽と生活との関わりについての記述	
教 出	<p>○ 音や音楽と生活との関わりについて扱う題材や、表現者からのメッセージ等を掲載している。</p> <p>第1学年 がつき ずかん：「がつきを つくって みよう」</p> <p>第2学年 音の スケッチ：「どんな 音が きこえるかな」 題材：「おまつりの 音楽」</p> <p>第3学年 音のスケッチ：「いろいろな声で表げんしよう」 題材：「日本と世界の音楽」</p> <p>第4学年 巻頭：「体で伝え合おう！音楽の楽しさ」 題材：「日本と世界の音楽」 歌唱教材との関わり：「わたしたちの生活と音楽」</p> <p>第5学年 巻頭：「舞台から未来へ」 題材：「日本の音楽」</p> <p>第6学年 巻頭：「ひびきに心をのせて」 歌唱教材との関わり：「海を思う心」 特集：「心と心をつなぐ音楽」</p>
教 芸	<p>○ 音や音楽と生活との関わりについて扱う題材や、表現者からのメッセージ等を掲載している。</p> <p>第1学年 題材：「みの まわりの おとに みみを すまそ う」</p> <p>第2学年 題材：「音楽で みんなと つながろう」 題材：「せいかつの 中に ある 音を 楽しもう」</p> <p>第3学年 巻頭：「ようこそ リコーダーの世界へ」 題材：「ちいきにつたわる音楽でつながろう」 鑑賞教材との関わり：「神田囃子ほぞん会立野喜久 雄さんのお話」</p> <p>第4学年 巻頭：「気持ちを歌でとどけましょう」 題材：「ちいきにつたわる音楽に親しもう」</p> <p>第5学年 巻頭：「音楽と社会をつなぐテクノロジー」 鑑賞教材との関わり：「仙台フィルハーモニー管弦 楽団バイオリン奏者神谷未穂 さんのお話」 題材：「日本の音楽に親しもう」</p> <p>第6学年 巻頭：「音楽は人間の命の一部です」 特集：「著作権について知ろう」 特集：「音楽のもっている力や役割」 歌唱教材との関わり：「卒業に思いをこめて」</p>

【音楽】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥我が国の音楽に関する内容の扱い
方法	学年ごとに扱う鑑賞曲・和楽器・歌唱教材

		学年	鑑賞曲・和楽器・歌唱教材
教 出	1	鑑賞曲	・わらべうた（「おちゃらか」「なべ なべ」）
		歌唱教材	・共通教材：「ひらいた ひらいた」「かたつむり」「うみ」「ひのまる」
	2	鑑賞曲	・「ながうた「むしの 声」 ・日本の たいこ（「つがるじょっぱりだいこ」「さんさおどりの たいこ」「ご じんじょだいこ」「はちじょうだいこ」）
		和楽器	・たいこ
		歌唱教材	・共通教材：「かくれんぼ」「虫の こえ」「夕やけ こやけ」「春が きた」 ・「村まつり」
	3	鑑賞曲	・日本や世界の子どもの歌（「十五夜さんのもちつき」）
		歌唱教材	・共通教材：「春の小川」「茶つみ」「うさぎ」「ふじ山」
	4	鑑賞曲	・「さくら変そう曲」 ・「ソーラン節」 ・「秩父屋台ばやし」 ・「葛西ばやし」
		和楽器	・こと ・しめだいこ ・大だいこ（長どうだいこ） ・ふえ ・かね ・おおどう ・つけだいこ
		歌唱教材	・共通教材：「さくら さくら」「まきばの朝」「とんび」「もみじ」 ・「ソーラン節」
	5	鑑賞曲	・「会津磐梯山」 ・「音戸の舟歌」 ・「津軽じょんから節」 ・「花笠音頭」 ・「日光和楽おどり」 ・「磯節」 ・「郡上八幡の盆踊り」 ・「佐渡おけさ」 ・「金毘羅舟々」 ・「木曾節」 ・「三国節」 ・「ひえつき節」 ・「長唄「越後獅子」から」 ・「京の夜」
		和楽器	・こきりこ ・ささら ・三線 ・しの笛
		歌唱教材	・共通教材：「こいのぼり」「子もり歌」「冬げしき」「スキーの歌」 ・「こきりこ節」 ・「谷茶前」
	6	鑑賞曲	・「春の海」
		和楽器	・こと ・尺八 ・雅楽の楽器（ふき物、ひき物、打ち物） ・三味線
		歌唱教材	・共通教材：「おぼろ月夜」「われは海の子」「越天楽今様」「ふるさと」

【音楽】

	学年	鑑賞曲・和楽器・歌唱教材	
教 芸	1	鑑賞曲	・「さんちゃんが」 ・「おおなみ こなみ」
		歌唱教材	・共通教材：「ひらいた ひらいた」「かたつむり」「うみ」「ひのまる」 ・「おちやらか ほい」
	2	鑑賞曲	・「とーしん ドーイ」 ・「ずいずい ずっころばし」 ・「あんたがた どこさ」 ・「なべ なべ そこ ぬけ」
		歌唱教材	・共通教材：「かくれんぼ」「虫の こえ」「夕やけこやけ」「はるが きた」
	3	鑑賞曲	・「神田囃子「投げ合い」」 ・「祇園囃子」 ・「ねぶた囃子」
		和楽器	・長胴だいこ ・しめだいこ ・かね ・しのぶえ
		歌唱教材	・共通教材：「春の小川」「茶つみ」「ふじ山」「うさぎ」
	4	鑑賞曲	・「こきりこ」 ・「アイヌ古式舞踊」 ・「西馬音内の盆踊」 ・「相模里神楽」 ・「那智の田楽」 ・「壬生の花田植」 ・「讃岐獅子舞」 ・「長崎くんちの龍踊」 ・「こと独奏による主題と6つの変奏「さくら」より」 ・「津軽じょんから節」 ・「ていんさぐぬ花」
		和楽器	・こきりこ ・びんざさら ・たいこ ・笛 ・ぼうささら ・くわがね ・つづみ ・こと ・三味線 ・三線
		歌唱教材	・共通教材：「さくら さくら」「まきばの朝」「とんぴ」「もみじ」
	5	鑑賞曲	・「春の海」 ・「ソーラン節」 ・「かりぼし切り歌」 ・「江差追分」 ・「宮城長持歌」 ・「佐渡おけさ」 ・「網のし歌」 ・「鈴鹿馬子歌」 ・「音戸の舟歌」 ・「祝いめでた」 ・「牛深ハイヤ節」 ・「月ぬ美しゃ」
		和楽器	・こと ・尺八
		歌唱教材	・共通教材：「こいのぼり」「冬げしき」「スキーの歌」「子もり歌」
	6	鑑賞曲	・雅楽「越天楽」
		和楽器	・笛 ・小鼓 ・大鼓 ・太鼓 ・太棹三味線 ・細竿三味線 ・三線
		歌唱教材	・共通教材：「おぼろ月夜」「ふるさと」「われは海の子」「越天楽今様」

【音楽】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦題材や資料等の配列
方法	表現領域における系統的な扱い

	表現領域における 系統的な扱い	楽曲名及び楽器名
教 出	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二部合唱曲（部分合唱含む）</li> <li>第2学年：「春が きた」「ラララ 歌おう」</li> <li>第3学年：「ドレミの歌」「この山光る」「マンガニ、雨とおどろう」「音楽のおくりもの」「まっかな秋」</li> <li>第4学年：「ありがとうの花」「ブパポ」「ゆかいに歩けば」「もみじ」「グッデー グッバイ」「半月」「北風こぞうの寒太郎」「まきばの こうし」「飛べよツバメ」「札幌の空」「さんぽ」</li> <li>第5学年：「夢色シンフォニー」「花」「ハロー・シャイニングブルー」「地球の向こう側の君へ」「冬げしき」「スキーの歌」「君をのせて」「川はだれのもの?」「大切なもの」「ゆき」「Auld Lang Syne（ほたるの光）」</li> <li>第6学年：「つばさをください」「ぼくらの日々」「明日を信じて」「ふるさと」「Take Me Home, Country Roads」「さようなら」「語りあおう」「すてきな友達」「未来への讃歌」「あおげばとうとし」「花は咲く」「野にさく花のように」</li> <li>○ 三部合唱曲（部分合唱含む）</li> <li>第5学年：「花のおくりもの」「Michael, Row the Boat Ashore（こげよマイケル）」</li> <li>第6学年：「ロック マイ ソウル」「チャウエ チチョー チェム チェロ」「今、生きている!」「Climb Ev'ry Mountain（すべての山に登れ）」</li> </ul>
	楽器・音楽づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年で扱う打楽器及び旋律楽器</li> <li>・第1学年：タンブリン、すず、カスタネット、けんばんハーモニカ、トライアングル、シンバル、ハーモニカ、おおいこ、こだいこ、てっきん、もっきん</li> <li>・第2学年：ウッドブロック、クラベス、たいこ、オルガン、マラカス、ギロ、グロッケン、ビブラフォーン、マリンバ</li> <li>・第3学年：リコーダー、カウベル、クラベス</li> <li>・第4学年：しめだいこ、大だいこ（長どうだいこ）、ふえ、かね、シェーカー、アゴゴー、フロアートム、こと、ボンゴ</li> <li>・第5学年：こきりこ、ささら、三線、しの笛</li> </ul>
	器楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 合奏曲の配列</li> <li>・第2学年：「汽車は 走る」「チャチャ マンボ」「アンダルコの 歌」</li> <li>・第3学年：「メロンの気持ち」「せいじゃの行進」「パフ」「ミッキーマウス マーチ」</li> <li>・第4学年：「ラ クンパルシータ」「魔法のすず」</li> <li>・第5学年：「茶色の小びん」「風とケーナのロマンス」「ルパン三世のテーマ」「レッツゴー!!ライダーキック」</li> <li>・第6学年：「マルセリーノの歌」「カノン」「L - O - V - E」「ウェンセスラスはよい王様」「八木節」「さんぽ」</li> </ul>

【音楽】

	表現領域における 系統的な扱い	楽曲名及び楽器名	
教 芸	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3学年から部分二部合唱を導入し、第4学年から二部合唱を導入している。</li> <li>○ 第5学年から三部合唱を導入している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二部合唱曲（部分合唱含む） <ul style="list-style-type: none"> <li>第3学年：「歌おう 声高く」</li> <li>第4学年：「いろいろな木の実」「ゆかいに歩けば」「もみじ」「いつだって!」「世界を旅する音楽室」「花束をあなたに」「Sing a rainbow」</li> <li>第5学年：「Believe」「すてきな一歩」「いつでもあの海は」「夢の世界を」「冬げしき」「スキーの歌」「それぞれの空」「地球へ」「君は虹を見たかい?」「大空がむかえる朝」「ほたるの光」</li> <li>第6学年：「つばさをください」「ペガサス」「おぼろ月夜」「思い出のメロディー」「きっと届ける」「Wish～夢を信じて」「いのちの歌」「明日という大空」「星空はいつも」「あおげばとうとし」「旅立ちの日に」</li> </ul> </li> <li>○ 三部合唱曲（部分合唱含む） <ul style="list-style-type: none"> <li>第5学年：「こげよ マイケル (Michael, row the boat ashore)」「マイ バラード」</li> <li>第6学年：「星の世界」「ふるさと」「街にだかれて」</li> </ul> </li> </ul>
	器楽・音楽づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年で扱う打楽器及び旋律楽器</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年：カスタネット、タンブリン、けんぼんハーモニカ、トライアングル、すず、ウッドブロック、てっきん</li> <li>・第2学年：クラベス、小だいこ、大だいこ、オルガン、キーボード、木きん</li> <li>・第3学年：リコーダー、ギロ、しめだいこ</li> <li>・第4学年：マラカス、ボンゴ、コンガ、フレームドラム、トーンチャイム、シンバル、こと</li> <li>・第5学年：サスペンデッドシンバル、カバサ、カウベル、アゴゴ</li> </ul>
	器楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 合奏曲の配列</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年：「こいぬの マーチ」</li> <li>・第2学年：「こぐまの 二月」「アイアイ」</li> <li>・第3学年：「ゆかいな木きん」「パフ」「エーデルワイス」「ミッキーマウス マーチ」</li> <li>・第4学年：「茶色の小びん」「ジッパ ディー ドゥー ダー」「スーパーカリフラジリスティックエクスペリアリドーションヤス」</li> <li>・第5学年：「リボンのおどり」「キリマンジャロ」「威風堂々」「アフリカン シンフォニー」</li> <li>・第6学年：「ラバーズ コンチェルト」「雨のうた」「木星」「風を切って」「Paradise Has No Border」</li> </ul>

【音楽】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧ [共通事項] の指導を充実させる工夫
方法	音楽を形づくっている要素の示し方と指導の工夫

	音楽を形づくっている要素の示し方	体を動かす活動を取り入れて、音楽の特徴を捉えさせる指導の工夫
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き右ページ上に「音楽のもと」として示し、中・高学年にはメモ欄がある。</li> <li>○ 資料として、[共通事項]の内容を、「音楽のもと」まとめ」に示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌唱「ふじ山」(第3学年)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まなびナビ(学び方を知ろう)」のマークを付け、「せんりつのリズムを手で打つなどして、♪. ♪♪」のリズムで始まるだんとそうでないだんを見つけよう。」「それぞれのだんの、せんりつの流れを手で表してみよう。」と示している。</li> </ul> </li> <li>○ 鑑賞「バイオリンとピアノのためのソナタ 第4楽章」(第6学年)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まず、せん律の流れに合わせて手などを動かしたり、楽器のひきまねをしたりしながら、曲の最初の部分をきいてみよう。」と活動を示すとともに、「まなびナビ(学び方を知ろう)」のマークを付け、「楽器を決めてひきまねをしたりしながら、曲全体をきいてみよう。」と示している。</li> </ul> </li> </ul>
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き右ページ下に示している。</li> <li>○ 「ふり返りのページ」に、各学年で学習した音楽を形づくっている要素を、関連するページ番号とともに示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌唱「ふじ山」(第3学年)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストの吹き出しの中で「いちばん高い音はどこにあるのかな。楽譜のせんりつを指でたどって見つけてみよう。」と示している。</li> </ul> </li> <li>○ 鑑賞「ハンガリー舞曲 第5番」(第6学年)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「見つける」のマークを付け、「下の注目するポイントに気を付けて、音楽に合わせて体を動かしたり指揮のまねをしたりしながらきき、<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ア</span>と<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">イ</span>の曲想について、感じたことや気付いたことを下の表に書いて、話し合しましょう。」と示している。</li> </ul> </li> </ul>

(注) [共通事項] とは、表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力であり、音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて理解したり、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えたりすることができるようにするものである。

【音楽】

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑨表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫
方法	音楽科の特質に応じた言語活動の具体例

		音楽科の特質に応じた言語活動の具体例	
教出	表現	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた歌唱の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面の設定</li> <li>・音楽表現に対する思いや意図を深めていく場面の設定</li> </ul>	<p>題 材「アンサンブルのみりょく」(第6学年)</p> <p>学習目標「思いや意図を大切にしながら、みんなで表現をくふうしよう」</p> <p>教 材 曲「ぼくらの日々」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まなびナビ(学び方を知ろう)」のマークを付けて学習過程を示し、①「どんな曲かな?曲のみりょくを見つけよう。」の中で「曲全体のイメージやいいなと思ったところを話し合おう。」と示している。⑤「自分たちの表現をめざそう。」では、「演奏を録音してきいたり、だれかにきいてもらったりして、自分たちの思いや意図が伝わっているか、「もっとこうしたいな」と思うところを話し合おう。」と示している。</li> <li>・学習過程⑤「自分たちの表現をめざそう。」において、「たがいによくきき合って、さらにまとまりのあるアンサンブルにするために、いろいろためしてみよう。〈例〉パートどうしの音量のバランスなど」と示している。</li> </ul>
	鑑賞	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた鑑賞の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことなど、様々な意見を共有する場面の設定</li> <li>・自分の感じ方や考え方を深めていく場面の設定</li> </ul>	<p>題 材「音楽のききどころ」(第4学年)</p> <p>学習目標「曲の流れを感じ取り、全体を味わってきこう」</p> <p>教 材 曲「ノルウェー舞曲 第2番」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まなびナビ(学び方を知ろう)」のマークを付け、「音楽に合わせて体を動かしたり、歩いたり、しきの動きをしたりしながらきいて、気がついたことや感じ取ったことを友達とお話しよう。」と示している。</li> <li>・きき取ったことや音楽の感じ等を記入する表を掲載している。</li> <li>・「表に書いたことをもとに、この曲のよいなと思ったところやおもしろいなと思ったところなどを、友達と伝え合い、全体を味わってきこう。」と示している。</li> </ul>



【音楽】

		音楽科の特質に応じた言語活動の具体例	
教 芸	表現	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた歌唱の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面の設定</li> <li>・音楽表現に対する思いや意図を深めていく場面の設定</li> </ul>	<p>題 材 「詩と音楽との関わりを味わおう」(第6学年)</p> <p>学習目標 「人々が大切にしてきた歌を味わい、思いが伝わるように歌いましょう。」</p> <p>教 材 曲 「ふるさと」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「見つける」のマークを付け、「歌詞をよく読み、曲想を感じ取りながら歌って、それらの特徴について気付いたことを話し合いましょう。」と示している。</li> <li>・「考える」のマークを付け、「話し合ったことをもとに、歌い方をためししながら、「ふるさと」をどのように歌いたいかを考えましょう。」と示している。</li> <li>・「歌う」のマークを付け、「思いが伝わるように、発音の仕方や声の出し方に気を付けて、たがいの歌声をよくきき合いながら歌いましょう。」と示している。</li> </ul>
	鑑賞	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた鑑賞の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことなど、様々な意見を共有する場面の設定</li> <li>・自分の感じ方や考え方を深めていく場面の設定</li> </ul>	<p>題 材 「せんりつの重なりをかんじとろう」(第3学年)</p> <p>学習目標 「せんりつの重なりを楽しみながら、きいたり歌ったりしましょう。」</p> <p>教 材 曲 「「アルルの女」第1組曲から かね」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「考える」のマークを付け、「アとイのかんじのちがいや気づいたことをメモし、友だちとつたえ合いましょう。」と示し、「かんじたこと」と「気づいたこと」を書くための表を掲載している。</li> <li>・「考える」のマークを付け、「せんりつが重なるよさやおもしろさのかんじとりながら曲全体をききましょう。」と示している。</li> </ul>

図画工作
------

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

	発行者の番号及び略称	教科書名
9	開 隆 堂	図画工作
116	日 文	図画工作

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

	観 点	視 点	方 法
(ア)	基礎・基本の定着	①	題材の目標・振り返りの示し方 題材の目標・振り返りの表記の仕方と具体例
		②	〔共通事項〕を視点とした学びの示し方 〔共通事項〕を視点とした学びの示し方と具体例
		③	材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫 材料や用具の取扱い等の示し方
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	興味・関心を高めるための工夫 導入の示し方と具体例
		⑤	表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫 表現と鑑賞との関連を図った学習活動の示し方と具体例
		⑥	身近な作品・我が国や諸外国の親しみのある美術作品等や生活の中の造形の取扱い 鑑賞の対象と示し方
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦	題材や資料等の配列 題材数、構成や配列
(エ)	内容の表現・表記	⑧	作品等についての示し方の工夫 作品や造形活動の示し方と具体例
(オ)	言語活動の充実	⑨	表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫 発想や構想、鑑賞の場面における言語活動の示し方、具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①題材の目標・振り返りの示し方
方法	題材の目標・振り返りの表記の仕方と具体例

	題材の目標・振り返りの表記の仕方	具体例	
開 隆 堂	<p>○ 各題材の目標を、3種類のキャラクターと文で示し、特に重点的に育成したい資質・能力には下線を引き、色を変えて示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「形や色、方法や材料を知って、くふうする力」(知識及び技能)</li> <li>・「ためしたり、見つけたりして、考えたり、思いついたりする力」(思考力、判断力、表現力等)</li> <li>・「心を開いてたのしく活動し、友だちとかかわり、協力し合う力」(学びに向かう力、人間性等)</li> </ul> <p>○ 重点的に育成したい資質・能力に対応した、児童が自己評価する際の手助けになる振り返りの視点を示している。</p>	第 3 ・ 4 学 年 ( <u>下</u> )	<p>「ほった線からはじまるお話」</p> <p>○ 学習のめあて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>ちょうこく刀の使い方になれ、ほり方や刷り方をくふうする。</u> (知識及び技能)</li> <li>・ ほってできた線の感じから想ぞうを広げ、表したいことを考える。 (思考力、判断力、表現力等)</li> <li>・ ちょうこく刀でほって、紙に刷ることをたのしむ。 (学びに向かう力、人間性等)</li> </ul> <p>○ ふりかえり 線のほり方と刷り方をどのようにくふうして表せたのかな。</p>
日 文	<p>○ 各題材の目標を、資質・能力の三つの柱に基づいて、3種類のマークと文で示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「形や色のかんじが分かることや、ざいりょうや用ぐをくふうして使うこと。」(知識及び技能)</li> <li>・ 「つくりたいものやつくり方を考えることや、作ひんや活動のよさやおもしろさを感じること。」(思考力、判断力、表現力等)</li> <li>・ 「楽しんで、思いをじつげんしようすること。」(学びに向かう力、人間性等)</li> </ul> <p>○ 「学びに向かう力、人間性等」の涵養へとつなげるために、活動を通して、どのような気付きや学びがあったのか、学習を振り返るための視点を示している。</p>	第 3 ・ 4 学 年 ( <u>下</u> )	<p>「ほってすって見つけて」</p> <p>○ 学しゅうのめあて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ほったりすったりして、形の感じを見つける。 (知識及び技能)</li> <li>・ ほる線や形をくふうする。 (知識及び技能)</li> <li>・ ほった線や形から、表したいことや表し方を考える。 (思考力、判断力、表現力等)</li> <li>・ ほったりすったりした線や形のよさを味わう。 (思考力、判断力、表現力等)</li> <li>・ ほり方をためしたり、すったりすることを楽しむ。 (学びに向かう力、人間性等)</li> </ul> <p>○ ふりかえり 木をほっていくのはどんな感じかな。すったものを見た時、どんなことを感じたかな。</p>

【図画工作】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②〔共通事項〕を視点とした学びの示し方
方法	〔共通事項〕を視点とした学びの示し方と具体例

	〔共通事項〕を視点とした学びの示し方	具体例	
開 隆 堂	○ 全ての題材で、キャラクターの吹き出しに〔共通事項〕を視点として思考させるためのコメントを示し、学びを促している。	表現	第1・2学年〈下〉「おはながみ かさねて すかして」 ・ちがう 形や 色のお花紙を ならべて かさねると、どんな かんじに なるかな。
		鑑賞	第5・6学年〈下〉「墨や筆の技 水墨画の世界へ」 ・どんなところが、どうして気になったのかな。
日 文	○ ほぼ全ての題材で、「特に大切なめあてのヒント」や「かん賞のヒント」に〔共通事項〕を視点として思考させるためのコメントを示し、学びを促している。	表現	第1・2学年〈下〉「ひかりの プレゼント」 ・ざいりょうを ならべたり かさねたり、うつしかたをかえたり して みよう。 ・どの ひかりが きれいかな。どんな かざしかたをして いるかな。
		鑑賞	第5・6学年〈下〉「音の絵」 ・音は、どんな線や形、色で表せそうかな。 ・音のリズムや動きを意識してもいいね。どんな用具や表し方がいいかな。

(注) 〔共通事項〕とは、表現及び鑑賞の活動の中で、共通に必要な資質・能力であり、形や色などの造形的な特徴を理解したり、イメージをもったりするなど、表現及び鑑賞の活動の基になるとともに、形や色などを活用したコミュニケーションの基盤となるものである。

【図画工作】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫
方法	材料や用具の取扱い等の示し方

材料や用具の取扱い等の示し方	
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材ごとに主に使用する用具や材料について、ページ左上に材料名や用具名とイラストで示している。</li> <li>○ 全ての学年において巻末に、「学びの資料」を設け、学年に応じて必要な材料や用具の扱い方、技法、製作の過程、ICT機器の活用例等について、イラストや写真を用いて説明している。</li> <li>○ 表現の題材に、「安全」や「かたづけ」の囲みを設け、用具の安全な使い方や片付け方について文で示したり、題材によってはイラストや写真で示したりしている。</li> <li>○ 「参考」の囲みを設け、巻末の「学びの資料」のページ番号を示し、題材に合わせて材料や用具等を活用できるよう促している。</li> <li>○ 二次元コードから、用具の安全な使い方や技法についての動画資料を視聴することができる。</li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材ごとに主に使用する用具について、ページ番号横に材料名や用具名とイラストで示している。</li> <li>○ 全ての学年において巻末に、「材料と用具のひきだし」を設け、学年に応じて必要な材料や用具の扱い方や技法について、イラストや写真を用いて説明している。</li> <li>○ 表現と一部の鑑賞題材に、「気をつけよう」や「かたづけ」の囲みを設け、用具の安全な使い方や片付け方について文で示したり、題材によってはイラストや写真で示したりしている。</li> <li>○ 高学年では、ページ下に「思い出そう」の囲みを設け、「表し方のくふう」「接着」について示し、題材に合わせてこれまでの学びを活用できるよう促している。</li> <li>○ 二次元コードから、用具の安全な使い方や技法についての動画資料を視聴することができる。</li> </ul>

【図画工作】

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	導入の示し方と具体例

	導入の示し方	具体例	
<b>開隆堂</b>	<p>○ 各題材名の上又は下に、活動のきっかけとなる文を示している。</p> <p>○ 全ての題材で二次元コードから、タブレット端末等で導入動画を視聴できるように示している。</p>	造形遊び	<p>第1・2学年〈上〉「スタンプぺったん」</p> <p>えのぐを つけたら どんな かたちになるのかな。</p> <p>みんなで うつつと もっと たのしい。</p>
		絵	<p>第5・6学年〈下〉「墨の達人」</p> <p>墨でかくことよさって何だろう。墨と水、いろいろな用具を組み合わせて、思いついたことをどんどんためてたのしもう。</p>
		立体	<p>第1・2学年〈上〉「はこと はこを くみあわせて」</p> <p>ならべたり つみあげたりしてみよう。どんなものが つくれそうかな。</p>
		工作	<p>第3・4学年〈下〉「飛び出すハッピーカード」</p> <p>つくってたのしい、もらってうれしい、思いが飛び出すハッピーカード。わたすところを想ぞうしたら、なんだかワクワクするね！</p>
		鑑賞	<p>第3・4学年〈上〉「えっへん！わたしが主人公です」</p> <p>ふしぎな生き物たちは、どのように表されているかな。ミロさんの絵を見てみよう。形や線、色を見ながら、ミロさんのかいた生き物を主人公にして、感じたことや想ぞうしたことをかこう。</p>
<b>日文</b>	<p>○ 各題材名の下に、活動のきっかけとなる文を示している。</p>	造形遊び	<p>第1・2学年〈上〉「ぺったん コロコロ」</p> <p>いろいろな ざいりょうで ペったんしたり コロコロしたり。</p> <p>どんな かたちが できるかな。</p>
		絵	<p>第5・6学年〈下〉「墨と水から広がる世界」</p> <p>墨と水がつくるたくさんの色。表し方を試して、紙の上に広がる世界を楽しもう。</p>
		立体	<p>第1・2学年〈上〉「はこで つくったよ」</p> <p>はこを つんだり ならべたり。おもいついたら、くっつけて。どんな ものを つくろうかな。</p>
		工作	<p>第3・4学年〈下〉「幸せを運ぶカード」</p> <p>つたえたいことやつたえる人の気持ちを思いうかべながら、カードをつくろう。仕組みを使うと、よくつたわるかな。</p>
		鑑賞	<p>第3・4学年〈上〉「絵を見て話そう」</p> <p>びじゅつ作ひんを見て、みんなで話をしよう。かんじたことや考えたことを話し合いながら見ると、絵の見え方はどうなるかな。</p>

【図画工作】

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑤表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫
<b>方法</b>	表現と鑑賞との関連を図った学習活動の示し方と具体例

	表現と鑑賞との関連を図った学習活動の示し方	学年	具体例
開 隆 堂	○ 表現と鑑賞を関連付けて学習を展開できる題材を設定したり、作品の見方や考え方を深め、表現に生かすことができるよう、特設の「小さな美術館」を設けたりしている。	第1・2学年 (下)	○ 「しぜんからのおくりもの」【造形遊び】と特設ページ「小さなびじゅつかん」の関連 ・身近な自然の中にある落ち葉や木の実、枝やつるを、形や色に着目しながら、並べ方や重ね方など、組合せを工夫して表現する活動を行う題材の次ページに、自然の中から集めた様々な形や色、触り心地を感じ取る活動例を示している。
		第3・4学年 (下)	○ 「木々を見つめて」【絵】と「自然の色 どんな色」【鑑賞】の関連 ・木から感じたことを基に表したいことを考え表現する活動の次ページに、作品を見て色づかいや形から感じ取ったことを交流し合ったり、自分たちの作品を色づかいに着目して再度見直したりする鑑賞題材を設定している。
		第5・6学年 (上)	○ 「あったらいい町どんな町」【絵】と「わたしの町のひみつ教えます」【鑑賞】の関連 ・想像を膨らませて表したい町を考え表現する活動の次ページに、友だちの作品を見て自分が見付けた町の秘密を発表したり、自分の作品を友だちに紹介したりする鑑賞題材を設定している。
日 文	○ 表現と鑑賞を関連付けて学習を展開できる題材を設定したり、作品の見方や考え方を深め、表現に生かすことができるよう、特設の「教科書美術館」を設けたりしている。	第1・2学年 (下)	○ 「ふしぎな たまご」【絵】、「おはなしから 生まれたよ」【絵】と「であって 生まれる いろの せかい」【鑑賞】の関連 ・自分が想像した世界やお話からイメージを広げ、形や色で表す表現題材と、色を混ぜて偶然生まれる色の面白さを感じ取り、そこからイメージを膨らませる活動を行う鑑賞題材を設定している。
		第3・4学年 (下)	○ 「光とかげから生まれる形」【造形遊び】、「光のさしこむ絵」【絵】と特設ページ「教科書美術館 光から生まれる形・色」の関連 ・光と影を使って造形遊びを行ったり、光を通して表現される形や色で絵に表したりする2つの表現題材の間に、光のよさを味わう特設ページ「教科書美術館」を設定している。
		第5・6学年 (上)	○ 「水から発見 ここきれい！」【鑑賞】と「のぞいてみると」【立体】、「ミラクル!ミラーワールド」【立体】の関連 ・色水をつくったり並べたりする表現活動と、自分なりの美しさを見付ける鑑賞活動が一体化した鑑賞題材や、形や色、奥行きや広がりを見え方を試したり確かめたりする鑑賞活動を行いながら表現する題材を設定している。

【図画工作】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥身近な作品・我が国や諸外国の親しみのある美術作品等や生活の中の造形の取扱い
方法	鑑賞の対象と示し方

	学年	鑑賞の対象	示し方
開隆堂	第1・2学年	○ 自分たちの作品や身近な材料など	〈上〉(かんしょう)「おしえて みんなの すきなもの」 友だちの作品を見て楽しむよう促す文とともに、自分たちの作品を鑑賞する様子や児童の作品を写真で示している。
			〈下〉(かんしょう)「たからもの ものがたり」 形や色に着目して友だちの宝物を見るよう促す文とともに、身近にある自然物や人工物を提示して発表する様子を写真で示している。
	第3・4学年	○ 自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程など	〈上〉(みんなのギャラリー)「地いきに学ぶ」 地域にある壁画や伝統工芸品、受け継がれてきた文化等を写真で示している。
			〈下〉(りったい)「直線と曲線から生まれる形」 割りばしや竹ひごを使った作品の製作過程や児童の作品を写真等で示している。
	第5・6学年	○ 自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形など	〈上〉(小さな美術館)「作品の世界に入りこんで」 諸外国の作品や児童の作品を複数示し、作品からイメージを膨らませ、見方や考え方を広げるよう促している。 (一部題材)「自然と生きる」「ごみゼロを目指す町」など、扱っている題材に関連する生活の中の造形を紹介しているものもある。
			〈下〉(小さな美術館)「よさを感じて 取り入れて」 構図の似ている日本の作品と諸外国の作品の写真を並べて示している。 (つながる造形)「人とともに未来をつくる」 案内看板やピクトグラム、ユニバーサルデザインなど、生活の中にあるデザインについて写真で示している。
日 文	第1・2学年	○ 自分たちの作品や身近な材料など	〈上〉(かんしょう)「すきな かたちや いろ なあに」 形や色に着目させる文とともに、身近にある様々な形や色の自然物や人工の材料を写真で示している。
			〈下〉(かんしょう)「でこぼこ はっけん!」 身の回りにあるでこぼこに着目させる文とともに、児童が手で触って感じる様子や児童が型取りしてつくった作品を写真で示している。
	第3・4学年	○ 自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程など	〈上〉(広がる図工)「みんなとつながる」 地域の施設や野外に展示された児童の作品や、地域の中にある美術作品の様子を写真で示している。
			〈下〉(立体・かんしょう)「のこぎりギコギコ」 のこぎりで木を切ったり、組み合わせたりする作品の製作過程や児童の作品を写真等で示している。
	第5・6学年	○ 自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形など	〈上〉(広がる図工)「どんなことをどんな方法で」 地域のキャラクターや、ピクトグラム、ポスター等、生活の中にある造形について写真で示している。 (図工のみかた)「どう見る? どう見える?」 身近にあるものを、視点を変えることで、様々な見方ができるということを例で挙げ、写真で示している。
			〈下〉(広がる図工)「平和を願って」 我が国や諸外国、平和を願って描かれた作品を写真で示している。 (教科書美術館)「受けつがれてきた形」 昔から受け継がれてきた日本に昔から伝わる伝統的な技法や作品を写真で示している。



【図画工作】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑦題材や資料等の配列
<b>方法</b>	題材数、構成や配列

	学年	題材数	1ページ題材	複数ページ題材	構成や配列						
					項目						
					造形遊び	絵	立体	工作	鑑賞		
<b>開隆堂</b>	第1・2学年〈上〉	23	0	23	4	7	4	7	1	全て学年の項目において題材を5項目に分類して配列している。 掲載している作品等にサイズを明記している。	
	第1・2学年〈下〉	23	0	23	4	7	3	8	1		
	第3・4学年〈上〉	22	0	22	3	7	3	8	1		
	第3・4学年〈下〉	22	0	22	3	7	3	8	1		
	第5・6学年〈上〉	20	0	20	2	7	3	7	1		
	第5・6学年〈下〉	19	0	19	2	7	3	6	1		
<b>日 文</b>	第1・2学年〈上〉	24	2	22	5	7	3	6	3	全て学年の項目において題材を5項目に分類して配列している。 掲載している作品等にサイズを明記している。	
	第1・2学年〈下〉	23	2	21	4	7	4	5	3		
	第3・4学年〈上〉	22	2	20	3	7	4	5	3		
	第3・4学年〈下〉	20	0	20	3	6	3	5	3		
	第5・6学年〈上〉	20	0	20	2	6	5	5	2		
	第5・6学年〈下〉	19	0	19	2	7	3	5	2		

【図画工作】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧作品等についての示し方の工夫
方法	作品や造形活動の示し方と具体例

	作品や造形活動の示し方	学年	具体例
開隆堂	○ 作品（図版番号あり）や造形活動について、発想・構想に関する発言やヒントを吹き出し等で示したり、題名や作者の考え・感想を示したりしている。	第1・2学年（下）	<p>「つんで ならべて びっくりしタワー」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ねん土を さわると ワクワクするね。</li> <li>・足が うごいて いどうする タワーなんだ。</li> <li>・あなを あけて、風が 通る タワーに しようかな。</li> <li>・「すしとさら、はしを かさねてみたら、いつのまにか おもしろい形になりました。」</li> <li>・「丸めた 形が 船に 見えてきたので、海ぞく船に しました。」</li> <li>・「よこに 広がる 入り口にして、まども つくりました。」</li> <li>・「前と 後ろに ちがう 形が あるので、いろいろな ところから見てね。」</li> </ul>
		第3・4学年（上）	<p>「光サンドイッチ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーシングペーパーをはるとどんな感じになるかな。</li> <li>・光にかざすと、組み合わせたざいりょうが、いろいろな形と色に見えるね。</li> <li>・「ダイヤの形を二つ組み合わせて人形をつくりました。」</li> <li>・「組み合わせをくふうして、カラフルな葉っぱとモモの実をつくりました。」</li> <li>・「色がすける感じをたしかめながら、にじ色を表げんしました。」</li> </ul>
		第5・6学年（上）	<p>「線から生まれたわたしの世界」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くるくるとペンを動かしていたら、おもしろい形ができたよ。</li> <li>・その作品は、線にスピードがあるのがいいね。</li> <li>・「定規でくり返し同じ線を引き、線でできた形を重ねるように表したら立体的な世界になりました。」</li> <li>・「ペンの先をはじくように勢いよく短めの線をかきはじめました。かきながら花火のようだと感じて、かき続けた作品です。」</li> <li>・「太めのペンを使って、力強くかきました。」</li> <li>・「雲形定規の曲線がきれいだったので、少しずつずらしながら似ている色をたくさん使ってかきました。」</li> <li>・「型を使って同じ図形を重ねてかくおもしろさに気づき、配置を考えながら表しました。」</li> </ul>
日 文	○ 作品や造形活動について、発想・構想に関する発言やヒントを吹き出し等で示したり、題名や作者の考え・感想を示したりしている。	第1・2学年（下）	<p>「ともだちハウス」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ねるのが 大すきな ともだちだよ。</li> <li>・シャワーや おふろもあるよ。</li> <li>・ジュースが のめる へやが あるよ。</li> </ul>
		第3・4学年（上）	<p>「うごいて楽しい わりピンワールド」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・りょう足をうごかせるようにしよう。</li> <li>・どこがうごくか分かるかな。</li> <li>・一つひとつが回るようにしよう。</li> <li>・くるっと回すと、ちがうせかいになるよ。</li> <li>・かんらん車の色をかえて、楽しいかんじにしたよ。</li> <li>・回りながら、いろいろなどうぶつを見られるよ。</li> </ul>
		第5・6学年（上）	<p>「まだ見ぬ世界」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花がいっぱいの写真を見て、人が世界中にいることを思いうかべたよ。人の心が花をそめていくことを想ぞうしたから、それぞれの花の色を変えて表したんだ。</li> <li>・フルーツの写真を見て、一つひとつが無げんの力をもっているように感じたよ。</li> <li>・家を黒くしたら、空の温かな感じもっとはっきりしてきたよ。</li> <li>・いろいろな鳥をかきたして、にぎやかな鳥の国にしたよ。自然をかいり後ろを黄色にしたりして、明るい場所にしたんだ。</li> <li>・うちゅうに散りばめられた星から想ぞうを広げて、みんなに幸せをとどける木を表したよ。</li> </ul>

【図画工作】

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑨表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫
<b>方法</b>	発想や構想、鑑賞の場面における言語活動の示し方、具体例

		発想や構想、鑑賞の場面における 言語活動の示し方	具体例	
開隆堂		○ 共同して製作する題材や、発想や構想、鑑賞の場面で児童が関わり合う活動を取り扱っており、言語活動を促す文、児童の活動の様子が分かる写真や対話を示している。	表現	第5・6学年（下）  「ドリームカンパニー」 ○ アイデアを考えてきかく書をつくろう ・そんなアイデアもあるんだ！いいね。 ・いっしょの会社でつくろうよ。 ・このアイデアを合わせたらおもしろくなりそうだよ。 ○ アイデアを集めて会社設立 ・わたしたちのグループは、空を飛ぶための道具をつくる会社です。 ○ 会社の製品を発表しよう ・製品のよさをしょうかいする資料をつくって、プレゼンテーションしたよ。 ・会社の看板をつくって宣伝をしよう。
			鑑賞	第3・4学年（上）  「えっへん！わたしが主人公です」 ○ お気に入りの生き物を主人公にすると、どんなお話ができるかな。 ・この馬のたてがみが気に入ったから、主人公にするよ。たてがみをなびかせて、ダンスしたらどうかな。 ・馬と馬の友だちがいっしょにおどっているようにかくと、たのしそうだね。 ・カタツムリの貝の形がおもしろいな。 ○ 主人公をかいて、気づいたことや想ぞうしたことを話そう。

	発想や構想、鑑賞の場面における 言語活動の示し方	具体例	
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 共同して製作する題材や、発想や構想、鑑賞の場面で児童が関わり合う活動を取り扱っており、言語活動を促す文、児童の活動の様子が分かる写真や対話を示している。</li> <li>○ 各上巻には、「ともだちの さくひんをみて はなそう」(第1・2学年〈上〉)、「友だちと作品を見て話そう」(第3・4学年〈上〉、第5・6学年〈上〉)の特設ページを設定し、作品を見て感じたことや考えたことを友だちと話し合う活動を示すことで、言語活動の充実を促している。</li> </ul>	表 現	<p style="text-align: center;">第5・6学年〈下〉</p> <p>「あったらいいなプロジェクト」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ テーマから思いついたことや、形、色、材料などを考えながら、「あったらいいな」を具体的にしよう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で発電できるといいな。</li> <li>・ただ発電するだけでなく、みんなが楽しめる仕組みもほしいな。</li> <li>・保護ネコが安心して過ごせる、いつも夜のように暗くなっている施設がいいな。</li> <li>・うちゅうゴミを回しゅうすることに特化した学校をつくろう。</li> </ul> </li> <li>○ 提案したいことに合う材料の使い方はどれかな。</li> <li>○ みんなにプロジェクトをプレゼンテーションしよう。</li> </ul>
		鑑 賞	<p style="text-align: center;">第3・4学年〈上〉</p> <p>「絵を見て話そう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 何がかかっているかな。</li> <li>○ ここはどんな場所だろう。</li> <li>○ どんな音が聞こえそうかな。</li> <li>○ どんな気持ちになるかな。</li> <li>○ 一人でじっくり見よう。</li> <li>○ 友だちと、気づいたことやかんじたことを話し合おう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ギターや音ぷがあるから、音楽のじっけん室みたい。</li> <li>・なるほど。くらくてふしぎなかんじだから、そんな見方もできそうだな。</li> <li>・おもしろい考えだね。わたしは、ピラミッドのひみつのへやの中だと思ったよ。</li> <li>・作品の中にいそうなものをかいてみたよ。</li> </ul> </li> </ul>

【家庭】

# 家 庭

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい家庭
9	開 隆 堂	わたしたちの家庭科

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 題材の目標の示し方	題材の目標の示し方及び具体例
		② 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫	基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る記述の工夫
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫	「生活の営みに係る見方・考え方」に気付かせ、意識させるための示し方及び具体例
		④ 学習した内容を家庭や地域で実践するための記述	生活の課題と実践の展開の示し方及び実践例
		⑤ 実生活での活用に関する記述	学習した内容を実生活で活用するための活動例及び活動例数
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 題材名や資料等の配列	題材名及び学習内容の配列と分量
		⑦ 各教科等と関連させて学習を進める工夫	各教科等と関連する内容の示し方及び具体例
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	学習内容と関連した図・イラスト・写真等の示し方及び具体例
		⑨ 個々の児童の状態等に応じた工夫	ユニバーサルデザイン等に関する配慮
(オ)	言語活動の充実	⑩ 言葉や図表を用いて生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫	言語活動を取り入れた学習の示し方と題材名及び活動例数

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	① 題材の目標の示し方
方法	題材の目標の示し方及び具体例

	題材の目標の示し方	具体例 (B 衣食住の生活)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材を3つの小題材で構成している。(題材：15 目標：45)</li> <li>○ 実生活にも役立つ問題解決的な学習を展開できるよう、題材は全て「1 見つめよう」「2 計画しよう・実践しよう」「3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3ステップで構成している。</li> <li>○ 学習過程に即して、ステップ1では課題を発見し、ステップ2では課題解決及び実践に取り組み、ステップ3では学習を振り返り新たな課題に気付くことができるように題材の構成を工夫している。</li> </ul>	<p>2 ゆでる調理でおいしさ発見</p> <p>1 見つめよう「調理の目的や手順を考えよう」 めあて「どのように調理を進めたらよいかを考えよう。」</p> <p>2 計画しよう・実践しよう「ゆでる調理をしよう」 めあて「青菜とじゃがいもの調理を通して、おいしくゆでる調理のポイントをつかもう。」</p> <p>3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう 「ゆでる調理の計画を立てて実践しよう」 めあて「学習したゆでる調理のポイントを生かして、ゆでる調理の計画を立てよう。」</p>
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材を2～3つの小題材で構成している。(題材：20 目標：59)</li> <li>○ 実生活にも役立つ問題解決的な学習を展開できるよう、題材は「1 気づく・見つける」「2 わかる・できる」「3 生かす・深める」の3ステップを基本として構成している。</li> <li>○ 学習過程に即して、ステップ1では課題を発見し、ステップ2では課題解決及び実践に取り組み、ステップ3では学習を振り返り新たな課題に気付くことができるように題材の構成を工夫している。</li> </ul>	<p>2 クッキング はじめの一步</p> <p>1 気づく・見つける「なぜ調理をするのだろうか」 学習のめあて「調理をするよさを見つける。」</p> <p>2 わかる・できる「ゆでて食べよう」 学習のめあて「ゆでる調理の手順や用具を知り、洗う、切る、ゆでる調理ができる。」</p> <p>3 生かす・深める「ゆでておいしい料理を作ろう」 学習のめあて「ゆでる調理で学んだことを生活に生かす。」</p>

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫
方法	基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る記述の工夫

基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る記述の工夫	
東 書	<p>○ 基本的な用語の確実な理解と獲得のため、家庭科で扱う重要語句を太字で表記している。 (重要語句) 家庭、家庭の仕事、家族、協力、ふれ合いの時間、団らん、献立、栄養のバランス、主食、主菜、副菜、汁物 等</p> <p>○ 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のため、「いつも確かめよう」を掲載し、35項目を取り上げている。実習のページには自己評価欄として「できたかな？」の項目を14か所掲載し、児童が自らの学習状況を評価・改善するための欄を設けている。</p> <p>○ 安全に技能を身に付けられるよう、実習や活動時の注意喚起として「安全マーク」を31か所に掲載し解説している。また、繰り返し確認できるよう、巻頭の「いつも確かめよう」において、「衛生・安全に気をつけて実習をしよう」として実習を安全に進めるための留意事項をまとめている。</p> <p>○ 基礎的・基本的な知識及び技能の定着等のため、デジタルコンテンツが使用可能な部分には「D」マークが掲載されており、二次元コードにより、Web上に掲載されている動画やワークシート、資料等を活用することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・包丁の使い方(右きき・左きき)                      ・野菜をおいしくゆでるコツ!</li> <li>・玉結びの仕方(右きき・左きき)                      ・玉どめの仕方(右きき・左きき)</li> <li>・布のたち方(右きき・左きき)                      ・冬の住まいの工夫                      等</li> </ul>
開 隆 堂	<p>○ 基本的な用語の確実な理解と獲得のため、家庭科で扱う重要語句を太字で表記するとともに、「家庭科でよく使われる用語」として巻末に示している。 (重要語句) 家庭の仕事、団らん、ふれあい、かかわり、こんだて、主食、主菜、副菜、しる物、飲み物 等</p> <p>○ 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のため、巻末に「実習に役立つワンポイント・調理編」「実習に役立つワンポイント・製作編」を掲載し、9項目を取り上げている。実習のページには自己評価欄として「できたかな」の項目を10か所掲載し、児童が自らの学習状況を評価・改善するための欄を設けている。</p> <p>○ 安全に技能を身に付けられるよう、実習や活動時の注意喚起として「安全マーク」を32か所に掲載し解説している。また、繰り返し確認できるよう、巻末の「安全と衛生に気をつけて実習しよう」において、実習を安全に進めるための留意事項をまとめている。</p> <p>○ 基礎的・基本的な知識及び技能の定着等のため、デジタルコンテンツが使用可能な部分には「QR」マークが掲載されており、二次元コードにより、Web上に掲載されている動画やワークシート、資料等を活用することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・包丁の持ち方・姿勢・おさえ方                      ・なぜ水から、湯からゆでるの？</li> <li>・玉結び    ・玉どめ</li> <li>・布の裁ち方    ・暖かく住まう工夫をした家                      等</li> </ul>

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	③「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫
<b>方法</b>	「生活の営みに係る見方・考え方」に気付かせ、意識させるための示し方及び具体例

	「生活の営みに係る見方・考え方」に 気付かせ、意識させるための示し方	具体例 (A 家族・家庭生活)
<b>東 書</b>	<p>○ 学習指導要領で示された「生活の営みに係る見方・考え方」を「家庭科の窓」として設定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各題材の初めのページのタイトル横に、「家庭科の窓」マークを示している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「主に、協力の視点で考えよう」 4か所</li> <li>「主に、健康・快適・安全の視点で考えよう」 10か所</li> <li>「主に、生活文化の視点で考えよう」 10か所</li> <li>「主に、持続可能な社会の視点で考えよう」 3か所 (p. 3、65、79、135を除く。)</li> </ul> </li> <li>各題材の初めのページにある「家庭科の窓」の隣に、キャラクターの吹き出しを用い、見方・考え方を具体的に示している。</li> </ul> <p>○ 最初の授業で「生活の営みに係る見方・考え方」について取り扱えるよう、巻頭に「家庭科の窓」を掲載するとともに、見方・考え方を平易な言葉に置き換えて示している。</p>	<p>9 見つめてみよう生活時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「主に、協力の視点で考えよう」</li> <li>「1日の時間をどのように使っているかな。どのような工夫をすると健康で楽しく協力して生活することができるだろう。」</li> </ul>
<b>開 隆 堂</b>	<p>○ 学習指導要領で示された「生活の営みに係る見方・考え方」を「生活の見方・考え方 4つの視点」として設定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各題材の初めのページのタイトル左下に、「生活の見方・考え方 4つの視点」マークを示している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「協力」のマーク 7か所</li> <li>「健康・快適・安全」のマーク 17か所</li> <li>「生活文化」のマーク 12か所</li> <li>「持続可能な社会」のマーク 14か所 (p. 3、36、37、76、87、128、130を除く。)</li> </ul> </li> <li>クローバーの葉を持ったキャラクターの吹き出しを用い、見方・考え方に気付く支援をしている。</li> <li>見方・考え方を図化したマークを p. 36、37、76、87、128、130に配置し、それぞれの内容における見方・考え方を具体的に示している。</li> </ul> <p>○ 最初の授業で「生活の営みに係る見方・考え方」について取り扱えるよう、巻頭に「生活の見方・考え方 4つの視点」を掲載するとともに、見方・考え方を平易な言葉に置き換えて示している。</p>	<p>1 生活時間をマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「協力」のマーク</li> <li>「健康・快適・安全」のマーク</li> <li>「生活文化」のマーク</li> <li>「持続可能な社会」のマーク</li> <li>「生活時間のマネジメントとは、24時間という資源で何をするか、どう使うか考えて計画を立て、実行してふり返り、その結果からさらに工夫していくやり方のことです。」</li> <li>生活時間を見直す4つの視点とその例 <ul style="list-style-type: none"> <li>「協力」家庭の仕事を家族といっしょに行う。</li> <li>「健康・快適・安全」ごみすてを分担する。</li> <li>「生活文化」季節の行事を家族と共に行える時間を作る。</li> <li>「持続可能な社会」おふろがわいたら続けて順番に入るようにする。</li> </ul> </li> </ul>



【家庭】

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④学習した内容を家庭や地域で実践するための記述
<b>方法</b>	生活の課題と実践の展開の示し方及び実践例

	生活の課題と実践の展開の示し方	実践例
<b>東 書</b>	<p>○ 学習指導要領「A 家族・家庭生活」の「(4)家族・家庭生活についての課題と実践」に対応した内容を「生活を変えるチャンス！」として3か所に掲載。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解決に向かうための「実践の進め方」を掲載し、学習の流れを示している。 (1 課題の設定 2 計画 3 実践 4 まとめ・発表 5 評価・改善)</li> <li>・実践例として、進め方に沿った具体的な方法を例示している。</li> <li>・「夏休みわくわくチャレンジ！」として、学習したことを家庭で実践している場面を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活を変えるチャンス！① 「年末大そうじ大作戦 わが家のニコエコプランを立てよう」</li> <li>・生活を変えるチャンス！② 「私の師走大作戦 協力して正月の準備をしよう」</li> <li>・生活を変えるチャンス！③ 「地域をよりよく大作戦 地域の人々に感謝の気持ちを伝えよう」</li> </ul> <p>合計3事例</p>
<b>開 隆 堂</b>	<p>○ 学習指導要領「A 家族・家庭生活」の「(4)家族・家庭生活についての課題と実践」に対応した内容を「レッツトライ！生活の課題と実せん」「生活の課題の実せん例」として2か所に掲載。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解決に向かうための「課題解決のステップ」を掲載し、学習の流れを示している。 (1 課題を決める 2 計画を立てる 3 実せんする 4 実せんをふり返る 5 実せんの評価と改善策) (1 課題の発見 課題の決定 2 計画の作成 3 実せん 4 ふり返り 評価 改善策 5 次への一歩)</li> <li>・実践例として、進め方に沿った具体的な方法を例示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レッツトライ！生活の課題と実践 「まかせて！わが家の仕事」</li> <li>・生活の課題と実せん例① 「わたしと家族のワンチーム大作戦」</li> <li>・生活の課題と実せん例② 「家族とクリーン大作戦」</li> <li>・生活の課題と実せん例③ 「貸し出し用上ばきを入れるふくろをつくろう」</li> <li>・生活の課題と実せん例④ 「地域の人と仲良くなるろう」</li> </ul> <p>合計5事例</p>

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤実生活での活用に関する記述
方法	学習した内容を実生活で活用するための活動例及び活動例数

学習した内容を実生活で活用するための活動例及び活動例数	
東 書	<p>○ 各題材の第3小題材「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」及びその「活動 深めよう」において、学習内容を生活に結び付ける活動例を示している（15か所）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できることを増やしていこう（自分にできる仕事を見つけ、実行し、結果を記録する）</li> <li>・ゆでる調理の計画を立てて実践しよう（茹で方のポイントを確認し、「オリジナルのゆで野菜サラダ」を考える）</li> <li>・手ぬいのよさを生活に生かそう（どのようなことに手縫いが生かせるか話し合い、手縫いを使ってやってみたいことの計画を立てる）</li> <li>・持続可能な社会をつくろう（物を選ぶときの工夫をカードにまとめ、発信する）</li> <li>・食生活を工夫しよう（おいしいご飯やみそ汁の作り方のポイントを話し合い、「わが家のとっておきのみそ汁」を考えて紹介する）</li> <li>・物を生かして快適に生活しよう（掃除の仕方を伝える）</li> <li>・団らんを生活の中に生かそう（実践を振り返り、より楽しく和やかな時間を過ごすための工夫を提案する）</li> <li>・世界に一つだけの作品を楽しく使おう（「作品しょうかいミニカード」にまとめて伝え、これから作りたい物をイメージする）</li> <li>・生活時間を有効に使おう（「すてき時間作戦」を立て、友だちの意見を聞く）</li> <li>・朝食から健康な生活を始めよう（いためるおかずを使った朝食の計画を考え、家族に説明する）</li> <li>・夏の生活を工夫しよう（学校での暑さ対策を考え、話し合う。我が家で夏を健康で快適に過ごすための工夫を考えて計画を立てる）</li> <li>・衣生活を楽しく豊かにしよう（生活を楽しく豊かにする布作品を考え、製作計画を立てる）</li> <li>・工夫してよりよい食事にしよう（テーマを決めた食事作りを計画し、招待状を作成する）</li> <li>・冬の生活を工夫しよう（学校での寒さ対策を考え、話し合う。健康で快適に過ごすためのアドバイスをを行う）</li> <li>・もっとかがやくこれからの私たち（地域の一員として家庭や地域でできることを考え発表し合う）</li> </ul>
	<p>○ 各題材の最後に設けられた「生かす・深める」の欄において、学習内容を生活に結び付ける活動例を示している（19か所）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆでておいしい料理を作ろう「実せんレポート 地域の野菜をゆでたよ！」</li> <li>・手ぬいを生活に生かそう「手ぬいの作品にちょう戦」</li> <li>・身の回りを快適で安全にしよう「マイプランに挑戦—置き場所や置き方、物の使い方や安全などを考えて」</li> <li>・続けよう、家庭の仕事「取り組んだことを記録し、続けよう」</li> <li>・ミシンを使って製作しよう「作品を生活で使ってみよう」</li> <li>・日常の食事に生かそう「やってみたよ！わが家のみそしる作り—わたしのおすすめのみそしる—（秋）」</li> <li>・これからの生活に生かそう「自分だけの買い物マイルールをつくろう」</li> <li>・快適で安全な着方を工夫しよう「山登りにはどのような衣服がよいだろう」</li> <li>・暖かく快適な住まい方を工夫しよう「暖かく快適な住まい方のアドバイスをしよう」</li> <li>・続けよう！いっしょにほっとタイム「作ってみよう かんたんなおやつ」</li> <li>・続けよう！生活時間のマネジメント「これからも生活時間のマネジメントを続けていこう」</li> <li>・朝食を食べよう「やってみたよ！朝食作り」</li> <li>・身の回りを快適にしよう「クリーン作戦 身の回りを快適にしよう」</li> <li>・手入れの工夫を調べよう「発表・交流をしてみよう」</li> <li>・生活快適プランを考え、生活に生かそう「生活快適プラン—日光、通風、自然の力、音などから考えよう」</li> <li>・作ったふくろで生活を豊かに「ふくろの活用を生かせるアイデアを友達と交流しよう」</li> <li>・工夫して毎日の食生活に生かそう「レポートを作り、発表会で交流しよう」</li> <li>・地域の人たちと共に生きよう「「地域かかわりプロジェクト」の例」</li> <li>・生活の中で取り組もう「持続可能な社会に向けたわたしの約束」</li> </ul>
開 隆 堂	

【家庭】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥題材や資料等の配列
方法	題材名及び学習内容の配列と分量

	学年	題材名	ページ数	A 家族・家庭生活	B 衣食住の生活	C 消費生活・環境
東書	第5学年	1 私の生活、大発見!	8	○	○	
		2 ゆでる調理でおいしさ発見	8		○	
		3 ひと針に心を込めて	7		○	
		4 持続可能な社会へ 物やお金の使い方	8			○
		5 食べて元気! ご飯とみそ汁	10		○	
		6 物を生かして住みやすく	8		○	○
		7 気持ちがつながる家族の時間	3	○		
		8 ミシンにトライ! 手作りで楽しい生活	11		○	
	第6学年	9 見つめてみよう 生活時間	4	○		
		10 朝食から健康な1日の生活を	8		○	
		11 夏をすずしく さわやかに	10		○	
		12 思いを形にして生活を豊かに	10		○	
		13 まかせてね 今日の食事	9		○	○
		14 冬を明るく 暖かく	6		○	
		15 あなたは家庭や地域の宝物	6	○		
開隆堂	第5学年	1 毎日の生活を見つめてみよう	2	○		
		2 クッキングははじめの一步	10		○	
		3 ソーイングははじめの一步	8		○	
		4 整理・整とんで快適に	6		○	○
		5 できるよ家庭の仕事	3	○		
		6 ミシンで楽しくソーイング	10		○	
		7 食べて元気に	10		○	
		8 生活を支える物やお金	8			○
		9 着方の工夫で快適に	4		○	
		10 暖かい住まい方で快適に	4		○	
		11 いっしょに「ほっとタイム」	4	○		
	第6学年	1 生活時間をマネジメント	4	○		
		2 できることを増やしてクッキング	6		○	
		3 クリーン作戦で快適に	4		○	○
		4 衣服の手入れで快適に	6		○	○
		5 すずしい住まい方で快適に	6		○	○
		6 ソーイングで生活を豊かに	8		○	
		7 こんだてを工夫して	8		○	
8 共に生きる地域での生活		6	○			
9 持続可能な社会のために	4			○		

【家庭】

<b>観点</b>	<b>(ウ) 内容の構成・配列・分量</b>
<b>視点</b>	⑦各教科等と関連させて学習を進める工夫
<b>方法</b>	各教科等と関連する内容の示し方及び具体例

	各教科等と関連する内容の示し方	具体例 (B 衣食住の生活)
<b>東 書</b>	<p>○ 各教科等や中学校の学習内容との関連については、「ほかの教科の学習、中学校の学習との関わりを見てみよう。」として丸を重ねたマークを示し、教科等名、学年、単元概要を示している。(34個)</p> <p>○ ページ番号の横に家庭科用語の英語表記と絵を示し、次ページのページ番号の横に日本語表記と絵を掲載している。(45個)</p>	<p>5 食べて元気！ご飯とみそ汁</p> <p>1 毎日の食事を見つめよう</p> <p>2 ご飯とみそ汁を調理して、食事について考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会5年 私たちの生活と食料生産</li> <li>・理科6年 人の体のつくりと働き</li> <li>・体育3年 健康な生活</li> <li>・理科5年 植物の発芽、成長、結実</li> <li>・Japan、rice、miso soup、eat</li> </ul> <p>3 食生活を工夫しよう</p>
<b>開 隆 堂</b>	<p>○ 各教科等の学習内容との関連については、「他教科での学習と関連する内容」として「関連マーク」を示し、教科等名、学年、単元概要を示している。(27個)</p> <p>○ ページ番号の横に家庭科用語の日本語と英語の表記を掲載している。(116個)</p>	<p>7 食べて元気に</p> <p>1 なぜ毎日食事をするのだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育3年 健康な生活</li> <li>・rice</li> </ul> <p>2 ご飯とみそしるを作って食べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳5・6年 伝統と文化の尊重</li> <li>・社会5年 食料生産</li> <li>・理科5年 植物の発芽、成長、結実</li> <li>・社会3年 生活の道具の変化</li> <li>・算数2年 かさの単位と測定</li> <li>・理科6年 食べ物の消化・吸収・排出</li> <li>・体育4年 体の発育・発達</li> <li>・miso soup、boil rice、chopsticks、soup stock、radish、energy、milk</li> </ul> <p>3 日常の食事に生かそう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・rice ball</li> </ul>

【家庭】

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
<b>方法</b>	学習内容と関連した図・イラスト・写真等の示し方及び具体例

	学習内容と関連した図・イラスト・写真等の示し方	具体例 (B 衣食住の生活)
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 示し方                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習上参考となる資料等を主に「資料」のマーク (83 個) 等で示している。</li> </ul> </li> <li>○ 示している内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容に関係する人、職業</li> <li>・伝統文化の内容</li> <li>・製作計画例 (実習カード) 等の例示</li> <li>・授業で扱うことのできる実験や実習の例 等</li> </ul> </li> </ul>	<p>6 物を生かして住みやすく</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「資料1」ダニの写真、床 1 m<sup>2</sup>あたりのダニの数と住宅の割合のグラフ</li> <li>・「資料2」汚れの種類と掃除の仕方の表、汚れの種類の写真、掃除道具のイラスト</li> <li>・「資料3」ぞうきんの絞り方の写真</li> <li>・「資料4」家庭から出るごみの量に関してコメントを述べるキャラクターのイラスト</li> <li>・「日本の伝統」「環境」ノーベル平和賞受賞者の写真</li> <li>・「プロに聞く！」整理収納のアドバイスをする人の写真</li> </ul>
<b>開 隆 堂</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 示し方                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習上参考となる資料等を主に「参考」のマーク (23 個) 等で示している。また、タイトルの最初に「◎」のマークを付して、資料を掲載している。</li> </ul> </li> <li>○ 示している内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容に関係する人、職業</li> <li>・伝統文化の内容</li> <li>・製作計画書等の例示</li> <li>・授業で扱うことのできる実験や実習の例 等</li> </ul> </li> </ul>	<p>3 クリーン作戦で快適に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「参考」汚れをそのままにしておいた場合の変化と掃除道具のイラスト</li> <li>・「参考」黒かびとチリダニの写真</li> <li>・「参考」効果的な掃除の仕方のイラストと写真</li> <li>・「キャリアインタビュー」掃除用ロボット開発会社の共同創設者の写真</li> </ul>

【家庭】

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑨個々の児童の状態等に応じた工夫
<b>方法</b>	ユニバーサルデザイン等に関する配慮

ユニバーサルデザイン等に関する配慮	
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>○ 内容ごとに配色を統一し、見開き右側にインデックスとして題材番号を示している。</li> <li>○ 折れ線グラフについては、折れ線を色で区分することに加え、グラフ内の各項目の視認性を高めるために線種を破線等で示したり、マーカーの形状に差異を付けたりしている。</li> <li>○ 実習・製作の作業手順を横向きの配置に統一している。</li> <li>○ 手指の巧緻性が未熟な児童に対応できるよう、作業する手元を拡大した写真を掲載している。</li> <li>○ 巻末に、左利きの児童用の資料を掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・包丁の持ち方</li> <li>・包丁で材料を切る</li> <li>・包丁で皮をむく（じゃがいもの例）</li> <li>・包丁で芽を取る</li> <li>・針と布を持ってぬう</li> <li>・布をたつ</li> </ul> </li> </ul>
<b>開 隆 堂</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>○ 内容ごとに配色を統一し、見開き上部等に表示するとともに、見開き右側にインデックスと内容を示している。</li> <li>○ 円グラフについては、項目ごとに色で区分することに加え、グラフ内の各項目の視認性を高めるために項目の境目に線を入れている。</li> <li>○ 実習・製作の作業手順を横向きの配置に統一している。</li> <li>○ 手指の巧緻性が未熟な児童に対応できるよう、作業する手元を拡大した写真・イラストを掲載している。</li> <li>○ 巻末に、左利きの児童用の資料を掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料を包丁で切る（にんじん）</li> <li>・じゃがいもの皮をむく・芽を取る</li> <li>・はしの持ち方</li> <li>・針と糸で布をぬう</li> <li>・裁ちばさみで布を裁つ</li> </ul> </li> </ul>

【家庭】

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑩言葉や図表を用いて生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫
<b>方法</b>	言語活動を取り入れた学習の示し方と題材名及び活動例数

<b>東 書</b>	<b>言語活動を取り入れた学習の示し方</b>	
	○ 主に「活動」のマークで示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動を取り上げている。	
	<b>題材名</b>	<b>活動例数</b>
	1 私の生活、大発見！	話し合おう(1)、調べよう(1)、やってみよう(1)、深めよう(1)
	2 ゆでる調理でおいしさ発見	話し合おう(2)、考えよう(2)、調べよう(1)、深めよう(1)
	3 ひと針に心を込めて	話し合おう(1)、調べよう(1)、やってみよう(2)、深めよう(1)
	4 持続可能な社会へ 物やお金の使い方	考えよう(3)、話し合おう(1)、深めよう(1)
	5 食べて元気！ご飯とみそ汁	話し合おう(1)、調べよう(2)、やってみよう(2)、深めよう(1)
	6 物を生かして住みやすく	話し合おう(1)、やってみよう(2)、調べよう(2)、深めよう(1)
	7 気持ちがあつながら家族の時間	話し合おう(1)、やってみよう(1)、深めよう(1)
	8 ミシンにトライ！手作り楽しい生活	話し合おう(2)、調べよう(1)、やってみよう(2)、深めよう(1)
	5年生のまとめ	深めよう(1)
	9 見つめてみよう 生活時間	考えよう(1)、話し合おう(1)、深めよう(1)
	10 朝食から健康な1日の生活を	話し合おう(1)、調べよう(1)、やってみよう(2)、深めよう(1)
	11 夏をすずしく さわやかに	話し合おう(2)、調べよう(1)、考えよう(1)、やってみよう(1)、深めよう(1)
	12 思いを形にして生活を豊かに	考えよう(1)、やってみよう(2)、話し合おう(1)、深めよう(1)
13 まかせてね 今日の食事	話し合おう(3)、やってみよう(2)、深めよう(1)	
14 冬を明るく 暖かく	話し合おう(1)、やってみよう(1)、調べよう(1)、深めよう(1)	
15 あなたは家庭や地域の宝物	考えよう(2)、調べよう(1)、深めよう(1)	
2年間のまとめ	深めよう(1)	
<b>開 隆 堂</b>	<b>言語活動を取り入れた学習の示し方</b>	
	○ 主に「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」のマークで示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動を取り上げている。	
	<b>題材名</b>	<b>活動例数</b>
	1 毎日の生活を見つめてみよう	－
	2 クッキングはじめの一步	考えよう(2)
	3 ソーイングはじめの一步	考えよう(2)、話し合おう(2)
	4 整理・整とんで快適に	調べよう(1)、やってみよう(2)
	5 できるよ家庭の仕事	調べよう(1)
	6 ミシンで楽しくソーイング	－
	7 食べて元気に	調べよう(1)、やってみよう(2)、考えよう(2)
	8 生活を支える物やお金	話し合おう(3)
	9 着方の工夫で快適に	話し合おう(1)、考えよう(1)
	10 暖かい住まい方で快適に	調べよう(1)
	11 いっしょに「ほっとタイム」	－
	1 生活時間をマネジメント	やってみよう(1)
	2 できることを増やしてクッキング	話し合おう(2)
	3 クリーン作戦で快適に	調べよう(1)、考えよう(1)
	4 衣服の手入れで快適に	話し合おう(1)
	5 すずしい住まい方で快適に	調べよう(2)、考えよう(1)
	6 ソーイングで生活を豊かに	考えよう(2)、話し合おう(2)
	7 こんだてを工夫して	やってみよう(1)
	8 共に生きる地域での生活	やってみよう(2)、見つめよう(1)
	9 持続可能な社会のために	話し合おう(2)

## 保 健

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名
2	東	書	新編 新しい保健
4	大	日 本	新版 たのしい保健
50	大	修 館	新 小学校保健
207	文	教 社	新わたしたちの保健
208	光	文	小学保健
224	学	研	新・みんなの保健

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	単元の目標の示し方	学習課題の示し方、学習の動機付け
		②	体育・健康に関する内容の記述	学校における食育・安全・体力向上(運動領域との関連)に関する記述
		③	実習に関する記述	不安や悩みへの対処、けがの手当てに関する実習事例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	学習の見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	単元ごとの導入方法、まとめや振り返りの工夫
		⑤	健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けた学習活動の工夫	学習の進め方の示し方、課題解決の過程
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥	単元や資料等の配列	単元における項目、資料等の配列
		⑦	発展的な学習に関する内容の記述	発展的な学習の具体例と事例数
(エ)	内容の表現・表記	⑧	本文記述と関連付けがなされた学習資料の活用	本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の掲載内容
(オ)	言語活動の充実	⑨	身近な健康について、自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫	自分の知識や経験に照らして自分の考えを記入する活動の数



<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	①単元の目標の示し方
<b>方法</b>	学習課題の示し方、学習の動機付け

	第3・4学年		第5・6学年	
	学習課題の示し方	学習の動機付け	学習課題の示し方	学習の動機付け
<b>東書</b>	○ 項目ごとに「学習の課題」として質問形式の課題提示 ○ 動機付けの後に提示	<b>【気づく・見つける】</b> ○ 生活を振り返って、書く(チェックする)活動(7)	○ 項目ごとに「学習の課題」として質問形式の課題提示 ○ 動機付けの後に提示	<b>【気づく・見つける】</b> ○ 生活を振り返って、書く(チェックする)活動(14)
<b>大日本</b>	○ 項目ごとに「ここで学ぶこと」として質問形式の課題提示 ○ 動機付けの後に提示	<b>【つかもう】</b> ○ 生活を振り返って、書く(チェックする)活動(8)	○ 項目ごとに「ここで学ぶこと」として質問形式の課題提示 ○ 動機付けの後に提示	<b>【つかもう】</b> ○ 生活を振り返って、書く(チェックする)活動(17)
<b>大修館</b>	○ 項目ごとに「きょうの課題」として質問形式の課題提示 ○ 動機付けの後に提示	<b>【課題をつかもう】</b> ○ 生活を振り返って、書く(チェックする)活動(4)	○ 項目ごとに「きょうの課題」として質問形式の課題提示 ○ 動機付けの後に提示	<b>【課題をつかもう】</b> ○ 生活を振り返って、書く(チェックする)活動(9)
<b>文教社</b>	○ 項目ごとに「学習のめあて」として質問形式の課題提示	<b>【Mission①】</b> ○ 生活を振り返って、調べる、書く(チェックする)活動(6)	○ 項目ごとに「学習のめあて」として質問形式の課題提示	<b>【Mission①】</b> ○ 生活を振り返って、調べる(チェックする)活動(5)
<b>光文</b>	○ 項目ごとに「学習の課題」として質問形式の課題提示	<b>【見つけよう】</b> ○ 生活を振り返って、書く(チェックする)活動(3)	○ 項目ごとに「学習の課題」として質問形式の課題提示	<b>【見つけよう】</b> ○ 生活を振り返って、書く(チェックする)活動(3)
<b>学研</b>	○ 項目ごとに「学習の課題」として質問形式の課題提示	<b>【ふり返ろう】</b> <b>【予想しよう】</b> <b>【考えてみよう】</b> <b>【チェックしよう】</b> ○ 項目ごとに、書く(チェック)活動(7)	○ 項目ごとに「学習の課題」として質問形式の課題提示	<b>【ふり返ろう】</b> <b>【予想しよう】</b> <b>【考えよう】</b> <b>【チェックしよう】</b> ○ 項目ごとに、書く(チェック)活動(15)

※ ( ) は活動数。

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>	
	<b>視点</b>	②体育・健康に関する内容の記述
	<b>方法</b>	学校における食育・安全・体力向上（運動領域との関連）に関する記述
	<b>学校における食育・安全・体力向上（運動領域との関連）に関する記述</b>	
	<b>第3・4学年</b>	<b>第5・6学年</b>
<b>東 書</b>	<p><b>【食育】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「スポーツ選手と食事」の情報</li> </ul> <p><b>【安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「けんこうを守る活動（学校）」の情報</li> <li>○ 「外で遊ぶときに注意すること」の情報</li> </ul> <p><b>【体力向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「運動を楽しく続けよう」の情報</li> </ul>	<p><b>【安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ユニバーサルデザインをさがそう」の情報</li> <li>○ 「自転車安全利用五則」の情報</li> <li>○ 「自動車の特性」の情報</li> <li>○ 「インターネットによる犯罪被害」の情報</li> <li>○ 「安全マップを作ろう」の情報</li> <li>○ 「自然災害によるけがの防止」の発展資料</li> <li>○ 「さまざまな自然災害」の情報</li> <li>○ 「熱中症の予防と手当」の情報</li> <li>○ 「歯のけが」の情報</li> <li>○ 「胸骨圧迫とAED」の情報</li> <li>○ 「地域の健康や安全を守る活動に取り組む人々」の情報</li> <li>○ 「だれもが安心して生活できる社会」の情報</li> </ul> <p><b>【体力向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「運動やスポーツでの関わり」の情報</li> <li>○ 「きん張をコントロールする方法」の情報</li> <li>○ 「なやんでいるあなたへ」という読み物</li> </ul>
<b>大 日 本</b>	<p><b>【食育】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「けんこうからつながる夢」のアスリートの情報</li> <li>○ 「早ね、早起き、朝ごはん」の情報</li> </ul> <p><b>【安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学校でのほけん活動」の情報</li> </ul> <p><b>【体力向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「けんこうからつながる夢」のアスリートの情報</li> <li>○ 「生活のなかの運動」の情報</li> <li>○ 「運動のこうか」の情報</li> </ul>	<p><b>【安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「けがや事故」の情報</li> <li>○ 「ヒヤリハット」の情報</li> <li>○ 「水の事故から身を守ろう」の情報</li> <li>○ 「安全な自転車の乗り方」の情報</li> <li>○ 「安全な環境づくり」の情報</li> <li>○ 「地域の安全マップ」の情報</li> <li>○ 「犯罪被害が起こる時間・場所」の情報</li> <li>○ 「インターネットと犯罪被害」の情報</li> <li>○ 「体の大切な場所」の情報</li> <li>○ 「人がたおれていたら」の情報</li> <li>○ 「AED」の情報</li> <li>○ 「公しゅう電話の使い方」の情報</li> <li>○ 「熱中症の予防と手当」の情報</li> </ul> <p><b>【体力向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「夢や目標をかなえるために」のアスリートの情報</li> <li>○ 「体と心をほぐしてみよう！」の情報</li> <li>○ 「体ほぐしの運動」の情報</li> </ul>

		学校における食育・安全・体力向上（運動領域との関連）に関する記述	
		第3・4学年	第5・6学年
大 修 館	<p><b>【食育】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「早ね早起き朝ごはん①朝ごはんを食べよう」の情報</li> <li>○ 「早ね早起き朝ごはん②生活のリズムをチェック」の情報</li> <li>○ 「やせすぎに注意しましょう！」の情報</li> <li>○ 「栄養バランスのよい給食」の情報</li> </ul> <p><b>【安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「安全に外遊びをするために」の情報</li> <li>○ 「地震から身を守ろう」の情報</li> </ul> <p><b>【体力向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「運動と生活リズム」の情報</li> <li>○ 「体を動かすチャンスはいっぱい」の情報</li> <li>○ 「とんだり、はねたりする運動や遊びを楽しもう！」の情報</li> <li>○ 「こんな動きや運動にチャレンジしよう」の情報</li> <li>○ 「運動のしすぎに気をつけよう」の情報</li> </ul>	<p><b>【食育】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「むし菌になりやすいおやつ」の情報</li> <li>○ 「塩分のとりすぎは、なぜよくない？」の情報</li> </ul> <p><b>【安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「小学生の学校生活でのけが」の情報</li> <li>○ 「子どもの交通事故の原因と水の事故」の情報</li> <li>○ 「安全な自転車の乗り方」の情報</li> <li>○ 「知っておこう！車の特徴」の情報</li> <li>○ 「ユニバーサルデザイン」の情報</li> <li>○ 「危険な「ながらスマホ」」の情報</li> <li>○ 「小学生が犯罪被害にあった場所と時間帯」の情報</li> <li>○ 「インターネットによる犯罪被害を防ぐ」の情報</li> <li>○ 「熱中症の予防と手当」の情報</li> <li>○ 「命を救うAED」の情報</li> <li>○ 「たおれた人に出会ったときの応急手当」の情報</li> </ul> <p><b>【体力向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「運動やスポーツの経験と心の発達」の情報</li> <li>○ 「スポーツが教えてくれたもの」のインタビュー</li> <li>○ 「全身を使った運動」の情報</li> <li>○ 「がんを経験したサッカー選手」のインタビュー</li> </ul>	
	文 教 社	<p><b>【食育】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「栄養3・3運動」の情報</li> </ul> <p><b>【安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学校で行われているほけん活動」の情報</li> </ul> <p><b>【体力向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「まずは運動からはじめよう！～毎日の生活に運動を取り入れよう～」の情報</li> <li>○ 「生活の中で続けていける運動」の情報</li> </ul>	<p><b>【安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自転車の事故を防ごう！」の情報</li> <li>○ 「事故のない社会に向けて」の情報</li> <li>○ 「なぜ、トラブルになってしまったのかな」の情報</li> <li>○ 「災害が起きたら、あなたはどうしますか？」の情報</li> <li>○ 警察官からの「伝えたいこと」による安全に関する情報</li> </ul> <p><b>【体力向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「手軽に体をほぐしてみよう」による体ほぐしの情報</li> <li>○ 「アスリートからのメッセージ」の情報</li> </ul>

		学校における食育・安全・体力向上（運動領域との関連）に関する記述	
		第3・4学年	第5・6学年
光 文	【食育】	○ 「早ね早起き朝ごはん」の情報 ○ 「スポーツ選手と食事」の情報	【安全】
	【安全】	○ 「学校でのほけん活動」の情報	○ 「SNSを使うときにも注意しよう」の情報 ○ 「警察官に聞く 交通事故に注意！」の情報 ○ 「警察官に聞く 自分でしっかり気をつけよう」の情報 ○ 「子どもの事故」の情報 ○ 「自転車に安全に乗ろう」の発展情報 ○ 「「ながらスマホ」は危険！」の発展情報 ○ 「車の特徴を知ろう」の情報 ○ 「学校医に聞く 熱中症に注意」の情報 ○ 「インターネットのトラブル」の発展情報 ○ 「心肺蘇生とAED」の発展情報 ○ 「保健センターの人に聞く 予防接種の大切さ」の情報 ○ 「自然災害から身を守る」の発展情報 ○ 「医薬品の正しい使用のしかた」の発展情報 ○ 「喫煙・飲酒・薬物乱用から子どもを守るための取り組み」の情報 ○ 「インターネットと依存症」の発展情報
学 研	【食育】	○ 「毎日の生活と健康」の情報	【安全】
	【安全】	○ 「タブレットを使うときには」の発展情報 ○ 「みんな健康を守るための活動」の情報 ○ 「安全な生活のために①」の発展情報 ○ 「安全な生活のために②」の発展情報	○ 「事故やけがを防ぐユニバーサルデザイン」の情報 ○ 「犯罪から身を守るために」の情報 ○ 「熱中症の予防と手当」の発展情報 ○ 「自然災害や緊急事態に備えて」の発展情報 ○ 「胸骨圧迫とAED」の発展情報 ○ 「インタビュー 地域の人々の健康を守る保健師」の情報 ○ 「保健に関わる地域の施設について知ろう」の発展情報
	【体力向上】	○ 「わたしとけんこう」によるアスリートの情報 ○ 「これも運動！」の情報 ○ 「体を動かそう」の情報 ○ 「宇宙飛行士と運動」の発展情報 ○ 「スポーツ障害」の発展情報	【体力向上】
			○ 「わたしと健康」によるアスリートの情報 ○ 「不安やなやみと呼吸」の発展情報 ○ 「特別インタビュー～緊張や不安と向き合う～」によるアスリートの情報 ○ 「医師に聞く 運動不足に気をつけよう」の情報 ○ 「運動不足と生活習慣病」の発展情報
	【体力向上】	○ 「元気にからだを動かそう」の情報 ○ 「毎日の生活と健康」の情報	【体力向上】
			○ 「元気にからだを動かそう」の情報 ○ 「体がリラックスすると、心もリラックスする」の情報

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	③実習に関する記述
<b>方法</b>	不安や悩みへの対処、けがの手当てに関する実習事例

不安や悩みへの対処、けがの手当てに関する実習事例	
第5・6学年	
<b>東 書</b>	<p><b>【不安や悩みへの対処】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 例をイラストと言葉で掲載               <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でよく考える。</li> <li>・見方や考え方を変えてみる。</li> <li>・体を動かす。</li> <li>・信らいてできる人に話したり、相談したりする。</li> <li>・好きなことをする。</li> <li>・気にしないことにする。</li> </ul> </li> <li>○ 「体を動かして心を静めよう。」を掲載               <ul style="list-style-type: none"> <li>・こきゅう法</li> <li>・軽い運動</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【けがの手当て】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「軽いけがの簡単な手当をしよう。」のイラストと言葉を掲載 (けがの種類)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・すりきず、切りきず</li> <li>・打ぼく、つき指、ねんざ</li> <li>・鼻血</li> <li>・軽いやけど</li> </ul> </li> <li>○ 「はってん」の内容として、イラストと言葉を掲載               <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱中症の予防と手当</li> <li>・胸骨圧迫とAED</li> <li>・歯のけが</li> </ul> </li> </ul>
<b>大 日 本</b>	<p><b>【不安や悩みへの対処】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 例をイラストと言葉で掲載               <ul style="list-style-type: none"> <li>・原因を考える</li> <li>・解決するために努力する</li> <li>・休養する</li> <li>・相談する</li> <li>・気分を変える</li> </ul> </li> <li>○ 「はってん」の内容として、イラストと言葉を掲載               <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな不安やなやみ</li> <li>・家・地域でほけん～心の健康アップ大作戦～</li> <li>・いろいろな相談先</li> <li>・体ほぐしの運動とこきゅう法</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【けがの手当て】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「けがの手当てをしよう」のイラストと言葉を掲載 (けがの種類)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・すりきず</li> <li>・やけど</li> <li>・打ぼく・ねんざ</li> <li>・切りきず</li> <li>・鼻血</li> <li>・虫さされ</li> </ul> </li> <li>○ 「はってん」の内容として、イラストと言葉を掲載               <ul style="list-style-type: none"> <li>・人がたおれていたら</li> <li>・公しゅう電話の使い方</li> <li>・AED</li> <li>・熱中症の予防と手当</li> </ul> </li> </ul>
<b>大 修 館</b>	<p><b>【不安や悩みへの対処】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 呼吸法をイラストと言葉で掲載               <ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸法（腹式呼吸）</li> </ul> </li> <li>○ 体ほぐしの運動をイラストと言葉で掲載               <ul style="list-style-type: none"> <li>・筋肉をほぐす運動</li> <li>・体の力をぬく運動</li> </ul> </li> <li>○ 対処の方法をイラストと言葉で掲載               <ul style="list-style-type: none"> <li>・解決のために努力する</li> <li>・気分を変える</li> <li>・呼吸法や体ほぐしの運動を行う</li> <li>・信頼できる身近な人に相談する</li> <li>・十分に休む</li> </ul> </li> <li>○ 相談名人になろう！をイラストと言葉で掲載</li> </ul> <p><b>【けがの手当て】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 色々なけがの手当てをイラストと言葉で掲載 (けがの種類)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・すりきず</li> <li>・鼻血</li> <li>・やけど</li> <li>・切りきず</li> <li>・打ぼく・ねんざ・つき指</li> </ul> </li> <li>○ 「はってん」の内容として、イラストと言葉で掲載               <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱中症の予防と手当</li> <li>・たおれた人に出会ったときの応急手当</li> <li>・命を救うAED</li> </ul> </li> </ul>

不安や悩みへの対処、けがの手当てに関する実習事例	
第5・6学年	
文教社	<p><b>【不安や悩みへの対処】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 例をイラストと言葉で掲載               <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間と運動を楽しむ。</li> <li>・食事を楽しむ。</li> <li>・散歩をする。</li> <li>・ぐっすりねむる。</li> <li>・相談して、話を聞いてもらおう！</li> </ul> </li> <li>○ 色々な対処方法をイラストと言葉で掲載               <ul style="list-style-type: none"> <li>・腹式呼吸のしかた</li> </ul> </li> <li>○ 「かん単な体操」「ストレッチ」を写真と言葉で掲載               <ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐしの運動をする。</li> <li>・友達と会話を楽しむ。</li> <li>・おふろに入る。</li> <li>・しゅ味を楽しむ。</li> <li>・解決や目的に向かって努力する。</li> <li>・深呼吸をする。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【けがの手当て】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分でできる手当ての方法をイラストと言葉で掲載 (けがの種類)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・すり傷</li> <li>・やけど</li> <li>・切り傷</li> <li>・つき指</li> <li>・鼻血</li> <li>・ねんざ</li> <li>・打ぼく</li> </ul> </li> <li>○ AEDについての写真を掲載</li> <li>○ 「発展」の内容として、熱中症についてのフローチャートと解説を掲載</li> </ul>
光文	<p><b>【不安や悩みへの対処】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 例をイラストと言葉で掲載               <ul style="list-style-type: none"> <li>・原因を書き出す。</li> <li>・解決のために努力をする。</li> <li>・好きなことをして気分を変える。</li> </ul> </li> <li>○ 「やってみよう」において、「深呼吸のしかた」(腹式呼吸、胸式呼吸)をイラストと言葉で掲載</li> <li>○ 「さらに 広げよう 深めよう」において、「呼吸筋のストレッチ」をイラストと言葉で掲載</li> </ul> <p><b>【けがの手当て】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「やってみよう」において、手当ての仕方をイラストと言葉で掲載 (けがの種類)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・すりきず</li> <li>・鼻血</li> <li>・やけど</li> <li>・切りきず</li> <li>・打ぼく・ねんざ・つき指</li> </ul> </li> <li>○ 「はってん」の内容として、熱中症の予防と手当をイラストと言葉で掲載</li> <li>○ 「はってん」の内容として、「心肺蘇生とAED」についての写真やイラスト、解説を掲載</li> </ul>
学研	<p><b>【不安や悩みへの対処】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 例をイラストと言葉で掲載               <ul style="list-style-type: none"> <li>・不安やなやみの原因を考える。</li> <li>・家の人や先生などの身近な人に話したり、相談したりする。相談窓口相談する。</li> <li>・原因の解決のために努力する。</li> <li>・十分に休養をとる。</li> <li>・体ほぐしの運動を行う。</li> </ul> </li> <li>○ 「体がリラックスすると心もリラックスする」において、「教室でもできる体ほぐしの運動」「呼吸法(腹式呼吸法)」「体の力をぬく方法」をイラストと言葉で掲載</li> <li>○ 「みんなはどうしたかな? なやみへの対処」として、対処法をイラストと言葉で掲載               <ul style="list-style-type: none"> <li>・直接相手に言う</li> <li>・本を読む</li> <li>・運動で気分転換</li> <li>・相談する</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【けがの手当て】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「大きなけがが起こったとき」のイラストと言葉を掲載</li> <li>○ 通報の仕方について話型を掲載</li> <li>○ 簡単なけがの手当てをイラストと言葉で掲載 (けがの種類)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・すりきず</li> <li>・鼻血</li> <li>・切りきず</li> <li>・やけど</li> <li>・ねんざや打撲・つき指</li> </ul> </li> <li>○ 「発展」の内容として、熱中症の予防と手当をイラストと言葉で掲載</li> <li>○ 「発展」の内容として、胸骨圧迫とAEDについての写真やイラスト、解説を掲載</li> </ul>

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④学習の見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
<b>方法</b>	単元ごとの導入方法、まとめや振り返りの工夫

		単元ごとの導入方法、まとめや振り返りの工夫	
		第3・4学年	第5・6学年
東 書	<b>【導入方法】</b> ○ 単元の見通しをもたせるための記述の掲載 ○ 学習のイメージとゴール（目標）を図示 <b>【振り返り】</b> （二次元コードによるワークシートの掲載） ○ 自己評価をする活動（2） ○ 書く活動（2）	<b>【導入方法】</b> ○ 単元の見通しをもたせるための記述の掲載 ○ 学習のイメージとゴール（目標）を図示 <b>【振り返り】</b> （二次元コードによるワークシートの掲載） ○ 自己評価をする活動（3） ○ 書く活動（3）	<b>【導入方法】</b> ○ 単元の見通しをもたせるための記述の掲載 ○ 学習のイメージとゴール（目標）を図示 <b>【振り返り】</b> （二次元コードによるワークシートの掲載） ○ 自己評価をする活動（3） ○ 書く活動（3）
	<b>【導入方法】</b> ○ 単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載 ○ 見開きのイラストから、課題を見いだす学習 <b>【振り返り】</b> ○ 自己評価をする活動（2） ○ 書く活動（2）	<b>【導入方法】</b> ○ 単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載 ○ 見開きのイラストから、課題を見いだす学習 <b>【振り返り】</b> ○ 自己評価をする活動（3） ○ 書く活動（3）	<b>【導入方法】</b> ○ 単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載 ○ 著名人へのインタビュー形式から、学習をイメージ化 <b>【振り返り】</b> ○ 自己評価をする活動（2） ○ 学習したことを確認する活動（2） ○ 書く活動（2）
大 日 本	<b>【導入方法】</b> ○ 単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載 ○ 著名人へのインタビュー形式から、学習をイメージ化 <b>【振り返り】</b> ○ 自己評価をする活動（2） ○ 学習したことを確認する活動（2） ○ 書く活動（2）	<b>【導入方法】</b> ○ 単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載 ○ 写真から、学習をイメージ化 <b>【振り返り】</b> ○ 書く活動（2）	<b>【導入方法】</b> ○ 単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載 ○ 写真から、学習をイメージ化 <b>【振り返り】</b> ○ 書く活動（3）
大 修 館	<b>【導入方法】</b> ○ 単元の見通しをもたせるための記述及びイラストの掲載 <b>【振り返り】</b> ○ 自己評価をする活動（2） ○ 書く活動（2）	<b>【導入方法】</b> ○ 単元の見通しをもたせるための記述及びイラストの掲載 <b>【振り返り】</b> ○ 自己評価をする活動（2） ○ 書く活動（2）	<b>【導入方法】</b> ○ 単元の見通しをもたせるための記述及びイラストの掲載 <b>【振り返り】</b> ○ 自己評価をする活動（3） ○ 書く活動（3）
文 教 社	<b>【導入方法】</b> ○ 単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載 ○ 写真から、学習をイメージ化 <b>【振り返り】</b> ○ 書く活動（2）	<b>【導入方法】</b> ○ 単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載 ○ 写真から、学習をイメージ化 <b>【振り返り】</b> ○ 書く活動（2）	<b>【導入方法】</b> ○ 単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載 ○ 写真から、学習をイメージ化 <b>【振り返り】</b> ○ 書く活動（3）
光 文	<b>【導入方法】</b> ○ 単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載 ○ 単元の学習の流れを図示 <b>【振り返り】</b> ○ 自己評価をする活動（2） ○ 書く活動（2）	<b>【導入方法】</b> ○ 単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載 ○ 単元の学習の流れを図示 <b>【振り返り】</b> ○ 自己評価をする活動（2） ○ 書く活動（2）	<b>【導入方法】</b> ○ 単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載 ○ 単元の学習の流れを図示 <b>【振り返り】</b> ○ 自己評価をする活動（3） ○ 書く活動（3）
学 研	<b>【導入方法】</b> ○ 単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載 ○ 単元の学習の流れを図示 <b>【振り返り】</b> ○ 自己評価をする活動（2） ○ 書く活動（4）	<b>【導入方法】</b> ○ 単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載 ○ 単元の学習の流れを図示 <b>【振り返り】</b> ○ 自己評価をする活動（2） ○ 書く活動（4）	<b>【導入方法】</b> ○ 単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載 ○ 単元の学習の流れを図示 <b>【振り返り】</b> ○ 自己評価をする活動（3） ○ 書く活動（6）

【保健】

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑤健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けた学習活動の工夫
<b>方法</b>	学習の進め方の示し方、課題解決の過程

	学習の進め方の示し方	課題解決の過程
東 書	○ 巻頭の「この教科書の使い方」で示している。	○ ステップ1「気づく・見つける」 ○ 学習の課題 ○ ステップ2「調べる・解決する」 ○ ステップ3「深める・伝える」 ○ ステップ4「まとめる・生かす」 ○ 学習をふり返ろう
大 日 本	○ 巻頭の「この教科書の使い方」で示している。	○ 自分の生活をふり返る ・「つかもう」 ○ 課題をつかもう ○ いろいろな活動を通して課題を解決しよう ・「考えよう」 ・「話し合おう」 ・「調べよう」 ○ まとめよう ○ 活用して深めよう ・「活かそう」 ○ 毎日の生活に活かそう
大 修 館	○ 巻頭の「ほけん（保健）の学び方」で示している。	○ ステップ1「課題をつかもう」 「きょうの課題」 ○ ステップ2「話し合おう」 「考えよう」 「調べよう」 （「やってみよう」第5・6学年） ○ ステップ3「まとめ 生かそう伝えよう」 「ほけんクイズにトライ！」
文 教 社	○ 巻頭の「『わたしたちのほけん 3・4年（5・6年）』へようこそ！～進んで学習できるために～（教科書の使い方）」で示している。	○ 学習のめあて ○ 【Mission①】【Mission②】【Mission③】 ふり返ろう、調べよう、話し合おう、考えよう、 やってみよう、見つけよう、できるようにしよう ○ Episode ○ もっと知っとう課 ○ もっと考えよう課
光 文	○ 巻頭の「学習の進め方を知ろう。」で示している。	○ 1 自分の生活をふり返る ○ 2 学習の課題をつかむ ○ 3 課題解決に向けて学習活動をする ・「調べよう」 ・「考えよう」 ・「話し合おう」 ・（「やってみよう」第5・6学年） ○ 4 学習をまとめる ○ 5 自分の生活に生かす
学 研	○ 巻頭の「この教科書の使い方とほけん（保健）の学び方」で示している。	○ 「ふり返ろう」「予想しよう」など 楽しみながら、この1時間の学習に関わる課題をつかもう。 ○ 「学習の課題」 この1時間の学習の課題を確認しよう。 ○ 1 ふり返ったり、読み取ったり、調べたりして、 課題の解決に取り組もう。 ○ 2 話し合ったり、説明したりして、課題の解決 に取り組もう。 ○ 3 この1時間で学習したことを活用して、課題 を解決しよう。



<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑥単元や資料等の配列
<b>方法</b>	単元における項目、資料等の配列

単元における項目、資料等の配列					
第3・4学年		第5・6学年			
第3学年の内容	第4学年の内容	第5学年の内容	第6学年の内容		
東 書	<p>「けんこうな生活」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>けんこうというたからもの                     <ul style="list-style-type: none"> <li>心が元気になること</li> </ul> </li> <li>けんこうによい1日の生活                     <ul style="list-style-type: none"> <li>生活リズムをチェックしよう</li> </ul> </li> <li>体のせいけつとけんこう                     <ul style="list-style-type: none"> <li>手のあらい方</li> </ul> </li> <li>けんこうによいかんきょう                     <ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータの使用とけんこう</li> <li>けんこうを守る活動(学校)</li> </ul> </li> </ol> <p>○ 3・4年1章の学習をふり返ろう(二次元コード)</p>	<p>「体の成長とわたし」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>育ちゆくわたしたちの体                     <ul style="list-style-type: none"> <li>骨や歯の発育</li> </ul> </li> <li>思春期にあらわれる変化                     <ul style="list-style-type: none"> <li>新しい命</li> <li>性と自分らしさ</li> </ul> </li> <li>よりよく成長するための生活                     <ul style="list-style-type: none"> <li>すいみんと発育</li> </ul> </li> </ol> <p>○ 3・4年2章の学習をふり返ろう(二次元コード)</p> <p>・運動を楽しく続けよう</p> <p>・スポーツ選手と食事</p> <p>・外で遊ぶときに注意すること</p> <p>○ 5・6年生で学ぶこと(二次元コード)</p>	<p>「心の健康」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>心の発達                     <ul style="list-style-type: none"> <li>人との関わり</li> </ul> </li> <li>心と体のつながり                     <ul style="list-style-type: none"> <li>きん張をコントロールする方法</li> </ul> </li> <li>不安やなやみがあるとき                     <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の気持ちや考えを上手に伝えよう</li> <li>不安やなやみがあるときの相談窓口</li> <li>なやんでいるあなたへ</li> </ul> </li> </ol> <p>○ 5・6年1章の学習をふり返ろう(二次元コード)</p> <p>「けがの防止」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>事故やけがの原因と防止                     <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインをさがそう</li> </ul> </li> <li>交通事故の防止                     <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車安全利用五則</li> <li>自動車の特性</li> </ul> </li> <li>犯罪被害の防止                     <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットによる犯罪被害</li> <li>安全マップを作ろう</li> </ul> </li> </ol> <p>○ 自然災害によるけがの防止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな自然災害</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>けがの手当                     <ul style="list-style-type: none"> <li>熱中症の予防と手当</li> <li>歯のけが</li> <li>胸骨圧迫とAED</li> </ul> </li> </ol> <p>○ 5・6年2章の学習をふり返ろう(二次元コード)</p>	<p>「病気の予防」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>病気の起こり方                     <ul style="list-style-type: none"> <li>体のていこう力</li> </ul> </li> <li>感染症の予防                     <ul style="list-style-type: none"> <li>マスクのつけ方</li> <li>予防接種</li> <li>インフルエンザ</li> <li>新型コロナウイルス感染症(COVID-19)</li> <li>結核</li> <li>エイズ</li> </ul> </li> <li>生活習慣病の予防                     <ul style="list-style-type: none"> <li>がんについて知ろう</li> </ul> </li> <li>喫煙の害と健康                     <ul style="list-style-type: none"> <li>たばこの主な有害物質</li> <li>さまざまな依存症</li> </ul> </li> <li>飲酒の害と健康                     <ul style="list-style-type: none"> <li>喫煙や飲酒をさそわれたら</li> </ul> </li> <li>薬物乱用の害と健康                     <ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品の使い方</li> </ul> </li> <li>地域の保健活動                     <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の健康や安全を守る活動に取り組む人々</li> <li>だれもが安心して生活できる社会</li> </ul> </li> </ol> <p>○ 5・6年3章の学習をふり返ろう</p> <p>○ どんな自分になれたかな</p> <p>○ 小学校の保健の学習を終えたみなさんへ(二次元コード)</p>	

単元における項目、資料等の配列				
第3・4学年		第5・6学年		
第3学年の内容	第4学年の内容	第5学年の内容	第6学年の内容	
<p>「けんこうな生活」</p> <p>1 けんこうってなんだろう</p> <p>2 1日の生活のしかた</p> <p>3 体のせいけつ</p> <p>4 身の回りのかんきょう</p> <p>○ もっと知りたい！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活のなかの運動</li> <li>・早ね、早起き、朝ごはん</li> <li>・手のせいけつ</li> <li>・明るさと目のけんこう</li> <li>・学校でのほけん活動</li> </ul> <p>○ 3年のまとめ</p>	<p>「体の発育・発達」</p> <p>1 年れいとともに変化する体</p> <p>2 思春期にあらわれる体の変化</p> <p>3 思春期にあらわれる体の中の変化</p> <p>4 よりよく成長するための生活</p> <p>○ もっと知りたい！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほねの発育</li> <li>・歯の変化</li> <li>・成長を祝う行事</li> <li>・新しい命</li> <li>・さまざまな性</li> <li>・いろいろな相談まど</li> <li>・運動のこうか</li> <li>・すいみんと成長ホルモン</li> </ul> <p>○ 4年のまとめ</p> <p>○ みんなで健康な毎を送ろう！</p> <p>○ パソコンやスマートフォンを正しく使って健康な生活を送ろう！</p> <p>○ 5・6年の生活に向けて</p>	<p>「心の健康」</p> <p>1 心の発達</p> <p>2 心と体のつながり</p> <p>3 不安やなやみがあるとき</p> <p>○ もっと知りたい！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人との関わり</li> <li>・よりよいコミュニケーション</li> <li>・いろいろな不安やなやみ</li> <li>・いろいろな相談先</li> <li>・自分と友達のよいところ</li> <li>・体ほぐしの運動（実習）</li> <li>・こきゅう法（実習）</li> </ul> <p>○ 5年（1）のまとめ</p> <p>「けがの防止」</p> <p>1 けがや事故の原因</p> <p>2 学校や地域で起こるけがの防止</p> <p>3 交通事故の防止</p> <p>○ もっと知りたい！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・けがや事故</li> <li>・ヒヤリハット</li> <li>・水の事故から身を守ろう</li> <li>・安全な自転車の乗り方</li> <li>・安全な環境づくり</li> <li>・地域の安全マップ</li> </ul> <p>4 犯罪被害の防止</p> <p>5 けがの手当</p> <p>○ 自然災害から身を守る</p> <p>○ もっと知りたい！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・犯罪被害が起こる時間・場所</li> <li>・インターネットと犯罪被害</li> <li>・体の大切な場所</li> <li>・人がたおれていたら</li> <li>・AED</li> <li>・公しゅう電話の使い方</li> <li>・熱中症の予防と手当</li> </ul> <p>○ 5年（2）のまとめ</p>	<p>「病気の予防」</p> <p>1 病気の起こり方</p> <p>2 感染症の予防</p> <p>○ もっと知りたい！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな病気と病原体</li> <li>・新型コロナウイルス感染症と暮らしの変化</li> <li>・エイズ（AIDS）</li> <li>・病気になったとき</li> </ul> <p>3 生活習慣病の予防①</p> <p>4 生活習慣病の予防②</p> <p>5 喫煙の害と健康</p> <p>6 飲酒の害と健康</p> <p>7 薬物乱用の害と健康</p> <p>8 地域で行われている保健活動</p> <p>○ もっと知りたい！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんの予防</li> <li>・一生を通して健康に暮らそう</li> <li>・たばこのけむりの害</li> <li>・薬の正しい使い方</li> <li>・喫煙や飲酒、薬物乱用から身を守るとり組み</li> <li>・喫煙や飲酒、薬物乱用のさそいへの対処</li> </ul> <p>○ 6年のまとめ</p> <p>○ だれもが健康であるために</p> <p>○ パソコンやスマートフォンと上手につき合おう！</p> <p>○ 中学校生活に向けて</p>	

大日本

単元における項目、資料等の配列				
第3・4学年		第5・6学年		
第3学年の内容	第4学年の内容	第5学年の内容	第6学年の内容	
<p>「けんこうな生活」</p> <p>1 大切なけんこう</p> <p>2 1日の生活の仕方とけんこう</p> <p>○ もっと学びを広げよう！深めよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早ね早起き朝ごはん①</li> <li>・早ね早起き朝ごはん②</li> </ul> <p>・体を動かすチャンスはいっぱい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォン・タブレットと生活のリズム</li> </ul> <p>3 体のせいけつとけんこう</p> <p>4 身の回りのかんきょうとけんこう</p> <p>○ もっと学びを広げよう！深めよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手のあらい方</li> <li>・スマートフォン・タブレットと目のけんこう</li> <li>・空気の入れかえの仕方</li> <li>・学校でのみんなのけんこうを守る活動</li> </ul> <p>○ 学習をふり返ってみよう</p>	<p>「体の成長」</p> <p>1 育ちゆく体の変化</p> <p>2 思春期の体の変化①～体にあられるいろいろな変化～</p> <p>3 思春期の体の変化②～体の働きの変化～</p> <p>○ もっと学びを広げよう！深めよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・骨の成長</li> <li>・歯の成長</li> <li>・月経の仕組み</li> <li>・新しい命のたんじょう</li> <li>・みんなちがって、みんないい</li> </ul> <p>4 よりよい成長のために</p> <p>○ もっと学びを広げよう！深めよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こんな動きや運動にチャレンジしよう</li> <li>・運動のしすぎに気をつけよう</li> <li>・体の成長を助ける成長ホルモン</li> </ul> <p>○ 学習をふり返ってみよう</p> <p>○ もっと学びを広げよう！深めよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に外遊びをするために</li> <li>・地震から身を守ろう</li> <li>・仲間とのよりよい関係づくりのために</li> </ul>	<p>「心の健康」</p> <p>1 心の発達</p> <p>2 心と体の関わり</p> <p>○ もっと学びを広げよう！深めよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期の心の変化は成長の証</li> <li>・よりよい関係を築く言葉</li> </ul> <p>3 不安やなやみへの対処①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸法・体ほぐしの運動</li> </ul> <p>4 不安やなやみへの対処②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな対処の方法</li> </ul> <p>○ もっと学びを広げよう！深めよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談名人になろう！</li> <li>・ストレスって何だろう？</li> </ul> <p>○ 学習をふり返ってみよう</p> <p>「けがの防止」</p> <p>1 事故やけがの起こり方</p> <p>2 交通事故の防止</p> <p>○ もっと学びを広げよう！深めよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の学校生活でのけが</li> <li>・子どもの交通事故の原因と水の事故</li> <li>・安全な自転車の乗り方</li> <li>・知っておこう！車の特徴</li> </ul> <p>3 学校や地域でのけがの防止</p> <p>○ もっと学びを広げよう！深めよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険な「ながらスマホ」</li> <li>・小学生が犯罪被害にあった場所と時間帯</li> <li>・インターネットによる犯罪被害を防ぐ</li> </ul> <p>4 けがの手当</p> <p>○ もっと学びを広げよう！深めよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱中症の予防と手当</li> <li>・命を救うAED</li> <li>・たおれた人に出会ったときの応急手当</li> </ul> <p>○ 自然災害から身を守る</p> <p>○ 学習をふり返ってみよう</p>	<p>「病気の予防」</p> <p>1 病気の起こり方</p> <p>2 感染症の予防</p> <p>○ もっと学びを広げよう！深めよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウイルスの大きさ比べ</li> <li>・せきやくしゃみのしぶきはどこまで飛ぶの？</li> <li>・病原体の感染を防ぐ体の仕組み</li> <li>・笑うと体のていこう力が高まる？</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の経験から学ぶ</li> <li>・エイズ</li> </ul> <p>3 生活習慣病の予防①</p> <p>4 生活習慣病の予防②</p> <p>○ もっと学びを広げよう！深めよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・むし歯になりやすいおやつ</li> <li>・上手な歯みがきのポイント</li> <li>・塩分のとりすぎは、なぜよくない？</li> <li>・がんはどんな病気？</li> </ul> <p>5 喫煙の害</p> <p>6 飲酒の害</p> <p>7 薬物乱用の害</p> <p>○ もっと学びを広げよう！深めよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙とインフルエンザ・がん</li> <li>・喫煙や飲酒をさそわれたときの断り方</li> <li>・知っている？スマホ</li> <li>・ゲーム依存</li> </ul> <p>8 地域の保健活動の取り組み</p> <p>○ 学習をふり返ってみよう</p> <p>○ より暮らしやすい社会を目指して</p>	

大修館

単元における項目、資料等の配列					
第3・4学年		第5・6学年			
第3学年の内容	第4学年の内容	第5学年の内容	第6学年の内容		
文教社	<p>「毎日の生活とけんこう」</p> <p>1 けんこうな生活とわたし</p> <p>2 けんこうによい1日の生活のしかた</p> <p>3 けんこうと体のせいけつ</p> <p>4 けんこうによい生活かんきょう</p> <p>○ もっと考えよう課 ・新がたコロナウイルス感せんしょう対さく</p> <p>○ わたしのけんこうせん言</p>	<p>「体の発育・発達」</p> <p>1 変化していく体とわたし</p> <p>2 思春期の体の変化</p> <p>3 思春期の心の変化</p> <p>○ もっと考えよう課 ・その人らしさを大切に</p> <p>4 体のよりよい発育・発達と生活のしかた</p> <p>○ もっと考えよう課 ・自信をつけることの大切さ</p> <p>○ わたしのすくすくせん言</p>	<p>「心の健康」</p> <p>1 心の発達</p> <p>2 心と体の関わり合い</p> <p>3 不安やなやみへの対処①</p> <p>4 不安やなやみへの対処②</p> <p>○ もっと考えよう課 ・寄りそうことの大切さ</p> <p>○ わたしのスッキリせん言</p> <p>「けがの防止」</p> <p>1 学校生活でのけがの防止</p> <p>2 交通事故の防止</p> <p>○ もっと考えよう課 ・事故のない社会に向けて</p> <p>3 地域での安全</p> <p>○ もっと考えよう課 ・なぜ、トラブルになってしまったのかな？</p> <p>4 けがの手当て</p> <p>○ もっと考えよう課 ・災害が起きたら、あなたはどうしますか？</p> <p>○ もっと考えよう課 ・熱中症</p> <p>○ わたしの安全せん言</p>	<p>「病気の予防」</p> <p>1 病気の起こり方</p> <p>○ もっと考えよう課 ・新型コロナウイルス</p> <p>2 感染症とその予防</p> <p>○ もっと考えよう課 ・細菌って全部悪者なの？</p> <p>3 生活のしかたと病気</p> <p>①—生活習慣病の予防—</p> <p>○ もっと考えよう課 ・がんになるリスクを下げよう</p> <p>4 生活のしかたと病気</p> <p>②—むし歯や歯周病の予防—</p> <p>○ もっと考えよう課 ・すごいぞ！た液パワー</p> <p>5 喫煙の害と健康</p> <p>○ もっと考えよう課 ・煙の中の有害物質 ・PM2.5と受動喫煙 ・おくれをとる日本の受動喫煙対策と世界の状況</p> <p>6 飲酒の害と健康</p> <p>7 薬物乱用の害と健康</p> <p>○ もっと考えよう課 ・世界各国の最高刑</p> <p>8 地域の保健活動—わたしたちの健康を守る—</p> <p>○ わたしのいきいき宣言</p> <p>○ 中学生になるみなさんへ</p>	

単元における項目、資料等の配列				
第3・4学年		第5・6学年		
第3学年の内容	第4学年の内容	第5学年の内容	第6学年の内容	
光 文	<p>「けんこうな生活」</p> <p>1 けんこうって、なに？</p> <p>2 けんこうな1日の生活</p> <p>○ さらに広げよう深めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これも運動！</li> <li>・早ね早起き朝ごはん</li> <li>・スマートフォンなどの使い方と生活のリズム</li> </ul> <p>3 体のせいけつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目に見えない手のよごれ</li> <li>・ハンカチや衣服のよごれ</li> </ul> <p>4 身の回りのかんきょう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まどやドアを開けたときの部屋の空気</li> </ul> <p>○ さらに広げよう深めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めざせ！手のあらいのこしゼロ</li> <li>・よりよい換気のしかた</li> <li>・学校でのほけん活動</li> </ul> <p>○ 学習のまとめ</p>	<p>「体の発育と健康」</p> <p>1 変化していくわたしの体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯の成長</li> </ul> <p>2 思春期の体の変化①～体の外にあらわれる変化～</p> <p>3 思春期の体の変化②～体の中にあらわれる変化～</p> <p>○ さらに広げよう深めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生命のたんじょう</li> <li>・「性」についてのなやみ</li> </ul> <p>4 よりよい発育のために</p> <p>○ さらに広げよう深めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かそう</li> <li>・宇宙飛行士と運動</li> <li>・スポーツ障害</li> <li>・スポーツ選手と食事</li> <li>・すいみんの大切さ</li> </ul> <p>○ 学習のまとめ</p> <p>○ SDGsってなんだろう～共に生きる社会のために～</p>	<p>「心の健康」</p> <p>1 心の発達</p> <p>2 心と体のつながり</p> <p>3 不安やなやみなどへの対処</p> <p>○ さらに広げよう深めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なやみの相談先</li> <li>・不安やなやみと呼吸</li> <li>・特性不安度と呼吸数の関係</li> <li>・特別インタビュー～緊張や不安と向き合う～</li> </ul> <p>○ 人との接し方を考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちを大切にしたいコミュニケーション</li> <li>・自分と人とのきよきよ感～自分の「いや」と、ほかの人の「いや」は同じ？～</li> </ul> <p>○ 学習のまとめ</p> <p>「けがの防止」</p> <p>1 けがや事故の原因</p> <p>2 学校や地域でのけがの防止</p> <p>3 交通事故の防止</p> <p>○ さらに広げよう深めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの事故</li> <li>・自転車に安全に乗ろう</li> <li>・「ながらスマホ」は危険！</li> <li>・車の特徴を知ろう</li> </ul> <p>4 犯罪被害の防止</p> <p>5 けがの手当</p> <p>○ さらに広げよう深めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットのトラブル</li> <li>・心肺蘇生とAED</li> </ul> <p>○ 自然災害から身を守る</p> <p>○ 学習のまとめ</p>	<p>「病気の予防<sup>1</sup>」</p> <p>1 病気の起こり方</p> <p>2 感染症の予防</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空中に飛び散って広がったせき</li> </ul> <p>○ さらに広げよう深めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気から体を守る働き</li> <li>・新しい感染症～新型コロナウイルス感染症～</li> <li>・エイズ</li> <li>・病気から早く回復するには</li> </ul> <p>3 生活習慣病の予防①</p> <p>4 生活習慣病の予防②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミュータンス菌</li> </ul> <p>○ さらに広げよう深めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「がん」のことを知ろう</li> <li>・運動不足と生活習慣病</li> </ul> <p>「病気の予防<sup>2</sup>」</p> <p>5 喫煙の害</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙と血管の収縮</li> <li>・たばこのけむりの中の主な有害物質</li> </ul> <p>6 飲酒の害</p> <p>7 薬物乱用の害</p> <p>○ さらに広げよう深めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品の正しい使用のしかた</li> <li>・喫煙・飲酒・薬物乱用から子どもを守るための取り組み</li> <li>・インターネットと依存症</li> </ul> <p>8 地域の保健活動</p> <p>○ 学習のまとめ</p> <p>○ SDGsってなんだろう～共に生きる社会のために～</p>

単元における項目、資料等の配列				
第3・4学年		第5・6学年		
第3学年の内容	第4学年の内容	第5学年の内容	第6学年の内容	
学 研	<p>「健康な生活」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 かけがえのない健康</li> <li>2 1日の生活のしかた</li> <li>3 体の清けつ <ul style="list-style-type: none"> <li>・手に付いたよごれの中の細きん</li> <li>・よごれを目立ちやすくする実験</li> <li>・きちんとあらえているかな</li> </ul> </li> <li>4 身の回りのかんきょう <ul style="list-style-type: none"> <li>・まどや戸を開けるとどうなるか</li> </ul> </li> </ol> <p>○ もっと！知りたい・調べたい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日の体温のリズム</li> <li>・タブレットを使うときには</li> <li>・みんなの健康を守るための活動</li> </ul> <p>○ ふり返る・伝える・つなぐ 健康な生活</p>	<p>「体の発育・発達」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 変化してきたわたしの体</li> <li>2 大人に近づく体</li> <li>3 体の中で起こる変化</li> <li>4 よりよい発育・発達のために <ul style="list-style-type: none"> <li>・すいみんと成長ホルモン</li> </ul> </li> </ol> <p>○ もっと！知りたい・調べたい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしのこれまでとこれから</li> <li>・体の変化、一人一人ちがうね</li> <li>・新しい命</li> <li>・性についての心の多様性</li> </ul> <p>○ ふり返る・伝える・つなぐ 体の発育・発達</p> <p>○ しりょう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な生活のために①</li> <li>・安全な生活のために②</li> </ul> <p>○ 学びがつながる未来へつながる</p>	<p>「心の健康」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 心の発達</li> <li>2 心と体のつながり <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳と体のつながり</li> <li>・人と会話するロボットに心はあるの？</li> </ul> </li> <li>3 不安やなやみへの対処 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体がリラックスすると心もリラックスする</li> <li>○ 思春期はだれもがなやむもの</li> <li>○ みんなはどうしたかな？なやみへの対処</li> <li>○ 考えてみよう。友達やクラスの仲間のこと</li> <li>○ ふり返る・伝える・つなぐ 心の健康</li> </ul> </li> </ol> <p>「けがの防止」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 けがの発生</li> <li>2 交通事故の防止</li> <li>3 学校や地域でのけがの防止 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 犯罪から身を守るために</li> </ul> </li> <li>4 けがの手当 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ もっと！知りたい・調べたい</li> <li>・自然災害や緊急事態に備えて</li> <li>・胸骨圧迫とAED</li> </ul> </li> </ol> <p>○ ふり返る・伝える・つなぐ けがの防止</p>	<p>「病気の予防」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 病気の起こり方</li> <li>2 病原体と病気 <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザウイルス</li> <li>・新型コロナウイルス</li> <li>・食中毒を起こす病原体</li> </ul> </li> <li>3 生活習慣病の予防①</li> <li>4 生活習慣病の予防②</li> <li>5 喫煙の害 <ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙と手の血液の流れ</li> </ul> </li> <li>6 飲酒の害</li> <li>7 薬物乱用の害</li> <li>8 地域のさまざまな保健活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ もっと！知りたい・調べたい</li> <li>・エイズ</li> <li>・ちいさなつつぶがHIV</li> <li>・いろいろな病気</li> <li>・喫煙や飲酒をしないために</li> <li>・喫煙や飲酒などをすすめられたときの断り方</li> </ul> </li> </ol> <p>○ ふり返る・伝える・つなぐ 病気の予防</p> <p>○ しりょう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期の心</li> <li>・心と体のSOS</li> <li>・共に生きる社会に向けて</li> <li>・世界で流行した感染症の歴史</li> <li>・医学や保健の分野での世界的な活躍</li> <li>・パソコンやタブレットと健康</li> <li>・保健に関わる地域の施設について知ろう</li> </ul> <p>○ 学びがつながる未来へつながる</p>

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦発展的な学習に関する内容の記述
方法	発展的な学習の具体例と事例数

		発展的な学習の具体例と事例数	
		第3・4学年	第5・6学年
東 書		<p>「けんこうな生活」(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コンピュータの使用とけんこう</li> </ul> <p>「体の成長とわたし」(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 骨や歯の発育</li> <li>○ 新しい命</li> <li>○ 性と自分らしさ</li> <li>○ すいみんと発育</li> <li>○ 外で遊ぶときに注意すること</li> </ul>	<p>「心の健康」(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ きん張をコントロールする方法</li> </ul> <p>「けがの防止」(7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自転車安全利用五則</li> <li>○ インターネットによる犯罪被害</li> <li>○ 防災安全マップを作るときの視点</li> <li>○ さまざまな自然災害</li> <li>○ 熱中症の予防と手当</li> <li>○ 歯のけが</li> <li>○ 胸骨圧迫とAED</li> </ul> <p>「病気の予防」(7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ インフルエンザ</li> <li>○ 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)</li> <li>○ がんについて知ろう</li> <li>○ たばこの主な有害物質</li> <li>○ さまざまな依存症</li> <li>○ 医薬品の使い方</li> <li>○ だれもが安心して生活できる社会</li> </ul>
大 日 本		<p>「けんこうな生活」(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 明るさと目のけんこう</li> </ul> <p>「体の発育・発達」(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほねの発育</li> <li>○ 歯の変化</li> <li>○ 成長を祝う行事</li> <li>○ 新しい命</li> <li>○ さまざまな性</li> <li>○ すいみんと成長ホルモン</li> </ul>	<p>「けがの防止」(7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ヒヤリハット</li> <li>○ 安全な自転車の乗り方</li> <li>○ インターネットと犯罪被害</li> <li>○ 人がたおれていたら</li> <li>○ AED</li> <li>○ 公しゅう電話の使い方</li> <li>○ 熱中症の予防と手当</li> </ul> <p>「病気の予防」(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ いろいろな病気と病原体</li> <li>○ 新型コロナウイルス感染症と暮らしの変化</li> <li>○ がんの予防</li> <li>○ 一生を通して健康に暮らそう</li> <li>○ たばこのけむりの害</li> <li>○ 薬の正しい使い方</li> <li>○ だれもが健康であるために</li> <li>○ パソコンやスマートフォンと上手につき合おう！</li> </ul>

		発展的な学習の具体例と事例数	
		第3・4学年	第5・6学年
大 修 館		<p>「けんこうな生活」(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ スマートフォン・タブレットと生活のリズム</li> <li>○ スマートフォン・タブレットと目のけんこう</li> <li>○ 空気の入れかえの仕方</li> </ul> <p>「体の成長」(8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 骨の成長</li> <li>○ 歯の成長</li> <li>○ 新しい命のたんじょう</li> <li>○ 運動のしすぎに気をつけよう</li> <li>○ 体の成長を助ける成長ホルモン</li> <li>○ 安全に外遊びをするために</li> <li>○ 地震から身を守ろう</li> <li>○ 仲間とのよりよい関係づくりのために</li> <li>○ よりくらしやすい社会を目指して</li> </ul>	<p>「心の健康」(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相談名人になろう!</li> <li>○ ストレスって何だろう?</li> </ul> <p>「けがの防止」(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全な自転車の乗り方</li> <li>○ 危険な「ながらスマホ」</li> <li>○ インターネットによる犯罪被害を防ぐ</li> <li>○ 熱中症の予防と手当</li> <li>○ 命を救うAED</li> <li>○ たおれた人に出会ったときの応急手当</li> </ul> <p>「病気の予防」(14)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ウイルスの大きさ比べ</li> <li>○ せきやくしゃみのしぶきはどこまで飛ぶの?</li> <li>○ 笑うと体のていこう力が高まる?</li> <li>○ 予防接種とは?(専門家にインタビュー)</li> <li>○ 新型コロナウイルス感染症の経験から学ぶ</li> <li>○ 虫歯になりやすいおやつ</li> <li>○ 上手な歯みがきのポイント</li> <li>○ 塩分のとりすぎは、なぜよくない?</li> <li>○ がんはどんな病気?</li> <li>○ がんを経験したサッカー選手</li> <li>○ たばこのけむりの中の主な有害物質</li> <li>○ 喫煙とインフルエンザ・がん</li> <li>○ 知っている?スマホ・ゲーム依存</li> <li>○ より暮らしやすい社会を目指して～自然環境を大切にしよう～</li> </ul>
		<p>「毎日の生活とけんこう」(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ かん気のポイント</li> <li>○ 新がたコロナウイルス感せんしょう対さく</li> </ul> <p>「体の発育・発達」(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ その人らしさを大切に</li> <li>○ 栄養3・3運動</li> <li>○ 自信をつけることの大切さ</li> </ul>	<p>「心の健康」(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自分らしさ」をみつけよう</li> <li>○ 寄りそうことの大切さ</li> </ul> <p>「けがの防止」(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事故のない社会に向けて</li> <li>○ なぜ、トラブルになってしまったのかな?</li> <li>○ 応急手当ての重要性</li> <li>○ 災害が起きたら、あなたはどうしますか?</li> <li>○ 熱中症</li> </ul> <p>「病気の予防」(14)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス</li> <li>○ 細菌って全部悪者なの?</li> <li>○ その他の主な生活習慣病</li> <li>○ がんになるリスクを下げよう</li> <li>○ 歯ブラシの持ち方</li> <li>○ 歯のみがき方</li> <li>○ すごいぞ!だ液パワー</li> <li>○ 煙の中の有害物質</li> <li>○ PM2.5と受動喫煙</li> <li>○ 「マナー」から「ルール」へ</li> <li>○ おくれをとる日本の受動喫煙対策と世界の状況</li> <li>○ 飲んだら乗るな!</li> <li>○ 世界各国の最高刑</li> <li>○ プロフェッショナルが集まる地域の拠点「保健所」</li> </ul>
文 教 社			



		発展的な学習の具体例と事例数	
		第3・4学年	第5・6学年
光 文		<p>「けんこうな生活」(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ スマートフォンなどの使い方と生活のリズム</li> <li>○ よりよい換気のしかた</li> </ul> <p>「体の発育と健康」(7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歯の成長</li> <li>○ 新しい生命のたんじょう</li> <li>○ 「性」についてのなやみ</li> <li>○ 宇宙飛行士と運動</li> <li>○ スポーツ障害</li> <li>○ すいみんと発育</li> <li>○ SDGs ってなんだろう～共に生きる社会のために～</li> </ul>	<p>「心の健康」(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 不安やなやみと呼吸</li> <li>○ 自分と人とのきより感</li> </ul> <p>「けがの防止」(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自転車に安全に乗ろう</li> <li>○ 「ながらスマホ」は危険!</li> <li>○ 熱中症に注意</li> <li>○ インターネットのトラブル</li> <li>○ 心肺蘇生とAED</li> <li>○ 自然災害から身を守る</li> </ul> <p>「病気の予防」(9)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新しい感染症～新型コロナウイルス感染症～</li> <li>○ 自分の「平熱」を知っておく</li> <li>○ 「がん」のことを知ろう</li> <li>○ 運動不足と生活習慣病</li> <li>○ たばこのけむりの中の主な有害物質</li> <li>○ 飲酒を始めた年齢とアルコール依存症</li> <li>○ 医薬品の正しい使用のしかた</li> <li>○ インターネットと依存症</li> <li>○ SDGs ってなんだろう～共に生きる社会のために～</li> </ul>
		<p>「健康な生活」(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教室の空気のごれ</li> <li>○ 身の回りのかんきょうを整える</li> <li>○ 一日の体温とリズム</li> <li>○ タブレットを使うときには</li> </ul> <p>「体の発育・発達」(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体の発育一骨と歯一</li> <li>○ なぜ、すいみんは大切なのか?</li> <li>○ 新しい命</li> <li>○ 性についての心の多様性</li> <li>○ 安全な生活のために①</li> <li>○ 安全な生活のために②</li> </ul>	<p>「心の健康」(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 心って、どこにあるの?</li> </ul> <p>「けがの防止」(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 消防団員さんの話</li> <li>○ インターネットでトラブルにならないために</li> <li>○ 熱中症の予防と手当</li> <li>○ 自然災害や緊急事態に備えて</li> <li>○ 胸骨圧迫とAED</li> </ul> <p>「病気の予防」(10)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「がん」って、どんな病気?</li> <li>○ 歯の健康</li> <li>○ たばこのけむりの中の有害物質と警告表示</li> <li>○ 医薬品の正しい使い方</li> <li>○ いろいろな病気</li> <li>○ 心と体のSOS</li> <li>○ 共に生きる社会に向けて</li> <li>○ 世界で流行した感染症の歴史</li> <li>○ 医学や保険の分野での世界的な活躍</li> <li>○ 保健に関わる地域の施設について知ろう</li> </ul>
学 研			

【保健】

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑧本文記述との関連付けがなされた学習資料の活用
<b>方法</b>	本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の掲載内容

本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の掲載内容の具体例 (「体の発育・発達」に関わる単元)	
<b>東 書</b>	<p>「体の成長とわたし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の体の成長に気付くための、乳児期の手形と靴の写真</li> <li>○ 入学時からの身長伸びを調べるための、作業用の表とグラフ</li> <li>○ 体が年齢とともに発育し、変化したことを示す、0才、6才、9才の写真</li> <li>○ 成長の個人差を示す、6人の成長のイラスト</li> <li>○ 男女の体つきの違いに気付くための、1年生と大人のイラスト</li> <li>○ 男女の体の変化に気付くための、1年生と6年生と大人の写真</li> <li>○ 思春期に表れる体つきの変化を示すイラスト</li> <li>○ 思春期に表れる体の働きの変化を示すイラストと卵子と精子の写真</li> <li>○ 初経や精通を経験した時期を示すグラフ</li> <li>○ 思春期の心の変化を示すイラスト</li> <li>○ 運動が成長にもたらす効果を示すイラスト</li> <li>○ よりよく成長するために、特に必要な栄養素を示すイラスト</li> <li>○ 睡眠が成長にもたらす効果を示すイラスト</li> </ul>
<b>大 日 本</b>	<p>「体の発育・発達」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1才頃の赤ちゃんの手形と4年生になった自分の手の大きさをくらべるための、作業用の図</li> <li>○ 入学時からの身長伸びを調べるための、作業用の表とグラフ</li> <li>○ 成長の個人差を示す、4人の成長のイラストとグラフ</li> <li>○ 子供と大人の体の違いに気付くための、1年生と大人の写真</li> <li>○ 思春期の体の変化を示すイラスト</li> <li>○ 思春期の体の中の変化を示すイラストと卵子と精子の写真</li> <li>○ 初経や精通を経験している人の年齢を示すグラフ</li> <li>○ 思春期の体の変化とホルモンの仕組みを示すイラスト</li> <li>○ 月経の仕組みを示すイラスト</li> <li>○ 射精の仕組みを示すイラスト</li> <li>○ 色々な運動の例を示すイラスト</li> <li>○ バランスのよい食事を示す学校給食の写真</li> <li>○ よりよく成長するために大切な栄養素を示すイラスト</li> <li>○ 適切な休養・睡眠の効果を示すイラスト</li> </ul>
<b>大 修 館</b>	<p>「体の成長」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小さい頃と比べて大きくなったことに気付くための、生まれて3か月の赤ちゃんの手、歩き始めた1才頃と小学2年生頃の写真</li> <li>○ 入学してからの身長伸びを調べるための、作業用の表とグラフ</li> <li>○ 成長の個人差を示す、6人の成長のイラストとグラフ</li> <li>○ 男女の体つきの違いに気付くための、1年生と大人の写真</li> <li>○ 思春期に表れる体の変化を示すイラスト</li> <li>○ 思春期の体の働きの変化を示すイラストと卵子と精子の写真</li> <li>○ 初経・精通を経験した時期を示すグラフ</li> <li>○ 健康な骨と運動不足やカルシウム不足の骨の様子を示す写真</li> <li>○ 骨や筋肉を丈夫にする運動を紹介しているイラスト</li> <li>○ 育ちざかりの頃に大切な栄養素と含まれている食品を示すイラスト</li> <li>○ 栄養バランスのよい給食を示す写真</li> <li>○ 色々な休養の仕方と睡眠を示すイラスト</li> </ul>

【保健】

本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の掲載内容の具体例 （「体の発育・発達」に関わる単元）	
文教社	<p>「体の発育・発達」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生まれた頃から未来のぼく・わたしまでつながる命の写真</li> <li>○ 男女の身長や体重について年齢ごとの変化を示すグラフ</li> <li>○ 今までの自分と今の自分を比べている写真</li> <li>○ 同じ4年生でも、身長の違いに気付くための写真</li> <li>○ 成長の個人差を示す、4人の成長のイラスト</li> <li>○ 年齢に伴う男女の体つきの変化を示すイラスト（3・4才、思春期）</li> <li>○ 思春期に起こる体の働きの変化を示すイラスト（射精、月経のしくみ）と精子と卵子の写真</li> <li>○ 初経や精通を経験した時期を示すグラフ</li> <li>○ 年齢に伴う異性の友達との関わり方の変化を示すイラスト</li> <li>○ 異性への関心の表れ方に気付くための作業用のイラスト</li> <li>○ 運動、食事、休養・睡眠について自分の生活を振り返るための作業用のイラスト</li> <li>○ 適切な運動を示すイラスト</li> <li>○ バランスのよい食事を示す学校給食の写真</li> <li>○ 適切な休養・睡眠を示すイラスト</li> </ul>
光文	<p>「体の発育と健康」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年齢とともに発育したことを示す手足や衣服や靴の写真（1才頃、小学校中学年頃）</li> <li>○ 入学時からの身長の伸びを調べるための、作業用の表とグラフ</li> <li>○ 成長の個人差を示す、6人の成長のイラストとグラフ</li> <li>○ 男女の体つきを示すシルエットのイラスト（1年生）</li> <li>○ 年齢に伴う男女の体つきの変化の違いを示す写真（1年生、大人）</li> <li>○ 思春期に表れる体の変化を示すイラスト</li> <li>○ 思春期に表れる体の中の変化を示すイラストと精子と卵子の写真</li> <li>○ 初経や精通を経験した時期を示すグラフ</li> <li>○ 思春期の心の変化を示すイラスト</li> <li>○ 自分の体の発育につながっている行動を振り返るためのイラスト</li> <li>○ よりよい発育と運動についてのイラスト</li> <li>○ よりよい発育と食事についてのイラスト</li> <li>○ よりよい発育と休養・睡眠についてのイラスト</li> <li>○ 無理なく毎日行うことができそうな運動を考えるためのイラスト</li> <li>○ 朝食の栄養バランスを考えるためのイラスト</li> </ul>
学研	<p>「体の発育・発達」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2人の成長のイラスト</li> <li>○ 成長の個人差を示す、2人の毎年の身長の伸びのグラフ</li> <li>○ 発育の仕方の個人差を示す、4人の成長のイラスト</li> <li>○ 骨の成長を示す手の骨のレントゲン写真</li> <li>○ 子供の歯、大人の歯のイラスト</li> <li>○ 男女の体つきの違いを考えさせるためのシルエットのイラスト</li> <li>○ 年齢に伴う男女の体つきの変化の違いを示す写真（9～10才、大人）</li> <li>○ 思春期に起こる体の変化を示すイラスト</li> <li>○ 思春期に起こる体の中の変化はなぜ起こるのかを示したイラスト</li> <li>○ 卵子と精子の写真</li> <li>○ 思春期に起こる男女の体の中の変化について示すイラスト</li> <li>○ 思春期に起こる心の変化を示すイラスト</li> <li>○ 月経の仕組みのイラスト</li> <li>○ 発育・発達に適した運動についてのイラスト</li> <li>○ 給食の栄養バランスを示す写真</li> <li>○ 育ちざかりに特に大切な栄養についてのイラスト</li> <li>○ 睡眠と成長ホルモンの関係を示すグラフ</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(才) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑨身近な健康について、自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫
<b>方法</b>	自分の知識や経験に照らして自分の考えを記入する活動の数

		自分の知識や経験に照らして自分の考えを記入する活動の数	
		第3・4学年	第5・6学年
<b>東 書</b>	「けんこうな生活」 ○ 自分の考えを書く活動 (21) ○ 話し合う活動 (4)		「心の健康」 ○ 自分の考えを書く活動 (12) ○ 話し合う活動 (0)
	「体の成長とわたし」 ○ 自分の考えを書く活動 (21) ○ 話し合う活動 (0)		「けがの防止」 ○ 自分の考えを書く活動 (18) ○ 話し合う活動 (0)
<b>大 日 本</b>	「ほけんの学習が始まります」 ○ 自分の考えを書く活動 (1) ○ 話し合う活動 (0)		「夢や目標をかなえるために」 ○ 自分の考えを書く活動 (1) ○ 話し合う活動 (0)
	「けんこうな生活」 ○ 自分の考えを書く活動 (9) ○ 話し合う活動 (5)		「心の健康」 ○ 自分の考えを書く活動 (7) ○ 話し合う活動 (3)
	「体の発育・発達」 ○ 自分の考えを書く活動 (10) ○ 話し合う活動 (2)		「けがの防止」 ○ 自分の考えを書く活動 (18) ○ 話し合う活動 (4)
	「5・6年の生活に向けて」 ○ 自分の考えを書く活動 (1) ○ 話し合う活動 (0)		「病気の予防」 ○ 自分の考えを書く活動 (21) ○ 話し合う活動 (2)
<b>大 修 館</b>			「中学校生活に向けて」 ○ 自分の考えを書く活動 (2) ○ 話し合う活動 (0)
	「けんこうな生活」 ○ 自分の考えを書く活動 (11) ○ 話し合う活動 (2)		「心の健康」 ○ 自分の考えを書く活動 (10) ○ 話し合う活動 (0)
	「体の成長」 ○ 自分の考えを書く活動 (11) ○ 話し合う活動 (4)		「けがの防止」 ○ 自分の考えを書く活動 (15) ○ 話し合う活動 (1)
			「病気の予防」 ○ 自分の考えを書く活動 (20) ○ 話し合う活動 (2)

【保健】

	自分の知識や経験に照らして自分の考えを記入する活動の数	
	第3・4学年	第5・6学年
文教社	<p>「毎日の生活とけんこう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを書く活動（6）</li> <li>○ 話し合う活動（0）</li> </ul> <p>「体の発育・発達」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを書く活動（5）</li> <li>○ 話し合う活動（0）</li> </ul>	<p>「心の健康」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを書く活動（8）</li> <li>○ 話し合う活動（0）</li> </ul> <p>「けがの防止」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを書く活動（5）</li> <li>○ 話し合う活動（0）</li> </ul> <p>「病気の予防」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを書く活動（9）</li> <li>○ 話し合う活動（0）</li> </ul>
光文	<p>「けんこうな生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを書く活動（8）</li> <li>○ 話し合う活動（4）</li> </ul> <p>「体の発育と健康」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを書く活動（8）</li> <li>○ 話し合う活動（1）</li> </ul>	<p>「心の健康」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを書く活動（8）</li> <li>○ 話し合う活動（2）</li> </ul> <p>「けがの防止」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを書く活動（10）</li> <li>○ 話し合う活動（3）</li> </ul> <p>「病気の予防」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを書く活動（18）</li> <li>○ 話し合う活動（6）</li> </ul>
学研	<p>「健康な生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを書く活動（21）</li> <li>○ 話し合う活動（3）</li> </ul> <p>「体の発育・発達」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを書く活動（23）</li> <li>○ 話し合う活動（2）</li> </ul> <p>「学びがつながる みらいへつながる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを書く活動（2）</li> </ul>	<p>「心の健康」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを書く（17）</li> <li>○ 話し合う活動（2）</li> </ul> <p>「けがの防止」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを書く活動（21）</li> <li>○ 話し合う活動（3）</li> </ul> <p>「病気の予防」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを書く活動（42）</li> <li>○ 話し合う活動（7）</li> </ul> <p>「学びがつながる みらいへつながる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを書く活動（2）</li> </ul>

英 語
-----

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称	教科書名
2 東 書	NEW HORIZON Elementary English Course
9 開 隆 堂	Junior Sunshine
15 三 省 堂	CROWN Jr.
17 教 出	ONE WORLD Smiles
38 光 村	Here We Go!
61 啓 林 館	Blue Sky elementary

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点	視点	方法
(ア) 基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	目標の示し方と具体例
	② 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための工夫	文及び文構造に繰り返し触れる機会の設定及び具体例
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	③ 興味・関心を高めるための工夫	単元の導入の工夫
	④ 単元等における振り返りの工夫	単元など内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定及び具体例
(ウ) 内容の構成・配列・分量	⑤ 単元の構成・配列の工夫	総ページ数、総単元数、総言語活動数、領域別言語活動数
	⑥ 単元における言語活動の構成・配列	単元における4技能5領域に関連した言語活動の構成・配列
(エ) 内容の表現・表記	⑦ 学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト、写真等の活用	キャラクターやマーク、写真やデジタル教材等の活用
	⑧ 巻末資料、付録等の工夫	巻末資料、付録等の内容
(オ) 言語活動の充実	⑨ 児童にとって身近な暮らしに関わる場面設定の工夫	主として学校での学習や活動場面が取り上げられた単元
	⑩ 知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫	自分の考えや気持ちなどを伝え合う等の言語活動の設定及び具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方
方法	目標の示し方と具体例

	目標の示し方	人物を紹介する単元における具体例
東 書	○ 各単元の冒頭に、「Our Goal」として学習目標を提示している。	○ 第5学年 Unit 8: Who is your hero? Our Goal あこがれの人について紹介し合おう。 ・あこがれの人について友達に紹介しよう。 ・おたがいのことをよく知るために、あこがれの人について紹介し合おう。 ・日本のヒーローを知るために、その人の魅力などについて考えよう。
開 隆 堂	○ 各単元の冒頭に、「GOAL」として学習目標を提示している。	○ 第5学年 Lesson 8: My Hero GOAL 他の人の得意なことやできることなどを発表したり、書いたりすることができる。 ・得意なことの言い方を知ろう。 ・自分や他の人の得意なことを聞き取ったり、伝えたりしよう。 ・人柄を表す言い方を知り、他の人をわかりやすくしようかしよう。 ・自分のヒーローを発表し、クラスみんなの「図かん」を作ろう。
三 省 堂	○ 年間3回の大きな言語活動の「Goal」を示すとともに、各単元の冒頭に、「Goal」として単元における学習目標を提示している。	○ 第5学年 Lesson 3: He is my brother. Goal 友だちや家族を紹介し合おう。
教 出	○ 各単元の冒頭に、「Goal」として学習目標を提示している。	○ 第5学年 Lesson 9: My Hero, My Dream Friend Goal あこがれの人や、友達になってみたい人をしようかしよう
光 村	○ 各単元の冒頭に、「Goal」として学習目標を提示している。	○ 第5学年 Unit 5: My hero is my brother. Goal 自分の興味・関心を伝えるため、あこがれの人を紹介することができる。 ・Hop! 家族や職業、性格などの言い方を知ろう。 ・Step 1 人の職業などを伝えよう。 ・Step 2 人の性格などを伝えよう。 ・Jump 紹介文を読んだり、書いて発表したりしよう。
啓 林 館	○ 各単元の冒頭に、「GOAL」として学習目標を提示している。	○ 第6学年 Unit 5: This is my hero. GOAL あこがれの人について伝えることができるようになる。 ・Step 1 身近な人や好きな人物のとくちょうを言ってみよう。 ・Step 2 好きな人物について、その人がしたことを言ってみよう。 ・Step 3 あこがれの人について伝えよう。

観点	(ア) 基礎・基本の定着	
視点	②基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための工夫	
方法	文及び文構造に繰り返し触れる機会の設定及び具体例	
	文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元名 (want to)	具体例 (第6学年)
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第5学年</li> <li>・ Unit 7: Welcome to Japan!</li> <li>○ 第6学年</li> <li>・ Unit 4: Let's see the world.</li> <li>・ Unit 8: My Future, My Dream</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 8: My Future, My Dream</li> <li>Let's Read</li> <li>将来したいことについて伝える紹介文を読む活動を設定している。</li> <li>I like science.</li> <li>I <u>want to</u> join the science club.</li> <li>I <u>want to</u> study science.</li> <li>I <u>want to</u> be a vet.</li> <li>I <u>want to</u> help animals.</li> </ul>
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第5学年</li> <li>・ Lesson 3: What do you have on Mondays?</li> <li>・ Lesson 6: What would you like?</li> <li>・ Lesson 8: My Hero</li> <li>○ 第6学年</li> <li>・ Lesson 5: Where do you want to go?</li> <li>・ Lesson 7: My Dream</li> <li>・ Lesson 8: My Junior High School Life</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 5: Where do you want to go?</li> <li>Activity 3</li> <li>グループで、互いの行きたい国について「行きたい国クイズ」に取り組む活動を設定している。</li> <li>Where do you <u>want to</u> go?</li> <li>Please guess.</li> <li>I <u>want to</u> eat ice cream.</li> <li>I <u>want to</u> buy a beautiful bag.</li> <li>You can see the ocean.</li> <li>Oh, you <u>want to</u> go to Turkey.</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第5学年</li> <li>・ Lesson 7: I want to go to Kenya.</li> <li>○ 第6学年</li> <li>・ Lesson 1: We are from India.</li> <li>・ Lesson 6: I want to be a singer.</li> <li>・ Lesson 7: I want to join the brass band.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 7: I want to join the brass band.</li> <li>Let's Listen &amp; Read</li> <li>中学校訪問の感想について書かれた英文を読む音声を聞きながら、その英文を目で追う活動を設定している。</li> <li>I <u>want to</u> enjoy junior high school.</li> <li>I like English.</li> <li>I <u>want to</u> study English.</li> <li>I <u>want to</u> go to Canada.</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第5学年</li> <li>・ Lesson 6: Where do you want to go?</li> <li>○ 第6学年</li> <li>・ Lesson 5: Dream World Tour</li> <li>・ Lesson 7: What do you want to be?</li> <li>・ Lesson 8: Junior High School Life</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 7: What do you want to be?</li> <li>Activity 2</li> <li>就きたい職業について尋ね合い、分かったことをメモする活動を設定している。</li> <li>What do you <u>want to</u> be?</li> <li>I <u>want to</u> be a scientist.</li> <li>Why?</li> <li>I like science classes.</li> <li>Good luck!</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第6学年</li> <li>・ Unit 6: I want to go to Italy.</li> <li>・ Unit 7: My Dream</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 7: My Dream</li> <li>Let's try.</li> <li>将来の夢を尋ね合う活動を設定している。</li> <li>What do you <u>want to</u> be?</li> <li>I <u>want to</u> be a doctor.</li> <li>Why?</li> <li>I <u>want to</u> help people.</li> <li>Good luck!</li> </ul>
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第5学年</li> <li>・ Unit 8: Let's go to Singapore.</li> <li>○ 第6学年</li> <li>・ Unit 7: I want to be a fashion designer.</li> <li>・ Unit 8: I want to join the brass band.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 7: I want to be a fashion designer.</li> <li>Activity</li> <li>将来の夢について、理由も加えて発表する活動を設定している。</li> <li>I <u>want to</u> be a famous <i>manga</i> writer!</li> <li>Good luck!</li> <li>You can do it!</li> </ul>



<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	③興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	単元の導入の工夫

		学校生活（教科）が取り上げられた単元 （第5学年）	
		単元名	導入の工夫
東書	○ Unit 1: Hello, friends!		○ 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールや3つの学習のめあてとともに、自己紹介や給食、図書室での会話場面等のイラストや写真を掲載し、児童の興味・関心を高めている。 ○ 二次元コードを活用し、単元終末の言語活動のモデル動画、アニメーションや音声を視聴して場面の順序を考える等の活動、自己紹介動画を視聴して質問に答える活動、My Picture Dictionary、歌、チャンツを設定している。
	○ Lesson 3: What do you have on Mondays?		○ 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールや4つの学習のめあてとともに、海外の友だちとビデオ通話をしている場面等のイラストや写真を掲載し、児童の興味・関心を高めている。 ○ 二次元コードを活用し、学校生活等について紹介するアニメーションを視聴する活動、時間割について聞く活動、歌、チャンツ、ゲーム、アルファベットに関する学習、Word Book を設定している。
三省堂	○ Lesson 2: I play soccer on Tuesdays.		○ 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールとともに、登校時の校内や校庭での様子のイラスト等を掲載し、児童の興味・関心を高めている。 ○ 二次元コードを活用し、イラストを見ながら校内や校庭で行われていることについて聞く活動、チャンツ、単語ゲーム、Small Talk、会話の続け方についての資料を設定している。
	○ Lesson 3: I have P.E. on Monday.		○ 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールとともに、国旗や各教科のイラスト、海外の授業風景等のイラストや写真を掲載し、児童の興味・関心を高めている。 ○ 二次元コードを活用し、海外の子供たちの学校生活に関する映像を視聴する活動やリズムに合わせた口慣らしを設定している。
光村	○ Unit 3: What subjects do you like?		○ 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールや4つの学習のめあてとともに、海外の小学生とオンラインで話している様子や国旗・教科等のイラストや写真を掲載し、児童の興味・関心を高めている。 ○ 二次元コードを活用し、Small Talk、教科等について話をする動画やアニメーションを視聴する活動、Picture Dictionary を見て聞こえてきたものを指さす活動、歌を設定している。
	○ Unit 1: I have math on Monday.		○ 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールや3つの学習のめあてとともに、校内や校庭で色々な授業が行われている場面等のイラストを掲載し、児童の興味・関心を高めている。 ○ 二次元コードを活用し、イラストを見ながら小学校で行われている授業について聞く活動、時間割や好きな教科に関するアニメーションを視聴する活動を設定している。

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④単元等における振り返りの工夫
方法	単元など内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定及び具体例

	単元など内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定	経験したことを伝える単元における具体例 (第6学年)
東 書	○ 単元の「Your Turn」「Enjoy Communication」「Over the Horizon」において、振り返りを行う。また、年間3回の「Check Your Steps」を設定し、その活動の振り返りを行う。	○ Unit 3: My Weekend 単元の「Your Turn」「Enjoy Communication」「Over the Horizon」の学習において、振り返りを行う。 <Your Turn の振り返り> ・週末にしたことを友達と伝え合えたかな。 <Enjoy Communication の振り返り> ・週末にしたことを伝え合って、お互いの生活をよく知ることができたかな。 ・週末にしたことについて、内容を整理して伝えようとしたかな。 <Over the Horizon の振り返り> ・世界の人の生活を知るために、休みの日にしていることなどについて考えたかな。 ○ Check Your Steps 1「発信！わたしのニュースあれこれ」 自分が行った発表等について、振り返る。 ・自分の発表の振り返りや、友達の発表でよかったところを書こう。
開 隆 堂	○ 学習した単元ごとに振り返りを行うとともに、年間3回の「Let's Check」を設定し、これまで学習したことについて振り返りを行う。	○ Lesson 4: My Summer Vacation その単元で学習したことについて、巻末の「CAN-DO チェック」の4つの視点で振り返りを行うとともに、感想等を書く。 ・聞く（わかる） 夏休みの思い出について話を聞いて、おおよその内容がわかった。 ・話す（わかる） 夏休みの思い出について、したことや感想などをしょうかいすることができた。 ・話す（使える） 夏休みの思い出について、工夫してくわしくしょうかいすることができた。 ・がんばったこと、次のレッスンでがんばりたいこと ○ Let's Check② Interview: 先生と話をしよう。 これまで学習したことを振り返るとともに、先生とのやり取りについて、4つの視点で振り返りを行い、感想を書く。 ・これまで学習してきたことを振り返りましょう。そして、どのようなことを伝えたり、たずねたりしたいかを考えましょう。 1 自分のことをよく知ってもらうために、自分から進んで話すことができた。 2 先生のことをよく知るために、自分から進んで質問をすることができた。 3 自分のことを伝えるために、先生の質問に答えることができた。 4 相手の話を聞いて感想を伝えたり、質問したりして、相手意識をもって話を続けることができた。 ・話してわかったこと、これから話してみたいことなど

	単元など内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定	経験したことを伝える単元における具体例 (第6学年)
三省堂	○ 学習した単元ごとに振り返りを行う。また、年間3回の大きな言語活動を設定し、その振り返りを行うとともに、それまでの単元で学習したことについて振り返りを行う。	○ Lesson 3: I went to the beach. その単元で学習したことについて振り返りを行うとともに、工夫したこと等を書く。 <ふりかえり> ・夏休みをどんなふうに過ごしたかを、友だちと伝え合うことができた。 ・このレッスンで、くふうできたことはどんなことですか。友だちがしていたことで、まねしたいことはありましたか。 ○ JUMP 2: My best memory is the school trip. 自分が行ったスピーチについて振り返るとともに、それまで学習したことについて振り返りを行う。 <ふりかえり> ・Goalは達成できましたか。 ・HOP、STEP、JUMPを通して、がんばったことはなんですか。
教出	○ 学習した単元ごとに振り返りを行う。	○ Lesson 4: My Summer Vacation その単元で学習したことについて、4つの視点で振り返りを行う。 <Lesson 4をふりかえろう> ・夏休みに行った場所や食べたものの表現を、聞いたり言ったりすることができた。 ・夏休みにしたことや感想を伝えるための表し方を知り、聞いたり言ったりすることができた。 ・英語の語順を意識しながら、絵日記をつくり、夏休みにしたことを伝えることができた。 ・読み手に分かりやすい絵日記になるようにくふうしたり、その内容の伝え方をくふうしたりした。
光村	○ 学習した単元ごとに振り返りを行う。また、3つの「まとめ」の言語活動を設定し、その振り返りを行うとともに、それまでの単元で学習したことについて振り返る。	○ Unit 4: My Summer Vacation その単元で学習したことについて、3つの視点で振り返りを行うとともに、工夫したこと等を書く。 ・ブログから、夏休みの思い出を読み取ることができた。 ・夏休みの思い出を伝える絵日記を書くことができた。 ・夏休みの思い出を発表することができた。 ・くふうしたことや次に生かしたいこと ○ まとめ 世界の友達2 / You can do it! 2 各活動について振り返るとともに、それまでの単元で学習したことについて振り返る。 ・世界の友達のインタビューから、したことやしたいことを聞き取ることができた。 ・さいころを使って、英語のトーク番組に挑戦することができた。 ・世界のことについて、どんなことが言えるようになったかな。
啓林館	○ 単元の Step ごとに振り返りを行うとともに、単元末に単元全体の振り返りを行う。	○ Unit 4: I went to the zoo. Step ごとの達成度を振り返るとともに、単元末にその単元でできるようになったこと等について、4つの視点で振り返りを行う。 ・Step1~3 できたかな <Look Back> 1 できるようになったことにチェックマークを書きましょう。 ・自分がしたことを言うことができる。 ・したことについての感想を言うことができる。 ・⇒GOAL 自分の体験を伝えることができる。 2 Unit 4で学習した英語を、実際のどんな場面で使いたいか考えてみましょう。

## 【英語】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑤単元の構成・配列の工夫
<b>方法</b>	総ページ数、総単元数、総言語活動数、領域別言語活動数

	学年	総ページ数	総単元数	総言語活動数	領域別言語活動数 (4技能5領域の活動を示すマークの数)				
					聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
東書	第5学年	106	8	184	51	13	68	4	48
	第6学年	106	8	219	70	42	51	8	48
開隆堂	第5学年	138	8	180	53	23	71	9	24
	第6学年	138	8	179	52	24	72	7	24
三省堂	第5学年	122	7	143	32	25	47	19	20
	第6学年	122	7	143	32	25	44	21	21
教出	第5学年	140	9	72	28	6	21	10	7
	第6学年	140	8	72	19	16	14	7	16
光村	第5学年	153	8	147	52	18	50	14	13
	第6学年	145	8	156	51	20	45	20	20
啓林館	第5学年	152	8	135	80	8	30	12	5
	第6学年	152	8	153	79	9	21	21	23

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥単元における言語活動の構成・配列
方法	単元における4技能5領域に関連した言語活動の構成・配列

	行ってみたい国や地域が取り上げられた単元における具体例					言語活動の構成・配列
	言語活動のマーク数					
	聞くこと	読むこと	「話しこと やり取り」	「話しこと 発表」	書くこと	
東書	8	4	7	0	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第6学年 Unit 4: Let's see the world.</li> <li>・ Listen and Think 聞くこと</li> <li>・ Small Talk 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Sounds and Letters 聞くこと、書くこと</li> <li>・ Let's Read and Write 読むこと、書くこと</li> <li>・ Let's Listen 聞くこと</li> <li>・ Let's Try 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Let's Read and Write 読むこと、書くこと</li> <li>・ Small Talk 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Sounds and Letters 聞くこと、書くこと</li> <li>・ Enjoy Communication</li> <li>Step 1 聞くこと、読むこと</li> <li>Step 2 話すこと [やり取り]、書くこと</li> <li>Your Goal 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Small Talk 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Sounds and Letters 聞くこと、書くこと</li> <li>・ Over the Horizon</li> <li>物語探検 聞くこと、読むこと</li> <li>・ Small Talk 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Sounds and Letters 聞くこと、書くこと</li> </ul>
開隆堂	6	3	10	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第6学年 Lesson 5: Where do you want to go?</li> <li>・ Let's Listen 1 聞くこと</li> <li>・ Let's Try 1 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Let's Listen 2 聞くこと</li> <li>・ Let's Try 2 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Small Talk 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Activity 1 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Let's Listen and Read 1 聞くこと、読むこと</li> <li>・ Let's Write 1 書くこと</li> <li>・ Let's Listen 3 聞くこと</li> <li>・ Let's Try 3 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Small Talk 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Let's Listen 4 聞くこと</li> <li>・ Activity 2 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Let's Listen and Read 2 聞くこと、読むこと</li> <li>・ Let's Write 2 書くこと</li> <li>・ Let's Read 1 読むこと</li> <li>・ Let's Try 4 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Small Talk 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Activity 3 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Let's Write 3 書くこと</li> </ul>

【英語】

三省堂	4	3	5	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第5学年 Lesson 7: I want to go to Kenya.</li> <li>・ Small Talk 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Let's Listen 聞くこと</li> <li>・ Let's Speak 話すこと [発表]</li> <li>・ Let's Play 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Let's Talk 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Let's Read &amp; Write 読むこと、書くこと</li> <li>・ Let's Listen 聞くこと</li> <li>・ Let's Speak 話すこと [発表]</li> <li>・ Let's Play 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Let's Talk 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Let's Read &amp; Write 読むこと、書くこと</li> <li>・ Let's Listen &amp; Read 聞くこと、読むこと</li> <li>・ Let's Listen 聞くこと</li> <li>・ Let's Try 書くこと</li> </ul>
教出	3	1	2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第5学年 Lesson 6: Where do you want to go?</li> <li>・ Let's Listen 1 聞くこと</li> <li>・ Let's Listen 2 聞くこと</li> <li>・ Let's Listen 3 聞くこと</li> <li>・ Activity 1 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Activity 2 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Let's Write 読むこと、書くこと</li> <li>・ Final Activity 話すこと [発表]、話すこと [発表]</li> </ul>
光村	7	2	6	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第6学年 Unit 6: I want to go to Italy.</li> <li>・ Story 聞くこと</li> <li>・ Small Talk 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Let's listen and point. 聞くこと</li> <li>・ Let's watch. 聞くこと</li> <li>・ Let's listen. 聞くこと</li> <li>・ Small Talk 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Let's try. 話すこと [発表]</li> <li>・ Plus One 話すこと [発表]</li> <li>・ Let's write and read. 書くこと、読むこと</li> <li>・ Let's watch. 聞くこと</li> <li>・ Let's listen. 聞くこと</li> <li>・ Small Talk 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Let's try. 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Plus One 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Let's write and read. 書くこと、読むこと</li> <li>・ Let's listen. 聞くこと</li> <li>・ Let's speak. 話すこと [発表]、話すこと [やり取り]</li> </ul>
啓林館	10	1	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第5学年 Unit 8: Let's go to Singapore.</li> <li>・ Introduction 聞くこと</li> <li>・ Watch the Scene 聞くこと</li> <li>・ Listen and Do 1 聞くこと</li> <li>・ Listen and Do 2 聞くこと</li> <li>・ Chant 聞くこと</li> <li>・ セクション名なし 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Activity 話すこと [やり取り]、書くこと</li> <li>・ Words and Phrases 聞くこと</li> <li>・ Listen and Do 聞くこと</li> <li>・ Chant 聞くこと</li> <li>・ セクション名なし 話すこと [発表]</li> <li>・ Activity 話すこと [やり取り]</li> <li>・ Watch and Do 聞くこと、読むこと</li> <li>・ Friends around the World 聞くこと</li> <li>・ Activity 話すこと [やり取り]</li> </ul>

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑦学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト、写真等の活用
方法	キャラクターやマーク、写真やデジタル教材等の活用

	キャラクターやマーク等の活用	写真やデジタル教材等の活用 (第5学年 誕生日が取り上げられた単元の具体例)
東 書	○ 第5学年の巻頭で6人の登場人物を紹介し、第6学年では新たに1人の転入生を加え、2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークやキャラクターを設定し、紙面に明示している。	○ Unit 2: Happy birthday! 単元の学習に関連した音声や動画、アニメーション等の視聴や、ワークシートやデジタルディクショナリー等の使用が Web 上のできるコンテンツや、日本や世界について調べることができる外部サイトにつながる二次元コードを、8箇所に表示している。また、学習に関連した日本や世界各国の写真を、単元終末ページを中心に示している。
開 隆 堂	○ 巻頭に「主な登場人物」として9人、「Story Time の登場人物」として2人の人物を紹介している。「主な登場人物」の内、外国語指導助手が第6学年で入れ替わるが、2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、5つの領域に関連した言語活動等の種類を示すマークや、ガイドキャラクターを3つ設定し、紙面に明示している。	○ Lesson 2: When is your special day? 単元の学習に関連した音声や動画、アニメーション等の視聴や、デジタルワードブックや活動における資料等の使用が Web 上のできるコンテンツにつながる二次元コードを、5箇所に示している。また、学習に関連した日本や世界各国の写真を、単元を通して示している。
三 省 堂	○ 巻頭に「主な登場人物」として、8人の人物を紹介しており、2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークや児童の理解をサポートするナビゲーションキャラクターを3つ設定し、紙面に明示している。	○ Lesson 1: My name is Jun. 単元の学習に関連した音声や動画、アニメーション等の視聴や、ワークシートやふりかえりシート等をダウンロードできる二次元コードを、4箇所に示している。また、2つの活動において学習に関連した写真を示している。
教 出	○ 第5学年の最初の単元で8人の人物が登場し、第6学年では新たに1人の転入生を加え、2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークやキャラクターを設定し、紙面に明示している。	○ Lesson 2: When is your birthday? 音声や動画等が Web 上で視聴できるコンテンツにつながる二次元コードを、活動ごと7箇所に示している。また、学習に関連した日本や世界各国の写真を単元導入の見開きページに示している。
光 村	○ 巻頭に「主な登場人物」として、第5学年で7人の人物と学習を助けるキャラクターを紹介している。第6学年では転入生が1人加わるが、2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークを設定し、紙面に明示している。	○ Unit 2: When is your birthday? 単元の学習に関連した音声や動画、アニメーション等が視聴できるコンテンツにつながる二次元コードを、5箇所に示している。また、学習に関連した日本や世界各国の写真を、単元終末ページに示している。
啓 林 館	○ 巻頭に「登場人物」として、第5学年で8人、第6学年で7人の人物を紹介し、2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークとキャラクターを設定し、紙面に明示している。	○ Unit 2: My birthday is May 25th. 学習に関連した音声や動画、アニメーションなどの視聴や、単語クイズやアクティビティのヒントの使用が Web 上のできる二次元コードを、活動ごと15箇所に示している。また、学習に関連した日本や世界各国の写真を、単元導入ページと終末ページを中心に示している。

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑧巻末資料、付録等の工夫
<b>方法</b>	巻末資料、付録等の内容

		巻末資料、付録等の内容	
		第5学年	第6学年
<b>東 書</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Try it!</li> <li>○ 巻末絵カード</li> <li>○ 巻末コミュニケーションカード</li> <li>○ 別冊</li> <li>・ My Picture Dictionary</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Going to Junior High School</li> <li>○ A Message from Lucas</li> <li>○ 巻末絵カード</li> <li>○ 巻末コミュニケーションカード</li> <li>○ 別冊</li> <li>・ My Picture Dictionary</li> </ul>
<b>開 隆 堂</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Sounds and Letters</li> <li>○ 5年で学習した表現のまとめ</li> <li>○ アルファベット表</li> <li>○ ローマ字表 (ヘボン式)</li> <li>○ Japan Map</li> <li>○ CAN-DO チェック</li> <li>○ Sugoroku</li> <li>○ 巻末カード</li> <li>○ 別冊</li> <li>・ Word Book</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Sounds and Letters</li> <li>○ 6年で学習した表現のまとめ</li> <li>○ アルファベット表</li> <li>○ ローマ字表 (ヘボン式)</li> <li>○ World Map</li> <li>○ CAN-DO チェック</li> <li>○ Sugoroku</li> <li>○ 巻末カード</li> <li>○ 別冊</li> <li>・ Word Book</li> </ul>
<b>三 省 堂</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 英語でこんなことができた！</li> <li>○ ローマ字表 (ヘボン式)</li> <li>○ 巻末カード</li> <li>○ 別冊</li> <li>・ CROWN Jr. My Dictionary</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 英語でこんなことができた！</li> <li>○ ローマ字表 (ヘボン式)</li> <li>○ 巻末カード</li> <li>○ 別冊</li> <li>・ CROWN Jr. My Dictionary</li> </ul>
<b>教 出</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ My Word Bank</li> <li>○ Let's Enjoy the Music</li> <li>○ Supermarket Jingle</li> <li>○ Forest Jingle</li> <li>○ ローマ字表 (ヘボン式)</li> <li>○ 活動用シール</li> <li>○ 絵カード</li> <li>○ ワークシート</li> <li>○ アルファベット表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ My Word Bank</li> <li>○ Let's Enjoy the Music</li> <li>○ Food Festival Jingle</li> <li>○ City Jingle</li> <li>○ ローマ字表 (ヘボン式)</li> <li>○ 絵カード</li> <li>○ ワークシート</li> <li>○ My Book をつくろう</li> <li>○ アルファベット表</li> </ul>
<b>光 村</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 英語の物語</li> <li>○ 単語や文の書き方</li> <li>○ Alphabet Time</li> <li>○ All About Me</li> <li>○ カード</li> <li>○ ローマ字の表 (ヘボン式)</li> <li>○ 家庭での学習に使える二次元コードコンテンツ</li> <li>○ 別冊</li> <li>・ Picture Dictionary</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 英語の物語</li> <li>○ 単語や文の書き方</li> <li>○ Alphabet Time</li> <li>○ 中学校に向けて</li> <li>○ All About Me</li> <li>○ ローマ字の表 (ヘボン式)</li> <li>○ 家庭での学習に使える二次元コードコンテンツ</li> <li>○ 別冊</li> <li>・ Picture Dictionary</li> </ul>
<b>啓 林 館</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Story</li> <li>○ Word List</li> <li>○ 教科書に出てきた英語の歌</li> <li>○ Can-Do List</li> <li>○ 英語でゲームをしよう！</li> <li>○ 絵カード</li> <li>○ 付録シート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Story</li> <li>○ Word List</li> <li>○ Can-Do List</li> <li>○ ヘボン式ローマ字表</li> <li>○ 絵カード</li> <li>○ 付録シート</li> </ul>



観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑨児童にとって身近な暮らしに関わる場面設定の工夫
方法	主として学校での学習や活動場面が取り上げられた単元

主として学校での学習や活動場面が取り上げられた単元 (第6学年)	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 1: This is me!</li> <li>○ Unit 2: My Daily Schedule</li> <li>○ Unit 7: My Best Memory</li> <li>○ Unit 8: My Future, My Dream</li> </ul>
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 1: This is me.</li> <li>○ Lesson 3: What time do you get up?</li> <li>○ Lesson 6: My Best Memory</li> <li>○ Lesson 8: My Junior High School Life</li> </ul>
三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 4: It was green.</li> <li>○ Lesson 5: We had the sports day in October.</li> <li>○ Lesson 7: I want to join the brass band.</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 1: Let's be friends</li> <li>○ Lesson 6: My Best Memory</li> <li>○ Lesson 8: Junior High School Life</li> </ul>
光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 1: This is me.</li> <li>○ Unit 2: Welcome to Japan.</li> <li>○ Unit 3: What time do you get up?</li> <li>○ Unit 7: My Dream</li> <li>○ Unit 8: My Best Memory</li> </ul>
啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 6: My favorite memory is the school trip.</li> <li>○ Unit 8: I want to join the brass band.</li> </ul>

観点		(才) 言語活動の充実
視点	⑩知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫	
方法	自分の考えや気持ちなどを伝え合う等の言語活動の設定及び具体例	
	自分の考えや気持ちなどを伝え合う等の言語活動の設定	中学校生活への期待等が取り上げられた単元における具体例（第6学年）
東書	○ 単元終末の Enjoy Communication において、習得した知識及び技能を活用する「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動を設定している。また、3回の Check Your Steps において、習得した知識及び技能を活用する「聞くこと」「話すこと [発表]」の活動を設定している。	○ Unit 8: My Future, My dream ・ Enjoy Communication 互いの夢を応援するために、将来したいことを伝え合う。 Step 1 文を指で追いつながら、2人の会話を聞く。 Step 2 内容を整理しながら「将来カード」を作成し、ペアで伝え合う。 Your Goal 「将来カード」を使って、たくさんの友だちと伝え合う。 会話したことを書く。
開隆堂	○ 単元終末の Activity や Let's Write 等において、習得した知識及び技能を活用する「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動を設定している。また、3回の Let's Check において、「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「書くこと」の活動を設定している。	○ Lesson 8: My Junior High School Life ・ Activity 3 中学校の先輩や先生、友だちに向けて、中学校でしたいことや頑張りたいことを発表する。 ・ Let's Write 3 中学校でしたいことや頑張りたいことを記録に残す。
三省堂	○ 単元終末の Step-up において、習得した知識及び技能を活用する「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「書くこと」の活動を設定している。また、3回の大きな言語活動において、「話すこと [発表]」の活動を設定している。	○ Lesson 7: I want to join the brass band. ・ Step-up どんな中学校生活を送りたいかを伝え合う。 Let's Listen & Read 発表を聞きながら、書かれた文字を指で追う。 Let's Listen 中学生になったらしたいことについて、2組の友だちのやり取りを聞く。 Let's Try どのような中学校生活を送りたいかを伝え合う。
教出	○ 単元終末の Final Activity において、習得した知識及び技能を活用する「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動等を設定している。	○ Lesson 8: Junior High School Life ・ Final Activity 中学校でしたいことを発表する。 2人が中学校でしたいことを、音声を聞きながら読む。 中学校でしたいことをワークシートに書く。 中学校でしたいことを発表する。 友だちの発表を聞き、分かったことを書く。
光村	○ 単元終末の Jump! において、習得した知識及び技能を活用する「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動を設定している。また、3回の「世界の友達」において、「聞くこと」「読むこと」の活動、「You can do it!」において、「話すこと」「書くこと」の活動を設定している。	○ Unit 7: My Dream ・ Jump! Let's read. 「夢宣言 (My Dream)」を読む。 Let's write and speak. 「夢宣言 (My Dream)」を書き、書いた事柄について、更に詳しい発表をする。
啓林館	○ 単元終末の Step 3 において、習得した知識及び技能を活用する「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動を設定している。また、3回の REVIEW において、習得した知識及び技能を活用する「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動を設定している。	○ Unit 8: I want to join the brass band. ・ Step 3 中学校でやってみたいことを手紙に書く。 Watch and Do セリフを聞きながら、書かれた文字を指で追う。映像に合わせてセリフを言う。 Activity 中学校を紹介してくれた人に、中学校でやってみたいことを含めたお礼の動画メッセージを作り、その内容を手紙にも書く。

## 道 徳

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名
2	東	書	新編 新しい道徳
17	教	出	小学道徳 はばたこう明日へ
38	光	村	道徳 きみが いちばん ひかるとき
116	日	文	小学道徳 生きる力 小学道徳 生きる力 道徳ノート
208	光	文	小学道徳 ゆたかな心
224	学	研	新版 みんなの道徳

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	道徳科の学び方等の示し方	オリエンテーションのタイトル、示し方、記載例
		②	発問の示し方	学年、主題名、数、掲載箇所及び発問
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③	問題解決的な学習を取り入れた工夫	問題解決的な学習過程の示し方、教材名・内容項目、学習過程
		④	体験的な学習を取り入れた工夫	体験的な学習の扱い、教材名等・内容項目・体験的な学習活動の概要、体験的な活動を促す具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤	分量や教材の数	判型、ページ数、4つの視点ごとの教材数
		⑥	現代的な課題等を踏まえた内容の示し方	いじめの問題の扱いと教材等の例
(エ)	内容の表現・表記	⑦	巻頭、巻末等の取扱いの工夫	巻頭、巻末等の示し方
		⑧	教材の内容を理解させる工夫	マーク・キャラクター等の示し方と活用の具体例
(オ)	言語活動の充実	⑨	考えを伝え合う活動の工夫	話し合いを促す示し方と具体例
		⑩	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方、まとめや振り返りの数等と具体例

【道徳】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①道徳科の学び方等の示し方
方法	オリエンテーションのタイトル、示し方、記載例

		第4学年		
		タイトル	示し方	記載例
東書		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「どうとくの学習を始めよう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なにを学ぶのかな？」</li> </ul> </li> <li>・「どんな学びをするのかな？」</li> <li>・「ちょっと話し合ってみよう！」</li> <li>○ 「デジタルコンテンツで学びを広げよう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を表す言葉や教材名等を示している。</li> <li>○ 見開き2ページに、「気づく」「考える」「広げる・深める」の3つで学習の流れを示している。また、ページ下には、「こんな学び方もあるよ」として「えんじて考えよう」「問題を見つけて考えよう」を示している。</li> <li>○ 1ページに、ミニ教材を基に、話し合う際の言葉の例等を示している。</li> <li>○ 1ページに、「3つのコンテンツがあるよ」「ほかにもコンテンツがあるよ」として、コンテンツの利用方法等を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自分のこと」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しいと思うことは</li> <li>・いっしょになって、わらっちゃだめだ</li> </ul> </li> <li>○ 「どうとくの学習では、さまざまなお話から、心について考え、自分の心をゆたかにしていきます。さあ、どうとくの学習を始めましょう！」</li> <li>○ 「「あれっ？ どうしてかな？」気づいたことはどんなことですか。」</li> <li>○ 「お話に出てくる人になりきって、言葉や動きをそうぞうしましょう。」</li> <li>○ 「わたしだったら……。」</li> <li>○ 「左のようなコードから、教科書の学びを広げるさまざまなコンテンツをりようすることができます。」</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「道徳で学習すること」</li> <li>○ 「道徳ではこんな学び方をするよ」</li> <li>○ 「道徳の学習をもっと広げよう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、主題名や教材名等を示している。</li> <li>○ 見開き2ページに、「考えよう」「深めよう」「つなげよう」「今日の学習を自分でふり返ってみよう。」の4つを示している。「考えよう」の中に、「話し合って考えよう」「えんじて考えよう」「書いて考えよう」の3つを示している。</li> <li>○ 見開き2ページに、「まなびリンクを活用しよう」「タブレットを学習に生かそう」として、二次元コードやタブレットの活用方法等を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自分のこと」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・見て見ぬふりはしない</li> <li>・ほっとけないよ</li> </ul> </li> <li>○ 「今日はどんなことについて考えるのか、たしかめてみよう。」</li> <li>○ 「教材を読んで、登場人物の気持ちや行動などから、よりよく生きるうえで大切なことについて考えよう。」</li> <li>○ 「グループやクラスで話し合っていて、自分の考えと同じところやちがうところ、友達の意見を聞いて気づいたことなどをもとに、自分の考えを見直してみよう。」</li> <li>○ 「二次元コードにアクセスすると、学習に役立つじょうほうをウェブサイトで見ることができます。学校のルールを守って利用しましょう。」</li> </ul>

【道徳】

第4学年			
	タイトル	示し方	記載例
光 村	○ 「道徳が始まるよ」	○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を表す言葉等を示している。	○ 「自分について」 ・正しいと考えたことを、どうどうと行う ○ 「四年生の道徳が、始まるよ。いっしょに考えていこうね。」 ○ 「話している人が何を言いたいかを、考えながら聞こう。」
	○ 「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」  ○ 「道徳みちあんない」	○ 見開き2ページに、「こつ1」「こつ2」「こつ3」「やってみよう」と対話を進めるポイント等を示している。  ○ 見開き2ページに、1年間に学ぶ教材名やユニットの位置、発問や呼び掛け等をキャラクターとともに示している。	○ 「②目覚まし時計」 ○ 「友だち一人一人を大切にするって、どういうことだろう。」 ○ 「1年間の流れを、いっしょにたしかめよう。」
日 文	○ 「道徳のとびら」  ○ 「道徳の学び方」	○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を表す言葉等を示している。  ○ 見開き2ページに、「1気づく」「2考える・深める」「3見つめる・生かす」の3つをイラストや写真等とともに示している。	○ 「自分」 ・正直な心 ・「道徳」では、よりよく生きるためにたいせつなことについて、みんなで考えるよ。」 ○ 「すてきだと思ったことや、気になったことはあるかな。」 ○ 「気づいたことを友達と話し合っ、自分の見方を広げ、考えを深めよう。」 ○ 「自分を見つめて、これからの生き方に生かしたいことは何か、考えよう。」

		第4学年		
		タイトル	示し方	記載例
光 文	○ 「ゆたかな心」	○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を表す言葉等を示している。	○ 「自分のこと」 ・正しいと思うことを自信をもって	○ 「道徳の授業を通して、自分を見つめ直すきっかけをつくることができます。自分で考え、友だちと話し合うことで、当たり前と思っていた見方がかわります。見方がかわると、見える世界がかわってきます。ちょっとすてきな自分に出会う旅に出かけるみたいですね。その旅は、きっと、みなさんの生活をよりよくなかえていってくれるでしょう。」
	○ 「道徳の時間は、こんな時間です」	○ 見開き2ページに、学習の流れを「問いをみつけよう」「考えよう」「まとめよう・ふりかえろう」「ひろげよう・つなげよう」の4つで示している。	○ 「なぜだろう」「どうしてだろう」という気持ちを大切に、教科書や生活の中から、問いを見つけましょう。	○ 「じゅんじょ立てて考える(矢印・曲線)」
	○ 「いろいろなやり方で考えてみよう」	○ 見開き2ページに、考えを整理したり、まとめたりする方法を図やイラスト等とともに示している。	○ 「思ったことを安心して質問できるよ。」	○ 「学習した日づけとお話の番号とタイトルを書きましょう。」
	○ 「話し合っって考えてみよう」	○ 1ページに、「こんないいことがあるよ」「こんなときに使おう」「言葉のカード(対話ツール)にはこんなものがあるよ」と示している。	○ 「授業の後の気持ちを矢印で表しましょう。」	
	○ 「まとめよう・ふりかえろう」	○ 1ページに、「ノートを使おう」「学びの足あと」を使おう」と示している。		
学 研	○ 「つながるわたし 広がるわたし」	○ 見開き2ページに、「しょう来のゆめ」「大切なもの」「夢中になっていること」「自分の好きなどころ」の4つについて書く欄や現代的課題マーク等を写真やイラストともに示している。	○ 「さまざまなテーマで学び自分を広げよう。」	○ 「いのち」
	○ 「大きな心を育てよう」	○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を表す言葉と教材名を示している。	○ 「わたしのこと」 ・正しいことは自信を持ってしよう ・クラスたいこう全員リレー	○ 「心の四つのとびらを開いて自分を見つめる時間です。」 ・自分のとびら
	○ 「道徳の学習が始まるよ」	○ 見開き2ページの上段に、「自分」「人」「社会」「命や自然」の4つの視点等を示している。また、見開き2ページの下段に、「自分を見つめ深めるポイント」として「1お話をもとに考えよう。」「2話し合いを高め合おう。」「3自分を見つめ深めよう。」の3つをイラスト等とともに示している。	○ 「登場人物になりきって考えてみよう。」 ・えんじている人を見ながら自分の考えを見つけてもいいね。	

【道徳】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②発問の示し方
方法	学年、主題名、数、掲載箇所及び発問

		教材名「ブランコ乗りとピエロ」		内容項目「B 相互理解、寛容」	
		学年	主題名	数	掲載箇所及び発問
東 書	5	○ わかり合うために	4	<p>&lt;教材文の終わり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 分かり合うために大切なことは？</li> <li>○ ピエロの心からサムをにくむ気持ちが消えたのはどうしてでしょう。</li> <li>○ 相手の意見が自分とちがったとき、あなたはどうしますか。</li> <li>○ ピエロの話をうつむいて聞いていたサムは、どんなことを考えていたでしょう。サムの気持ちについても話し合ってみましょう。</li> </ul>	
	6	○ 広い心をもって	6	<p>&lt;冒頭の教材名の下&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分とはちがう考え方を受け入れることって難しいよね。</li> </ul> <p>&lt;教材文の終わり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ サムの長い演技が終わり、大王アキレスがサーカス小屋から帰ったあと、舞台へ向かうピエロは、どのような気持ちだったでしょう。</li> <li>○ ピエロの心から、サムをにくむ気持ちが消えてしまったのは、どうしてでしょう。</li> <li>○ どうしてピエロの気持ちが変わったのかな。</li> <li>○ これまで、友達と意見が対立したとき、どのように解決してきましたか。ふり返って話し合いましょう。</li> <li>○ 自分が正しいと思う意見を相手が受け入れてくれないと感じたとき、どのように考え、行動しようと思いますか。また、それはどうしてですか。</li> </ul>	

		教材名「ブランコ乗りとピエロ」		内容項目「B 相互理解、寛容」	
	学年	主題名	数	掲載箇所及び発問	
光村	5	○ 分かり合うために	8	<p>&lt;冒頭の教材名の下&gt;</p> <p>○ 他の人の言動を、許せないと思うとき、君は、どうするかな。</p> <p>&lt;教材文の終わり&gt;</p> <p>○ 考えのちがう者どうしが関わり合ってくるためには、どんな心が必要なのだろう。</p> <p>○ 約束の時間をこえて演技を続けるサムを見ながら、ピエロは、どんなことを考えていたでしょう。</p> <p>○ ピエロのサムに対する気持ちは、どうして変わったのでしょうか。</p> <p>○ 団員たちの明るい笑い声に包まれた最終日がむかえられたのは、サムとピエロ、そして団員たちの心が、どのように変わったからでしょう。</p> <p>○ 次の「㊦だれもが幸せになれる社会を」を学んだら、146ページ「子どもの権利条約」を読んで、だれもが幸せに生きるために大切なことは何か、さらに考えを深めよう。</p> <p>○ サムのすがたを何度も何度も思い出しているときのピエロは、どんな気持ちだったでしょう。グループで、サムを「許す」「許さない」、それぞれの立場に立って、理由を出し合いましょ。</p> <p>○ ピエロが、「許さない」ではなく、「許す」ほうを選んだことについて、グループのみんながそうだなと思える理由は何か、話し合いましょ。</p>	
日文	6	○ 広く受け入れる心	3	<p>&lt;冒頭の教材名の下&gt;</p> <p>○ 自分と意見や考えが合わない人に対して、どんなことを思いますか。</p> <p>&lt;教材文の終わり&gt;</p> <p>○ ピエロの心の中からサムをにくむ気持ちが消えたのは、どんな考えからだろう。</p> <p>○ 広く受け入れられる心をもつためには、どんな考えがたいせつかな。</p>	
光文	6	○ 広い心で	5	<p>&lt;冒頭の教材名の下&gt;</p> <p>○ 「広い心」とは、どのような心のことをいうのだろう。</p> <p>&lt;教材文の終わり&gt;</p> <p>○ ピエロの心の中から、サムをにくむ気持ちが消えたのは、どうしてかな。</p> <p>○ サムとピエロの関係は、どのように変わったのだろう。</p> <p>○ 「広い心」とは、どんな心だろう。学習したことをまとめよう。</p> <p>○ みんなが「広い心」で行動したら、どんなクラスになるか、考えて発表してみよう。</p>	
学研	6	○ 分かり合う喜び	2	<p>&lt;教材文の終わり&gt;</p> <p>○ ピエロとサムの関係は、どのように変わったのだろう。また、そのように変えたものは何だろう。</p> <p>○ あなたなら自分と考え方の違う友達とつきあうとき、何を大切にするだろう。</p>	



【道徳】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③問題解決的な学習を取り入れた工夫
方法	問題解決的な学習過程の示し方、教材名・内容項目、学習過程

第6学年			
	問題解決的な学習過程の示し方	具体例	
		教材名・内容項目	学習過程
東 書	○ 「問題を見つけて考えよう」を設け、「どんな学びをするのかな？」に該当ページを示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 「修学旅行の夜」 ○ 「A 善悪の判断、自律、自由と責任」	○ 「問題を見つけて考えよう」 「気づく」 ・あなたにとって「自由」とはなんですか。 「考える」 ・修学旅行の夜、人にめいわくをかけないようにおしゃべりすることは、「自由」か「自分勝手」のどちらでしょうか。理由も考えてみましょう。 ・自由と自分勝手のちがいはなんでしょうか。 「広げる・深める」 ・自分をふり返ってみて、自由ではなく自分勝手だったことはないでしょうか。
教 出	○ 「問題を解決しよう」を設け、目次にマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 「○○しながら」 ○ 「A 節度、節制」	○ 「問題を解決しよう」 「問題を見つける」 ・3つのできごとでは、それぞれ何が問題になっていますか。 「解決方法を考える①」 ・3つのできごとの登場人物の行動について、どのように思いますか。 「解決方法を考える②」 ・3つのできごとを比べると、どのようなちがいが見られますか。共通点、異なる点、問題の重さについて話し合しましょう。 「考えたことを生かす」 ・3つのできごとの問題について考えたことを、今後の生活にどのように生かしていきたいですか。自分の生活態度と比べながら見つめ直しましょう。
光 村	○ 「考えよう・話し合おう」「つなげよう」において、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 「六年生の責任って？」 ○ 「C よりよい学校生活、集団生活の充実」	○ 「考えよう・話し合おう」 ・あなたが「ぼく」のクラスの一員だったら、どうすればよいと思いますか。次のステップに沿って、考えていきましょう。 「何が問題になっているのか、明らかにする。」 ・今、学校は、どのような状態なのか。 「目ざす姿・状態をイメージする。」 ・学校を、どのような状態にしたいのか。 「どうすれば、目ざす姿に近づけるかを考える。(解決策を考え、結果を想像する。)」 ・三人の意見の結果を想像する。 ・目ざす姿に近づくために、どうするか。(解決策) 「考えたことがよりよいものを検討する。」 ・それぞれが考えたことを出し合い、六年生にも下級生にも望ましい状態にするためには、どうすればよいか、話し合しましょう。 ・六年生の責任を果たすために大切なのは、どんな考えだと思いますか。 「つなげよう」 ・先生や上級生のおかげで、気持ちよく生活できていたと思うことはあるかな。よりよい学校を目ざして、自分にどんなことができるか、考えてみよう。

第6学年			
	問題解決的な学習過程の示し方	具体例	
		教材名・内容項目	学習過程
日 文	○ 「ぐっと深める」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 「自分を守る力って？」 ○ 「A 節度、節制」	○ 「ぐっと深める」 ・それぞれの場面で自分を守るためにはどんな力が必要だろう。みんなで考えてみよう。 ①中学生たちにお金を貸してほしいと言われたとき、ヒデキはどんなことを思ったでしょう。 ②こんなことが起こらないために、ヒデキはどんなことを考え、判断し、行動すればよかったですでしょう。 ③①～④の場面から一つ選んで、どんなことを考え、判断し、行動することがたいせつだったのか、考えてみましょう。 ④それぞれの場面で必要な力はどんな力でしょう。それが自分を守ることにつながる理由を考えてみましょう。
光 文	○ 「かんがえよう」「まとめよう」「ひろげよう」を設け、巻頭及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 「修学旅行の自由行動」 ○ 「B 相互理解、寛容」	○ 「かんがえよう」 ・一回目と二回目の話し合いのちがいは何だろう。 ・「わたし」（黒羽さん）は、どうして、このメンバーなら心の底から修学旅行が楽しめると感じたのだろう。 「まとめよう」 ・話し合いの中でたがいが分かり合うために、大切なことは何かな。 「ひろげよう」 ・考えたことを、話し合いの中で実行してみよう。
学 研	○ 「深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 「未来への裁判」 ○ 「C 公正、公平、社会正義」	○ 「深めよう」 「つかもう」 ・ルースは、あらゆる差別をなくすためにたたかい続けました。差別とたたかい続けたルースの生き方についてどう思いますか。 「探そう」 ・ルースは「勝てるはずがない」と言われた裁判を、なぜたたかったのだろう。 「ふみ出そう」 ・今もお、社会にはたくさんの差別が存在しています。差別のないよりよい社会を築くためにはどんな思いや考えが大切でしょうか。 「活動」 ・「ふみ出そう」で思いや考えの中で、これから心に留めておきたいことに印を付けてみましょう。

【道徳】

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④体験的な学習を取り入れた工夫
<b>方法</b>	体験的な学習の扱い、教材名等・内容項目・体験的な学習活動の概要、体験的な活動を促す具体例

	体験的な学習の扱い	具体例 (第3学年)	
		教材名等・内容項目・ 体験的な学習活動の概要	体験的な活動を促す具体例
東 書	○ 「演じて考えよう」のページを設け、直前の教材に関連した体験的な学習を促している。	○ 「みさきさんのえがお」 ○ 「C 公正、公平、社会正義」 ○ すぐに返事ができなかった「ぼく」の考えを演じたり、演技を見たりして考える活動	○ 「えんじて考えよう」のページにイラストとともに発問等を示し、役割演技を促している。 ・えんじて考えましょう。 すぐにへんじができなかった「ぼく」は、なにを考えていたでしょう。 ・えんじたり、えんぎを見たりして気がついたことを、つたえ合いましょう。
教 出	○ 「やってみよう」のコーナーを設け、直前の教材に関連した体験的な学習を促すとともに、「たいけん」マークを目次に示している。	○ 「悪いのはわたしじゃない」 ○ 「A 正直、誠実」 ○ 自分が「わたし」だったら何と声をかけるか演じて考える活動	○ 「やってみよう」のコーナーに発問を示し、役割演技を促している。 ・自分が「わたし」だったら、れなになんと声をかけますか。「わたし」の役になってえんじてみましょう。 ・えんじた人はどのようなことを思いましたか。見ていた人はどのようなことを感じましたか。発表してみましょう。
光 村	○ 「演じて考えよう」のページを設け、直前の教材に関連した体験的な学習を促すとともに、該当ページを目次に示している。	○ 「教えてあげる？持っ てあげる？」 ○ 「B 親切、思いやり」 ○ 荷物を持つように頼まれた「わたし」の気持ちを、演じたり演技を見たりして考える活動	○ 「えんじて考えよう」のページにイラストとともに発問等を示し、役割演技を促している。 ・②の場面の「わたし」とみきちゃんを、えんじてみましょう。 ・えんじている人の表じょうやしぐさをよく見、言っていることをよく聞いて、人物の気持ちや思いを話し合いましょう。 ・えんじた人は、えんじていたときの気持ちをつたえましょう。

	体験的な学習の扱い	具体例 (第3学年)	
		教材名等・内容項目・ 体験的な学習活動の概要	体験的な活動を促す具体例
日 文	○ 「ぐっと深める」のページを設け、直前の教材に関連した体験的な学習を促すとともに、マークを目次及び該当ページに示している。	○ 「お母さんのせいきゅう書」 ○ 「C 家族愛、家庭生活の充実」 ○ お母さんが伝えたかったことはどんなことかを、お母さんを演じることを通して考える活動	○ 「ぐっと深める」のページにイラストや写真とともに発問等を示し、役割演技を促している。 ・お母さんがだいすけにつたえたかったのは、どんなことだろう。お母さんになって、えんじてみよう。 ・お母さんは、どんなことを考えながら、だいすけへのせいきゅう書を書いているでしょう。 ・お母さんからのせいきゅう書を読んだだいすけの目が、なみだでいっぱいになったのはどうしてでしょう。 ・となりどうしやグループで話し合ひましょう。
光 文	○ 「みんなでやってみよう！」のコラムを設け、実際の問題場面を想定した体験的な学習を促す教材を掲載するとともに、マークを目次及び該当ページに示している。	○ 「ことばのキャッチボール」 ○ 「B 相互理解、寛容」 ○ 相手の気持ちも考えた言葉を伝えるには、どうしたらよいかをやってみて考える活動	○ 「みんなでやってみよう！」のページにイラストとともに発問等を示し、役割演技を促している。 ・ことばはキャッチボール。「ナイスボール」(相手の気持ちも考えた言葉)をなげるには、どうしたらよいか考えてみましょう。 ・ <b>1</b> と <b>2</b> はどちらが「ナイスボール」でしょうか。 ・ <b>4</b> を友だちどうしでやってみましょう。 ・「ことばのキャッチボール」をやってみて、どんなことに気づきましたか。
学 研	○ 「心のパスポート」のページを設け、直前の教材に関連した体験的な学習を促すとともに、該当ページを目次に、マークを該当ページに示している。	○ 「貝がら」 ○ 「B 友情、信頼」 ○ 友だちになるために大切なことを、「ぼく」と中山君の役を演じて考える活動	○ 「心のパスポート」のページにイラストとともに発問等を示し、役割演技を促している。 ・病気がなおった「ぼく」が学校で中山君に会ったときの場面を、想ぞうしてえんじましょう。 ・自分なら中山君に何を話すか、考えてみましょう。 ・考えたことを、話し合ひましょう。

【道徳】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量		
視点	⑤分量や教材の数		
方法	判型、ページ数、4つの視点ごとの教材数		

	学年	判型 (別冊判)	ページ数 (別冊ページ数)	4つの視点ごとの教材数			
				A	B	C	D
東 書	第1学年	A B	146	10	9	9	6
	第2学年		162	11	8	10	6
	第3学年		178	8	9	11	7
	第4学年		180	9	8	11	7
	第5学年		188	9	7	12	7
	第6学年		196	8	7	12	8
教 出	第1学年	A B	161	10	8	12	4
	第2学年		161	11	8	12	4
	第3学年		169	9	9	12	5
	第4学年		169	9	10	10	6
	第5学年		185	10	6	13	6
	第6学年		185	8	8	12	7
光 村	第1学年	B 5 変型	135	10	8	11	5
	第2学年		167	10	8	11	5
	第3学年		185	9	9	11	5
	第4学年		193	9	9	11	5
	第5学年		197	10	9	9	6
	第6学年		215	8	9	10	7
日 文	第1学年	A B (A B)	154 (46)	11	8	13	5
	第2学年		170 (46)	11	9	12	6
	第3学年		186 (46)	11	10	12	5
	第4学年		190 (46)	9	10	13	6
	第5学年		186 (46)	9	10	13	6
	第6学年		194 (46)	10	9	13	6

【道徳】

	学年	判型 (別冊判)	ページ数 (別冊ページ数)	4つの視点ごとの教材数			
				A	B	C	D
光 文	第1学年	A B	162	11	9	13	7
	第2学年		178	10	10	13	7
	第3学年		186	10	11	12	7
	第4学年		190	8	11	14	7
	第5学年		194	9	8	14	9
	第6学年		194	9	8	15	8
学 研	第1学年	A B	142	11	8	9	6
	第2学年		150	12	8	9	6
	第3学年		158	9	9	11	6
	第4学年		166	9	9	11	6
	第5学年		162	9	8	10	8
	第6学年		170	9	8	11	7

【備考】全ての発行者に掲載されている教材 ※発行者によって教材名が異なる場合、複数を提示している。

教材名	学年	教材名	学年
かぼちゃのつる	第1学年	はしの上のおおかみ	第1学年
二わの小鳥	第1学年	金のおの 金のおの ぎんのおの	第1・2学年
七つの星 ひしゃくぼし 七つぼし	第1・2学年	ブラッドレーのせい求書 お母さんのせい求書	第3・4学年
花さき山	第3・4学年	雨のバス停留所で	第4学年
手品師	第5・6学年	ブランコ乗りとピエロ	第5・6学年

【道徳】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑥現代的な課題等を踏まえた内容の示し方
<b>方法</b>	いじめの問題の扱いと教材等の例

	いじめの問題の扱い	教材等の例 (第5学年)
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめの問題をテーマとした2つの教材等と扉ページの構成でユニット化した「「いじめ」についてかんがえよう」を設けている。</li> <li>○ いじめの問題を扱う教材のまとまりには、目次に色付けし、「「いじめ」についてかんがえよう」の扉ページを設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「どうすればいいんだ」</li> <li>・ 内容項目「C 公正、公平、社会正義」</li> <li>・ 公正、公平な態度で行動するために大切なことについて考えさせる教材</li> <li>○ 子どもの権利条約（コラム）</li> <li>○ 「心のレシーブ」</li> <li>・ 内容項目「B 友情、信頼」</li> <li>・ チームやグループで活動するときに大切なことについて考えさせる教材</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめの問題をテーマとした2つの教材とコラムの構成でユニット化した「いじめをなくす」を設けている。</li> <li>○ いじめの問題を扱う教材のまとまりには、マークを目次及び該当ページに示し、目次と該当ページに色付けしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「言葉のおくりもの」</li> <li>・ 内容項目「B 友情、信頼」</li> <li>・ みんなが力を合わせていけるようにするためには、どのようなことが大切かを考えさせる教材</li> <li>○ 「SNSいじめ」</li> <li>・ 内容項目「A 善悪の判断、自律、自由と責任」</li> <li>・ いじめの相談について考えさせる教材</li> <li>○ 「ひとりでかかえこまないで！」（コラム）</li> </ul>
<b>光 村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめの問題をテーマとした2つの教材とコラムの構成でユニット化した「いじめを許さない心」を設けている。</li> <li>○ いじめの問題を扱う教材のまとまりには、マークを目次及び該当ページに示し、目次と該当ページに色付けしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「みんな、おかしいよ！」</li> <li>・ 内容項目「B 相互理解、寛容」</li> <li>・ 相手と理解し合うためにはどんなことが大切かを考えさせる教材</li> <li>○ 「ドッジボール対決」</li> <li>・ 内容項目「B 友情、信頼」</li> <li>・ 互いに高め合う友情とはどんなものかについて考えさせる教材</li> <li>○ 「おたがいを大切にしよう」（コラム）</li> </ul>

	いじめの問題の扱い	教材等の例 (第5学年)
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめの問題をテーマとした複数の教材とコラムの構成でユニット化した「人との関わり②」を設けている。</li> <li>○ いじめの問題を扱う教材のまともには、「人との関わり（いじめをなくすために）」マークを使い目次に示し、目次に色付けしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「真由、班長になる」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C よりよい学校生活、集団生活の充実」</li> <li>・みんなが気持ちよく集団生活をするために大切にしたい心構えについて考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ 「名前のない手紙」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C 公正、公平、社会主義」</li> <li>・集団の中で正義を実現するにはどんなことが大切かについて考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ いじめは止められる！（コラム）</li> <li>○ 「折れたタワー」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「B 相互理解、寛容」</li> <li>・相手が失敗したときに広い心で許すことの大切さについて考えさせる教材</li> </ul> </li> </ul>
光 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめの問題をテーマとした2つの教材と扉ページの構成でユニット化した「いじめを生まない心」を設けている。</li> <li>○ いじめの問題を扱う教材のまともには、「いじめを生まない心」マークを目次及び扉ページに示し、目次と該当ページに色付けしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「クラスの雰囲気、これでいいの」（扉ページ）</li> <li>○ 「ドッジボールを百倍楽しくする方法」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「B 友情、信頼」</li> <li>・「よい友だち」とは、どのような友だちかを考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ 「光輝の告白」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C 公正、公平、社会正義」</li> <li>・いじめにつなげないために、どんなことが大切かについて考えさせる教材</li> </ul> </li> </ul>
学 研	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめの問題をテーマとした複数の内容項目の教材を特設ページとともに配置している。</li> <li>○ いじめの問題を扱う教材には、「いじめ防止」マークを使い、目次と該当ページに示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「すれちがい」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「B 相互理解、寛容」</li> <li>・互いの心がすれ違わないようにするためには、どのような思いが大切かについて考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ 「いじめをなくすために」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C 公正、公平、社会正義」</li> <li>・いじめられている人を見かけたとき、どのように考えどのようにしたいかを考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ 「自分だったらどう思うか、三つの立場で考えてみよう」（特設ページ）</li> <li>○ 「心をこめて一秒の言葉」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「B 礼儀」</li> <li>・心のこもった接し方について考えさせる教材</li> </ul> </li> </ul>



観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑦巻頭、巻末等の取扱いの工夫
方法	巻頭、巻末等の示し方

	巻頭等の示し方	巻末等の示し方
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次の前に、詩を見開き2ページで掲載している。</li> <li>○ 各学年の目次には、学習するまとまりを色付けするとともに、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、「なにを学ぶのかな？」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、「どんな学びをするのかな？」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 第2学年以上は、「ちょっと話し合ってみよう！」を1ページで示している。</li> <li>○ 低学年は、「コンピュータで学びを広げよう」中・高学年は、「デジタルコンテンツで学びを広げよう」を1ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、「学習の記録」を2ページで設けている。</li> <li>○ 各学年、内容項目別教材一覧表を4つの視点別で示し、関連するテーマや他教科等との関連等を記載している。</li> <li>○ 各学年、「考えるためのツール」を示している。第4学年以上に「心情円」を設けている。</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次には、学習するまとまりを色付けするとともに、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳で学習すること」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳ではこんな学び方をするよ」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 第3学年以上は、「道徳の学習をもっと広げよう」を1ページで示している。</li> <li>○ 第3学年以上は、「タブレットを学習に生かそう」を1ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、「学習をふり返ろう」を3ページ、「1年間の学習を振り返ろう」を1ページで設けている。</li> <li>○ 各学年、教材に合わせて活用する「資料」を掲載している。</li> <li>○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、他の教科・領域・SDGsとの関連を記載している。</li> </ul>
光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次の前に、詩を見開き2ページで掲載している。</li> <li>○ 各学年の目次には、学習するまとまりを色付けするとともに、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳が始まるよ」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 第2学年以上に、「みんなで気持ちをよく話し合うためのこつ」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 第2学年以上に、「道徳みちあんない」を見開き2ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年「学びの記録」を示している。</li> <li>○ 第3学年以上に、「学びの道具箱」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 第3学年以上に、日本の伝統文化等について2ページで掲載している。</li> <li>○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、現代的な課題等との関わり、他教科・領域との関わりを記載している。</li> </ul>

【道徳】

	巻頭等の示し方	巻末等の示し方
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次には、学習するまとまりを色付けするとともに、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳のとびら」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳の学び方」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 別冊「道徳ノート」の目次には、各学年、4つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材について、教材名を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 別冊「道徳ノート」には、道徳ノートの使い方等を、目次の下に、見開き2ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、「見つけた！ここにも道徳」を1ページで示している。</li> <li>○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、他教科等との関連を記載している。</li> <li>○ 各学年、別冊「道徳ノート」に、教科書の巻末の「見つけた！ここにも道徳」を見て、今までの道徳の学習とのつながりを考えて書くページを、1ページ設けている。</li> </ul>
光 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次には、学習するまとまりを色付けするとともに、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、「豊かな心」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳の時間は、こんな時間です」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、「いろいろなやり方で考えてみよう」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、「話し合ってみよう」を1ページで示している。</li> <li>○ 「まとめよう・ふりかえろう」を1ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、現代的課題、他教科との関連性のある内容項目、他教科との関連等を記載している。</li> <li>○ 各学年、「ことばのたからもの」を見開き2ページで記載している。</li> <li>○ 各学年、折り込みで、「学びの足あと」を設けている。</li> </ul>
学 研	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次の前に、詩を見開き2ページで掲載している。</li> <li>○ 各学年、「つながる私 広がる私」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年の目次には、学習するまとまりを色付けするとともに、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、4つの視点ごとに、教材名等を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳の学習が始まるよ」を見開き2ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示している。</li> <li>○ 各学年、「つなげよう 広げよう」を1ページで設けている。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑧教材の内容を理解させる工夫
<b>方法</b>	マーク・キャラクター等の示し方と活用の具体例

	マーク・キャラクター等の示し方	活用の具体例
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 「つながる・広がる」のマークを設定している。</li> <li>○ 中心的な発問をマークで示している。</li> <li>○ 「安心・安全」「情報モラル」「いじめ」について」「いのち」について」「じぶん」について」のマークを設定している。</li> <li>○ 鉛筆のマークを設定している。</li> <li>○ 低学年は「コンピュータで学びを広げよう」、中・高学年は「デジタルコンテンツで学びを広げよう」を設定し、二次元コードを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材名の上に、該当する4つの視点を示している。</li> <li>○ 他教科等と関連付けた学習を取り入れていることを示している。</li> <li>○ 道徳的価値に迫る中心的な発問をマークで示している。</li> <li>○ 現代的な課題に取り組むユニットであることを示している。</li> <li>○ 自分の考えを書き込む欄を示している。</li> <li>○ 教材冒頭や「つながる・広がる」等に、教材に関する朗読やスライドショー、デジタルノート等のデジタルコンテンツにリンクする二次元コードを示している。</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 「特に大切にするテーマ」「問題や課題を解決する力を養う教材」「体験しながら考える教材」のマークを設定している。</li> <li>○ 中心的な発問をマークで示している。</li> <li>○ 「考えよう」「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」のマークを設定している。</li> <li>○ 「問題を見つける」「解決方法を考える①」「解決方法を考える②」「考えたことを生かす」のマークを設定している。</li> <li>○ キャラクター「マナビィ」を設定している。</li> <li>○ 「まナビリンク」のマークを設定し、二次元コードを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主題の上に、該当する4つの視点を示している。</li> <li>○ 「特に大切にするテーマ」は、「ユニット名」、「問題や課題を理解する力を養う教材」は「解決」、「体験しながら考える教材」は「たいけん」のマークを用いて、目次に示している。</li> <li>○ ねらいとする道徳的価値に関わる中心的な発問をマークで示している。</li> <li>○ 学習の手引きとして示している。</li> <li>○ 学習の手引きとして示している。</li> <li>○ 教材の冒頭や学習の手引きで、問い掛けを示している。</li> <li>○ 教材冒頭や教材の終わり等にあらすじや登場人物紹介、参考図書等が掲載されているWebサイトにリンクする二次元コードを示している。</li> </ul>
<b>光 村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 「話とコラムをあわせて学習するまとまり」のマークを設定している。</li> <li>○ 中心的な発問をマークで示している。</li> <li>○ 第2学年以上に、教材冒頭に、内容項目の扉をマークで示している。</li> <li>○ 「コラム」「心を通わせよう」「考える準備たいそう」をマークで示している。</li> <li>○ 「考えよう・話し合おう」、第2学年以上に「つなげよう」のマークを設定している。</li> <li>○ キャラクター「こころん」「きらりん」、第2学年以上に「もやもやん」を設定している。</li> <li>○ 「家の人といっしょに考えてほしいこと」、第2学年以上に「SDGs」「国・社・理」等のマークを示している。</li> <li>○ 「学習の助けとなる資料」として、二次元コードを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主題名の右上に、該当する4つの視点を示している。</li> <li>○ ユニット名とともに色付けをして、目次とユニットの冒頭に示している。</li> <li>○ 特に考えさせたい中心的な発問をマークで示している。</li> <li>○ 各内容項目を扉になぞらえ、各教材の冒頭に言葉を添えて示している。</li> <li>○ 現代的な課題について考えることができる内容やソーシャルスキルトレーニング等を示している。</li> <li>○ 学びのめあてや他教科等との関連等を示している。</li> <li>○ 児童の生活や学びをつなげたり考えたことを問い直したりする問いかけ等を示している。</li> <li>○ 持続可能な開発目標との関わり、他教科や特別活動などとの関わり等を示している。</li> <li>○ 教材冒頭やコラム等に、教材に関する朗読や動画、写真等のデジタルコンテンツにリンクする二次元コードを示している。</li> </ul>

【道徳】

	マーク・キャラクター等の示し方	活用の具体例
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 「ぐっと深める」をマークで示している。</li> <li>○ キャラクター「ココロウ」を設定している。</li> <li>○ キャラクター「あおい」「そうた」「ほのか」「えいと」を設定している。</li> <li>○ 「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」のマークを設定している。</li> <li>○ 「ふろく」をマークで示している。</li> <li>○ 「心のベンチ」のマークを設定している。</li> <li>○ 第3学年以上には、「SDGsで考えよう」のマークを設定している。</li> <li>○ 「二次元コード」のマークを設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主題名の上に、該当する4つの視点を示している。</li> <li>○ 目次の教材名の下と該当ページに「問題解決的な学習」や「体験的な学習」等を示している。</li> <li>○ 教材冒頭に、教材に入り込むきっかけとなる発問を示している。</li> <li>○ 教材の終わりに、「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」の発問とともに示している。</li> <li>○ 教材の終わりに、ねらいに迫る発問等を示している。</li> <li>○ 補充教材を「ふろく」として示している。</li> <li>○ 道徳的価値について考えを広げ深めるためのコラムを、「心のベンチ」として示している。</li> <li>○ SDGsの視点で考えることを示している。</li> <li>○ 関連する動画や画像等の資料にリンクする「二次元コード」のマークを示している。</li> </ul>
光 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの視点と、各学年で特に考えたいことをマークで示している。</li> <li>○ キャラクター「みらいさん」「ゆたかさん」「ドミン」を設定している。</li> <li>○ 「いじめを生まない心」「命をかがやかせる」等の重点主題のマークを設定している。</li> <li>○ 「まとめよう」「ひろげよう」「かんがえよう」のマークを設定している。</li> <li>○ 「コラム」のマークを設定している。</li> <li>○ 「ことばのたからもの」のマークを設定している。</li> <li>○ 「学びの足あと」のマークを設定している。</li> <li>○ 各学年の目次に、Web上で見ることができる学習に役立つ情報をマークで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主題名の上に該当する4つの視点や各学年で特に考えたいことを示している。</li> <li>○ 気づきや考えるためのポイントや多様な感じ方・考え方等を示している。</li> <li>○ 現代的な課題や学年独自のテーマについて考えることを示している。</li> <li>○ 導入・展開・発展の発問を示している。</li> <li>○ 「お話とつなげて、考えを広げたり、深めたりしよう。」「みんなでやってみよう!」「情報モラル」「へこんでも立ち直る」「SDGs」を示している。</li> <li>○ 「みんなに知ってほしい、すてきな言葉」を示している。</li> <li>○ 授業の記録を書く欄を示している。</li> <li>○ 教材理解をサポートする写真や動画、Webサイトにつながる二次元コードを目次や教材名の下に示している。</li> </ul>
学 研	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 「いのち」「みんなで」「みらいへ」をマークで示している。</li> <li>○ ハート、クエスチョンマーク、エクスクラメーションマークを設定している。</li> <li>○ キャラクター「明日香」「未来」を設定している。</li> <li>○ 「心のパスポート」「深めよう」のマークを設定している。</li> <li>○ 「考えよう」のマークを設定している。</li> <li>○ 鉛筆のマークを設定している。</li> <li>○ 現代的な課題のマークを設定している。</li> <li>○ 情報モラルのマークを設定している。</li> <li>○ Webにつながるマークを設定し、二次元コードを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材名の上に、該当する4つの視点を示している。</li> <li>○ 内容項目が異なる2教材を連続して学ぶユニット教材を示している。</li> <li>○ 考えるきっかけを示している。</li> <li>○ 目次とともに、全学年の教材の登場人物として示している。</li> <li>○ 多面的・多角的に考える特設ページを示している。</li> <li>○ 各教材の最後に、発問を示している。</li> <li>○ 自分の気づきや思いを書き込む欄を示している。</li> <li>○ 教材名の下に、現代的課題へつなげて考えることを示している。</li> <li>○ 目次と教材ページ下に、情報モラルを扱った教材であることを示している。</li> <li>○ Web上で写真を見たり音声を聞いたりできる教材をマークで示すと同時に、巻頭に二次元コードを示している。</li> </ul>

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑨考えを伝え合う活動の工夫
方法	話し合いを促す示し方と具体例

		第5学年	
		話し合いを促す示し方	具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭「どんな学びをするのかな？」の「考える」に、話し合いの例等をイラストとともに示している。</li> <li>○ 巻頭「ちょっと話し合ってみよう！」に、児童がミニ教材を用いて話し合う様子をイラストとともに示している。</li> <li>○ 教材の終わりの「つながる∞広がる」の中に、話し合う活動を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自分の考えを話しましょう。」 「友達の考えをよく聞きましょう。」 ・わたしは、こう考えたよ。 ・なるほど、その考えもすてきだね。 ・みんなの考えを聞いてみたら、わたしの考えが……。</li> <li>○ お話を読んで、考えたことを話し合ってみましょう。 ・わたしとはちがうけど、その考えわかるなあ。 ・もし○○だったら……。</li> <li>○ 教材名「どうすればいいんだ」 ・このお話の「ぼく」「ぼくら」に伝えたいことはありますか。話し合ってみましょう。</li> </ul>	
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭「道徳ではこんな学び方をするよ」の中で話し合いを促している。</li> <li>○ 巻頭「道徳の学習をもっと広げよう」の中でデジタル機器を活用した言語活動例を示している。</li> <li>○ 教材の終わりの「学びの手引き」の「考えよう」「深めよう」「つなげよう」の中に、話し合いを促す発問を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「話し合って考えよう」 ・グループやクラスで話し合って、自分の考えと同じところやちがうところ、友達の意見を聞いて気づいたことなどをもとに、自分の考えを見直してみよう。</li> <li>○ タブレットを学習に生かそう ・グループで意見を出し合う</li> <li>○ 教材名「稲むらの火」 ・自分が五兵衛だったら、どのような行動をとったと思いますか。みんなで話し合いましょう。</li> </ul>	
光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」の中に、話し合いのポイントや例等をイラストともに示すとともに、「やってみよう」を設けている。</li> <li>○ 「考えるヒント」のページに、話し合いのポイントを示したり、話し合いを促したりしている。</li> <li>○ 「「考える」じゅんぴたいそう」のページで、話し合いを促している。</li> <li>○ 教材の終わりの「考えよう・話し合おう」「つなげよう」の中で、話し合いを促している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「友達と自分の考えを比べながら、話し合おう。」 ・ぼくは□□だと思ったよ。 ・□さんの考えを聞いて、△△という見方に気づいたよ。 ・□さんと、わたしの考えは、○○が同じだね。</li> <li>○ 「「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を意識して、話し合ってみましょう。」</li> <li>○ 「相手の考えをより深く理解したいときに、役に立つ言い方を集めました。話し合いで、使ってみましょう。」</li> <li>○ 「ふだん、あたりまえと思っていることに立ち止まって、「なんでだろう。」「どうしてかな。」と考えて、話し合ってみましょう。」</li> <li>○ 教材名「だれもが幸せになれる社会を」 ・だれもが幸せになれる社会とは、どのようなものなのか、また、そのような社会を実現するためには、どんなことが必要なのか、話し合いましょう。</li> </ul>	

		第5学年	
		話し合いを促す示し方	具体例
日 文	○ 巻頭「道徳の学び方」の「考える・深める」の中に、話し合いの具体的なポイントや状況等を二次元コードや写真とともに示している。	○ 「ぐっと深める」の中に、話し合いを促す発問を写真やキャラクターとともに示している。	○ 「気づいたことを友達と話し合って、自分の見方を広げ、考えを深めよう。」
	○ 教材の終わりの「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」の中に、話し合いを促す発問を示している。		
光 文	○ 別冊「道徳ノート」の中に、友だちの意見や話し合いの内容を記述する欄を設けている。		
	○ 巻頭「道徳の時間は、こんな時間です」の「考えよう」の中に、話し合いの仕方やポイントをイラストとともに示している。	○ 巻頭「話し合って考えてみよう」では、話し合う活動をイラストで提示し、話し合いのポイントや対話ツールを示している。	○ 「話し合って考えてみよう」 ・いろいろな人の考えを聞いて話し合い、考えを広げたり、深めたりしましょう。
学 研	○ 巻頭「話し合って考えてみよう」では、話し合う活動をイラストで提示し、話し合いのポイントや対話ツールを示している。	○ 教材の終わりの「ひろげよう」に、教材における話し合いを促す発問を示している。	○ 「言葉のカード（対話ツール）の中から言葉を選んで話してみよう。」 ・こんないいことがあるよ ・こんなときに使おう ・言葉のカード（対話ツール）にはこんなものがあるよ
	○ 巻頭「道徳の学習が始まるよ」の「考えよう」に、話し合いの仕方やポイントをイラストとともに示している。	○ 「心のパスポート」に、話し合いを促す発問を示している。	○ 教材名「明日へ向かって」 ・災害やボランティアの実態について調べ、自分たちにどのようなボランティアができるか話し合ってみよう。
	○ 「深めよう」の「さがそう」に、話し合いのポイント等を示している。		○ 「話し合おう」 ・いろいろなものの見方、感じ方、考え方にふれよう。
			○ 「これからの自分について考えよう」 ・あなたの考える「自由」はどんなものですか。話し合ってみましょう。 ・自分の考え ・友達の考え
			○ 「もっとかがやく自分になるには」 ・グループやクラスで、考えたことを話し合ってみましょう。

【道徳】

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑩考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫
<b>方法</b>	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方、まとめや振り返りの数等と具体例

		第4学年		
		考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方	まとめや振り返りの数等	具体例
東 書	東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末に、学期末に心に残った題名と内容を記述する欄を設けている。</li> <li>○ 巻末に、学期末に、道徳で学んだことを振り返って記入する欄を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学習の記ろく」 【記入欄6か所】</li> <li>○ 「学習の記ろく」 【記入欄3か所】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「心にのこったお話について書きましょう。」 ・学期の終わりや、長い休みの前に書いてみよう。</li> <li>○ 「どうとくの学習をふり返って、感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしたいことなどを書きましょう。」</li> </ul>
	教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材の終わりに自己評価をマークや言葉で書く欄を設けている。</li> <li>○ 巻末に、学習した教材で心に残ったことなどを記述するページを設けている。</li> <li>○ 巻末に、年度末に、道徳で学んだことを振り返って記入する欄を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自己評価欄」 【35時間分】</li> <li>○ 「学習をふり返ろう」 【記入欄6か所】</li> <li>○ 「一年間の学習をふり返ろう」 【記入欄2か所】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ・しっかり考えられた ・新しく気づいたことがあった ・大切にしたいことがわかった</li> <li>○ 「どんな教材が心に残ったかな。」 ・心に残った教材とその理由</li> <li>○ 「どんなことを学習したかな。」 ・一年間の道徳の学習をとおして、感じたことや考えたことを書きましょう。 ・これからの生活に生かしていきたいことを書きましょう。</li> </ul>
	光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末折り込みに、学習を振り返って自己評価をシールで貼る欄を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学びの記録」 【35時間分】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「道徳の授業でできたことを、記録しましょう。」</li> <li>○ 「次の三つのシールの中から、自分ができたと思うものを、はりましょう。」 ・たくさん考えることができた。 ・友だちの話をよく聞くことができた。 ・もっと考えたい、やってみたいことが見つかった。</li> </ul>

【道徳】

		第4学年	
考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方		まとめや振り返りの数等	具体例
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 別冊「道徳ノート」に、学習を振り返って自己評価をマークで描く欄を設けている。</li> <li>○ 別冊「道徳ノート」に、心に残った話と理由を記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「道徳ノート」 【39 時間分】</li> <li>○ 「ここまでの学習を振り返ってみよう」 【3 回分】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「今日の学習はどうでしたか。◎・○・△をつけましょう。」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかり考えた</li> <li>・友達の見解から新しく気づいたことがあった</li> <li>・これからたいせつにしたいことがわかった</li> </ul> </li> <li>○ 「心に残ったお話はありましたか。その理由も書きましょう。」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・心に残ったお話のことをおうちの人に教えてあげよう。</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末に、学習した日付、教材番号を記入する欄を設けている。</li> <li>○ 巻末に、学期末や年度末に、道徳で学んだことをまとめて記入する欄を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学びの足あと」 【36 時間分】</li> <li>○ 「学びの足あと」 【3 回分】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業の記録をつけましょう。」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を受けた後の気持ちを矢印で表しましょう。</li> <li>・そのような矢印にしたわけや、分かったこと、感じたこと、やってみたいと思ったことを書きましょう。</li> <li>・どうしようかなと思っていることを書いてもいいよ。</li> </ul> </li> <li>○ 「道徳で学んだことを、まとめましょう。」</li> </ul>
学 研	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末に、道徳の学習を通して、心に残ったお話や出来事、心に残った言葉、人に伝えたい言葉などを記入し、1年間の学びを振り返るページを設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「つなげよう 広げよう」 【記入欄3箇所】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「道徳の学習をして、心に残ったお話や出来事を書こう。」</li> <li>○ 「心に残った言葉、人に伝えたい言葉を書こう。」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・心に残った友だちや先生の言葉</li> <li>・友だちや家の人に伝えたい言葉</li> </ul> </li> <li>○ 五年生になる自分へメッセージをおくろう。</li> </ul>